

在学中保存

2021年度入学生 履修要覧

社会学部

Faculty of Sociology

◆ 第1部

- ◇ 社会学科
- ◇ 社会福祉学科
- ◇ メディアコミュニケーション学科
- ◇ 社会心理学科
- ◇ 国際社会学科

◆ 第2部

- ◇ 社会学科



東洋大学

目次

建学の理念と教育方針	3	諸資格	151
建学の理念	4	教職課程	152
<hr/>		社会福祉主事	168
はじめに	5	博物館学芸員	171
本書の見方	6	社会調査士	173
掲示板案内	7	社会福祉士	175
ToyoNet-G/ToyoNet-ACE/ToyoNetメール ..	8	認定心理士	179
<hr/>		公認心理師	181
学修にあたって	11	国際交流・国際教育プログラム	183
カリキュラムの概要	12	ToyoGlobalLeader (TGL) プログラム ..	184
卒業・学位	14	海外留学・研修プログラム	186
授業について	16	本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について ..	190
試験・レポート	25	英語特別教育科目 LEAPプログラム	191
成績	29	TOEIC®による単位認定制度	192
その他	31	<hr/>	
学則	33	各種手続	195
東洋大学社会学部規程	35	各種の相談や事務取扱窓口	196
<hr/>		学籍情報	197
教育目標と基本方針	37	休学および復学	200
科目区分と学期履修上限単位数 (第1部)	38	退学	203
卒業条件単位数 (第1部)	39	除籍	205
第1部社会学科	40	再入学	206
第1部社会福祉学科	56	その他の学籍異動	206
メディアコミュニケーション学科	70	各種証明書	208
社会心理学科	84	納付金	210
国際社会学科	98	<hr/>	
第1部他学部他学科開放科目	112		
履修上の注意 (第1部)	117		
科目区分と学期履修上限単位数 (第2部) ..	122		
卒業条件単位数 (第2部)	123		
第2部社会学科	124		
第2部他学部他学科開放科目	138		
履修上の注意 (第2部)	140		
大学院開講科目の先行履修制度	142		
東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について ..	143		
卒業論文	144		
卒業論文執筆要領	147		

建学の理念と教育方針





建学の理念と教育方針

建学の理念

◆◆ 建学の精神 ◆◆

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

◆◆ 東洋大学の教育理念 ◆◆

【自分の哲学を持つ】

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学（人生観・世界観）を持つ人間を育成する。

【本質に迫って深く考える】

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方で、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

【主体的に社会の課題に取り組む】

社会の課題に自主的・主体的に取り組む、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

◆◆ 東洋大学の心 ◆◆

【他者のために自己を磨く】

自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

【活動の中で奮闘する】

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

◆◆ 創業者 井上円了と東洋大学 ◆◆

東洋大学は、1887（明治20）年、哲学者・井上円了が創立した「私立哲学館」によってその歴史が始まりました。円了は幕末の1858（安政5）年、越後国三島郡浦村（現在の新潟県長岡市浦）のお寺の長男として生まれ、1881（明治14）年、設立間もない東京大学文学部哲学科にただひとりの1年生として入学しました。勉学を通して、「洋の東西を問わず、真理は哲学にあり」と確信します。ここでいう哲学とは、「万物の原理を探り、その原理を定める学問」であり、それは概念的、演繹的な哲学ではなく、事実と実証に基づく哲学であるという点が強調されました。哲学することによって、日本人の心、ものの見方・考え方の近代化を目指したのです。

円了は創立前に「哲学はあらゆる事物の原理を定める学問であります。政治、法律はもとより科学や芸術まで、その根底には哲学がなくてはなりません」と述べています。この考えから1887（明治20）年「私立哲学館」という哲学専修の私立学校を創立しました。これが現在の東洋大学の前身にあたります。

円了が教育で目指した哲学は、いわゆる「哲学者」の養成ではなく、思想や精神を錬磨する術（すべ）であり、他に応用する能力も身につけなければならないものであると説いています。

教育の機会の開放を願い、円了は、哲学館の設立趣旨の一つに「余資なく、優暇なき者」でも誰でも学問が学べることを掲げています。そうしたことから、学校開設の翌年から『哲学館講義録』を発行して、通学できない者にも勉学の機会を与えました。

さらに、円了は30歳代から、生涯続けることになる全国巡回講演を始めています。特に、学校経営の現場を離れた1906（明治39）年からの13年間で、全国60市、2196町村において5291回の講演を行うなど、「社会教育」に力を入れました。日本に、新しい教育の扉を開こうとした円了の情熱が伺えます。この心を引き継いで現在の東洋大学では「開かれた大学」を目指し、講師派遣事業や公開講演会など、地域のみならず全国の人々に生涯学習の場を提供しています。

はじめに

本書の使用方法について説明します。

- ・履修要覧は学生生活を送るうえで、重要な事項を記載しています。
- ・履修要覧は、卒業時まで使用します。万一紛失した場合でも、再配付はしませんので、大切に保管してください。なお、履修要覧は本学Webサイトからダウンロードできます。
- ・履修要覧の記載事項に修正が生じた場合は、社会学部掲示板・ToyoNet-G等でお知らせします。

はじめに 本書の見方

用語解説

本文内で記載された用語の解説、補足説明です。

はじめに 掲示板案内

◆◆掲示板◆◆

● ToyoNet-G p.8
● ToyoNet-ACE p.8
● ToyoNet メール p.9

大学からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。
大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top/> ●●

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画(週)を補うために行われる授業のこと。

ToyoNet-Gの学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

● 休講・補講 p.18
● 試験 p.25 ~ p.26

！ 掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。

掲示内容	対象学部	掲示場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
授業・試験・補講 ・レポート	社会	5号館地下2階エレベーター前	社会学部教務課
学部からのお知らせや 学生呼び出し など	社会	5号館地下2階エレベーター横	
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	教職支援課
教職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
キャリア形成支援 ・就職活動支援	全学部	1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
遺失物		1号館1・5・6・7階 3号館ナレッジスクエア入口脇 4号館1階 6号館1階 6号館地下1階	学生支援課
ボランティア募集			
セミナーハウス ・イベント情報			
保健管理室			
学生サポート室			
ピアサポートルーム			
留学生奨学金等			
奨学金・学生呼出			
運動部活動			

※掲示板の設置場所が変更された場合は別途お知らせします。

参照ページ案内

紹介項目に関連する参照ページを紹介しています。



ToyoNet-G 活用例

ToyoNet-G (学務システム)で利用できる機能を紹介しています。

注意事項

紹介項目のうち、特に注意すべきことを紹介しています。

Column

具体的な説明やアドバイスなどを記載しています。

Notice

注意事項の補足説明などを記載しています。



はじめに 掲示板案内

◆◆ 掲示板 ◆◆

☉ ToyoNet-G p.8
ToyoNet-ACE p.8
ToyoNet メール p.9

大学からの通達、連絡および学生に対する伝達はすべて掲示板または ToyoNet-G、ToyoNet-ACE、ToyoNet メールを通して行われます。

大学への登下校時に、毎回必ず確認する習慣をつけましょう。

●● 関連 HP <https://www.toyo.ac.jp/toyonet/top/> ●●

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画(週)を補うために行われる授業のこと。



掲示板については、掲示内容により掲示場所が異なりますので、注意してください。



ToyoNet-Gの学生トップページで、学生個人宛のお知らせや休講・補講情報を確認することができます。

☉ 休講・補講 p.18
試験 p.25～p.26

掲示内容	対象学部	掲示場所	問い合わせ
大学公示	全学部	キャンパスプラザ	
授業・試験・補講 ・レポート	社会	5号館地下2階エレベーター前	社会学部教務課
学部からの お知らせや 学生呼び出し など	社会	5号館地下2階エレベーター横	
教職 (実習・授業関係)	全学部	1号館1階1102教室横 6号館地下1階6B12教室前 (掲示内容は同じです)	教職支援課
教職 (採用・ボランティア 関係)	全学部	3号館1階ナレッジスクエア前	
キャリア形成支援 ・就職活動支援	全学部	1号館3階・4階 6号館地下1階・1階 各門入口 8号館2階・4階	就職・キャリア 支援課
遺失物		1号館1・5・6・7階 3号館ナレッジスクエア入口脇 4号館1階 6号館1階 6号館地下1階	学生支援課
ボランティア募集			
セミナーハウス ・イベント情報			
保健管理室			
学生サポート室			
ピアサポートルーム			
留学生奨学金等			
奨学金・学生呼出			
運動部活動			

※掲示板の設置場所が変更された場合は別途お知らせします。



はじめに

ToyoNet-G / ToyoNet-ACE / ToyoNet メール

学生生活を過ごすにあたって、大学のさまざまな Web システムを使用する機会があります。授業や各種手続、お知らせを確認するための主な Web システムについて紹介します。

◆◆ ToyoNet-G ◆◆

大学での生活・学修上で必要となる手続き・登録を行うシステムです。大学生活に関する情報の発信も行っています。

< ToyoNet-G を使う一例 >

- ・各種登録（履修登録など）
- ・各種照会（成績、学期末試験時間割など）
- ・各種申請の手続（住所変更、成績調査など）
- ・各種書類の印刷（履修登録確認表、成績表など）
- ・アンケート回答・申込
- ・大学からのお知らせ確認（個人宛／休講・補講情報など）
- ・シラバス / 教員プロフィールの閲覧

詳しい利用方法については、ToyoNet-G の各種資料にある「ToyoNet-G 利用ガイドブック」を参照してください。

◎情報システム利用通知書

大学の Web システムを利用するにあたって、一人ひとりに付与された ID・パスワード・メールアドレスが記載された書類
自動証明書発行機で発行することも可能。

◎ログイン方法

東洋大学 Web サイトの下段にある ToyoNet-G のバナーをクリックしてください。
ログインに必要な ID とパスワードは、入学手続を完了した際に、大学から届くメールに記載された手順に従って確認・登録してください。

※パスワードを忘れてしまった場合は、下記 URL から再登録することが可能です。

<https://gainfo.toyo.ac.jp/reminder/resetrequest>



●● 関連 URL <https://g-sys.toyo.ac.jp/portal/> ●●



◆◆ ToyoNet-ACE ◆◆

授業時間内において、出席の管理や課題の提出などに使用される場合があります。
また、授業時間以外でも授業への理解を深めるため、講義内容の補完として使用されることが多くあります。

< ToyoNet-ACE を使う一例 >

- ・授業の出席
- ・配付資料の確認
- ・授業担当教員からのお知らせ
- ・小テスト、レポートの提出

詳しい利用方法については、ToyoNet-ACE の手引き・申請書等にある「情報システム利用ガイド」を参照してください。

●● 関連 URL <https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/login/> ●●



◆◆ ToyoNet メール ◆◆

本学の学生一人ひとりに付与されるメールアドレスで、在学中は無料で使用できます。メールアドレスを活用して、授業担当教員への連絡等が可能です。また、大学から ToyoNet メールアドレスへ連絡することがありますので、毎日確認するように心がけてください。

< ToyoNet メールを使う一例 >

- ・ 授業担当教員との連絡
- ・ 就職活動での連絡先として

◎ログイン方法

東洋大学 Web サイトの下段にある ToyoNet（学内情報システムポータル）のバナーをクリックしてください。

「ホーム／提供サービス」の「ToyoNet-ACE ログイン」または「ToyoNet メール ログイン」をクリックしてください。

ログインに必要な ID とパスワードは、入学手続きを完了した際に、大学から届くメールに記載された手順に従って確認・登録してください。

●● 関連 URL <http://mail.toyo.jp/> ●●



Column

～学内の PC 教室・自習用 PC 教室について～
大学内には自由に使うことができる PC 教室があります。

< 学内の常設 PC 教室 >

- ・ 3 号館 1 階ナレッジスクエア
- ・ 1 号館地下 1 階 ラーニング・commons（図書館内）

< 自習用 PC 教室 >

- ・ 3 号館 2 階

自習用 PC 教室は、正規の授業などで使用できない時間帯もありますので、注意してください。

学修にあたって





学修にあたって カリキュラムの概要

◎カリキュラム

大学の目的、学部学科の人材養成の目的を達成するために、開設する授業科目を配列し、どのような知識・能力を身につけることとなるのかを体系的に示したものを、教育課程。

東洋大学は、全学的な教育目標「東洋大学スタンダード2021」をふまえ、哲学教育・グローバル教育・キャリア教育を軸として学力と人間力をともに養成し、グローバル人材の育成を実現するカリキュラムを編成しています。

◆◆東洋大学スタンダード2021◆◆

東洋大学は、建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」に基づき、学生に以下の力を身につけさせることを宣言します。

1. 「諸学の基礎は哲学にあり」の精神に基づき、生涯にわたり本質に迫って深く考え抜く力
2. 「独立自活」の精神に基づき、社会的に自立した人間として、主体的に判断し、行動できる力
3. 「知徳兼全」の精神に基づき、人間としての価値の実現を目指し、地球環境と人類社会に貢献できる人間力
4. 変わりゆく社会のなかで、自ら問いを立て諸課題を解決できる想像力とイノベーション力
5. グローバル社会において、多様な伝統と文化を尊重し、対話や議論を通じて他者と協働していく力

◆◆基盤教育科目・学部共通科目・学科専門科目◆◆

本学部、各学科の人材養成の目的その他教育研究上の目的を実現するために必要なカリキュラムが構成されています。

基盤教育科目において幅広い知識・教養を身につけ、学部共通科目及び学科専門科目において、学問領域を深く体系的に学ぶことができるよう、本学の学士課程教育が構成されています。

詳しくは、各学科の教育課程表のページを参照してください。

◎学士課程教育

学部教育に加え、国際的通用性のある大学教育の課程の修了に関わる知識・能力を修得した者に学位を与える教育課程（プログラム）。

基盤教育科目	
哲学・思想	<p>「諸学の基礎は哲学にあり」の精神に基づき、生涯にわたり本質に迫って深く考え抜く力 理論哲学や実践哲学、倫理観を確立するとともに、自ら考え、判断し、行動する能力、総合的視野に立ち、他分野の人々と協働できる能力を身につける。そのために古今東西の賢人たちが残した哲学・思想に耳を傾け、それらについて深く考えることで思考を錬磨し、自らのものの見方・考え方の基盤を築くとともに、多角的なものの見方・考え方を受容する力の獲得を目指す。</p>
学問の基礎	<p>「知徳兼全」の精神に基づき、人間としての価値の実現を目指し、地球環境と人類社会に貢献できる人間力 変化の激しい現代社会を生きるための教養とは、幅広い知識の修得のみならず、グローバルな視野を持ち、歴史的かつ多元的な視点で物事を深く考え、自然やものの成り立ち、科学と社会との関係を正しく理解したうえで適切な判断ができる能力を意味する。人文・社会・自然科学の諸分野における先人の知恵に学び、それらを横断する学際的な探求活動を通じて、教養を身につける。</p>
国際人の形成	<p>グローバル社会において、多様な伝統と文化を尊重し、対話や議論を通じて他者と協働していく力 地球でともに生きる市民のひとりであることを自覚し、多様な伝統や文化を越えて、個を尊重しながら共生、協働していくための素養を身につける。そのために複数の言語を使う力を伸ばすとともに、柔軟で論理的な思考力、異なる価値観を認めあうための受容力と発信力を高め、自らの考えを的確に伝えられる、そして相手の考えを多角的、多元的に理解できるコミュニケーション能力の伸長を目指す。</p>
キャリア・市民形成	<p>「独立自活」の精神に基づき、社会的に自立した人間として、主体的に判断し、行動できる力 人生100年時代を迎え、さまざまに多様化が進む現代社会で「よく生きる」ためには、社会的・職業的な課題の理解力、判断力、行動力が必要である。これらの養成のために、法律、会計、IT、情報、環境など、社会や組織を理解するための基本を学ぶとともに、他者と協働し、自ら行動するためのコミュニケーション力、調整力、キャリア開発力を身につける。</p>
総合・学際	<p>変わりゆく社会のなかで、自ら問いを立て諸課題を解決できる想像力とイノベーション力 グローバル化と技術革新の進展がもたらす現代社会の課題について、複数の学問視点や複合・学際領域など多様な視点から、さまざまなひとや組織と協働して、柔軟で斬新な解を見いだす力を身につける。そのために、分野を超えて最新の技術動向や研究成果を学ぶ授業を展開し、対話をとおして、その知識や技能を応用して発展的・創造的に思考・発想する力を養成する。</p>
健康・スポーツ科学	<p>多様化するグローバル社会に対して、知徳体のバランスの取れた健康的な人材を育成することを目指し、スポーツの価値の中核である「楽しさ」「喜び」を享受し、スポーツの持つ価値を最大化させる「人」「社会」「世界」を様々に結びつける人間力となるコミュニケーション能力、リーダーシップ、協調性、課題発見・解決能力等を身につける。</p>
学部共通科目・学科専門科目等	
学科専門科目	所属学科の専門的領域を扱った科目群です。
学部共通科目	本学部で共通に開設されている科目群です。 本学部に所属する学生であれば全学生が履修することが可能です。
教職科目	教育職員免許状を取得するための科目です。



学修にあたって 卒業・学位

◎ 修業年限 p.199

◆◆ 卒業要件、修業年限／在学年限 ◆◆

卒業するには、修業年限 4 年以上在学し、各学科が定めている卒業要件をすべて充足することが必要です。

在学できる年数は最長で 8 年（休学期間を除く）と定められています。

◎ 卒業見込

卒業見込とは、休学期間を除き 6 セメスタ以上在学、かつ 76 単位以上修得した上で、あと 1 年間（2 セメスタ）在学で所定の単位を修得することで、卒業要件を満たすことができる状態のこと。

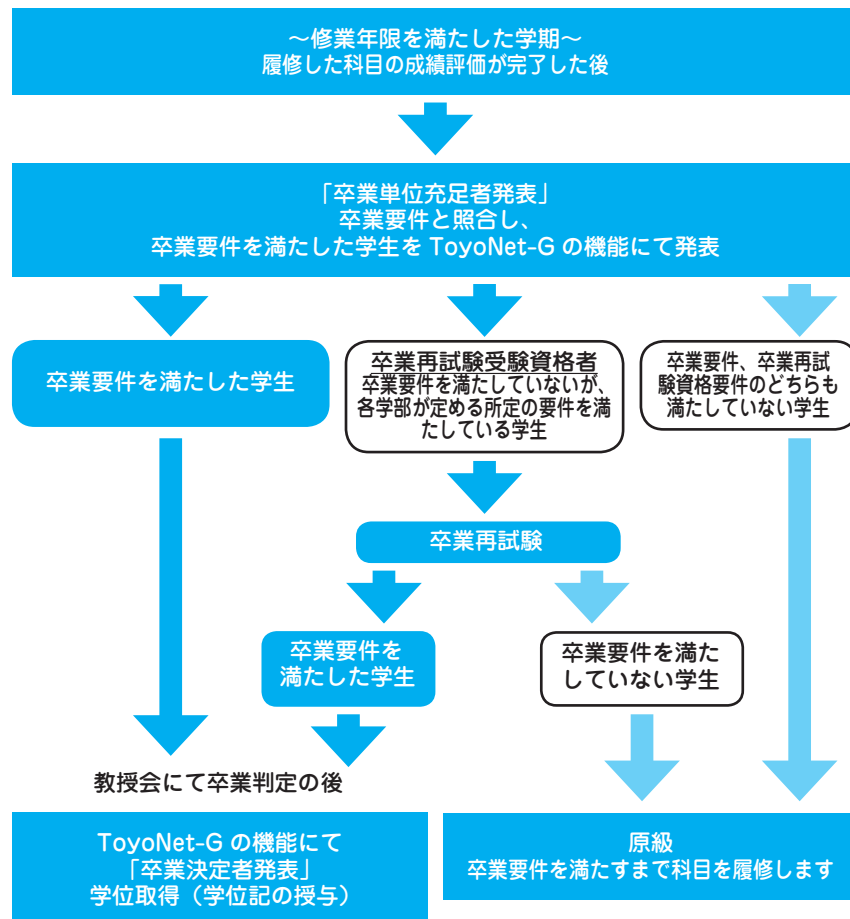
卒業見込となってもすべての卒業要件を満たすように単位修得しなければ卒業できません。

卒業要件

- 1) 修業年限を満たしていること。（p.199 参照）
- 2) 所属学科の卒業要件を満たしていること。
- 3) 卒業要件に含まれる科目の修得単位数が 124 単位以上修得していること。

◆◆ 卒業決定の通知 ◆◆

◎ 卒業再試験 p.27



◆◆ 社会学部 ◆◆

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会学部では、以下に示す学修成果を上げることが、卒業の認定及び学位授与の条件としている。

1. 諸学の基盤となる科目を幅広く履修し、柔軟な思考能力を養うこと。
2. 社会調査に関する知識・技能を含めた社会学の基本的な知識を修得すること。
3. 現代社会の様々な事象に関して、自ら考えながら学び、専門的な知識と実践的な応用能力を身につけること。

学位の授与

修業年限を満たし、学科ごとに定められている卒業要件をすべて充足することで、学位が授与されます。

社会学部……学士（社会学）

各学科の卒業要件を必ず確認してください。

第1部社会学科	p.40	参照
第1部社会福祉学科	p.56	参照
メディアコミュニケーション学科	p.70	参照
社会心理学科	p.84	参照
国際社会学科	p.98	参照
第2部社会学科	p.124	参照





学修にあたって 授業について

◆◆授業の期間◆◆

本学で行われる授業科目には、1年間を春学期・秋学期の2学期（セメスタ）に分割し、15週間単位で授業を行うセメスタ授業と、各セメスタを2分割し、8週間単位で授業を行うクォーター授業があります。また、夏季・春季休暇期間に、集中講義や実習等の授業が行われる場合があります。これをセッション授業といいます。

春学期（4月1日～9月30日）						秋学期（10月1日～3月31日）					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春セメスタ授業期間				夏セッション	秋セメスタ授業期間				春セッション		
第1クォーター		第2クォーター			第3クォーター		第4クォーター				
				夏季休暇						春季休暇	

学籍異動
p.200～p.207

- ※学則上の学期日程と実際の学年暦（授業カレンダー）は異なることがあります。学籍異動等の取り扱いは、学則上の学期日程（春：4月1日～9月30日、秋：10月1日～3月31日）で取り扱います。
- ※学年暦（授業カレンダー）の詳細は、年度ごとに発行される『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定」で確認してください。
- ※各年度の開講形態・授業時間割・履修登録期間等は『履修登録のしおり』『授業時間割表』（4月初旬に配信）およびToyoNet-Gで確認してください。また、追加の周知事項がある場合、ToyoNet-G や学内掲示板で随時お知らせします。

（セメスタ制）

セメスタ制とは、1年を2つの学期（セメスタ）に分け、4年間で8つのセメスタを段階的に積み上げて学修する制度です。年に2回（4月・9月）履修登録を行います。学期単位で授業が完結し、試験やレポート等の成績評価に基づいて単位が認定されます。

◆◆ 授業時間帯 ◆◆

白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）の授業時間帯は以下のとおりです。授業時間は90分です。

なお、授業時間帯は変更することがあります。

時限		授業時間帯
第1部	1時限	9:00～10:30
	2時限	10:40～12:10
	3時限	13:00～14:30
	4時限	14:45～16:15
	5時限	16:30～18:00
第2部	6時限	18:15～19:45
	7時限	19:55～21:25

◆白山キャンパス・総合スポーツセンター（板橋区清水町）間をまたがり履修する場合◆

キャンパス間の移動に30分以上を要するため、昼休みを除き連続している時限では、白山キャンパスと総合スポーツセンター間をまたぐ履修はできません。

下表を参照のうえ、履修可能な時間割を作成し履修登録を行ってください。

1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限
●	履修不可				
履修不可	●				
			●	履修不可	
			履修不可	●	履修不可
				履修不可	●

●・・・総合スポーツセンター（板橋区清水町）で履修をする場合

◆休講・補講／授業の欠席◆

休講の決定・お知らせ

担当教員のやむを得ない理由により、授業が休講になることがあります。

休講する場合は、ToyoNet-Gの「休講情報」にて通知します。

※授業開始時刻から30分経っても教員が教室へ来ない場合は、所属学部教務課窓口まで連絡のうえ、職員の指示に従ってください。

緊急時の授業の取扱い

下記①～③の場合、授業の取扱いについて、大学Webサイト・ToyoNet-Gにてお知らせしますので、大学の指示に従ってください。

①台風の接近等により交通機関の混乱が予想される場合

②台風・地震の災害等により交通機関が運行停止となった場合（人身事故等一般的な運行停止を除く）

③大規模地震の警戒宣言が発令された場合

※授業中に上記①、③の状況となった場合は、学内掲示、学内緊急放送にてお知らせします。

※学内で実施される講演会・講座等についても、上記措置に準ずるものとします。

休講の確認方法

・ToyoNet-Gの休講情報

補講の確認方法

・学内掲示版

・ToyoNet-Gの補講情報

※補講は補講調整期間内に行う場合と、期間外に行う場合があります。

◎補講

授業を休講したことにより、定められた授業計画(週)を補うために行われる授業のこと。

※履修登録期間中は学生メニュー内の休講照会を参照してください。

授業の欠席

やむを得ない理由により、授業を欠席する場合は、事前に担当教員に直接連絡をしてください。教員の連絡先は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」にて確認してください。

◎教員との連絡 p.24

教務課窓口・電話等での取り次ぎは一切行いません。

ただし、病気・ケガ等により長期欠席する場合には、教務課に相談してください。なお、教育実習、介護等体験、博物館実習、ソーシャルワーク実習により授業を欠席する場合には、指定用紙にて担当教員に予め届け出てください。

④ 休学
p.200 ~ p.202

欠席の理由	提出書類	連絡方法	備考
体調不良、就職活動ほか自己都合	教員の指示に従う	教員に直接連絡 (次回授業出席時・メール)	忌引きの場合でも原則出席扱いにはなりません。
指定感染症による出席停止（インフルエンザ、はしか等）	感染症治癒証明書	保健管理室に電話連絡の後、教員に直接連絡（次回授業出席時・メール）	出席停止の場合でも原則出席扱いにはなりません。
3ヶ月以上の欠席を要する病気・怪我	許可願 (休学する場合)	教務課に連絡	病気・怪我等やむを得ない事情等の理由により、3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て、休学することができます。

※メールのみの連絡は一方的かつ行き違いの原因となります。必ず次回出席時に担当教員に申し出てください。
※交通機関の影響等による遅刻の場合は、遅延証明書を担当教員に提出してください。

◆単位のしくみ◆

授業科目には学修時間に応じた単位数が定められており、卒業要件等の基準は修得すべき単位数として規定されています。1単位は、授業や自習（予習・復習）を含めた45時間の学修に対応しており、45時間の学修のうち授業の占める時間は、講義・演習科目は15時間、外国語科目は30時間、実験・実技・実習科目は45時間と設定されています。

標準的な授業実施形態は、週1回1学期15週にわたって授業が実施されます。授業時間はどの科目も90分間です。

学修時間の考え方

$$\boxed{\text{単位}} = \boxed{\text{授業}} + \boxed{\text{自習（予習・復習）}}$$

授業科目の区分と1単位における学修時間

授業科目等	単位数	授業実施	学修時間		
			授業時間	予習・復習時間	合計
講義・演習	1単位	15週	15時間	30時間	45時間
外国語科目	1単位	15週	30時間	15時間	45時間
実験・実技・実習	1単位	15週	45時間	0時間	45時間

◆履修計画・履修登録◆

各学科の教育課程表に沿って、計画的な履修をするようにしてください。また履修計画を立てるにあたっては、教職員の履修指導を受けるほか、カリキュラムマップを参考にしてください。

なお、授業を受け、単位を修得するためには、事前に履修を希望する授業科目の登録が必要になります。これを「履修登録」といいます。

履修計画のポイント

- ①所属学科の卒業要件をよく理解する。
- ②所属学部の『履修登録のしおり』や授業時間割をよく確認し、当該年度の履修上のルールなどについて、きちんと把握する。
- ③必修科目や選択必修科目など、履修の優先度の高い科目については、配当学年（履修可能年次）において早めに履修する。
- ④履修希望する科目同士の時間割の重複（曜日・時限・開講学期）がないか確認すること。重複があった際には、上記③の優先度を考慮して履修する。
- ⑤成績発表後は、これまで単位修得した科目を振り返り、残りの必要単位数や修得が必要な科目を確認する。

また各学科のページに記載されている『カリキュラムマップ』を参考に、これまで履修した科目やこれから履修する科目の関係性を理解するとともに、卒業までに必要な知識・能力などを踏まえ、選択科目などの必要な履修の参考にする。

- ⑥必要に応じて、教員に相談するほか、履修ガイダンスに参加し、必要な科目をチェックする。

! 定められた期間に「履修登録」をしないと、履修を希望する科目の受講、試験の受験ができず、単位の修得もできません。

◆履修登録の流れ◆

**履修関係書類配付・配信：新入生 就学手続時
在校生 進級手続時**
『履修要覧』等が配付・配信されます。



ガイダンス（新入生のみ）
在校生は特別なガイダンスは行わないので、ToyoNet-Gの「各種資料」にある『ToyoNet-G 利用ガイドブック』で確認すること



時間割作成
『履修要覧』『シラバス（講義要項）』『履修登録のしおり』『授業時間割』および前学期の「成績表」をもとに今学期履修する授業を決め、時間割を作成します。



履修登録
作成した時間割に基づき履修登録します（学外のPC・スマートフォン・タブレット端末からも可能です）。
期間内なら何度でも登録の変更が可能です（事前登録された科目を除きます）。

ToyoNet-G
p.8

窓口申請科目の登録
別途申請しないと受講できない授業についてはToyoNet-Gの「お知らせ」や「各種資料」から該当する申請書をプリントアウトし、教務課窓口に提出してください。
※履修登録期間内に行うこと



履修登録確認表【確定版】の出力（確定日以降に必ず行ってください。）
履修科目を証明する書類となるので成績発表時まで大切に保管してください。



履 修 登 録 完 了



履修取消（希望者のみ）
定められた期間にToyoNet-Gから手続を行うことで、履修科目を取り消すことができます。

GPA p.29

!

- ①科目によっては、抽選を行う場合があります。
- ②履修登録期間を過ぎてからの追加・変更はできません。
- ③GPA制度に沿わない履修科目の取り消しはできません。

◆履修上限単位数（CAP 制）と履修科目の制限◆

◎ CAP 制
 キャップ（CAP）制とは単位の過剰登録を防ぎ、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するよう、1年間または1学期に履修登録できる単位の上限を設ける制度

各学期（セメスタ）に履修登録することのできる単位数に制限があります。

履修上限単位数

年次	春学期 (第1・第2クォーター)	秋学期 (第3・第4クォーター)
1～4	24 単位	24 単位

履修科目の制限・注意

- (1) 既に修得した科目は履修できません。
- (2) 上級学年に配当されている科目は履修できません。
- (3) キャンパス間をまたがる履修においては、履修ができない時間帯があります。(p.17 参照)
- (4) 科目によっては、隔年開講の科目、第1・2部いずれかでのみ開講する科目があります。
- (5) 同じ名称の科目を、同時に2つ以上履修することはできません。ただし、履修した科目を修得できなかった場合は、次学期以降に再度履修することができます。
- (6) 科目により学部・学科・学年・クラス等指定されている科目がありますので、「履修登録のしおり」を確認のうえ、登録してください。
- (7) 自分の所属する学科の教育課程表にない科目を自由科目として履修する場合は、担当教員の許可を得て履修してください。
- (8) 科目によっては、定員制を設けている科目があります。第1回目の授業に出席し、担当教員の許可を得る必要があります。詳細は、「履修登録のしおり」を確認してください。
- (9) 科目によっては、履修希望者が集中し、教室の収容定員を超えた場合は、抽選等により履修者を決定します。詳細は、「履修登録のしおり」を確認してください。
- (10) 授業教室は変更となる場合があります。

◆ シラバス ◆

シラバス（講義要項）には、授業の内容（概要）や到達目標など、科目の履修を通じて身につけることのできる知識、能力、また各回の授業の進め方や内容、成績評価方法・基準、使用テキストや事前・事後学習の指示などが、予め学生に示されています。

履修する科目を決めるにあたっては、シラバスを熟読することはもちろん、次回の授業の準備学習や復習の際の振り返りに用いるなど、シラバスを活用することによって学修効果を高めるよう努めてください。

● ToyoNet-G p.8

シラバスは「ToyoNet-G」にて公開しています。

シラバスの記載項目

主な記載項目	記載内容
科目名	履修要覧・授業時間割に記載されている科目名。
担当者	担当教員名。
サブタイトル	科目のサブタイトル、サブテーマ。
講義の目的・内容	どのような内容を学ぶのか、またどのように教授していくかについて。
学修到達目標	履修を通じて身につけることのできる知識・能力など。
講義スケジュール	各回の授業内容・テーマをもとにしたスケジュール。
指導方法	担当教員がどのように授業内容を進めていくのか。
事前・事後学習	授業を受講するにあたって、必要な予習・復習の指示。
成績評価の方法・基準	どのような方法で成績評価をするのか、また評価方法ごとにどれくらいの割合で成績に反映するのか。
受講要件	履修にあたって予め必要な条件。
テキスト	授業で使用する教科書やテキスト。
参考書	授業に関連する参考書。

シラバスの検索方法

シラバスは ToyoNet-G にて検索することができます。

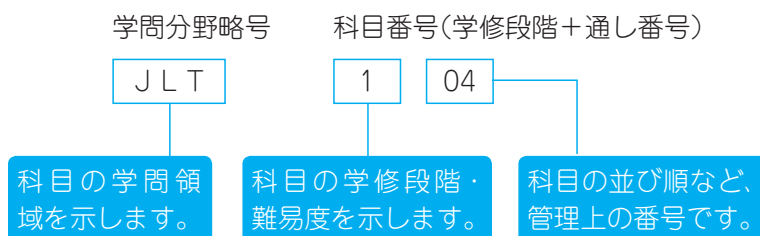
The image shows a sequence of three screenshots from the ToyoNet-G website. The first screenshot shows the user's profile page with a 'My Profile' section and a '検索' (Search) button. The second screenshot shows the search results page with a table of course details. The third screenshot shows the detailed syllabus page for a selected course, with a table of syllabus items and a list of documents.

調べたい科目名や教員名を入力

◆ 科目の記号と番号（科目ナンバリング） ◆

科目ナンバリングの体系

科目ナンバリングとは、授業科目の学問分野と学修段階（難易度）がわかるように各授業科目に番号を付して分類したものです。授業の難易度や専門性に応じて順次的に授業を選ぶことができます。



各授業科目には、記号と番号が付いています（各学科教育課程表を参照）。

学問分野略号

教育課程表上の各科目に付されている学問分野略号は次のとおりです。

④ 教育課程表
第1部
社会学科
p.46～p.52
社会福祉学科
p.60～p.66
メディアコミュニケーション学科
p.74～p.80
社会心理学
p.88～p.94
国際社会学科
p.103～p.109
第1部他学部他学科
開放科目
p.112～p.116
第2部
社会学科
p.129～p.134
第2部他学部他学科
開放科目
p.138～p.139

ABE	建築学	ENV	環境保全学	LIH	図書館情報学・人文社会情報学
ACC	会計学	EPS	環境政策・環境社会システム	LIN	言語学
AHS	応用健康科学	ESS	教科教育学	LIP	公認心理師
ARC	考古学	EUL	ヨーロッパ文学	MAN	経営学
ARL	芸術一般	EXP	実験心理学	MAT	数学
ARS	地域研究	FAH	美術史	MOF	金融・ファイナンス
ASA	美学・芸術諸学	FLE	外国語教育	MUD	マルチメディア・データベース
AST	天文学	FRA	語学(フランス語)	NDD	自然災害科学・防災学
BAB	基礎生物学	FUL	基礎法学	NFL	新領域法学
BSC	基礎化学	GBC	GBC セミナー	PFP	財政・公共経済
CAS	文化財科学・博物館学	GDE	ジェンダー	PHE	哲学・倫理学
CEE	土木環境システム	GER	語学(ドイツ語)	PHY	物理学
CEP	土木計画学・交通工学	GGR	地理学	POL	政治学
CHI	語学(中国語)	GLE	グローバル・アントレプレナーシップ	PSY	心理学
CHL	中国文学	HAA	アジア史・アフリカ史	PUL	公法学
CIB	中国哲学・印度哲学・仏教学	HEA	ヨーロッパ史・アメリカ史	RES	宗教学
CIL	民事法学	HIS	史学	SCE	科学教育
CIV	キャリア/インターンシップ/ボランティア総論	HIT	思想史	SEM	ゼミナール/基礎演習
CLI	臨床心理学	HPH	衛生学・公衆衛生学	SHS	科学社会学・科学技術史
CME	商学	HSG	史学一般	SNE	特別支援教育
COT	計算基盤	HSS	健康・スポーツ科学	SOC	社会学
CRL	刑事法学	HUG	人文地理学	SOE	教育社会学
CUA	文化人類学・民俗学	HYE	水工学	SOF	ソフトウェア
DEV	持続可能システム	IDN	語学(インドネシア語)	SOL	社会法学
EAP	地球惑星科学	IHR	国際人の形成	SOP	社会心理学
ECD	キャリア・市民形成	ILA	国際法学	SPA	語学(スペイン語)
ECH	経済史	INN	情報ネットワーク	SPS	スポーツ科学
ECO	経済学	INR	国際関係論	SSS	社会・安全システム科学
ECP	経済政策	ITS	総合・学際	STS	統計科学
ECS	経済統計	JLE	日本語教育	SUS	留学支援
ECT	理論経済学	JLN	日本語学	SWS	社会福祉学
EDE	経済学説・経済思想	JLT	日本文学	THA	語学(タイ語)
EDP	教育心理学	JPH	日本史	THE	卒業論文/卒業制作
EDU	教育学	JPN	語学(日本語)	THI	情報学基礎理論
ENE	エネルギー学	KOR	語学(韓国語)	TOS	観光学
ENG	語学(英語)	LAW	法学	TPA	都市計画・建築計画
ENL	英語学	LIE	英米・英語圏文学	TYS	自校教育科目
		LIG	文学一般	WIS	ウェブ情報学・サービス情報学

科目番号（学修段階+通し番号）

100 番台	主に大学1年生を対象とした授業(1年次レベル)
200 番台	主に大学2年生を対象とした授業(2年次レベル)
300 番台	主に大学3年生を対象とした授業(3年次レベル)
400 番台	主に大学4年生を対象とした授業(4年次レベル)
500 番台	大学院レベル

※上記の科目番号(○年次レベル)は授業の難易度を示すものとして付されています。教育課程表に記載されている配当学年(履修可能年次)と異なる場合があります。

※通し番号は以下のルールで付番されています。

01～99→a1～a9→b1～b9→c1～c9…(以降、アルファベット順に従います。)

◆◆教員との連絡◆◆

教員と連絡を取りたい場合は、次のような方法があります。

研究室を訪ねる

専任教員(教授、准教授、講師、助教)にはそれぞれ研究室があります。また、学生からの相談や質問を受けるために「オフィスアワー」を設けています。

オフィスアワーでは、授業内容に関する質問や、学修の進め方、履修登録のプランなどの相談のほか、レポート指導なども行っています。その他、卒業後の進路や休学、転部・転科、留学、大学院進学などの進路に関する相談、学生生活全般の相談など、幅広い相談に対応しています。

非常勤講師は、研究室を持たないため、オフィスアワーはありません。連絡を取りたい場合は、ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている連絡先を参照してください。

◎オフィスアワー
正課の授業とは別に学生と教員のコミュニケーションを密接にする場として設けた時間帯のこと。

◆オフィスアワーの確認方法◆

- ① ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されている「オフィスアワー」の時間帯、研究室を確認し、訪問してください。予約が必要な場合もありますので、予め確認することをお勧めします。
- ② 研究室ドアに貼られている「オフィスアワー時間帯」を確認し訪問してください。研究室には、以下のような掲示がされています。



(オフィスアワーの掲示例)

メールを送る

ToyoNet-Gの「シラバス・教員プロフィール」に記載されているメールアドレスを確認し、メールをしてください。



メールで連絡をする際には、必ず学部学科名・学籍番号・氏名を明記し、授業科目名を書くなどし、質問・相談内容を、簡潔にまとめること。

学修にあたって 試験・レポート

◆◆試験◆◆

- 履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験に合格しなければなりません。
- 試験には平常試験と学期末に行う定期試験があります。科目によっては、レポートまたは平常点によって評価します。

試験には次の種類があります。

平常試験	各授業科目の担当教員が授業時間内で行うテスト等を指します。
学期末試験	各学期(春学期：7～8月、秋学期：1～2月)の試験・補講調整期間に行われる試験 ※試験実施の2週間前に学期末試験時間割表を ToyoNet-G で発表します。
レポート	筆記試験に替えて課す課題
卒業再試験	卒業単位充足者発表後、所定の要件を満たした卒業を希望する4年生を対象として行われる特別試験

※授業ごとの成績評価方法、試験については、シラバスの「成績評価の方法・基準」を確認してください。また授業中に担当教員から指示される場合があります。

平常・学期末試験受験上の注意

- 履修登録確認表に記載されていない科目を受験しても無効です。
- 学期末試験、平常試験ともに通常授業実施時間帯で試験が行われます。
- 試験会場は平常授業時と異なる場合があるので、ToyoNet-G の情報を確認してください。
- 1科目で試験会場が2ヵ所以上になる場合、学籍番号で試験会場を指定するので、必ず指定された試験会場を受験してください。
- 試験に際しては、すべて監督者の指示に従ってください。
- 学期末試験では、学生証がないと受験できないので必ず携帯し、試験会場では机上の指示された場所に提示してください。(平常試験でも求められる場合がありますので、学生は必ず携帯すること。)
- 試験会場に持ち込みできるものは、筆記用具・時計機能だけの時計・持ち込みが許可されたもののみです。携帯電話、スマートフォン等の通信機能が付いた機器は机上に置けません。試験の妨げにならないよう電源を必ず切って、かばんにしまってください。なお、上記の機器、音楽プレーヤーを時計代わりに使用することはできません。
- 筆記用具(ボールペン、鉛筆、消しゴム)を必ず持参してください。貸出は一切行いません。
- 試験中の飲食は禁止します。
- 答案用紙の、学部・学科・学年・学籍番号・氏名欄には必ず黒のペンまたはボールペンで記入してください。(ただし、インクが消しゴム等で消せないものに限る。)
- 学籍番号欄は学生証に記載されている学籍番号の10ケタすべてを記入してください。学籍番号、氏名のない答案用紙は無効です。
- 学期末試験は試験開始後20分までに入場しないと受験資格を失います。また退出は開始後30分経過し、監督者の指示があった後のみ許可します。途中退室した場合、再入場は認めません。
- 天災、病気、その他やむを得ない理由によって、試験を受験できなかった場合は速やかに証明書または診断書(コピー可)等を添えて担当教員に届け出て、具体的な指示を受けてください。
- 不正行為を行った場合は、学則(第57条)に基づき処分されます。不正行為についての規程と処分内容はP.26を参照してください。平常試験でも不正行為があった場合には、処分されます。担当教員の指示・説明をよく確認してください。
- 交通機関の運行や天候の乱れ等に留意し、試験会場へは時間に余裕をもって入場してください。

平常・学期末試験における不正行為

不正行為（本学の規則に反する行為、または学生の本分に反する行為）を平常・学期末試験において行った場合は、学則第 57 条に則り処分されます。

1. 処分の種類

処分は、譴責、停学又は無期停学とする。

2. 処分とその対象となる不正行為

(1) 譴責の対象となる行為

- ア 持ち込みが認められているものの貸借。
- イ 他人の答案の覗き見、答案を故意に他人に見せ又はそれを見る行為。
- ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意を無視した行為。
- エ その他アからウに準ずる行為。

(2) 停学 1 ヶ月の対象となる行為

- ア 解答用紙を交換する行為。
- イ 許可されていないものの持ち込み。
- ウ 書込みを許可されていない持込許可教材、机上、手掌等へ書込みをしての受験、又は、これに類似する行為。
- エ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴言。
- オ その他アからエに準ずる行為。

(3) 無期停学の対象となる行為

- ア 替え玉受験。
- イ 在学中における再度の不正行為。
- ウ 試験監督者又は監督補助者からの注意に対する暴力行為。
- エ その他、極めて悪質な行為。

3. 処分に伴う措置

- (1) 処分の種別にかかわらず、不正行為のあった試験科目の単位は、当該年度（学期）において認定しない。また、上記「2. (2)」及び「2. (3)」の停学の対象となる行為については、当該年度（学期）の試験期間において実施される全ての試験科目の単位を認定しない。
- (2) 停学期間は当該学部教授会で処分に関する意見を決定した日から起算することを原則とする。
- (3) 決定した処分内容については、不正行為者が所属する学部の学部長が、本人及び保証人と面接のうえ、通達する。
- (4) 停学期間中は、不正行為者に対してその所属学部が教育的指導を行う。
- (5) 「譴責の対象となる行為ア及びイ」、「停学 1 ヶ月の対象となる行為ア」、「無期停学の対象となる行為ア」の不正行為は、その当事者全てが上記（1）～（4）の措置の対象となる。

4. 不服申立て

不正行為の指摘を受けた学生は、不服申立てをすることができる。

卒業再試験

4年次生で卒業当該学期に卒業要件を満たしていない者について、以下の要領で「卒業再試験」を実施します。

(受験資格)

卒業再試験は4年次生で卒業を希望する者であり、卒業当該学期に卒業に必要な単位数で不足している科目数が3科目以内かつ6単位以内の者に対して所定の手続きを経て行なわれます。

(対象科目)

卒業再試験の対象となる科目は以下のすべてに該当する科目とします。

- (1) 卒業当該学期に履修登録を行っている科目
- (2) 卒業単位充足者発表時の評価で「D」の評価を得た科目

(対象除外科目)

以下の科目は卒業再試験対象科目から除外されます。

- (1) 演習、実習、実験、実技、ゼミナール関係科目
- (2) 卒業研究、卒業論文、卒業制作
- (3) 教職科目の内、教育の基礎的理解に関する科目等
- (4) 不正行為等により無効となった科目
- (5) 通常の評価において「E」「*（評価対象外）」と判定された科目
- (6) 科目の性質上、担当教員と開講責任学部の学部長が協議して卒業再試験にふさわしくないと判断した科目。ただし、その科目にあっては学生の履修登録以前に卒業再試験を実施しないことを学生に対して明示するものとします。

(再試験手続)

再試験は、卒業当該学期で発表される卒業単位充足者発表時に、定められた期間内に面接を受けた上で所定の手続を行うものとします。

- (1) 再試験手続を行わなかった場合は、自動的に受験する権利は消滅します。
- (2) 受験しようとする者は、卒業再試験対象科目であり、かつ卒業再試験を行う科目の中から、卒業に不足する単位数分の科目数のみ受験することができます。
- (3) 代理人による手続は認められません。

(再試験受験料)

再試験受験料は以下のとおりです。

1科目 5,000円

(再試験の評価)

卒業再試験の成績評価は以下のとおりです。

- (1) 成績評価基準は、それぞれの科目において学期末試験または平常試験で実施した基準と同等とします。
- (2) 再試験の結果、合格した者の成績評価は「C」評価とします。

◆レポート◆

レポート提出方法、日時、提出先を授業時及び掲示板で確認してください。教務課窓口では問い合わせに応じることはできません。

レポートボックス設置場所

担当教員の指定するボックス番号、提出物の回収締め切り日時等を確認してください。

設置場所 2号館3階 3号館連絡通路脇 (No.1～50)
6号館2階 6210 教室横 (No.51～80)

Column

～ラーニングサポートセンター～

ラーニングサポートセンターでは、次のような学修相談・各種講座等の支援を行っています。大学での学修をより良くするためにも、ラーニングサポートセンターを利用しましょう。

- (1) 学習上の諸問題に係る相談
- (2) レポート・論文の書き方相談、文献・資料の調べ方相談
- (3) 高校までの基礎学力向上に係る支援
- (4) 資格等の学習に係る支援
- (5) 情報リテラシーに係る支援
- (6) 留学生を対象とした日本語ライティング支援、論文の書き方相談

～開室時間～

月～金 10:00～18:00 3号館1階 ナレッジスクエア内

※開室日時は変更になることがあります。利用の際は、ホームページにて確認してください。



学修にあたって 成績

◆◆ 単位の認定 ◆◆

単位は、履修登録した科目に対して、出席状況、試験（レポート含む）等によって認定されます。

④ シラバス p.22



授業科目ごとの成績評価方法は、シラバスに記載された「成績評価の方法・基準」を確認してください。

◆◆ 成績評価基準 ◆◆

本学の成績評価基準は以下のとおりです。

合否	成績表示	評価点の範囲	基準
合格	S	100～90	到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。
	A	89～80	到達目標を十分に達成している。
	B	79～70	到達目標を達成している。
	C	69～60	到達目標を最低限達成している。
不合格	D	59～40	到達目標を達成していない項目があるが、学修行動を改めることにより達成する可能性がある。
	E	39以下	到達目標の項目の全てまたはほとんどを達成していない。
	*	評価対象外	出席・試験・レポート提出等の評価要件を欠格。

- ※ 上記の到達目標とは授業科目のシラバスに明記された到達目標を指します。
- ※ 「評価対象外」とは、授業期間を通じ出席不良（3分の2以上の出席をしていない）、またはレポート未提出、試験の不受験のために成績評価の判断ができないものを指します。
- ※ 上表のほかに、留学や他大学での学修成果などを単位認定する場合、「T（Transferの略）」を合格の評価として使用します。



履修登録した科目の単位を修得するためには、授業回数の3分の2以上出席し、所定の試験（レポート、平常試験等含む）に合格しなければなりません。

◆◆ GPA 制度 ◆◆

GPA（Grade Point Average）とは、授業科目ごとの成績に対して、4.3～0.0のグレード・ポイントを付与し、この1単位あたりの平均を算出したもので、学生の学習到達度をはかる指標として、国内外の大学で広く使われています。

【GPAの算出方法】

$$\text{GPA} = \frac{(\text{Sの修得単位数} \times 4.3) + (\text{Aの修得単位数} \times 4.0) + (\text{Bの修得単位数} \times 3.0) + (\text{Cの修得単位数} \times 2.0) + (\text{Dの修得単位数} \times 1.0) + (\text{Eの修得単位数} \times 0.0) + (\text{*の修得単位数} \times 0.0)}{\text{総履修登録単位数}}$$

- ※ 対象とする科目は、卒業要件の科目とし、卒業要件以外の資格科目・自由科目は対象となりません。
- ※ 対象とする評価は、「S、A、B、C、D、E、*」とし、認定の評価「T」は対象となりません。
- ※ 再履修で評価を受けた成績については、最新の成績が反映されます（GPA算出の分母にあたる「総履修登録単位数」にはカウントされません）。
- ※ GPAは計算結果の小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを表示します。
- 社会学部では、GPA2.0以上を卒業時の成績の目安としています（卒業要件ではありません）。

◆◆成績の通知◆◆

- (1) 成績は学期ごとに ToyoNet-G で通知します。成績発表日については掲示等でお知らせします。
- (2) 成績表は毎学期、保証人へ送付します（留学生を除く）。



保証人への送付を希望しない学生は、定められた期間に教務課窓口にて手続きを行ってください。

◆◆成績調査◆◆

成績発表後、以下に該当する場合において、定められた日時に成績調査を行い、成績評価を確認することができます。

履修登録し、シラバスに記載された成績評価基準を満たしているが、自身の成績評価に誤りがある十分な理由があり、科目担当教員に成績評価に誤りがないか確認を求める場合。

ToyoNet-G で成績調査の申請および申請結果の確認ができます。



成績調査は成績の再考を求めたり、個別の得点の開示を求めたりするものではありません。成績調査の趣旨に沿わない調査申請については、申請が取り消されるので十分に注意してください。

◆◆単位僅少者に対する学修指導◆◆

📍ラーニングサポートセンター
p.28

各セメスタもしくは学年の終了後、修得単位が少ないと判断される学生に対しては、学修計画について見直すなどの学修指導（面談）を行う場合があります。学部・学科からの連絡・指示に従って、学修指導を受けてください。



学修にあたって その他

◆◆学生アンケート◆◆

本学では、教育の改革・改善を目的として、各授業の改善を図るために毎学期ごとに行う授業評価アンケートや、各学年のカリキュラムや教育方法、学習支援の検証を行うための学生アンケートを実施しています。

アンケートの実施は別途周知されますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

◆◆学外での学習活動◆◆

学外実習・フィールドワーク等は、必ず担当教員の指示のもと実施するようにしてください。また、本学学生として自覚をもった行動をするよう心がけてください。

またすべての学生は、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」に加入しています。傷害を被った場合は、所定の手続きにより保険の請求をすることができます。

詳しくは、『学生生活ハンドブック』、もしくは学生支援課窓口まで問い合わせてください。

◆ 4年間の主な流れ・スケジュール ◆

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	入学式 新入生オリエンテーション	進級手続		
5月～6月	春学期履修登録／春学期(第1クォーター)授業開始			
	第1クォーター授業終了／第2クォーター授業開始			
7月～9月	第1クォーター成績発表・成績調査			
	春学期(第2クォーター)授業終了／春学期試験・補講調整期間			
	夏季休暇／夏セッション			
	春学期・第2クォーター成績発表・成績調査			
10月～12月	※第8セメスタ以降学生対象 卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表式 卒業式			
	秋学期履修登録／秋学期(第3クォーター)授業開始			
	大学祭			
	第3クォーター授業終了／第4クォーター授業開始			
1月	第3クォーター成績発表・成績調査			
	冬季休暇			
2月	秋学期(第4クォーター)授業終了／秋学期試験・補講調整期間			
	春季休暇／春セッション			
3月	秋学期・第4クォーター成績発表・成績調査			
	卒業単位充足者発表 卒業再試験 卒業決定者発表式 卒業式			

※年度によって変更されることもあるので、『学生生活ハンドブック』の「年度行事予定」を参照すること。



学則（学籍に関する事項の抜粋）

2021年4月1日現在

最新の学則および別表は大学 Web サイトを確認してください。

第3章 修学等

第1節 修業年限

（在学年限）

第20条 卒業に必要な単位を修得するために在学できる年数（以下「在学年数」という。）は、通算して8年を限度とする。この場合において、休学年数は在学年数に算入しない。

2 再入学又は編入学をした者の在学年数は、前項の在学年数から再入学又は編入学までの通常の在学の年数を控除した年数とする。

第4章 入学、退学、休学、除籍等

第1節 入学、留学等

（入学の時期）

第24条 入学期は、学期の初日から30日以内とする。

（入学資格）

第25条 学部第1年次に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が指定した者
- (6) 大学入学資格検定（平成17年1月31日規程廃止）に合格した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（入学の志願及び選考）

第26条 入学志願者は、所定の書式による入学願書を提出し、別表第1に定める入学検定料を納入し、かつ、選考試験を受けなければならない。（入学の手続）

第27条 入学を許可された者は、入学金を納入し、所定の書式により誓約書を提出しなければならない。

（保証人）

第28条 保証人は、父、母又はその他の成人者で独立の生計を営む者でなければならない。

2 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負う。

3 学生は、保証人を変更し、又はその氏名若しくは居住地に変更があったときは、速やかに変更届を提出しなければならない。

（学生証）

第29条 入学手続を終えた者には、学生証を交付する。

（編入学）

第30条 学長は、次の各号のいずれかに該当する者が本学に編入学を希望するときは、選考のうち、編入学を許可することができる。

- (1) 短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

2 編入学に関する規程は、別に定める。

（転入学）

第31条 学長は、他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、選考のうち、転入学を認めることができる。

2 転入学に関する規程は、別に定める。

（転部・転科）

第32条 学長は、学生が学部の他の部へ、又は他の学部及び学科又は専攻へ転部及び転科を願い出たときは、選考のうち、これを許可することができる。

2 転部・転科に関する規程は、別に定める。

(留学)

第33条 学長は、学生が外国の大学で学修することを願い出たときは、教授会の意見を聴いて留学を許可することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、在学年数に算入する。

(二重学籍の禁止)

第34条 学生は、他の学部学科又は他の大学と併せて在学することはできない。ただし、本学と本学の協定大学の間で実施されるダブル・ディグリー・プログラム及びジョイント・ディグリー・プログラムへの参加者には適用しない。

第2節 休学、退学、転学及び除籍

(休学)

第35条 引続き3カ月以上学修できない学生が休学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 休学は、連続する2学期限りとする。ただし、特別の事情がある場合は、学長は教授会の意見を聴いて、2学期を超える期間の休学を許可することができる。

3 休学の期間は、通算して8学期を超えることはできない。

4 願いにより休学した者が、休学の期間が満了した場合又は休学期間中に休学の理由が消滅した場合において、復学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(退学)

第36条 学生が理由を明確にして退学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 願いにより退学した者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(転学)

第37条 学生が転学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

(除籍)

第38条 次に掲げる各号のいずれかに該当する者は、所定の手続を経て、除籍する。

- (1) 授業料その他の学費を所定の期日までに納入しない者
- (2) 第20条に規定する在学年数を超えた者
- (3) 第35条第2項に規定する休学期間を超えた者
- (4) 新入生で指定された期限までに履修登録を行わないこと、その他本学において学修の

意思がないと認められる者

(5) 外国人留学生で出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格の入国証の発給が拒否された者

2 学生は、除籍されることにより、学生の身分を失う。

3 第1項の規定(第2号及び第3号に掲げる者を除く。)により除籍された者が、再入学を願い出たときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

第5章 教育課程及び履修方法

(他の大学の授業科目の履修)

第43条 教育上有益と認めるときは、他の大学との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目の単位については、学長は教授会の意見を聴いて、60単位を限度に卒業所要単位として認めることができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第43条の2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

2 前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(留学の場合の準用)

第44条 第43条第2項の規定は、学生が外国の大学に留学する場合について準用する。

第8章 賞罰及び奨学

(懲戒)

第57条 学長は、本学の学則その他の規程に反し、又は学生の本分に反する行為があった学生に対し、教授会の意見を聴いて、行為の軽重と教育上の必要とを考慮して、譴責、停学又は退学の処分をすることができる。

2 退学処分は、次の各号のいずれかに該当する者以外には、これを行うことはできない。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由なくして出席常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

東洋大学社会学部規程

2021年4月1日現在
最新の学部規程および別表は大学 Web サイトを確認してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（以下「学則」という。）に基づき、社会学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 社会学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 社会学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 社会学部は、学則第39条第1項第1号から第5号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位数等)

第5条 社会学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位数等を、別表第4のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 社会学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を24単位とする。

(教育職員その他資格)

第7条 学則第45条に基づき、社会学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育職員となる資格
- (2) 学芸員となる資格（第1部のみ）
- (3) 社会福祉主事任用資格
- (4) 社会福祉士試験の受験資格
（第1部社会福祉学科のみ）

2 前項第1号の資格において、社会学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等	免許状の種類及び教科	
	中学校教諭1種免許状	高等学校教諭1種免許状
第1部社会学科	社会	地理歴史・公民
第2部社会学科	社会	地理歴史・公民

(資格取得のための授業科目及び単位数)

第8条 学則第45条第2項に基づき、社会学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

- (1) 教育職員の資格 別表第5に掲げる授業科目の単位を修得
- (2) 学芸員資格 別表第6に掲げる授業科目の単位を修得
- (3) 社会福祉主事任用資格 別表第7に掲げる授業科目の単位を修得
- (4) 社会福祉士試験の受験資格 別表第8に掲げる授業科目の単位を修得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が社会学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。



最新版の学則および社会学部規程・別表については東洋大学ホームページ「教育情報公開」から参照してください。

●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/site/data/education.html> ●●

教育目標と基本方針



科目区分と学期履修上限単位数（第1部）

卒業するためには4年以上在学し、所定の科目の単位を取得しなければなりません。履修区分により、卒業に必要な単位として認められる科目と認められない科目があります。

下表と学科ページ（p.40～）に記載されている課程表を確認のうえ、履修してください。

履修区分	科目区分		学期履修 上限単位数
	学科教育課程表の下記に属する区分 ○基盤教育科目 ・哲学・思想 ・学問の基礎 ・国際人の形成 ・キャリア・市民形成 ・健康・スポーツ科学 ・総合・学際 ○専門教育科目 ・学科専門科目 ・学部共通科目 ○他学部他学科開放科目 ○第1部・第2部相互聴講科目 （第2部社会学部相互聴講提供科目参照）	卒業単位として認められる科目	24単位
自由科目	○学科教育課程表になく、かつ他学部他学科開放科目として履修できない、科目の担当教員の許可を得て履修する科目	卒業単位として認められない科目	制限なし
教職科目 （社会学科のみ）	○学科教育課程表の教職科目に該当する科目 （教職課程一覧表の①教科及び教科の指導法に関する科目の一部） ○教職課程一覧表の②教育の基礎的理解に関する科目等 ③大学が独自に設定する科目		

卒業条件単位数（第1部）

学部		社会学部第1部						
科目区分	学科	社	社会福祉	メディアコミュニケーション	社会心理	国際社会		
		会						
基盤教育科目	哲学・思想	2～						
	学問の基礎							
	国際人の形成	外国人の形成 外国語科目	カレント・イングリッシュ	4				
			英語	6	2	6	6	
			ドイツ語					
			フランス語					
			中国語					
			ハンゲル					
	日本語							
	キャリア・市民形成							
健康・スポーツ科学								
総合・学際								
基盤教育科目 小計	24～							
専門教育科目	学科専門科目	必修	20	26	20	26	30	
		選択必修	A	8～	4～	34～	6～	4～
			B	10～	26～		20～	4～
			C	12～				4～
			D					4～
	選択							
	学科専門科目 小計	62～	56～	54～	54～	60～		
	学部共通科目	必修	8	2	12	12	4	
		選択必修		12～				
		選択必修①	2～			2～		
選択必修②		12～			12～			
学部共通科目 小計	22～	14～	26～	26～	18～			
専門教育科目 小計	84～	82～	84～	84～	82～			
他学部他学科開放科目								
第1部・第2部相互聴講科目								
計		124						



所属学科により、修得しなければならない科目区分や単位数が異なりますので、詳細は学科ページに記載されている卒業要件を必ず確認してください。



[メディアコミュニケーション学科]
上記の卒業要件単位数とは別に、4年次に履修・修得しなければならない要件があります。詳細は学科ページに記載されていますので、必ず確認してください。

◆◆第1部社会科学◆◆

- 1 人材の養成に関する目的
社会現象や社会問題に関して、自分で考え、自分の言葉で意見を表明できる市民の養成を目的とする。私たちの身の回りには、歴史や文化の影響を受けない不動の「当たり前」は存在しない。論文や新聞記事はもちろん、身の回りの出来事であっても、それらを自分の目で読み、自分の頭で考え、関連を明らかにし、その考えを発表・討論することが重要である。
- 2 学生に修得させるべき能力等の教育目標
上記したような、自学自習的・共同討論的学習スタイルを身につけるために、学生が修得すべき能力等を以下の様に設定している。
 - (1) 社会学の基礎概念や考え方の修得
 - (2) 社会学の歴史と意味の修得
 - (3) 実証的研究方法（フィールドワークを含む）の修得
 - (4) 現代社会や世界の複雑な側面の理解と問題解決の力の獲得
 - (5) 演習による調査・発表・討論方法の修得
 - (6) 問題意識の明確化と論文の基本要件の修得
 - (7) 卒業論文（卒業研究）作成（社会科学では必修である）

第1部社会科学のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

社会科学では、社会学的想像力を修得した市民の育成を教育目標として掲げている。この目標を達成するために、社会学演習、社会学理論、社会調査、現代社会の諸問題、グローバルな教養を中心に据えた下記のような特色をもつ教育課程を編成・実施する。

1. グローバル化により多様化が急速に進展している現代社会の中で主体的に行動し、また現代社会に対して他者との協働を通じて貢献することができる能力を培うために、4年間の演習に加えて、卒業論文（卒業研究）を必修とする。1年次の「社会学基礎演習」ではアカデミック・スキルとマナーを身につける。2年次の「社会学演習Ⅰ」では、さまざまな社会現象や社会問題について多種多様な意見をもった人たちと議論を行い、自らの意見を洗練させ、自身の見解を説得的に提示するために必要となるスキルを磨く。3年次の「社会学演習Ⅱ」および4年次の「社会学演習Ⅲ」では、各自の関心に応じてコースに所属し、担当教員の指導のもと卒業論文（卒業研究）に取り組む。
2. 社会学がこれまで積み上げてきたさまざまな学説を深く理解し、グローバル化によりいっそうダイナミックに変転している現代社会のメカニズムを理論的に捉える視座を身につけるために、必修科目と学科専門科目を設置する。1年次にはすべての学生が「社会学概論」を履修し、現代社会学の基礎を幅広く学修する。2年次の「社会学史」では、すべての学生が社会学の歴史を体系的に学ぶことで、現代に至る社会の変遷を歴史的かつ理論的に捉えるための基礎を修得する。こうした力をさらに深めるために「理論社会学」、「文献講読」、「現代社会学理論」などの科目を配置する。
3. 社会調査を科学的かつ倫理的に企画・実施するために必要な理論と方法を修得することで、現代社会の諸問題について、適切な仕方で精度の高いデータを収集し、それにもとづいた議論と提言を行うことができる技法を修得するために必要な必修科目と学科専門科目を設置する。1年次にはすべての学生が「社会調査入門」を履修し、社会調査の基礎を身につける。それを踏まえた2年次には「社会統計学」や「質的調査法」などより高度な調査分析能力を獲得するための科目を選択して学ぶ。さらに、2年次に修得した方法論を実践する場として、3年次に「社会調査および実習」を履修できる。なお必要な科目を履修すれば、社会調査士の資格を取得することもできるカリキュラム編成になっている。4年次には、「社会学演習Ⅲ（社会調査）」において、さらに継続して社会調査を深めることができる。

4. 家族、教育、労働、都市、地域、環境、自然、文化、グローバリゼーションといった現代社会を生きていく上で避けては通れない多種多様な現象に対する理解を深め、そこで生じているさまざまな社会問題を自分自身の問題として捉えるとともに、そうした諸問題によって苦境に立たされている人々に共感をもって寄り添いながら、複雑化している現代社会を領域横断的に捉える力を身につけるために、社会学ならびに地理学を中心とする社会学の隣接領域に関する学科専門科目を設置する。
5. グローバル化した現代社会を生きる市民にふさわしい教養を身につけるために、狭義の社会学のみならず、社会学部の他学科が提供する専門科目の一部を選択必修とし、各学生が自身の関心に応じて幅広く履修できるようにする。また、東洋大学建学理念の礎である哲学を中心に、さまざまな語学を含む基盤教育科目をすべての学生が各自の関心に応じて履修することで、知徳兼全な人材の養成に資する幅広い教養と見識を身につける機会を提供する。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会学科の教育目標は、グローバル化により複雑化した現代社会を生きる個々人の境遇をより大きな歴史的・社会的な背景と関連づけて理解することのできる市民を育成することにある。そのため、社会学科では現代社会で生じるさまざまな出来事に興味と疑問を持ち、問題を発見し、その背後にある構造的変化を自分自身の問題として捉え直すことのできる社会学的想像力を備えた学生に「学士（社会学）」を授与する。

この社会学的想像力は、以下の5つの力に支えられている。

1. 多様な社会的・文化的背景をもった他者と協働して現代社会の諸問題の解決に貢献するための主体的な実行力とグローバルな発信力
2. 現代社会のメカニズムを捉えるための理論的思考力
3. 現代社会の中から課題を発見し、それを意味的、計量的、空間的に精確に捉える社会調査能力
4. 現代社会が直面している諸問題に対する理解およびそれらを横断的に捉える洞察力
5. グローバル化した現代社会で自らの力でキャリアを研鑽していく市民にふさわしい哲学を中心とした幅広い教養

第1部社会科学科 カリキュラムマップ

	1年次 基礎を身につける	2年次 知識と技術を深める	3年次 研究を実践する	4年次 研究を完成させる
主体的に調べ社会に伝える (実行力と発信力)	社会学基礎演習	社会学演習 I	社会学演習 II	社会学演習 III 卒業論文 (卒業研究)
社会のしくみを理解する (理論的思考力)	社会学概論	社会学史 現代社会学理論		
社会を多角的に捉える (社会調査能力)	社会調査入門 統計情報処理および実習 I	社会統計学 I・II 質的調査法 I・II 地理学 (地域と社会) 地理学 (文化と社会) 社会統計実習	社会調査および実習	
さまざまな 社会現象を知る	家族社会学 自己の社会学 地域社会学 都市社会学 教育社会学 労働社会学 国際社会学 環境社会学	福祉社会学 社会組織理論 人文地理学 (生活と地域) 犯罪社会学 政治社会学 宗教社会学 文化社会学	非営利活動論 人文地理学 (文化と地域) 理論社会学 文献講読 原書講読 特別講義	
社会への理解を さらに深める (現代社会に対す る理解と洞察力)	家族変動の社会学 地域と貧困 Global Sociology	教育と社会的排除 ジェンダーと不平等	犯罪と社会のしくみ ジェンダー文化論	政治と社会 社会運動の社会学
広い視野から 社会を捉える	現在の風土と人間・社会 自然地理学 (地震防災と社会)	風土の変遷と人間・社会 自然地理学 (地形と気候)	地誌学 (世界) 地誌学 (日本)	
グローバルな教養を身につける	基盤教育科目 (語学を含む)	学部共通科目		
	カレント・イングリッシュ I	カレント・イングリッシュ II		

◆第1部社会学科カリキュラムの特徴◆

【分野について】

- 社会学のさまざまな学説や基礎理論を扱う社会学理論の分野
- 家族、地域、都市などの基礎社会とその中のさまざまな機能集団を対象とする社会構造的分野
- 社会調査入門、社会統計学、質的調査法の方法を習得する社会調査の分野
- 教育、政治、犯罪、組織、福祉、環境、労働など社会の下位システムを実証的に研究する分野
- グローバル時代における、様々な地球規模の課題について考察する国際社会的分野
- 私たちをとり巻く、地理的環境をいろいろな角度から眺める視点を養う地理学的分野

【科目の多様性】

- 専門科目には、各種講義科目の他、「社会学演習」、「社会調査および実習」、「文献講読／原書講読」、「卒業論文（卒業研究）」などの科目があります。また、情報関連科目や語学系科目を含む学部共通科目群や基盤教育科目群も、非常に広範多様な対象とアプローチをもつ社会学系の学習・研究にとってきわめて重要です。幅広い科目が提供されているからこそ、各自が必要と関心に応じて、主体的に履修科目を選ぶ姿勢が重要です。

◆履修について◆

以下、各学年次で履修すべき科目、その他留意事項を記載します。

- ・「社会学演習」（ゼミナール）… もっとも大学らしい授業形態のひとつで、「苗床」ということばが語源です。学生自身が考え、調べ、発表し、討論し、書く、という作業をこなし、仲間と切磋琢磨しながら主体的に育っていく、大学教育の柱となるものです。演習の学習目標は、(1) 論文としての要件・スタイル、(2) 構成的作文技法、(3) 先行研究文献の検索、(4) 論理的な質疑討論、(5) 自分の研究関心にふさわしい研究テーマ選定などを理解・習得し、主体的な研究姿勢を身につけることにあります。

社会学科では、1年次から4年次まで演習が必修です。卒業論文（卒業研究）が必修となっているため、社会学科の演習はすべて専任教員が担当し、4年次にきちんとした卒業論文（卒業研究）を執筆することができるように体系化されているのが特徴です。

<1年次>

- ・「社会学概論 A・B」… 新入生用の社会学入門コースであり、社会学の基礎概念や考え方をわかりやすく導入する1年次の必修科目です。
- ・「社会学基礎演習 A」… 複数コースあり、所属コースは機械的に決められ、選択はできません。しかし、どのコースになっても、共通のシラバスとバイリンガル・テキストにしたがって、大学で学ぶ上での基礎的なアカデミック・スキルを身につける内容になっていますので、安心して履修してください。
- ・「社会学基礎演習 B」… 複数コースあり、一部のコースは英語で開講しています。希望者は、英語開講コースを受講することができます。いずれのコースも、「社会学基礎演習 A」と同様に、共通のシラバスにしたがって、大学で学ぶ上での基礎的なアカデミック・スキルを実践的に身につける内容になっています。

<2年次>

- ・「社会学史 A・B」… 2年次の必修科目で、社会学の歴史と意味を古典を通じて学びます。
- ・「社会学演習 I A」「社会学演習 I B」… 演習の学習目標をより発展させ、主体的な研究の実現のために、具体的な方法論を実践的に学ぶ科目です。計量、フィールドワーク、理論、地理の4分野の7コース（うち1コースは英語開講）から、春学期と秋学期とで異なる2分野のコースを選択して学びます。なお、ゼミ配属は学生のコース希望と各ゼミの人数の均等化とのかねあいで決められます。また、各演習終了時には、それぞれ4,000字程度の最終レポートを作成します。

社会学科の専任教員は、「社会学基礎演習」が「社会学演習 I」のいずれかを担当するので、2年間の中でできるだけ多くの専任教員と接しながら、自らの専門分野への関心を深める努力が求められます。

- ☆計量コースでは、社会的現実をデータから分析することを通じて、実証的なアプローチの方法や考察の基礎を身につけます。小規模の質問紙調査の実施や、統計データの分析を行います。
 - ☆フィールドワークコースでは、社会事象の現場に立ち、そこでの観察を記述する方法を学ぶことを通じて、実証的なアプローチの方法や考察の基礎を身につけます。参与観察やインタビューなどのミニ・フィールドワークを行います。
 - ☆理論コースでは、社会学の広範な分野への理論的なアプローチの基礎を学びます。わかりやすい専門書などを通じて、社会的なもの見方、論文の基本要件、分析枠組みの作り方、基礎概念などを習得します。
 - ☆地理コースでは、これまでに学んだ社会学の基礎を生かしつつ、現象を地図化して空間的に把握する、同じ現象を異なる地域で比較する、謎を解きながら地域の特徴に迫る、といった地理学のもの見方を、地域の具体的なデータに即して学びます。文化、まちづくり、観光、経済など、各自の関心に合わせてどんなトピックでも多面的に捉え、検討できる地理学的視点を身に付けます。
- ・「選択必修 B」…「社会学演習Ⅰ」では 4 つの分野から 2 つを選んで実践的に学びますが、選択必修 B ではその 4 分野に対応した方法論ならびに理論を学びます。演習Ⅰの選択コースにとられず、多様な科目を履修することが望まれます。

< 3・4 年次 >

- ・「社会学演習Ⅱ A・B・Ⅲ A・B」…卒業論文（卒業研究）の執筆を目標に 2 年間同じ指導教員のゼミを履修することを原則とします。「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（ゼミ活動）」と「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（社会調査）」の 2 種類があり、2 年次の秋学期に説明会を行ったうえで、学生の希望と各ゼミの人数の均等化とのかねあいでゼミ配属が決まります（両方の演習を履修することもできます）。いずれの演習も、3 年次終了時に 8000 字程度のゼミ論文を、4 年次終了時には卒業論文（卒業研究）を提出します。
 - 1・2 年次と異なり、教員それぞれの専門分野の独自性や個性を前面に出した指導が特徴となっています。学生の側も、自分の問題関心に応じた主体的な選択が求められます。
 - ☆「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（ゼミ活動）」では、学生それぞれが主体的にテーマを設定し、2 年間かけて各人が卒業論文を執筆します。専任教員全員のゼミが開講され、各ゼミで 3 年生と 4 年生が共に学びます。3 年生は、卒業論文執筆に向けてテーマを確定させ、各自の問題関心を発展させて学習・研究を深めることを目指します。一方、4 年生には、卒業論文の執筆に向けた専門的な研究指導がなされます。いずれの学年においても、これまでの基礎的な知識や問題関心をベースに、研究史をふまえた適切なテーマを設定し、独自の視点からアプローチし論述することが求められます。
 - ☆「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（社会調査）」では、ゼミ全体で 2 年間かけて社会調査に取り組み、その成果を卒業研究として報告書等にまとめます。卒業研究の報告書等の執筆はグループまたは個人で行います。調査に長期的に取り組むことで研究対象への理解やコミットメントを深め、これまでの学びを社会事象の現場に適用した、質の高い研究を行うことが求められます。原則 3 つのゼミが開講され、内容はゼミと年度によって異なります。毎年複数のゼミが社会調査士資格取得の実習科目に対応します。
- ・「社会調査および実習 A・B」…3 年次の選択必修科目です。問題関心の明確化、分析枠組みの構築、仮説設定、調査項目の作成、調査票配布・回収やインタビュー、集計や分析、報告書の執筆といった一連の作業を自らこなして、実証的研究のおもしろさと難しさを体験します。社会学科では、計量的、質的、地域研究的なアプローチでそれぞれコースを設定しており、その中から希望に応じて履修しますが、履修人数には上限があります。また、原則として同じコースの「A」に引き続き「B」を連続して履修します。なお、この科目は、社会調査士の資格取得に対応しています。ちなみに、「社会学演習Ⅱ・Ⅲ」で「ゼミ活動」と「社会調査」のいずれの演習に所属していても、「社会調査および実習」も並行して履修することができます。

- ・「卒業論文（卒業研究）」・・・4年間学んだ集大成として、論文・研究を仕上げます。「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（ゼミ活動）」の履修者は、16,000字以上の卒業論文を各自が作成します。指導教員に随時相談しながら、自分らしい問題関心を明確化し、先行研究の探索・読み込みを行い、オリジナルの研究を展開させ、論文というかたちで公表します。「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（社会調査）」の履修者は、卒業研究の報告として、卒業論文に匹敵する内容の調査報告書等を作成します。なお、卒業時には、全員の卒業論文・卒業研究の概要を収録したCDを卒業生全員に配布します。また、優秀論文・研究は、学科で表彰しています。

Pick up

社会学科には、3年次の選択必修科目の「社会調査および実習」と、3・4年の「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（社会調査）」があります。どちらも、1年間または2年間を通じて、なんらかの社会事象や問題に実際に取り組んで調査を行い、その成果を報告書として公表します。そのために、1年次には「社会調査入門A」と「社会調査入門B」を必修で履修し、あわせて「統計情報処理および実習Ⅰ」（または「社会統計実習」）の履修を勧めています。これらの科目を通じて、「社会調査」を行うための基礎的な知識を身につけます。そして、2年次には、「社会統計学Ⅰ・Ⅱ」「質的調査法Ⅰ」を学ぶことができます。これらをすべて履修すると、多様な社会的アプローチを実践的に学ぶ基礎が身につくとともに、社会調査士の資格も取得できます（「社会学演習Ⅱ・Ⅲ（社会調査）」は調査士資格対応のゼミの場合、「社会統計学Ⅱ」と「質的調査法Ⅰ」はどちらか一方で要件を満たします）。

◆卒業要件◆

社会学科を卒業するためには、下記の卒業単位要件を満たさなければなりません。p.38～p.39の【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業単位要件を確認してください。

- (1) 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124単位以上を修得すること。
- (2) 専門教育科目において合計84単位以上を修得すること。
- (3) 学科専門科目
 - ①全体で62単位以上を修得すること。
 - ②必修を20単位修得すること。
 - ③選択必修Aから8単位以上、選択必修Bから10単位以上、選択必修Cから12単位以上を修得すること。
- (4) 学部共通科目
 - ①全体で22単位以上修得すること。
 - ②必修を8単位修得すること。
 - ③選択必修①の【統計情報処理および実習Ⅰ】または【ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ】2科目のうち1科目2単位以上を必ず修得すること。
 - ④選択必修②を12単位以上修得すること。
- (5) 基盤教育科目
 - ①全体で24単位以上を修得すること。
 - ②哲学・思想区分から2単位以上修得すること。
 - ③国際人の形成（語学）区分から、カレント・イングリッシュを4単位修得すること。
 - ④国際人の形成（語学）区分6言語【英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・日本語】から、1言語6単位を修得すること（母語を除く）。

◆◆ 第 1 部 社会学科 基盤教育科目 課程表 ◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考					
基盤教育科目 24										
基盤教育科目 24	哲学・思想 2	選択	PHE101	哲学A	1～4	2				
			PHE102	哲学B	1～4	2				
			PHE103	哲学史A	1～4	2				
			PHE104	哲学史B	1～4	2				
			PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2				
			PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2				
			PHE107	応用倫理学A	1～4	2				
			PHE108	応用倫理学B	1～4	2				
			HIT101	科学思想史A	1～4	2				
			HIT102	科学思想史B	1～4	2				
			RES101	宗教学ⅠA	1～4	2				
			RES102	宗教学ⅠB	1～4	2				
			RES103	宗教学ⅡA	1～4	2				
			RES104	宗教学ⅡB	1～4	2				
			INR101	地球倫理A	1～4	2				
			INR102	地球倫理B	1～4	2				
			PHE109	論理学A	1～4	2				
			PHE110	論理学B	1～4	2				
			CIB101	東洋思想	1～4	2				
			人文科学	選択	FAH101	美術史A	1～4	2		
	FAH102	美術史B			1～4	2				
	ASA101	音楽学A			1～4	2				
	ASA102	音楽学B			1～4	2				
	HSG101	歴史の諸問題A			1～4	2				
	HSG102	歴史の諸問題B			1～4	2				
	EUL101	西欧文学A			1～4	2				
	EUL102	西欧文学B			1～4	2				
	JLT109	現代日本文学A			1～4	2				
	JLT110	現代日本文学B			1～4	2				
	LIG101	アジアの文学			1～4	2				
	LIG102	アジアの古典			1～4	2				
	学問の基礎	社会科学			選択	ECT101	経済学A	1～4	2	
						ECT102	経済学B	1～4	2	
			ECS101	統計学A		1～4	2			
			ECS102	統計学B		1～4	2			
			MAN101	経営学A		1～4	2			
			MAN102	経営学B		1～4	2			
			LAW101	法学A		1～4	2			
			LAW102	法学B		1～4	2			
POL101			政治学A	1～4		2				
POL102			政治学B	1～4		2				
GGR101			地理学A	1～4		2				
GGR102			地理学B	1～4		2				
PSY101			心理学A	1～4		2				
PSY102			心理学B	1～4		2				
自然科学			選択	MAT101		自然の数理A	1～4	2		
	MAT102	自然の数理B		1～4	2					
	PHY101	生活と物理A		1～4	2					
	PHY102	生活と物理B		1～4	2					
	ENE101	エネルギーの科学A		1～4	2					
	ENE102	エネルギーの科学B		1～4	2					
	BSC101	物質の科学A		1～4	2					
	BSC102	物質の科学B		1～4	2					
	ENV101	環境の科学A		1～4	2					
	ENV102	環境の科学B		1～4	2					
	EAP101	地球の科学A		1～4	2					
	EAP102	地球の科学B		1～4	2					
	BAB101	生物学A		1～4	2					
	BAB102	生物学B		1～4	2					

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
基礎教育科目 24	学問の基礎	自然科学	選択	AST101	天文学A	1～4	2	
				AST102	天文学B	1～4	2	
				SCE101	自然科学概論A	1～4	2	
				SCE102	自然科学概論B	1～4	2	
				CAS101	自然誌A	1～4	2	
				CAS102	自然誌B	1～4	2	
				PHY103	物理学実験講義A	1～4	2	
				PHY104	物理学実験講義B	1～4	2	
				BAB103	生物学実験講義A	1～4	2	
				BAB104	生物学実験講義B	1～4	2	
				BSC103	化学実験講義A	1～4	2	
				BSC104	化学実験講義B	1～4	2	
				EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2	
				EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2	
	SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2				
	SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2				
	AST103	天文学実習講義A	1～4	2				
	AST104	天文学実習講義B	1～4	2				
	国際人の形成	世界の伝統と文化	選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2	
				ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2	
				ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2	
				ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2	
				ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2	
				ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2	
INR103				国際教育論A	1～4	2		
INR104				国際教育論B	1～4	2		
JLT101				百人一首の文化史A	1～4	2		
JLT102				百人一首の文化史B	1～4	2		
JLT103				日本の昔話A	1～4	2		
JLT104				日本の昔話B	1～4	2		
JLT105				日本文学文化と風土A	1～4	2		
JLT106				日本文学文化と風土B	1～4	2		
JLT107				日本の詩歌A	1～4	2		
JLT108				日本の詩歌B	1～4	2		
JPH101				地域史(日本)A	1～4	2		
JPH102				地域史(日本)B	1～4	2		
HAA101				地域史(東洋)A	1～4	2		
HAA102				地域史(東洋)B	1～4	2		
HEA101				地域史(西洋)A	1～4	2		
HEA102				地域史(西洋)B	1～4	2		
GGR301				国際比較論A	1～4	2		
GGR302				国際比較論B	1～4	2		
IHR117		国際関係入門	1～4	2				
TOS101		地域と生活	1～4	2				
グローバル社会の実際		選択	IHR116	異文化理解概論	1～4	2		
			IHR103	留学のすすめ	1～4	2		
			IHR104	海外研修Ⅰ	1～4	2		
			IHR105	海外研修Ⅱ	1～4	2		
			IHR106	海外実習Ⅰ	1～4	2		
			IHR107	海外実習Ⅱ	1～4	2		
			IHR108	短期海外研修Ⅰ	1～4	1		
			IHR109	短期海外研修Ⅱ	1～4	1		
	IHR110		短期海外研修Ⅲ	1～4	1			
	IHR111		短期海外研修Ⅳ	1～4	1			
語学	必修4	ENG125	カレント・イングリッシュⅠA	1	1	4科目必修		
		ENG126	カレント・イングリッシュⅠB	1	1			
		ENG227	カレント・イングリッシュⅡA	2	1			
		ENG228	カレント・イングリッシュⅡB	2	1			

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考			
基盤教育科目 24	国際人の形成	語学	選択必修 6	ENG127	英語ⅠA	1	1	6言語（母語を除く）から1言語を選択【6科目6単位必修】	
			ENG128	英語ⅠB	1	1			
			ENG129	英語ⅡA	1	1			
			ENG130	英語ⅡB	1	1			
			ENG229	英語ⅢA	2	1			
			ENG230	英語ⅢB	2	1			
			GER115	ドイツ語ⅠA	1	1			
			GER116	ドイツ語ⅠB	1	1			
			GER117	ドイツ語ⅡA	1	1			
			GER118	ドイツ語ⅡB	1	1			
			GER217	ドイツ語ⅢA	2	1			
			GER218	ドイツ語ⅢB	2	1			
			FRA117	フランス語ⅠA	1	1			
			FRA118	フランス語ⅠB	1	1			
			FRA119	フランス語ⅡA	1	1			
			FRA120	フランス語ⅡB	1	1			
			FRA215	フランス語ⅢA	2	1			
			FRA216	フランス語ⅢB	2	1			
			CHI117	中国語ⅠA	1	1			
			CHI118	中国語ⅠB	1	1			
			CHI119	中国語ⅡA	1	1			
			CHI120	中国語ⅡB	1	1			
			CHI221	中国語ⅢA	2	1			
			CHI222	中国語ⅢB	2	1			
			KOR103	ハンガールⅠA	1	1			
			KOR104	ハンガールⅠB	1	1			
			KOR105	ハンガールⅡA	1	1			
			KOR106	ハンガールⅡB	1	1			
			KOR201	ハンガールⅢA	2	1			
			KOR202	ハンガールⅢB	2	1			
			JPN125	日本語ⅠA(留学生用)	1	1			
			JPN126	日本語ⅠB(留学生用)	1	1			
			JPN127	日本語ⅡA(留学生用)	1	1			
			JPN128	日本語ⅡB(留学生用)	1	1			
			JPN210	日本語ⅢA(留学生用)	2	1			
			JPN211	日本語ⅢB(留学生用)	2	1			
			選択	ENG319	カレント・イングリッシュⅢA	3～4	1		
			ENG320	カレント・イングリッシュⅢB	3～4	1			
			GER307	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A	3～4	2			
			GER308	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B	3～4	2			
			FRA307	フランス語およびフランス語圏社会事情A	3～4	2			
			FRA308	フランス語およびフランス語圏社会事情B	3～4	2			
			CHI309	中国語および中国語圏社会事情A	3～4	2			
			CHI310	中国語および中国語圏社会事情B	3～4	2			
			KOR301	ハンガールおよびハンガール圏社会事情A	3～4	2			
			KOR302	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B	3～4	2			
			ENG147	Business English Communication	1～4	2			
ENG145	テクニカルライティング	1～4	2						
ENG146	アカデミックライティング	1～4	2						
ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	※留学支援科目 LEAP Program p.191					
ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2						
ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2						
ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2						
ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4	2						
ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4	1						
JPN129	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1～4	2		※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)				
JPN130	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1～4	2						
JPN131	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ	1～4	2						
HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2						
HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2						
JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2						
JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2						
SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2						
SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2						
IHR118	日本の文化と社会	1～4	2						

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
国際人の形成	語学	選択	JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)
			JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1	
			JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1	
			JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1	
			JPN212	応用日本語	2～4	1	
			JPN207	日本語と日本社会A	2～4	2	
	JPN208	日本語と日本社会B	2～4	2			
	キャリア・市民形成	選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
			CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
			CME102	流通入門	1～4	2	
			ACC101	基礎会計学	1～4	2	
			ACC102	企業会計	1～4	2	
			THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
			THI102	情報倫理	1～4	2	
			THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
			CIV102	インターンシップ入門	1～4	2	
			CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2	
			CIV201	公務員論	1～4	2	
			EPS101	地球環境論	1～4	2	
			PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
			PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
			CIV101	キャリアデザイン入門	1	2	
			CIV104	コミュニケーション&マナー入門	1	2	
			CIV202	キャリアデザイン実践	2	2	
			CIV203	コミュニケーション&マナー実践	2	2	
			CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2	
			CIV238	ファシリテーション概論	2～4	2	
	健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
			HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
			HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
			HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
			HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
			HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
			HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1	
			HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1	
			HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
			HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
			HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
	HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2			
	総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2	
			TYS108	全学総合B	1～4	2	
			TYS109	全学総合C	1～4	2	
TYS105			総合A	1～4	2		
TYS106			総合B	1～4	2		
STS105			全学総合D	1～4	2		
INI101			全学総合E	1～4	2		
ITS112			全学総合F	1～4	2		
ITS113			全学総合G	1～4	2		
ITS114			全学総合H	1～4	2		
ITS115			全学総合I	1～4	2		
ITS116			全学総合J	1～4	2		
ITS117			全学総合K	1～4	2		
ITS118			全学総合L	1～4	2		
ITS119			全学総合M	1～4	2		
ITS101			総合C	1～4	2		
ITS102			総合D	1～4	2		
ITS103			総合E	1～4	2		
ITS104			総合F	1～4	2		
ITS105			総合G	1～4	2		
ITS106			総合H	1～4	2		
ITS107			総合I	1～4	2		
ITS108			総合J	1～4	2		
ITS109	総合K	1～4	2				
ITS110	総合L	1～4	2				
ITS111	総合M	1～4	2				

基盤教育科目
24

◆第1部社会学科専門科目 課程表◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
専門教育科目 84							
学科専門科目 62							
専 門 教 育 科 目 84	学 科 専 門 科 目 62	必修 20	SEM116	社会学基礎演習A	1	2	
			SEM117	社会学基礎演習B	1	2	
			SOC201	社会学演習ⅠA	2	2	
			SOC202	社会学演習ⅠB	2	2	
			SOC203	社会学史A	2	2	
			SOC204	社会学史B	2	2	
			THE440	卒業論文(卒業研究)	4	8	
		選択必修A 8	SOC301	社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)A	3	2	※社会学演習Ⅱ・Ⅲ(ゼミ活動)A/Bまたは社会学演習Ⅱ・Ⅲ(社会調査)A/Bをセットで修得すること
			SOC302	社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)B	3	2	
			SOC401	社会学演習Ⅲ(ゼミ活動)A	4	2	
			SOC402	社会学演習Ⅲ(ゼミ活動)B	4	2	
			SOC303	社会学演習Ⅱ(社会調査)A	3	2	
			SOC304	社会学演習Ⅱ(社会調査)B	3	2	
			SOC403	社会学演習Ⅲ(社会調査)A	4	2	
		選択必修B 10	SOC404	社会学演習Ⅲ(社会調査)B	4	2	
			SOC405	現代社会学理論A	2～4	2	
			SOC406	現代社会学理論B	2～4	2	
			STS203	社会統計学Ⅰ	2～4	2	
			STS301	社会統計学Ⅱ	2～4	2	
			SOC206	質的調査法Ⅰ	2～4	2	
	SOC315		質的調査法Ⅱ	2～4	2		
	選択必修C 12	GGR201	地理学(地域と社会)	2～4	2		
		GGR202	地理学(文化と社会)	2～4	2		
		SOC313	社会調査および実習A	3	2		
		SOC314	社会調査および実習B	3	2		
		SOC207	家族社会学	1～4	2		
		SOC316	家族変動の社会学	1～4	2		
		SOC208	地域社会学	1～4	2		
		SOC209	地域と貧困	1～4	2		
		SOC210	環境社会学	1～4	2		
		SOC317	環境と社会	1～4	2		
		SOC211	労働社会学	1～4	2		
		SOC318	ジェンダーと不平等	1～4	2		
		SOE202	教育社会学	1～4	2		
		SOE203	教育と社会的排除	1～4	2		
		SOC212	政治社会学	1～4	2		
SOC319		政治と社会	1～4	2			
SOC213		国際社会学	1～4	2			
SOC320		Global Sociology	1～4	2			
GGR203		現在の風土と人間・社会	1～4	2			
GGR204		風土の変遷と人間・社会	1～4	2			
SOC321	理論社会学	1～4	2				
SOC214	都市社会学	1～4	2				
SOC215	犯罪社会学	1～4	2				
SOC322	犯罪と社会のしくみ	1～4	2				
SOC216	自己の社会学	1～4	2				
SOC217	福祉社会学	1～4	2				
SOC323	社会組織理論	1～4	2				
SOC218	非営利活動論	1～4	2				
GGR205	自然地理学(地震防災と社会)	1～4	2				
GGR206	自然地理学(地形と気候)	1～4	2				
GGR109	地誌学(世界)	1～4	2				
GGR110	地誌学(日本)	1～4	2				
GGR111	人文地理学(生活と地域)	1～4	2				
GGR112	人文地理学(文化と地域)	1～4	2				
STS204	社会統計実習	1～4	2				
SOC219	文献講読	1～4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
専門教育科目 84	学科専門科目 62	選択必修C 12	SOC325	原書講読	1～4	2		
			SOC324	特別講義	1～4	2		
			SOC252	文化社会学A	2～4	2		
			SOC253	文化社会学B	2～4	2		
			SOC256	社会運動の社会学	2～4	2		
			SOC248	ジェンダー文化論A	2～4	2		
			SOC334	ジェンダー文化論B	2～4	2		
			SOC254	宗教社会学A	2～4	2		
			SOC255	宗教社会学B	2～4	2		
	学部共通科目 22							
		必修 8		SOC110	社会学概論A	1	2	
				SOC111	社会学概論B	1	2	
				SOC114	社会調査入門A	1	2	
				SOC115	社会調査入門B	1	2	
		選択必修① 2		STS101	統計情報処理および実習 I	1	2	※1科目2単位以上 選択必修
				WIS102	ウェブ情報処理およびプログラミング I	1	2	
		選択必修② 12		CUA107	文化人類学	1～4	2	
				CUA108	現代人類学	1～4	2	
				SOC133	共生社会学	1～4	2	
				ARS209	日本社会文化論A	1～4	2	
				ARS305	日本社会文化論B	1～4	2	
				SOC331	内なる国際化	2～4	2	
				SOC333	いのちの社会学	2～4	2	
				SOC250	多文化共生論	2～4	2	
				SOC335	Multiculturalism in a Globalising World	2～4	2	
			SOC251	グローバル化と現代社会	2～4	2		
			SOC336	市民社会論	2～4	2		
			SEM226	国際社会プロジェクト演習 I A	2	2		
			SEM227	国際社会プロジェクト演習 I B	2	2		
			SEM325	国際社会プロジェクト演習 II A	3～4	2		
			SEM326	国際社会プロジェクト演習 II B	3～4	2		
			SWS116	社会福祉の原理と政策A	1～4	2		
			SWS117	社会福祉の原理と政策B	1～4	2		
			SWS121	社会福祉発達史	1～4	2		
			SWS122	欧米の社会福祉史	1～4	2		
			SWS123	児童・家庭福祉	1～4	2		
			SWS111	ケアマネジメント論	1～4	2		
			SWS113	バリアフリー論	1～4	2		
			SWS115	居住福祉論	1～4	2		
			SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1～4	2		
			SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2		
			SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2		
			SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2		
			LIH116	情報学基礎論A	1～4	2		
			LIH117	情報学基礎論B	1～4	2		
			LIH118	情報メディア史A	1～4	2		
			LIH119	情報メディア史B	1～4	2		
			SOC122	消費情報論	1～4	2		
			SOC120	コミュニケーション論	1～4	2		
			SOC121	多文化コミュニケーション論	1～4	2		
		SOC238	情報倫理概論	1～4	2			
		LIH208	知財・情報法制論	2～4	2			
		SOC227	マスコミ倫理・法制論	2～4	2			
		SOC223	世論	2～4	2			
		SOC224	ジャーナリズム論	2～4	2			
		SOC225	広告論	2～4	2			
		SOC232	災害情報論	2～4	2			
		SOC239	ソーシャルメディア論	2～4	2			
		SOP101	社会心理学概論A	1～4	2			
		SOP102	社会心理学概論B	1～4	2			
		CLI201	健康心理学	1～4	2			
		CLI202	健康社会心理学	1～4	2			
		EXP203	知覚・認知心理学	1～4	2			

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
専門教育科目 84	学部共通科目 22	選択必修② 12	EXP204	認知社会心理学	1～4	2		
			SOP202	対人関係心理学A	1～4	2		
			SOP203	対人関係心理学B	1～4	2		
			SOP206	産業・組織心理学	1～4	2		
			CLI203	臨床心理学概論	1～4	2		
			SOP205	人間関係論	1～4	2		
			LIP202	人体の構造と機能及び疾病	1～4	2		
			EDP207	教育・学校心理学	1～4	2		
			PSY204	キャリア心理学	2～4	2		
			CLI205	司法・犯罪心理学	2～4	2		
			CLI206	犯罪・社会心理学	2～4	2		
			SOP307	社会・集団・家族心理学	2～4	2		
	PSY303		障害者・障害児心理学	3～4	2			
	PSY304		福祉心理学	3～4	2			
	CIV215		ライフキャリア論	1～4	2			
	POL209		政治学原論A	1～4	2			
	POL210		政治学原論B	1～4	2			
	STS102		統計情報処理および実習Ⅱ	1～4	2			
	WIS103		ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ	1～4	2			
	STS201		統計情報処理および実習Ⅲ	2～4	2			
	STS202		統計情報処理および実習Ⅳ	2～4	2			
	WIS203		ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ	2～4	2			
	WIS204		ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ	2～4	2			
	SUS301		国際文化事情A	1～4	2			
	SUS302		国際文化事情B	1～4	2			
	SUS303		国際文化事情C	1～4	2			
	SUS304		国際文化事情D	1～4	2			
	SUS305		国際文化事情E	1～4	2			
	SUS306		国際文化事情F	1～4	2			
	教職科目							
	教職科目		JPH111	日本史A	1～4	2	※卒業要件単位外科目	
			JPH112	日本史B	1～4	2		
HSG108		外国史A	1～4	2				
HSG109		外国史B	1～4	2				
PHE125		哲学概説A	3～4	2				
PHE126		哲学概説B	3～4	2				
PHE127		倫理学概説A	3～4	2				
PHE128		倫理学概説B	3～4	2				
ESS306		社会・地歴指導法Ⅰ	3	2				
ESS307		社会・地歴指導法Ⅱ	3	2				
ESS308		社会・公民指導法Ⅰ	3	2				
ESS309	社会・公民指導法Ⅱ	3	2					

◆第1部社会科学基盤教育科目 授業科目一覧◆

教育目標と基本方針(第1部社会科学)

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
哲学・思想(2)	学問の基礎	哲学A (2)	哲学B (2)	哲学史A (2)	哲学史B (2)
		倫理学基礎論A (2)	倫理学基礎論B (2)	応用倫理学A (2)	応用倫理学B (2)
		科学思想史A (2)	科学思想史B (2)	宗教学ⅠA (2)	宗教学ⅠB (2)
		宗教学ⅡA (2)	宗教学ⅡB (2)	地球倫理A (2)	地球倫理B (2)
		論理学A (2)	論理学B (2)	東洋思想 (2)	
		美術史A (2)	美術史B (2)	音楽学A (2)	音楽学B (2)
		歴史の諸問題A (2)	歴史の諸問題B (2)	西欧文学A (2)	西欧文学B (2)
		現代日本文学A (2)	現代日本文学B (2)	アジアの文学 (2)	アジアの古典 (2)
		経済学A (2)	経済学B (2)	統計学A (2)	統計学B (2)
		経営学A (2)	経営学B (2)		
人文科学	社会科学	法学A (2)	法学B (2)	政治学A (2)	政治学B (2)
		地理学A (2)	地理学B (2)	心理学A (2)	心理学B (2)
		自然の数理A (2)	自然の数理B (2)	生活と物理A (2)	生活と物理B (2)
		エネルギーの科学A (2)	エネルギーの科学B (2)	物質の科学A (2)	物質の科学B (2)
		環境の科学A (2)	環境の科学B (2)	地球の科学A (2)	地球の科学B (2)
		生物学A (2)	生物学B (2)	天文学A (2)	天文学B (2)
		自然科学概論A (2)	自然科学概論B (2)	自然誌A (2)	自然誌B (2)
		物理学実験講義A (2)	物理学実験講義B (2)	生物学実験講義A (2)	生物学実験講義B (2)
		化学実験講義A (2)	化学実験講義B (2)	地球科学実験講義A (2)	地球科学実験講義B (2)
		数理・情報実習講義A (2)	数理・情報実習講義B (2)	天文学実習講義A (2)	天文学実習講義B (2)
世界の伝統と文化	自然科学	地域文化研究ⅠA (2)	地域文化研究ⅠB (2)	地域文化研究ⅡA (2)	地域文化研究ⅡB (2)
		地域文化研究ⅡA (2)	地域文化研究ⅡB (2)	国際教育論A (2)	国際教育論B (2)
		百人一首の文化史A (2)	百人一首の文化史B (2)	日本の昔話A (2)	日本の昔話B (2)
		日本文学文化と風土A (2)	日本文学文化と風土B (2)	日本の詩歌A (2)	日本の詩歌B (2)
		地域史(日本)A (2)	地域史(日本)B (2)	地域史(東洋)A (2)	地域史(東洋)B (2)
		地域史(西洋)A (2)	地域史(西洋)B (2)	国際比較論A (2)	国際比較論B (2)
		国際関係入門 (2)	地域と生活 (2)		
		異文化理解概論 (2)	留学のすすめ (2)		
		海外研修Ⅰ (2)	海外研修Ⅱ (2)	海外実習Ⅰ (2)	海外実習Ⅱ (2)
		短期海外研修Ⅰ (1)	短期海外研修Ⅱ (1)	短期海外研修Ⅲ (1)	短期海外研修Ⅳ (1)
短期海外実習Ⅰ (1)	短期海外実習Ⅱ (1)	短期海外実習Ⅲ (1)	短期海外実習Ⅳ (1)		
グローバル社会の実際	国際人の形成	必科目(4) カレント・イングリッシュⅠA (1)	カレント・イングリッシュⅠB (1)	カレント・イングリッシュⅡA (1)	カレント・イングリッシュⅡB (1)
		英語ⅠA (1)	英語ⅠB (1)	英語ⅡA (1)	英語ⅡB (1)
		英語ⅡA (1)	英語ⅡB (1)		
		ドイツ語ⅠA (1)	ドイツ語ⅠB (1)	ドイツ語ⅡA (1)	ドイツ語ⅡB (1)
		ドイツ語ⅡA (1)	ドイツ語ⅡB (1)		
		フランス語ⅠA (1)	フランス語ⅠB (1)	フランス語ⅡA (1)	フランス語ⅡB (1)
		フランス語ⅡA (1)	フランス語ⅡB (1)		
		中国語ⅠA (1)	中国語ⅠB (1)	中国語ⅡA (1)	中国語ⅡB (1)
		中国語ⅡA (1)	中国語ⅡB (1)		
		ハンガールⅠA (1)	ハンガールⅠB (1)	ハンガールⅡA (1)	ハンガールⅡB (1)
日本語ⅠA(留学生用) (1)	日本語ⅠB(留学生用) (1)	日本語ⅡA(留学生用) (1)	日本語ⅡB(留学生用) (1)		
日本語ⅡA(留学生用) (1)	日本語ⅡB(留学生用) (1)				
(6言語(母語を除く)から1言語を選択) 【科目6単位必修】					
語学	外国語科目	カレント・イングリッシュⅢA (1)	カレント・イングリッシュⅢB (1)	カレント・イングリッシュⅣA (1)	カレント・イングリッシュⅣB (1)
		ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A (2)	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B (2)	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情C (2)	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情D (2)
		フランス語およびフランス語圏社会事情A (2)	フランス語およびフランス語圏社会事情B (2)	フランス語およびフランス語圏社会事情C (2)	フランス語およびフランス語圏社会事情D (2)
		中国語および中国語圏社会事情A (2)	中国語および中国語圏社会事情B (2)	中国語および中国語圏社会事情C (2)	中国語および中国語圏社会事情D (2)
		ハンガールおよびハンガール圏社会事情A (2)	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B (2)	ハンガールおよびハンガール圏社会事情C (2)	ハンガールおよびハンガール圏社会事情D (2)
		Business English Communication (2)	テクニカルライティング (2)	アカデミックライティング (2)	
		IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing (2)	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing (2)
		Pre-Study Abroad: Listening/Speaking (2)	Pre-Study Abroad: Writing (1)		
		ビジネス日本語と日本文化Ⅰ (2)	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ (2)	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ (2)	ビジネス日本語と日本文化Ⅳ (2)
		日本事情ⅠA (2)	日本事情ⅠB (2)	日本事情ⅡA (2)	日本事情ⅡB (2)
日本事情ⅢA (2)	日本事情ⅢB (2)	日本の文化と社会 (2)			
日本語アカデミックライティングⅠ (1)	日本語アカデミックライティングⅡ (1)	日本語アカデミックライティングⅢ (1)	日本語アカデミックライティングⅣ (1)		
日本語と日本社会A (2)	日本語と日本社会B (2)				
キャリア・市民形成	選択科目	日本国憲法 (2)	ベーシック・マーケティング (2)	流通入門 (2)	基礎会計学 (2)
		企業会計 (2)	情報化社会と人間 (2)	情報倫理 (2)	コンピュータ・リテラシー (2)
		インターシップ入門 (2)	社会貢献活動入門 (2)	公務員論 (2)	地球環境論 (2)
		ロジカルシンキング入門 (2)	クリティカルシンキング入門 (2)		
		キャリアデザイン入門 (2)	キャリアデザイン実践 (2)	キャリアデベロップメント (2)	
		コミュニケーション&マナー入門 (2)	コミュニケーション&マナー実践 (2)		
		ファシリテーション概論 (2)			
		スポーツ健康科学実技ⅠA (1)	スポーツ健康科学実技ⅠB (1)	スポーツ健康科学実技ⅡA (1)	スポーツ健康科学実技ⅡB (1)
		スポーツ健康科学実技ⅢA (1)	スポーツ健康科学実技ⅢB (1)	スポーツ健康科学実技ⅣA (1)	スポーツ健康科学実技ⅣB (1)
		スポーツ健康科学講義Ⅰ (2)	スポーツ健康科学講義ⅡA (2)	スポーツ健康科学講義ⅡB (2)	スポーツ健康科学演習Ⅰ (2)
全学総合A (2)	全学総合B (2)	全学総合C (2)			
総合A (2)	総合B (2)				
全学総合D (2)	全学総合E (2)				
全学総合F (2)	全学総合G (2)	全学総合H (2)	全学総合I (2)		
全学総合J (2)	全学総合K (2)	全学総合L (2)	全学総合M (2)		
総合C (2)	総合D (2)	総合E (2)	総合F (2)		
総合G (2)	総合H (2)	総合I (2)	総合J (2)		
総合K (2)	総合L (2)	総合M (2)			
総合・学際	留学期間(LEAP)対象科目				

◆第1部社会科学専門教育科目 授業科目一覧◆

区分		1学年	2学年	3学年	4学年
学 科 専 門 科 目 ②	必修科目 (2)	社会学基礎演習A (2) 社会学基礎演習B (2)	社会学演習ⅠA (2) 社会学演習ⅠB (2) 社会学史A (2) 社会学史B (2)		卒業論文(卒業研究) (8)
	選択必修A (8)			社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)A (2) 社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)B (2) 社会学演習Ⅱ(社会調査)A (2) 社会学演習Ⅱ(社会調査)B (2)	社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)A (2) 社会学演習Ⅱ(ゼミ活動)B (2) 社会学演習Ⅱ(社会調査)A (2) 社会学演習Ⅱ(社会調査)B (2)
	選択必修B (10)		現代社会学理論A (2) 社会統計学Ⅰ (2) 質的調査法Ⅰ (2) 地理学(地域と社会) (2)	現代社会学理論B (2) 社会統計学Ⅱ (2) 質的調査法Ⅱ (2) 地理学(文化と社会) (2)	社会調査および実習A (2) 社会調査および実習B (2)
	選択必修C (12)	家族社会学 (2) 環境社会学 (2) 教育社会学 (2) 国際社会学 (2) 理論社会学 (2) 自己の社会学 (2) 自然地理学(地震防災と社会) (2) 人文地理学(生活と地域) (2) 原書講読 (2)	家族変動の社会学 (2) 環境と社会 (2) 教育と社会的排除 (2) Global Sociology (2) 都市社会学 (2) 福祉社会学 (2) 自然地理学(地形と気候) (2) 人文地理学(文化と地域) (2) 特別講義 (2)	地域社会学 (2) 労働社会学 (2) 政治社会学 (2) 現在の風土と人間・社会 (2) 犯罪社会学 (2) 社会組織理論 (2) 地誌学(世界) (2) 社会統計実習 (2)	地域と貧困 (2) ジェンダーと不平等 (2) 政治と社会 (2) 風土の変遷と人間・社会 (2) 犯罪と社会のしくみ (2) 非営利活動論 (2) 地誌学(日本) (2) 文献講読 (2)
専 門 教 育 科 目 ④	必修科目 (8)	社会学概論A (2) 社会学概論B (2) 社会調査入門A (2) 社会調査入門B (2)	文化社会学A (2) ジェンダー文化論A (2) 宗教社会学A (2)	文化社会学B (2) ジェンダー文化論B (2) 宗教社会学B (2)	社会運動の社会学 (2)
	選択必修科目① (2)	統計情報処理および実習Ⅰ (2) ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ (2)			
学 部 共 通 科 目 ②	選択必修科目② (12)	文化人類学 (2) 日本社会文化論A (2)	現代人類学 (2) 日本社会文化論B (2)	共生社会学 (2)	
			内なる国際化 (2) Multiculturalism in a Globalising World (2)	いのちの社会学 (2) グローバル化と現代社会 (2)	多文化共生論 (2) 市民社会論 (2)
			国際社会プロジェクト演習ⅠA (2) 国際社会プロジェクト演習ⅠB (2)	国際社会プロジェクト演習ⅡA (2) 国際社会プロジェクト演習ⅡB (2)	
		社会福祉の原理と政策A (2) 児童・家庭福祉 (2)	社会福祉の原理と政策B (2) ケアマネジメント論 (2)	社会福祉発達史 (2) バリアフリー論 (2)	欧米の社会福祉史 (2) 居住福祉論 (2)
		社会情報学基礎論A(メディアと社会) (2) 情報学基礎論A (2) 消費情報論 (2)	社会情報学基礎論B(インターネットと社会) (2) 情報学基礎論B (2) コミュニケーション論 (2)	マス・コミュニケーション学基礎論A (2) 情報メディア史A (2) 多文化コミュニケーション論 (2)	マス・コミュニケーション学基礎論B (2) 情報メディア史B (2) 情報倫理概論 (2)
			知財・情報法制論 (2) ジャーナリズム論 (2) ソーシャルメディア論 (2)	マスコミ倫理・法制論 (2) 広告論 (2)	世論 (2) 災害情報論 (2)
		社会心理学概論A (2) 知覚・認知心理学 (2) 産業・組織心理学 (2) 教育・学校心理学 (2)	社会心理学概論B (2) 認知社会心理学 (2) 臨床心理学概論 (2)	健康心理学 (2) 対人関係心理学A (2) 人間関係論 (2)	健康社会心理学 (2) 対人関係心理学B (2) 人体の構造と機能及び疾病 (2)
			キャリア心理学 (2) 社会・集団・家族心理学 (2)	司法・犯罪心理学 (2) 障害者・障害児心理学 (2)	犯罪・社会心理学 (2) 福祉心理学 (2)
		ライフキャリア論 (2) 統計情報処理および実習Ⅱ (2)	政治学原論A (2) ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ (2)	政治学原論B (2)	
			統計情報処理および実習Ⅲ (2) ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ (2)	統計情報処理および実習Ⅳ (2) ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ (2)	
		国際文化事情A (2) 国際文化事情E (2)	国際文化事情B (2) 国際文化事情F (2)	国際文化事情C (2)	国際文化事情D (2)
	教 職 科 目 (卒業要件単位外)		日本史A (2)	日本史B (2)	外国史A (2)
				哲学概説A (2) 倫理学概説A (2) 社会・地歴指導法Ⅰ (2) 社会・地歴指導法Ⅱ (2) 社会・公民指導法Ⅰ (2) 社会・公民指導法Ⅱ (2)	哲学概説B (2) 倫理学概説B (2)

◆◆第1部社会福祉学科◆◆

1 人材の養成に関する目的

社会福祉学には、社会で暮らす一人ひとりの権利を擁護することによって、個人が自らの幸福を追求するための社会的条件を整備することが求められている。社会福祉の価値と理論を修得させ、ソーシャルワーク実習や海外研修など国内外のフィールドを基盤とした学びの機会を与えながら、社会正義に基づく「福祉力」を有する人材を養成する。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

上記のような人材を養成するために、学生が修得すべき能力等の教育目標を以下の様に設定している。

- (1) 権利を擁護する能力の養成
- (2) 個人の尊厳を重視し支援する能力の養成
- (3) 個人の力を高め社会を開発する能力の養成
- (4) 社会福祉の価値と理論の修得
- (5) ヒューマン・サービスを展開する能力の修得
- (6) 福祉社会を支える諸活動を企画・運営する能力の修得
- (7) エビデンスに基づくアプローチに必要なアセスメント力・社会調査力の修得

第1部社会福祉学科のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

社会福祉を専門に学んだ者には、ジェネラリストソーシャルワークの展開によって、個人が自らの幸福を追求するための社会的条件を整備することが求められている。そのことを前提に社会福祉学科は、社会福祉学の制度・政策論と援助・技術論の統合を視野に入れた講義・演習・実習・フィールドワークの有機的な連携を特徴とする教育課程の編成を行っている。まず、社会福祉の価値と倫理を基盤とした基礎理論を学ぶために、社会福祉の原理と政策、社会福祉発達史、ソーシャルワークの基盤と専門職等の科目を配置している。また、個人の尊厳を重視した支援を展開する能力を培うために、権利擁護を支える法制度をはじめとして、子ども、高齢者、障害のある人の権利論（社会福祉の権利）を設置している。さらに、地域福祉の推進、国内外の多様な領域でのサービスの展開、新たなニーズに対応したモデルの創造、現代社会の諸問題の解決のために、地域福祉と包括的支援体制、国際社会福祉論、ジェンダーと福祉等の科目を配置している。そして、すべての学生がフィールドでの体験、地域課題の調査・実践・分析等を行うために、3・4年次に、社会福祉学専門演習を置いている。社会福祉学科は、社会福祉学の学問的体系のもと、さまざまなフィールド等での体験、調査等に基づいた実証的な学習を重視し、社会福祉関連サービスの実践力・企画力の修得と、利用者の権利擁護のための批判的思考の涵養を目指した指導・教育を実施する。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会福祉学科は、ものごとを主体的に問うていく哲学の姿勢を基盤に、社会で生きる一人ひとりの権利を擁護し、社会資源を調整・開発する能力を有する人材の養成を目指す。以下の能力を有し、かつ必要な在籍年数および履修単位数を満たした者に対し、学士（社会学）の学位を授与する。

- (1) 社会福祉学の価値と倫理および理論を習得し、社会正義に基づいたヒューマン・サービスを展開する力
- (2) ソーシャルワークの専門的知識と技術を有し、多様な人たちとコミュニケーションを行い、協働・連携する力
- (3) 社会福祉の制度・政策を分析し、社会資源を調整・開発する力
- (4) 社会福祉学を基盤として、福祉社会を支える国内外のさまざまな活動を企画・運営する力

2021年度 社会学部 社会福祉学科 カリキュラムマップ (科目群)

社会福祉学の専門性を深める

福祉制度政策系

社会保障論A・B
保健医療と福祉
地域福祉と包括支援体制A・B

福祉社会開発系

福祉サービスの組織と経営
アドミニストレーション論
ソーシャルアクション論

福祉臨床系

フィールドで学ぶ
地域医療福祉専門実習Ⅰ・Ⅱ
ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ～Ⅲ
専門的支援の展開過程を学ぶ
ソーシャルワーク演習Ⅲ～Ⅴ

地域福祉と包括的支援体制

社会福祉学の展開方法を学ぶ

国際貢献を学ぶ

国際社会福祉論、社会福祉国際体験演習
社会福祉海外研修A・B

人権・司法を学ぶ

権利擁護を支える法制度、社会福祉の権利
刑事司法と福祉

福祉の対象を学ぶ

障害者福祉、高齢者福祉、児童・家庭福祉
貧困に対する支援、ジェンダーと福祉

社会福祉学の基礎理論を学ぶ

社会福祉の原理と政策A・B、社会福祉発達史、欧米の社会福祉史、社会福祉調査の基礎、社会学概論A、統計情報処理および実習
ソーシャルワークの基礎と専門職A、ソーシャルワークの理論と方法A

ゼミナール

<4年次>

社会福祉学
専門演習
Ⅲ・Ⅳ
(専門分野ゼミ2)

<3年次>

社会福祉学
専門演習
Ⅰ・Ⅱ
(専門分野ゼミ1)

<2年次>

ソーシャル
ワーク演習
Ⅰ・Ⅱ
or
社会福祉学
総合演習・Ⅱ

<1年次>

社会福祉学
基礎演習・Ⅱ

◆◆第1部社会福祉学科カリキュラムの特徴◆◆

社会福祉学科の教育課程（カリキュラム）は、社会福祉学の基礎理論を学ぶところから出発し、次にそれに基づいた展開方法（基幹科目）を学びます。特に、社会福祉学科では社会で暮らす一人ひとりの権利を擁護することを重視し、さまざまな視点からの人権論・権利論を学べるように科目を配置しています。また、国内外のさまざまなフィールドで学ぶための講義や演習・実習を用意しています。社会福祉士を目指すために定められている法令指定科目に加え、地域を基盤とした福祉を学ぶための科目や、福祉の対象を理解するための科目、福祉の調査方法を学ぶための科目などがあります。さらに、福祉制度政策系、福祉社会開発系、福祉臨床系の3つの科目群（ユニット）を有機的に結び付けた学びの機会を提供しています。福祉社会を創造するために必要な能力をより有効にかつ確実に身に付けることができます。

◆◆履修について◆◆

以下、各学年次で履修すべき科目、その他留意事項を記載します。

<1年次>

- (1) 基盤教育科目では、広く、「哲学・思想」「学問の基礎」「国際人の形成」「キャリア・市民形成」「健康・スポーツ科学」「総合・学際」等から選択することができます。特に「キャリア・市民形成」の「社会貢献活動入門」は、社会福祉学科の学生の皆さんに履修してほしい科目です。
- (2) 学科専門科目の「社会福祉学基礎演習Ⅰ・Ⅱ*」「社会福祉の原理と政策A・B」「ソーシャルワークの基盤と専門職A」「ソーシャルワークの理論と方法A」「社会福祉調査の基礎」「統計情報処理および実習」は、1年次の学科の必修科目です。また、「社会学概論A」は、1年次の学部共通の必修科目です。
*「社会福祉学基礎演習Ⅱ」は、TOEICの得点もしくは語学の成績順にクラス編成を行います。得点の高い学生が集まるクラスは英語で開講します。
- (3) 1年次から履修可能な学科専門の選択必修科目としては、「社会福祉調査の応用」「社会福祉発達史」「欧米の社会福祉史」「児童・家庭福祉」「高齢者福祉」「障害者福祉」「ソーシャルワークの基盤と専門職B」「ソーシャルワークの理論と方法B・C・D」「ソーシャルアクション論」「アドミニストレーション論」「スクールソーシャルワーク論」等があります。海外研修や国内のフィールドワークを希望する人は、学科専門の選択科目としての「社会福祉海外研修A・B」を1年次から履修可能です。なお、国際的な問題に関係する科目として、2年次から「国際社会福祉論」や「社会福祉国際体験演習」があり、こちらも履修することが望まれます。
- (4) 社会福祉士国家試験受験資格、社会調査士資格の取得を目指している人は、「履修要覧」の該当部分をよく読んで、1年次から開講されている科目を計画的に履修することが望まれます。社会調査士資格の取得を目指している人は、1年次から履修可能な「社会福祉調査の応用」を履修しなければなりません。

<2年次>

- (1) 2年次の学科の必修科目は、「権利擁護を支える法制度」です。また、「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」もしくは「社会福祉学総合演習Ⅰ・Ⅱ」が選択必修科目となります。その他、学科専門科目の多くの選択必修科目が2年次から履修可能となります。人権や司法を学ぶ科目として「刑事司法と福祉」があり、社会福祉の法制度を学ぶ科目としては、「社会保障論A・B」「貧困に対する支援」「福祉サービスの組織と運営」等があります。地域を基盤とした社会福祉を学ぶ科目として、「地域福祉と包括的支援体制A・B」等があります。さらに、社会福祉の現代的課題と連携するための科目として、「ジェンダーと福祉」「保健医療と福祉」「医学概論」「介護福祉概論」等も2年次から履修可能になります。
- (2) 国内外の国際問題に関する学科専門科目として「国際社会福祉論」と「社会福祉国際体験演習」があります。これらを単独で履修することも可能ですが、理論と実践の両方を学ぶために、両方も履修することを勧めます。また、前述の「社会福祉海外研修A・B」の履修も検討してください。
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する人は、「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければなりません。加えて、必要な要件を満たした上で「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャ

ルワーク実習Ⅰ」を履修しなければなりません。社会調査士資格の取得を目指している人は、2年次以降に「社会統計学Ⅰ（必須）」、「社会統計学Ⅱ」または「質的調査法Ⅰ」（どちらか一方選択で可）、および「社会調査および実習 A・B（必須）」を履修しなければなりません。加えて、1年次から履修可能な「社会福祉調査の応用」を履修しなければなりません。

- (4) 社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望しない人、資格の取得を目指すが必要な要件を満たしていない人は、2年次の選択必修科目である「社会福祉学総合演習Ⅰ・Ⅱ」を履修します。

< 3年次 >

- (1) 3年次の学科の必修科目は、「社会福祉学専門演習Ⅰ・Ⅱ」です。すべての3年次生がこの演習（ゼミ）を履修しなければなりません。また、この演習（ゼミ）を中心として、将来のキャリア形成に必要な専門領域の学びを本格的に始めます。
- (2) 3年次から新たに履修できる学科専門科目の選択必修科目として、「現代的福祉課題 A・B」「社会福祉の権利」「医療ソーシャルワーク論」が用意されています。
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する人は、必要な要件を満たした上で、「ソーシャルワーク演習Ⅲ・Ⅳ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習Ⅱ」を履修しなければなりません。

< 4年次 >

- (1) 4年次の学科の必修科目は、「社会福祉学専門演習Ⅲ・Ⅳ」です。すべての4年次生がこの演習（ゼミ）を履修しなければなりません。また、前述の3つの科目群（福祉制度政策系、福祉社会開発系、福利臨床系）を意識したそれぞれの学びの集大成が、演習（ゼミ）を通じて行われます。
- (2) 社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する人は、必要な要件を満たした上で、「ソーシャルワーク演習Ⅴ」を履修しなければなりません。また、より専門的な実習を行いたい、2・3年次とは違う実習施設・機関に実習に行きたいという人は、「地域医療福祉専門実習Ⅰ・Ⅱ」を履修してください。医療ソーシャルワーカーを希望する人は、「地域医療福祉専門実習Ⅰ・Ⅱ」に加えて、「医療ソーシャルワーク論」を履修することを勧めます。
- (3) 卒業要件を十分に満たす余裕のある履修計画を立て、確実に単位を修得するようにしてください。

◆◆卒業要件◆◆

社会福祉学科を卒業するためには、下記の卒業単位要件を満たさなければなりません。p.38～p.39【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業単位要件を確認してください。

- (1) 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124単位以上を修得すること。
- (2) 専門教育科目において合計82単位以上を修得すること。
- (3) 学科専門科目
- ①全体で56単位以上を修得すること。
 - ②必修を26単位修得すること。
 - ③選択必修Aから4単位以上、選択必修Bから26単位以上を修得すること。
- (4) 学部共通科目
- ①全体で14単位以上修得すること。
 - ②必修を2単位修得すること。
 - ③選択必修を12単位以上を修得すること。
- (5) 基盤教育科目
- ①全体で24単位以上を修得すること。
 - ②哲学・思想区分から2単位以上修得すること。
 - ③国際人の形成（語学）区分から、カレント・イングリッシュを4単位修得すること。
 - ④国際人の形成（語学）区分6言語【英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・日本語】から、1言語2単位を修得すること（母語を除く）。

◆第1部社会福祉学科 基盤教育科目 課程表◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育科目 24						
哲学・思想 2	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
		PHE102	哲学B	1～4	2	
		PHE103	哲学史A	1～4	2	
		PHE104	哲学史B	1～4	2	
		PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2	
		PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2	
		RES101	宗教学ⅠA	1～4	2	
		RES102	宗教学ⅠB	1～4	2	
		RES103	宗教学ⅡA	1～4	2	
		RES104	宗教学ⅡB	1～4	2	
		INR101	地球倫理A	1～4	2	
		INR102	地球倫理B	1～4	2	
		PHT1A1	生命と倫理	1～4	2	赤羽台開講
		PHT1A2	ジェンダー論	1～4	2	赤羽台開講
		PHT1A3	人権と生活	1～4	2	赤羽台開講
人文科学	選択	FAH101	美術史A	1～4	2	
		FAH102	美術史B	1～4	2	
		ASA101	音楽学A	1～4	2	
		ASA102	音楽学B	1～4	2	
		HSG101	歴史の諸問題A	1～4	2	
		HSG102	歴史の諸問題B	1～4	2	
		EUL101	西欧文学A	1～4	2	
		EUL102	西欧文学B	1～4	2	
		JLT109	現代日本文学A	1～4	2	
		JLT110	現代日本文学B	1～4	2	
		FAS1A1	文学	1～4	2	赤羽台開講
		FAS1A2	文章読解	1～4	2	赤羽台開講
		FAS1A3	口頭表現法	1～4	2	赤羽台開講
		FAS1A4	レポート・論文のまとめ方	1～4	2	赤羽台開講
		FAS1A5	プレゼンテーション技法	1～4	2	赤羽台開講
FAS1A6	文化論	1～4	2	赤羽台開講		
FAS1A7	身体論	1～4	2	赤羽台開講		
学問の基礎	選択	ECT101	経済学A	1～4	2	
		ECT102	経済学B	1～4	2	
		ECS101	統計学A	1～4	2	
		ECS102	統計学B	1～4	2	
		MAN101	経営学A	1～4	2	
		MAN102	経営学B	1～4	2	
		LAW101	法学A	1～4	2	
		LAW102	法学B	1～4	2	
		POL101	政治学A	1～4	2	
		POL102	政治学B	1～4	2	
		GGR101	地理学A	1～4	2	
		GGR102	地理学B	1～4	2	
		PSY101	心理学A	1～4	2	
		PSY102	心理学B	1～4	2	
		FAS1A8	企業のしくみ	1～4	2	赤羽台開講
自然科学	選択	BSC101	物質の科学A	1～4	2	
		BSC102	物質の科学B	1～4	2	
		ENV101	環境の科学A	1～4	2	
		ENV102	環境の科学B	1～4	2	
		EAP101	地球の科学A	1～4	2	
		EAP102	地球の科学B	1～4	2	
		BAB101	生物学A	1～4	2	
		BAB102	生物学B	1～4	2	
		AST101	天文学A	1～4	2	
		AST102	天文学B	1～4	2	
CAS101	自然誌A	1～4	2			
CAS102	自然誌B	1～4	2			

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
学問の基礎	自然科学	選択	FAS1A9 生活と栄養	1～4	2	赤羽台開講	
		FAS1A0 物理	1～4	2	赤羽台開講		
		FAS1B1 数学	1～4	2	赤羽台開講		
		FAS1B2 危機管理と救急法	1～4	2	赤羽台開講		
世界の伝統と文化	選択	ARS101 地域文化研究ⅠA	1～4	2			
		ARS102 地域文化研究ⅠB	1～4	2			
		ARS103 地域文化研究ⅡA	1～4	2			
		ARS104 地域文化研究ⅡB	1～4	2			
		ARS105 地域文化研究ⅢA	1～4	2			
		ARS106 地域文化研究ⅢB	1～4	2			
		INR105 多文化共生論A	1～4	2			
		INR106 多文化共生論B	1～4	2			
		JLT103 日本の昔話A	1～4	2			
		JLT104 日本の昔話B	1～4	2			
		JPH101 地域史(日本)A	1～4	2			
		JPH102 地域史(日本)B	1～4	2			
		HAA101 地域史(東洋)A	1～4	2			
		HAA102 地域史(東洋)B	1～4	2			
		HEA101 地域史(西洋)A	1～4	2			
		HEA102 地域史(西洋)B	1～4	2			
		GGR301 国際比較論A	1～4	2			
		GGR302 国際比較論B	1～4	2			
		IHR1A1 グローバリゼーションと文化A	1～4	2	赤羽台開講		
		IHR1A2 グローバリゼーションと文化B	1～4	2	赤羽台開講		
		IHR1A3 グローバリゼーションと文化C	1～4	2	赤羽台開講		
		IHR1A4 グローバリゼーションと文化D	1～4	2	赤羽台開講		
		IHR1A5 グローバリゼーションと文化E	1～4	2	赤羽台開講		
		グローバル社会の実際	選択	IHR116 異文化理解概論	1～4	2	
				IHR103 留学のすすめ	1～4	2	
				IHR104 海外研修Ⅰ	1～4	2	
				IHR105 海外研修Ⅱ	1～4	2	
				IHR106 海外実習Ⅰ	1～4	2	
				IHR107 海外実習Ⅱ	1～4	2	
				IHR108 短期海外研修Ⅰ	1～4	1	
				IHR109 短期海外研修Ⅱ	1～4	1	
				IHR110 短期海外研修Ⅲ	1～4	1	
IHR111 短期海外研修Ⅳ	1～4			1			
IHR112 短期海外実習Ⅰ	1～4			1			
IHR113 短期海外実習Ⅱ	1～4			1			
IHR114 短期海外実習Ⅲ	1～4			1			
IHR115 短期海外実習Ⅳ	1～4			1			
4	必修			ENG125 カレント・イングリッシュⅠA	1	1	4科目必修
		ENG126 カレント・イングリッシュⅠB	1	1			
		ENG227 カレント・イングリッシュⅡA	2	1			
		ENG228 カレント・イングリッシュⅡB	2	1			
2	選択必修	ENG127 英語ⅠA	1	1	6言語(母語を除く)から1言語を選択 【2科目2単位必修】		
		ENG128 英語ⅠB	1	1			
		GER115 ドイツ語ⅠA	1	1			
		GER116 ドイツ語ⅠB	1	1			
		FRA117 フランス語ⅠA	1	1			
		FRA118 フランス語ⅠB	1	1			
		CHI117 中国語ⅠA	1	1			
		CHI118 中国語ⅠB	1	1			
		KOR103 ハングルⅠA	1	1			
		KOR104 ハングルⅠB	1	1			
JPN125 日本語ⅠA(留学生用)	1	1					
JPN126 日本語ⅠB(留学生用)	1	1					
選択	選択	ENG129 英語ⅡA	1～4	1			
		ENG130 英語ⅡB	1～4	1			
		GER117 ドイツ語ⅡA	1～4	1			
		GER118 ドイツ語ⅡB	1～4	1			
		FRA119 フランス語ⅡA	1～4	1			
		FRA120 フランス語ⅡB	1～4	1			

基盤教育科目
24

国際人の形成

語学

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基礎教育科目 24	国際人の形成	語学 選択	CHI119	中国語ⅡA	1～4	1	
			CHI120	中国語ⅡB	1～4	1	
			KOR105	ハングルⅡA	1～4	1	
			KOR106	ハングルⅡB	1～4	1	
			JPN127	日本語ⅡA(留学生用)	1～4	1	
			JPN128	日本語ⅡB(留学生用)	1～4	1	
			ENG147	Business English Communication	1～4	2	
			ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	※留学支援科目 LEAP Program p.191
			ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2	
			ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2	
			ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4	1	
			JPN129	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1～4	2	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)
			JPN130	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1～4	2	
			HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2	
			HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2	
			JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2	
	JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2			
	SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2			
	SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2			
	JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1			
	JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1			
	JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1			
	JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1			
	PUL101	日本国憲法	1～4	2			
	CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2			
	CME102	流通入門	1～4	2			
	ACC101	基礎会計学	1～4	2			
	THI101	情報化社会と人間	1～4	2			
	THI102	情報倫理	1～4	2			
	CIV102	インターンシップ入門	1～4	2			
	CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2			
	CIV201	公務員論	1～4	2			
	EPS101	地球環境論	1～4	2			
	PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2			
	PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2			
	CIV101	キャリアデザイン入門	1	2			
	CIV104	コミュニケーション&マナー入門	1	2			
	CIV202	キャリアデザイン実践	2	2			
	CIV203	コミュニケーション&マナー実践	2	2			
	CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2			
ECD1A1	生活と環境	1～4	2	赤羽台開講			
ECD1A2	学校と地域(学校安全を含む)	1～4	2	赤羽台開講			
ECD1A3	生活と住居	1～4	2	赤羽台開講			
ECD1A4	地域研究法	1～4	2	赤羽台開講			
健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1		
		HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1		
		HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1		
		HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1		
		HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1		
		HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1		
		HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1		
		HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1		
		HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2		
		HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2		
		HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2		
		HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2		

科目区分		科目ナンバ リング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育科目 24	総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2	
			TYS108	全学総合B	1～4	2	
			TYS109	全学総合C	1～4	2	
			TYS105	総合A	1～4	2	
			TYS106	総合B	1～4	2	
			STS105	全学総合D	1～4	2	
			INI101	全学総合E	1～4	2	
			ITS112	全学総合F	1～4	2	
			ITS113	全学総合G	1～4	2	
			ITS114	全学総合H	1～4	2	
			ITS115	全学総合I	1～4	2	
			ITS116	全学総合J	1～4	2	
			ITS117	全学総合K	1～4	2	
			ITS118	全学総合L	1～4	2	
			ITS119	全学総合M	1～4	2	
			ITS101	総合C	1～4	2	
			ITS102	総合D	1～4	2	
			ITS103	総合E	1～4	2	
			ITS104	総合F	1～4	2	
			ITS105	総合G	1～4	2	
			ITS106	総合H	1～4	2	
			ITS107	総合I	1～4	2	
			ITS108	総合J	1～4	2	
			ITS109	総合K	1～4	2	
ITS110	総合L	1～4	2				
ITS111	総合M	1～4	2				

◆第1部社会福祉学科専門教育科目 課程表◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 82						
学科専門科目 56						
必修 26	SWS101	社会福祉学基礎演習Ⅰ	1	2		
	SWS102	社会福祉学基礎演習Ⅱ	1	2		
	SWS116	社会福祉の原理と政策A	1	2		
	SWS117	社会福祉の原理と政策B	1	2		
	SWS107	ソーシャルワークの基盤と専門職A	1	2		
	SWS103	ソーシャルワークの理論と方法A	1	2		
	SWS118	社会福祉調査の基礎	1	2		
	SWS119	統計情報処理および実習	1	2		
	SWS211	権利擁護を支える法制度	2	2		
	SWS301	社会福祉学専門演習Ⅰ	3	2		
	SWS302	社会福祉学専門演習Ⅱ	3	2		
	SWS401	社会福祉学専門演習Ⅲ	4	2		
	SWS402	社会福祉学専門演習Ⅳ	4	2		
	必修A 選択 4	SWS201	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2	※ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱまたは社会福祉学総合演習Ⅰ・Ⅱをセットで修得すること
		SWS202	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	2	
		SWS203	社会福祉学総合演習Ⅰ	2	2	
		SWS204	社会福祉学総合演習Ⅱ	2	2	
	選択 必修B 26	SWS120	社会福祉調査の応用	1～4	2	
		SWS121	社会福祉発達史	1～4	2	
		SWS122	欧米の社会福祉史	1～4	2	
		SWS123	児童・家庭福祉	1～4	2	
		SWS124	高齢者福祉	1～4	2	
		SWS125	障害者福祉	1～4	2	
		SWS108	ソーシャルワークの基盤と専門職B	1～4	2	
		SWS104	ソーシャルワークの理論と方法B	1～4	2	
		SWS105	ソーシャルワークの理論と方法C	1～4	2	
SWS106		ソーシャルワークの理論と方法D	1～4	2		
SWS112		ソーシャルアクション論	1～4	2		
SWS126		アドミニストレーション論	1～4	2		
SWS111		ケアマネジメント論	1～4	2		
SWS114		スクールソーシャルワーク論	1～4	2		
SWS113		バリアフリー論	1～4	2		
SWS115		居住福祉論	1～4	2		
SWS206		社会保障論A	2～4	2		
SWS207		社会保障論B	2～4	2		
SWS212		貧困に対する支援	2～4	2		
SWS213		刑事司法と福祉	2～4	2		
SWS214		国際社会福祉論	2～4	2		
SWS215		社会福祉国際体験演習	2～4	2		
SWS216		福祉サービスの組織と経営	2～4	2		
SWS217		地域福祉と包括的支援体制A	2～4	2		
SWS218		地域福祉と包括的支援体制B	2～4	2		
SWS219		保健医療と福祉	2～4	2		
SWS220		医学概論	2～4	2		
SWS221		介護福祉概論	2～4	2		
SWS208		ジェンダーと福祉	2～4	2		
SWS209		社会調査および実習A	2～4	2		
SWS210		社会調査および実習B	2～4	2		
SWS308		現代的福祉課題A	3～4	2		
SWS309		現代的福祉課題B	3～4	2		
SWS310		社会福祉の権利	3～4	2		
SWS307		医療ソーシャルワーク論	3～4	2		
選択	SWS205	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2		
	SWS222	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2		
	SWS303	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3	2		
	SWS304	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3	2		
	SWS305	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3	2		

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
学科専門科目 56	選択	SWS306	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	3	2		
		SWS311	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3	4		
		SWS403	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4	2		
		SWS404	地域医療福祉専門実習Ⅰ	4	2		
		SWS405	地域医療福祉専門実習Ⅱ	4	2		
		SWS406	卒業論文	4	4		
		SWS127	社会福祉海外研修A	1～4	2		
		SWS128	社会福祉海外研修B	1～4	2		
学部共通科目 14							
専門教育科目 82	学部共通科目 14	必修2	SOC110	社会学概論A	1	2	
		SOC111	社会学概論B	1	2		
	SOC207	家族社会学	1～4	2			
	SOC208	地域社会学	1～4	2			
	SOC210	環境社会学	1～4	2			
	SOC211	労働社会学	1～4	2			
	SOE202	教育社会学	1～4	2			
	SOC212	政治社会学	1～4	2			
	SOC213	国際社会学	1～4	2			
	SOC320	Global Sociology	1～4	2			
	GGR203	現在の風土と人間・社会	1～4	2			
	GGR204	風土の変遷と人間・社会	1～4	2			
	SOC321	理論社会学	1～4	2			
	SOC214	都市社会学	1～4	2			
	SOC215	犯罪社会学	1～4	2			
	SOC217	福祉社会学	1～4	2			
	SOC218	非営利活動論	1～4	2			
	STS203	社会統計学Ⅰ	2～4	2			
	STS301	社会統計学Ⅱ	2～4	2			
	SOC206	質的調査法Ⅰ	2～4	2			
	CUA107	文化人類学	1～4	2			
	CUA108	現代人類学	1～4	2			
	SOC132	グローバル化の社会学	1～4	2			
	SOC133	共生社会学	1～4	2			
	ARS209	日本社会文化論A	1～4	2			
	ARS305	日本社会文化論B	1～4	2			
	SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1～4	2			
	SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2			
	SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2			
	SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2			
	LIH116	情報学基礎論A	1～4	2			
	LIH117	情報学基礎論B	1～4	2			
	LIH118	情報メディア史A	1～4	2			
	LIH119	情報メディア史B	1～4	2			
	SOC122	消費情報論	1～4	2			
	SOC120	コミュニケーション論	1～4	2			
	SOC121	多文化コミュニケーション論	1～4	2			
	SOC238	情報倫理概論	1～4	2			
	SOP101	社会心理学概論A	1～4	2			
	SOP102	社会心理学概論B	1～4	2			
	CLI201	健康心理学	1～4	2			
	CLI202	健康社会心理学	1～4	2			
	EXP203	知覚・認知心理学	1～4	2			
	EXP204	認知社会心理学	1～4	2			
	SOP202	対人関係心理学A	1～4	2			
	SOP203	対人関係心理学B	1～4	2			
SOP206	産業・組織心理学	1～4	2				
CLI203	臨床心理学概論	1～4	2				
SOP205	人間関係論	1～4	2				
LIP202	人体の構造と機能及び疾病	1～4	2				
EDP207	教育・学校心理学	1～4	2				
CIV215	ライフキャリア論	1～4	2				
POL209	政治学原論A	1～4	2				
POL210	政治学原論B	1～4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 82	学部共通科目 14	選択必修 12	SUS301	国際文化事情A	1～4	2	
			SUS302	国際文化事情B	1～4	2	
			SUS303	国際文化事情C	1～4	2	
			SUS304	国際文化事情D	1～4	2	
			SUS305	国際文化事情E	1～4	2	
			SUS306	国際文化事情F	1～4	2	
			SWS1A1	国際児童福祉	1～4	2	赤羽台開講
			DMB1A1	健康科学概論	1～4	2	赤羽台開講
			AHS1A1	生涯スポーツ論	1～4	2	赤羽台開講
			SPS1A1	スポーツ社会学	1～4	2	赤羽台開講
			AHS1A2	レクリエーション論	1～4	2	赤羽台開講
			AHS1A3	ヘルスプロモーション論	1～4	2	赤羽台開講
			DMB1A2	日本文化と武道	1～4	2	赤羽台開講
			SPS2A1	スポーツ人類学	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A2	スポーツ史	2～4	2	赤羽台開講
			AHS2A1	健康政策と行政	2～4	2	赤羽台開講
			DMB2A1	身体文化論	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A3	スポーツ文化論	2～4	2	赤羽台開講
			CHS2A1	子ども健康スポーツ指導法	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A4	子ども健康スポーツ論	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A5	障がい者健康スポーツ論	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A6	障がい者健康スポーツ指導法	2～4	2	赤羽台開講
			SPS2A7	バイオメカニクス	2～4	2	赤羽台開講
			DES1A1	プロダクトデザイン基礎	1～4	2	赤羽台開講
			CLD1A1	道具の歴史	1～4	2	赤羽台開講
			DES1A2	International Design Practices	1～4	2	赤羽台開講
			RSW2A1	人間工学	2～4	2	赤羽台開講
			CME2A1	マーケティング	2～4	2	赤羽台開講
			HII2A1	ヒューマンインターフェース	2～4	2	赤羽台開講
			DES3A1	産業とプロダクトデザイン	3～4	2	赤羽台開講
			TPA3A1	安全工学	3～4	2	赤羽台開講
			DES3A2	情報メディアデザイン	3～4	2	赤羽台開講
			RSW3A1	リハビリテーション工学	3～4	2	赤羽台開講
			RSW3A2	支援技術とデザイン	3～4	2	赤羽台開講
			CLD3A1	福祉住環境コーディネータ論	3～4	2	赤羽台開講

◆第1部社会福祉学科基盤教育科目 授業科目一覧◆

教育目標と基本方針(第1部社会福祉学科)

区分		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		
基盤教育科目	哲学・思想(2)	哲学A	(2)	哲学B	(2)	哲学史A	(2)	哲学史B	(2)	
		倫理学基礎論A	(2)	倫理学基礎論B	(2)	宗教学I A	(2)	宗教学I B	(2)	
		宗教学II A	(2)	宗教学II B	(2)	地球倫理A	(2)	地球倫理B	(2)	
		生命と倫理	(2)	ジェンダー論	(2)	人権と生活	(2)			
	学問の基礎	人文科学	美術史A	(2)	美術史B	(2)	音楽学A	(2)	音楽学B	(2)
			歴史の諸問題A	(2)	歴史の諸問題B	(2)	西欧文学A	(2)	西欧文学B	(2)
			現代日本文学A	(2)	現代日本文学B	(2)				
		社会科学	文学	(2)	文章読解	(2)	口頭表現法	(2)	レポート・論文のまとめ方	(2)
			プレゼンテーション技法	(2)	文化論	(2)	身体論	(2)		
			経済学A	(2)	経済学B	(2)	統計学A	(2)	統計学B	(2)
自然科学	経営学A	(2)	経営学B	(2)	法学A	(2)	法学B	(2)		
	政治学A	(2)	政治学B	(2)	地理学A	(2)	地理学B	(2)		
	心理学A	(2)	心理学B	(2)						
国際人の形成	世界の伝統と文化	生活と栄養	(2)	企業のおくみ	(2)					
		物質の科学A	(2)	物質の科学B	(2)	環境の科学A	(2)	環境の科学B	(2)	
		地球の科学A	(2)	地球の科学B	(2)	生物学A	(2)	生物学B	(2)	
		天文学A	(2)	天文学B	(2)	自然誌A	(2)	自然誌B	(2)	
		生活と栄養	(2)	物理	(2)	数学	(2)	危機管理と救急法	(2)	
	グローバル社会の実際	地域文化研究I A	(2)	地域文化研究I B	(2)	地域文化研究II A	(2)	地域文化研究II B	(2)	
		地域文化研究III A	(2)	地域文化研究III B	(2)	多文化共生論A	(2)	多文化共生論B	(2)	
		日本の昔話A	(2)	日本の昔話B	(2)					
		地域史(日本)A	(2)	地域史(日本)B	(2)	地域史(東洋)A	(2)	地域史(東洋)B	(2)	
		地域史(西洋)A	(2)	地域史(西洋)B	(2)	国際比較論A	(2)	国際比較論B	(2)	
語学	外国語科目	グローバリゼーションと文化A	(2)	グローバリゼーションと文化B	(2)	グローバリゼーションと文化C	(2)	グローバリゼーションと文化D	(2)	
		グローバリゼーションと文化E	(2)							
		異文化理解概論	(2)	留学のすすめ	(2)					
		海外研修I	(2)	海外研修II	(2)	海外実習I	(2)	海外実習II	(2)	
		短期海外研修I	(1)	短期海外研修II	(1)	短期海外研修III	(1)	短期海外研修IV	(1)	
	語学	短期海外実習I	(1)	短期海外実習II	(1)	短期海外実習III	(1)	短期海外実習IV	(1)	
		必修科目 (4)	カレント・イングリッシュI A	(1)	カレント・イングリッシュII A	(1)				
			カレント・イングリッシュI B	(1)	カレント・イングリッシュII B	(1)				
		英語I A	(1)							
		英語I B	(1)							
語学	ドイツ語I A	(1)	(6言語(母語を除く)から1言語を選択) 【2科目2単位必修】							
	ドイツ語I B	(1)								
	フランス語I A	(1)								
	フランス語I B	(1)								
	中国語I A	(1)								
語学	中国語I B	(1)								
	ハンガールI A	(1)								
	ハンガールI B	(1)								
	日本語I A(留学生用)	(1)								
	日本語I B(留学生用)	(1)								
キャリア・市民形成	選択科目	英語II A	(1)	英語II B	(1)	ドイツ語II A	(1)	ドイツ語II B	(1)	
		フランス語II A	(1)	フランス語II B	(1)	中国語II A	(1)	中国語II B	(1)	
		ハンガールII A	(1)	ハンガールII B	(1)	日本語II A(留学生用)	(1)	日本語II B(留学生用)	(1)	
		Business English Communication	(2)							
		IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	(2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	(2)	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	(2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	(2)	
	選択科目	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	(2)	Pre-Study Abroad: Writing	(1)					
		ビジネス日本語と日本文化I	(2)	ビジネス日本語と日本文化II	(2)					
		日本事情I A	(2)	日本事情I B	(2)	日本事情II A	(2)	日本事情II B	(2)	
		日本事情III A	(2)	日本事情III B	(2)					
		日本語アカデミックライティングI	(1)	日本語アカデミックライティングII	(1)	日本語アカデミックライティングIII	(1)	日本語アカデミックライティングIV	(1)	
健康・スポーツ科学	選択科目	日本国憲法	(2)	ベーシック・マーケティング	(2)	流通入門	(2)	基礎会計学	(2)	
		情報化社会と人間	(2)	情報倫理	(2)	インターンシップ入門	(2)	社会貢献活動入門	(2)	
		公務員論	(2)	地球環境論	(2)	ロジカルシンキング入門	(2)	クリティカルシンキング入門	(2)	
		キャリアデザイン入門	(2)	キャリアデザイン実践	(2)	キャリアデベロップメント	(2)			
		コミュニケーション&マナー入門	(2)	コミュニケーション&マナー実践	(2)					
	総合・学際	生活と環境	(2)	学校と地域(学校安全を含む)	(2)	生活と住居	(2)	地域研究法	(2)	
		スポーツ健康科学実技I A	(1)	スポーツ健康科学実技I B	(1)	スポーツ健康科学実技II A	(1)	スポーツ健康科学実技II B	(1)	
		スポーツ健康科学実技II A	(1)	スポーツ健康科学実技III B	(1)	スポーツ健康科学実技IV A	(1)	スポーツ健康科学実技IV B	(1)	
		スポーツ健康科学講義I	(2)	スポーツ健康科学講義II A	(2)	スポーツ健康科学講義II B	(2)	スポーツ健康科学演習I	(2)	
		全学総合A	(2)	全学総合B	(2)	全学総合C	(2)			
総合・学際	総合A	(2)	総合B	(2)						
	全学総合D	(2)	全学総合E	(2)						
	全学総合F	(2)	全学総合G	(2)	全学総合H	(2)	全学総合I	(2)		
	全学総合J	(2)	全学総合K	(2)	全学総合L	(2)	全学総合M	(2)		
	総合C	(2)	総合D	(2)	総合E	(2)	総合F	(2)		
	総合G	(2)	総合H	(2)	総合I	(2)	総合J	(2)		
	総合K	(2)	総合L	(2)	総合M	(2)				

◆第1部社会福祉学科専門教育科目 授業科目一覧◆

区分		1学年	2学年	3学年	4学年
学 科 専 門 科 目 (6)	必修科目 (6)	社会福祉学基礎演習Ⅰ (2) 社会福祉学基礎演習Ⅱ (2) 社会福祉の原理と政策A (2) 社会福祉の原理と政策B (2) ソーシャルワークの基盤と専門職A (2) ソーシャルワークの理論と方法A (2) 社会福祉調査の基礎 (2) 統計情報処理および実習 (2)	権利擁護を支える法制度 (2)	社会福祉学専門演習Ⅰ (2) 社会福祉学専門演習Ⅱ (2)	社会福祉学専門演習Ⅲ (2) 社会福祉学専門演習Ⅳ (2)
	選択必修A (4)		ソーシャルワーク演習Ⅰ (2) ソーシャルワーク演習Ⅱ (2) 社会福祉学総合演習Ⅰ (2) 社会福祉学総合演習Ⅱ (2)	※ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱまたは社会福祉学総合演習Ⅰ・Ⅱをセットで修得すること。	
	選択必修B (6)	社会福祉調査の応用 (2) 児童・家庭福祉 (2) ソーシャルワークの基盤と専門職B (2) ソーシャルアクション論 (2) スクールソーシャルワーク論 (2)	社会福祉発達史 (2) 高齢者福祉 (2) ソーシャルワークの理論と方法B (2) アドミニストレーション論 (2) バリアフリー論 (2)	欧米の社会福祉史 (2) 障害者福祉 (2) ソーシャルワークの理論と方法C (2) ケアマネジメント論 (2) 居住福祉論 (2)	ソーシャルワークの理論と方法D (2) 貧困に対する支援 (2) 社会福祉国際体験演習 (2) 地域福祉と包括的支援体制B (2) 介護福祉概論 (2) 社会調査および実習B (2)
	選択科目		社会保障論A (2) 刑事司法と福祉 (2) 福祉サービスの組織と経営 (2) 保健医療と福祉 (2) ジェンダーと福祉 (2)	社会保障論B (2) 国際社会福祉論 (2) 地域福祉と包括的支援体制A (2) 医学概論 (2) 社会調査および実習A (2)	現代福祉課題A (2) 社会福祉の権利 (2) 医療ソーシャルワーク論 (2)
専 門 教 育 科 目 (6)	必修科目(2)	社会学概論A (2) 社会学概論B (2)	社会学概論A (2) 社会学概論B (2)		
	選択必修科目 (12)	家族社会学 (2) 教育社会学 (2) 現在の風土と人間・社会 (2) 犯罪社会学 (2) 文化人類学 (2) 日本社会文化論A (2) 社会情報学基礎論A(メディアと社会) (2) 情報学基礎論A (2) 消費情報論 (2) 社会心理学概論A (2) 知覚・認知心理学 (2) 産業・組織心理学 (2) 教育・学校心理学 (2) ライフキャリア論 (2) 国際文化事情A (2) 国際文化事情E (2) 国際児童福祉 (2) 健康科学概論 (2) ヘルスプロモーション論 (2)	地域社会学 (2) 政治社会学 (2) 風土の変遷と人間・社会 (2) 福祉社会学 (2) 社会統計学Ⅰ (2) 現代人類学 (2) 日本社会文化論B (2) 社会情報学基礎論B(インターネットと社会) (2) 情報学基礎論B (2) コミュニケーション論 (2) 社会心理学概論B (2) 認知社会心理学 (2) 臨床心理学概論 (2) 政治学原論A (2) 国際文化事情B (2) 国際文化事情F (2) 生涯スポーツ論 (2) 日本文化と武道 (2) スポーツ人類学 (2) 身体文化論 (2) 子ども健康スポーツ論 (2) バイオメカニクス (2) 道具の歴史 (2) 人間工学 (2)	環境社会学 (2) 国際社会学 (2) 理論社会学 (2) 非営利活動論 (2) 社会統計学Ⅱ (2) グローバル化の社会学 (2) マス・コミュニケーション学基礎論A (2) 情報メディア史A (2) 多文化コミュニケーション論 (2) 健康心理学 (2) 対人関係心理学A (2) 人間関係論 (2) 政治学原論B (2) 国際文化事情C (2) 国際文化事情D (2) スポーツ社会学 (2) スポーツ史 (2) スポーツ文化論 (2) 障がい者健康スポーツ論 (2) International Design Practices (2) マーケティング (2) 産業とプロダクトデザイン (2) 情報メディアデザイン (2) 支援技術とデザイン (2)	労働社会学 (2) Global Sociology (2) 都市社会学 (2) 質的調査法Ⅰ (2) 共生社会学 (2) マス・コミュニケーション学基礎論B (2) 情報メディア史B (2) 情報倫理概論 (2) 健康社会心理学 (2) 対人関係心理学B (2) 人体の構造と機能及び疾病 (2) ソーシャルワーク演習Ⅴ (2) 地域医療福祉専門実習Ⅰ (2) 地域医療福祉専門実習Ⅱ (2) 卒業論文 (4)

◆メディアコミュニケーション学科◆

1. 人材の養成に関する目的

メディア・情報産業で活躍しうる人材の育成を目的とする。具体的には、放送、出版、広告などにかかわるマスメディア産業、音楽、映像、娯楽などにかかわるコンテンツ産業、通信、コンピュータシステム、データベースなどにかかわるICT産業、あるいは企業、政府、教育機関の広報・情報部門など、現代社会におけるメディアコミュニケーションの領域で活躍できる有用・有為な人材を育成する。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

メディアコミュニケーション学の基本的な知識・理論の学習と、それを応用する実践的な技能の獲得を教育目標とする。具体的には、情報とメディアに関する専門的な知識と学術的な理論を学んだ上で、それを実社会において効果的に活用するために、多様なコミュニケーションメディアを使いこなして情報を制作、伝達、蓄積、探索する技術と、情報内容を的確に受容、批判、評価する能力を、4年間で身につけることを目指す。

メディアコミュニケーション学科のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

社会学を基盤とし、メディアコミュニケーション学の基本的な知識・理論の学修と、それを応用する実践的な技術・能力の獲得を目的として、4年間で順次性のある体系的な教育を行うことで、下記の通り学修する機会を提供する。科目としては、初年次教育である「基礎演習」において1と2、「演習」において1～7、「基礎論」において2～5、「実習」において6と7を主に学修する。さらにマスメディアコミュニケーション学、情報学、社会情報学の3領域に広がる専門科目において3～5を主に学修する。

1. 知的活動、職業生活、社会生活のいずれでも必要な汎用的技能として、読む／書く／聞く／話す力、討論する力、考え抜く力、主体的に学ぶ力、計画を立てて実行する力、チームで協働する力を学修する。
2. メディアのあらゆる領域を、マス／パーソナルメディア、出版／放送／広告メディア、ソーシャルメディア、アーティストック／エンターテインメントメディアまで、広く体系的に学修する。
3. メディアの現在に関して社会的な意義と機能を知り、メディアと情報に関する学術的な知識と現況分析のための理論を学修する。
4. メディアの過去に関して歴史的な発展と進歩を知り、メディアと情報に関する客観的な知識と歴史認識のための視野を学修する。
5. メディアの未来に関して社会的な展望と課題を知り、メディアと情報に関する創造的な知識と課題解決のための手法を学修する。
6. メディアを活用し、文章、映像、ウェブコンテンツなど多様なかたちで情報を企画、制作、公表するために必要な技能を学修する。
7. メディアを活用し、文章、映像、ウェブコンテンツなど多様なかたちの情報を検索、分析、評価するために必要な技能を学修する。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会学を基盤とし、メディアコミュニケーションに関する下記の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. メディアコミュニケーションの現在について、その社会的な意義と機能を理解し、広汎な領域を体系的に把握して、学問的な理論や方法論を学び続けるための態度と学習力を習得している。
2. メディアコミュニケーションの過去について、その歴史的な発展と進歩を理解し、広範な歴史を体系的に把握して、相対的かつ批判的な視点を持ち続けるための態度と判断力を習得している。
3. メディアコミュニケーションの未来について、その国際的な課題と展望を理解し、広汎な論点を体系的に把握して、問題解決へ向けて努力し続けるための態度と実行力を習得している。
4. メディアコミュニケーションによる情報発信について、文章、映像、ウェブコンテンツなど多様なかたちで情報を企画、制作、公表するために必要な知識と技能を習得している。
5. メディアコミュニケーションによる情報受信について、文章、映像、ウェブコンテンツなど多様なかたちの情報を検索、分析、評価するために必要な知識と技能を習得している。

以上の能力を、新聞・放送・出版・広告などにかかわるメディア産業、音楽・映像・娯楽などにかかわるコンテンツ産業、通信・システム・データベースなどにかかわるICT産業、あるいは企業、政府、教育機関の広報・情報部門等で活かす実践力を備えている。

メディアコミュニケーション学科・カリキュラムマップ

社会学を基盤とし、メディアコミュニケーション学の基本的な知識・理論の学修と、それを応用する実践的な技術・能力の獲得を目的とします

基礎力を養う

学問を展開する

演習

メディアコミュニケーション学基礎演習A・B

メディアコミュニケーション学演習ⅠA・B

メディアコミュニケーション学演習ⅡA・B

メディアコミュニケーション学演習ⅢA・B

基礎論・
基礎科目

情報学基礎論A

情報学基礎論B

社会情報学基礎論A(メディアと社会)

社会情報学基礎論B(インターネットと社会)

マス・コミュニケーション学基礎論A

マス・コミュニケーション学基礎論B

社会学概論A・B

メディア・キャリア論

社会調査入門A・B

実習科目

ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ※

統計情報処理および実習Ⅰ※

メディア研究のためのデータ分析

卒業研究

卒業論文準備

卒業論文

実習科目

ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ

ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ

ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ

映像メディア制作A・B

プログラミング論および実習

データベース論および実習

マスコミ文章作法A・B

情報ネットワーク論および実習

社会調査および実習A・B

情報学系

情報メディア史A・B

情報と言語

情報数理

情報メディア論

人間-機械コミュニケーション論

身体コミュニケーション論

情報モデリング論

知財・情報法制論

情報組織化論

計量情報学

ウェブ情報サービス論

情報分析論

DP: ICT産業に関わる

DP: メディア産業に関わる・コンテンツ産業に関わる

社会情報学系

社会情報システム論

情報倫理概論

災害情報論

ソーシャルメディア論

デジタル化と社会

環境メディア論

消費情報論

多文化コミュニケーション論

コミュニケーション論

大衆文化論

DP: メディア産業に関わる・コンテンツ産業に関わる

マス・コミュニケーション学系

放送メディア論

新聞メディア論

ジャーナリズム論

広告論

雑誌出版論

世論

マスコミ倫理・法制論

PR論

メディアコミュニケーション学特講A

メディアコミュニケーション学特講C

メディアコミュニケーション学特講E

メディアコミュニケーション学特講G

メディアコミュニケーション学特講B

メディアコミュニケーション学特講D

メディアコミュニケーション学特講F

メディアコミュニケーション学特講H

ディプロマポリシー (DP)

新聞・放送・出版・広告などにかかわるメディア産業、音楽・映像・娯楽などにかかわるコンテンツ産業、通信・システム・データベースなどにかかわるICT産業、あるいは企業、政府、教育機関の広報・情報部門等、現代社会におけるメディアコミュニケーションの領域で活躍するために必要十分な思考力と表現力、学術的な知識と専門的な技能を修得する。

注1) 網掛け太枠は必修科目。網掛け点線太枠※は、1科目2単位以上選択必修科目です。
注2) 学問領域における科目配置はイメージを表します。実際の科目群の学問領域は重層的です。

◆◆カリキュラムの特徴◆◆

- 本学科では、教育目標にしたがって、幅広い視野と深い専門知識の習得を目指したカリキュラムを編成しています。
- カリキュラムの中軸となるのは、“ゼミ”と通称される少人数制の「演習」（ゼミは、学生が主体となって調べ、学ぶ科目）です。
- 本学科の専門科目は、体系立った学習を可能とするため、3つの科目群にわかれています。必ず履修しなければならない「必修科目」、科目群の中から決められた単位数を履修しなければならない「選択必修科目」、自由に選択履修できる「選択科目」です。また、それぞれの受講が可能な年次も決められています。
- 学科専門の必修科目としては、概論的科目として、情報とメディアに関する理論の基礎を学ぶための「情報学基礎論A」「社会情報学基礎論A（メディアと社会）」「マス・コミュニケーション学基礎論A」を開講しています。その上で専門領域を深く学ぶための各論的科目が、選択科目として多数開講されており、その内容は、〈情報学〉〈社会情報学〉〈マス・コミュニケーション学〉という3つの学問領域に広がっています。また、実践的知識習得を重視する実習科目として、「映像メディア制作A・B」「マスコミ文章作法A・B」「データベース論および実習」「情報ネットワーク論および実習」などが開講されています。

◆◆履修について◆◆

履修の前に必ずシラバスを確認してください。

<1年次>

必修科目：「情報学基礎論A」「社会情報学基礎論A（メディアと社会）」「マス・コミュニケーション学基礎論A」「メディアコミュニケーション学基礎演習A・B」「社会学概論A・B」「社会調査入門A・B」

※「メディアコミュニケーション学基礎演習A・B」「社会調査入門A・B」「社会学概論A・B」は複数コース開講されますが、1年次配当科目なので、各学生の履修コースを大学側で指定します。

※情報学の領域を目指す学生は、「情報学基礎論B」（選択必修科目）を、マス・コミュニケーション学の領域を目指す学生は、「マス・コミュニケーション学基礎論B」（選択必修科目）を、社会情報学の領域を目指す学生は、「社会情報学基礎論B（インターネットと社会）」（選択必修科目）を履修してください。すべての科目を履修することも可能です。

<2年次>

必修科目：「メディアコミュニケーション学演習ⅠA・ⅠB」「メディア・キャリア論」「社会調査および実習A・B」

※「メディアコミュニケーション学演習ⅠA・ⅠB」は、さまざまなテーマで複数コースが開講されます。1年次終わりに履修希望を調査し、学科側で希望人数の状況により調整を行って、履修コースを決定します。

※「社会調査および実習A・B」は、各人の関心によってコースを選択できます。ただし、各コースとも登録人数に制限を設けています。

<3年次>

必修科目：「メディアコミュニケーション学演習ⅡA・ⅡB」

※「メディアコミュニケーション学演習ⅡA・ⅡB」は、さまざまなテーマで複数コースが開講されます。2年次終わりに履修希望を調査し、学科側で希望人数の状況により調整を行って、履修コースを決定します。

<4年次>

必修科目：なし

※ 4年次最初のセメスタおよび最終セメスタにおいて1科目以上を履修し、かつ4年次で専門教育科目を2科目以上修得してください。

※ 「メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A・Ⅲ B」（4年ゼミ）は選択必修科目ですが、履修を推奨します。「卒業論文準備」「卒業論文」を履修する学生は必ず履修してください。

※ 本学科の学生は選択科目の「卒業論文準備」「卒業論文（卒業研究）」を履修し、卒業論文を書くことができます。4年間の勉学の総仕上げの意味もあるので、できる限り卒業論文を執筆することが望ましいです。

(1) 「卒業論文準備」の履修は、下記の条件を満たす必要があります。

① 「メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A・Ⅲ B」のいずれかを同時に履修すること

(2) 「卒業論文」の履修は、下記①～③の条件を満たす必要があります。

① 「卒業論文準備」を修得済みであること

② 「メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A・Ⅲ B」のいずれかを修得済みであること

③ 「メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A・Ⅲ B」のいずれかを同時に履修すること

選択必修科目群の実習科目

「映像メディア制作A・B」「マスコミ文章作法A・B」「データベース論および実習」「情報ネットワーク論および実習」「メディア研究のためのデータ分析」の実習科目については、いずれも履修人数に制限を設けているので、注意してください。

◆卒業要件◆

メディアコミュニケーション学科を卒業するためには、下記の卒業単位要件を満たさなければなりません。p.38～p.39の【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業単位要件を確認してください。

- (1) 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124単位以上を修得すること。
- (2) 専門教育科目において合計84単位以上を修得すること。
- (3) 学科専門科目
 - ① 全体で54単位以上を修得すること。
 - ② 必修を20単位修得すること。
 - ③ 選択必修から34単位以上を修得すること。
- (4) 学部共通科目
 - ① 全体で26単位以上修得すること。
 - ② 必修を12単位修得すること。
 - ③ 選択必修①の【統計情報処理および実習Ⅰ】または【ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ】2科目のうち1科目2単位以上を必ず修得すること。
 - ④ 選択必修②を12単位以上を修得すること。
- (5) 基盤教育科目
 - ① 全体で24単位以上を修得すること。
 - ② 哲学・思想区分から2単位以上修得すること。
 - ③ 国際人の形成（語学）区分から、カレント・イングリッシュを4単位修得すること。
 - ④ 国際人の形成（語学）区分6言語【英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・日本語】から、1言語6単位を修得すること（母語を除く）。
- (6) 4年次最初のセメスタおよび最終セメスタにおいて1科目以上履修し、かつ4年次で専門教育科目を2科目以上を修得すること。

◆◆メディアコミュニケーション学科 基盤教育科目 課程表◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考				
基盤教育科目 24									
基盤教育科目 24	哲学・思想 2	選択	PHE101	哲学A	1～4	2			
			PHE102	哲学B	1～4	2			
			PHE103	哲学史A	1～4	2			
			PHE104	哲学史B	1～4	2			
			PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2			
			PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2			
			PHE107	応用倫理学A	1～4	2			
			PHE108	応用倫理学B	1～4	2			
			HIT101	科学思想史A	1～4	2			
			HIT102	科学思想史B	1～4	2			
			RES101	宗教学ⅠA	1～4	2			
			RES102	宗教学ⅠB	1～4	2			
			RES103	宗教学ⅡA	1～4	2			
			RES104	宗教学ⅡB	1～4	2			
			INR101	地球倫理A	1～4	2			
			INR102	地球倫理B	1～4	2			
			PHE109	論理学A	1～4	2			
			PHE110	論理学B	1～4	2			
			CIB101	東洋思想	1～4	2			
			人文科学	選択	FAH101	美術史A	1～4	2	
	FAH102	美術史B			1～4	2			
	ASA101	音楽学A			1～4	2			
	ASA102	音楽学B			1～4	2			
	HSG101	歴史の諸問題A			1～4	2			
	HSG102	歴史の諸問題B			1～4	2			
	EUL101	西欧文学A			1～4	2			
	EUL102	西欧文学B			1～4	2			
	JLT109	現代日本文学A			1～4	2			
	JLT110	現代日本文学B			1～4	2			
	LIG101	アジアの文学			1～4	2			
	LIG102	アジアの古典			1～4	2			
	社会科学 学問の基礎	選択			ECT101	経済学A	1～4	2	
					ECT102	経済学B	1～4	2	
			ECS101	統計学A	1～4	2			
			ECS102	統計学B	1～4	2			
			MAN101	経営学A	1～4	2			
			MAN102	経営学B	1～4	2			
			LAW101	法学A	1～4	2			
			LAW102	法学B	1～4	2			
POL101			政治学A	1～4	2				
POL102			政治学B	1～4	2				
GGR101			地理学A	1～4	2				
GGR102			地理学B	1～4	2				
PSY101			心理学A	1～4	2				
PSY102			心理学B	1～4	2				
自然科学			選択	MAT101	自然の数理A	1～4	2		
	MAT102	自然の数理B		1～4	2				
	PHY101	生活と物理A		1～4	2				
	PHY102	生活と物理B		1～4	2				
	ENE101	エネルギーの科学A		1～4	2				
	ENE102	エネルギーの科学B		1～4	2				
	BSC101	物質の科学A		1～4	2				
	BSC102	物質の科学B		1～4	2				
	ENV101	環境の科学A		1～4	2				
	ENV102	環境の科学B		1～4	2				
	EAP101	地球の科学A		1～4	2				
	EAP102	地球の科学B		1～4	2				
	BAB101	生物学A		1～4	2				
	BAB102	生物学B		1～4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基礎教育科目 24	学問の基礎	自然科学 選択	AST101	天文学A	1～4	2	
			AST102	天文学B	1～4	2	
			SCE101	自然科学概論A	1～4	2	
			SCE102	自然科学概論B	1～4	2	
			CAS101	自然誌A	1～4	2	
			CAS102	自然誌B	1～4	2	
			PHY103	物理学実験講義A	1～4	2	
			PHY104	物理学実験講義B	1～4	2	
			BAB103	生物学実験講義A	1～4	2	
			BAB104	生物学実験講義B	1～4	2	
			BSC103	化学実験講義A	1～4	2	
			BSC104	化学実験講義B	1～4	2	
			EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2	
			EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2	
	SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2			
	SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2			
	AST103	天文学実習講義A	1～4	2			
	AST104	天文学実習講義B	1～4	2			
	国際人の形成	世界の伝統と文化 選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2	
			ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2	
			ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2	
			ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2	
			ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2	
			ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2	
INR103			国際教育論A	1～4	2		
INR104			国際教育論B	1～4	2		
JLT101			百人一首の文化史A	1～4	2		
JLT102			百人一首の文化史B	1～4	2		
JLT103			日本の昔話A	1～4	2		
JLT104			日本の昔話B	1～4	2		
JLT105			日本文学文化と風土A	1～4	2		
JLT106			日本文学文化と風土B	1～4	2		
JLT107			日本の詩歌A	1～4	2		
JLT108			日本の詩歌B	1～4	2		
JPH101			地域史(日本)A	1～4	2		
JPH102			地域史(日本)B	1～4	2		
HAA101		地域史(東洋)A	1～4	2			
HAA102		地域史(東洋)B	1～4	2			
HEA101		地域史(西洋)A	1～4	2			
HEA102		地域史(西洋)B	1～4	2			
GGR301		国際比較論A	1～4	2			
GGR302		国際比較論B	1～4	2			
IHR117		国際関係入門	1～4	2			
TOS101		地域と生活	1～4	2			
グローバル社会の実際 選択		IHR116	異文化理解概論	1～4	2		
		IHR103	留学のすすめ	1～4	2		
		IHR104	海外研修Ⅰ	1～4	2		
		IHR105	海外研修Ⅱ	1～4	2		
	IHR106	海外実習Ⅰ	1～4	2			
	IHR107	海外実習Ⅱ	1～4	2			
	IHR108	短期海外研修Ⅰ	1～4	1			
	IHR109	短期海外研修Ⅱ	1～4	1			
	IHR110	短期海外研修Ⅲ	1～4	1			
	IHR111	短期海外研修Ⅳ	1～4	1			
	IHR112	短期海外実習Ⅰ	1～4	1			
	IHR113	短期海外実習Ⅱ	1～4	1			
語学 必修 4	ENG125	カレント・イングリッシュⅠA	1	1	4科目必修		
	ENG126	カレント・イングリッシュⅠB	1	1			
	ENG227	カレント・イングリッシュⅡA	2	1			
	ENG228	カレント・イングリッシュⅡB	2	1			

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
基盤教育科目 24	国際人の形成	語学	選択必修 6	ENG127	英語ⅠA	1	1	6言語（母語を除く）から1言語を選択【6科目6単位必修】
				ENG128	英語ⅠB	1	1	
				ENG129	英語ⅡA	1	1	
				ENG130	英語ⅡB	1	1	
				ENG229	英語ⅢA	2	1	
				ENG230	英語ⅢB	2	1	
				GER115	ドイツ語ⅠA	1	1	
				GER116	ドイツ語ⅠB	1	1	
				GER117	ドイツ語ⅡA	1	1	
				GER118	ドイツ語ⅡB	1	1	
				GER217	ドイツ語ⅢA	2	1	
				GER218	ドイツ語ⅢB	2	1	
				FRA117	フランス語ⅠA	1	1	
				FRA118	フランス語ⅠB	1	1	
				FRA119	フランス語ⅡA	1	1	
				FRA120	フランス語ⅡB	1	1	
				FRA215	フランス語ⅢA	2	1	
				FRA216	フランス語ⅢB	2	1	
				CHI117	中国語ⅠA	1	1	
				CHI118	中国語ⅠB	1	1	
				CHI119	中国語ⅡA	1	1	
				CHI120	中国語ⅡB	1	1	
				CHI221	中国語ⅢA	2	1	
				CHI222	中国語ⅢB	2	1	
				KOR103	ハンガールⅠA	1	1	
				KOR104	ハンガールⅠB	1	1	
				KOR105	ハンガールⅡA	1	1	
				KOR106	ハンガールⅡB	1	1	
				KOR201	ハンガールⅢA	2	1	
				KOR202	ハンガールⅢB	2	1	
			JPN125	日本語ⅠA（留学生用）	1	1		
			JPN126	日本語ⅠB（留学生用）	1	1		
			JPN127	日本語ⅡA（留学生用）	1	1		
			JPN128	日本語ⅡB（留学生用）	1	1		
			JPN210	日本語ⅢA（留学生用）	2	1		
			JPN211	日本語ⅢB（留学生用）	2	1		
			選択	ENG319	カレント・イングリッシュⅢA	3～4	1	
				ENG320	カレント・イングリッシュⅢB	3～4	1	
				GER307	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A	3～4	2	
				GER308	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B	3～4	2	
				FRA307	フランス語およびフランス語圏社会事情A	3～4	2	
				FRA308	フランス語およびフランス語圏社会事情B	3～4	2	
				CHI309	中国語および中国語圏社会事情A	3～4	2	
				CHI310	中国語および中国語圏社会事情B	3～4	2	
				KOR301	ハンガールおよびハンガール圏社会事情A	3～4	2	
				KOR302	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B	3～4	2	
				ENG147	Business English Communication	1～4	2	
ENG145	テクニカルライティング	1～4		2				
ENG146	アカデミックライティング	1～4		2				
ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4		2	※留学支援科目 LEAP Program p.191			
ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4		2				
ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4		2				
ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4		2				
ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4		2				
ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4		1				
JPN129	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1～4		2	※留学生対象科目 （外国人留学生のみ履修可）			
JPN130	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1～4	2					
JPN131	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ	1～4	2					
HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2					
HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2					
JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2					
JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2					
SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2					
SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2					
IHR118	日本の文化と社会	1～4	2					

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
国際人の形成	語学	選択	JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)
			JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1	
			JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1	
			JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1	
			JPN212	応用日本語	2～4	1	
			JPN207	日本語と日本社会A	2～4	2	
	JPN208	日本語と日本社会B	2～4	2			
	キャリア・市民形成	選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
			CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
			CME102	流通入門	1～4	2	
			ACC101	基礎会計学	1～4	2	
			ACC102	企業会計	1～4	2	
			THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
			THI102	情報倫理	1～4	2	
			THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
			CIV102	インターンシップ入門	1～4	2	
			CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2	
			CIV201	公務員論	1～4	2	
			EPS101	地球環境論	1～4	2	
			PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
			PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
			CIV101	キャリアデザイン入門	1	2	
			CIV104	コミュニケーション&マナー入門	1	2	
			CIV202	キャリアデザイン実践	2	2	
			CIV203	コミュニケーション&マナー実践	2	2	
			CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2	
			CIV238	ファシリテーション概論	2～4	2	
	健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
			HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
			HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
			HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
			HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
			HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
			HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1	
			HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1	
			HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
			HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
			HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
	HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2			
	総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2	
			TYS108	全学総合B	1～4	2	
			TYS109	全学総合C	1～4	2	
TYS105			総合A	1～4	2		
TYS106			総合B	1～4	2		
STS105			全学総合D	1～4	2		
INI101			全学総合E	1～4	2		
ITS112			全学総合F	1～4	2		
ITS113			全学総合G	1～4	2		
ITS114			全学総合H	1～4	2		
ITS115			全学総合I	1～4	2		
ITS116			全学総合J	1～4	2		
ITS117			全学総合K	1～4	2		
ITS118			全学総合L	1～4	2		
ITS119			全学総合M	1～4	2		
ITS101			総合C	1～4	2		
ITS102			総合D	1～4	2		
ITS103			総合E	1～4	2		
ITS104			総合F	1～4	2		
ITS105			総合G	1～4	2		
ITS106			総合H	1～4	2		
ITS107			総合I	1～4	2		
ITS108			総合J	1～4	2		
ITS109	総合K	1～4	2				
ITS110	総合L	1～4	2				
ITS111	総合M	1～4	2				

基盤教育科目
24

◆◆メディアコミュニケーション学科専門教育科目 課程表◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
専門教育科目 84					
学科専門科目 54					
必修 20	SEM118	メディアコミュニケーション学基礎演習A	1	2	
	SEM119	メディアコミュニケーション学基礎演習B	1	2	
	LIH116	情報学基礎論A	1	2	
	SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1	2	
	SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1	2	
	SEM220	メディアコミュニケーション学演習ⅠA	2	2	
	SEM221	メディアコミュニケーション学演習ⅠB	2	2	
	CIV115	メディア・キャリア論	2	2	
	SEM321	メディアコミュニケーション学演習ⅡA	3	2	
	SEM322	メディアコミュニケーション学演習ⅡB	3	2	
選択必修 34	LIH117	情報学基礎論B	1～4	2	
	LIH118	情報メディア史A	1～4	2	
	LIH119	情報メディア史B	1～4	2	
	LIH122	情報メディア論	1～4	2	
	LIH120	情報と言語	1～4	2	
	LIH121	情報数理	1～4	2	
	LIH209	人間-機械コミュニケーション論	1～4	2	
	SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
	SOC119	大衆文化論	1～4	2	
	SOC122	消費情報論	1～4	2	
	SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2	
	SOC126	メディア研究のためのデータ分析	1～4	2	
	SOC120	コミュニケーション論	1～4	2	
	SOC121	多文化コミュニケーション論	1～4	2	
	SOC238	情報倫理概論	1～4	2	
	SOC226	情報組織化論	2～4	2	
	LIH206	情報分析論	2～4	2	
	LIH205	情報モデリング論	2～4	2	
	LIH207	計量情報学	2～4	2	
	LIH212	ウェブ情報サービス論	2～4	2	
	SOC222	身体コミュニケーション論	2～4	2	
	LIH208	知財・情報法制論	2～4	2	
	LIH210	社会情報システム論	2～4	2	
	SOC235	新聞メディア論	2～4	2	
	SOC229	放送メディア論	2～4	2	
	SOC227	マスコミ倫理・法制論	2～4	2	
	SOC223	世論	2～4	2	
	SOC224	ジャーナリズム論	2～4	2	
	SOC228	雑誌出版論	2～4	2	
	SOC225	広告論	2～4	2	
	SOC231	PR論	2～4	2	
	SOC232	災害情報論	2～4	2	
	SOC239	ソーシャルメディア論	2～4	2	
	SOC230	環境メディア論	2～4	2	
SOC240	デジタル化と社会	2～4	2		
SOC123	データベース論および実習	2～4	2		
LIH211	情報ネットワーク論および実習	2～4	2		
LIH213	プログラミング論および実習	2～4	2		
SOC233	マスコミ文章作法A	2～4	2		
SOC234	マスコミ文章作法B	2～4	2		
SOC236	映像メディア制作A	2～4	4		
SOC237	映像メディア制作B	2～4	4		
SOC127	メディアコミュニケーション学特講A	1～4	2		
SOC128	メディアコミュニケーション学特講B	1～4	2		
SOC241	メディアコミュニケーション学特講C	2～4	2		
SOC242	メディアコミュニケーション学特講D	2～4	2		
SOC243	メディアコミュニケーション学特講E	2～4	2		

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
学科専門科目	選択必修	SOC244	メディアコミュニケーション学特講 F	2～4	2	
		SOC245	メディアコミュニケーション学特講 G	2～4	2	
54	34	SOC246	メディアコミュニケーション学特講 H	2～4	2	
		SEM415	メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A	4	2	
選択	34	SEM416	メディアコミュニケーション学演習Ⅲ B	4	2	
		THE441	卒業論文準備(卒業研究準備)	4	2	
		THE442	卒業論文(卒業研究)	4	6	
学部共通科目 26						
必修	12	SOC110	社会学概論 A	1	2	
		SOC111	社会学概論 B	1	2	
選択必修①	2	SOC108	社会調査入門 A	1	2	
		SOC109	社会調査入門 B	1	2	
		SOC326	社会調査および実習 A	2	2	
		SOC327	社会調査および実習 B	2	2	
		STS101	統計情報処理および実習 I	1	2	※ 1 科目 2 単位以上 選択必修
		WIS102	ウェブ情報処理およびプログラミング I	1	2	
選択必修②	12	SOC207	家族社会学	1～4	2	
		SOC208	地域社会学	1～4	2	
		SOC210	環境社会学	1～4	2	
		SOC211	労働社会学	1～4	2	
		SOE202	教育社会学	1～4	2	
		SOC212	政治社会学	1～4	2	
		SOC213	国際社会学	1～4	2	
		SOC320	Global Sociology	1～4	2	
		GGR203	現在の風土と人間・社会	1～4	2	
		GGR204	風土の変遷と人間・社会	1～4	2	
		SOC321	理論社会学	1～4	2	
		SOC214	都市社会学	1～4	2	
		SOC215	犯罪社会学	1～4	2	
		SOC217	福祉社会学	1～4	2	
		SOC218	非営利活動論	1～4	2	
		SOC203	社会学史 A	2～4	2	
		SOC204	社会学史 B	2～4	2	
		STS203	社会統計学 I	2～4	2	
		STS301	社会統計学 II	2～4	2	
		SOC206	質的調査法 I	2～4	2	
		CUA107	文化人類学	1～4	2	
		CUA108	現代人類学	1～4	2	
		SOC132	グローバル化の社会学	1～4	2	
		SOC133	共生社会学	1～4	2	
		ARS209	日本社会文化論 A	1～4	2	
		ARS305	日本社会文化論 B	1～4	2	
		SOC331	内なる国際化	2～4	2	
		SOC333	いのちの社会学	2～4	2	
		SOC248	ジェンダー文化論 A	2～4	2	
		SOC250	多文化共生論	2～4	2	
		SOC335	Multiculturalism in a Globalising World	2～4	2	
		SOC251	グローバル化と現代社会	2～4	2	
		SOC336	市民社会論	2～4	2	
		SOC252	文化社会学 A	2～4	2	
		SOC254	宗教社会学 A	2～4	2	
		SEM226	国際社会プロジェクト演習 I A	2	2	
		SEM227	国際社会プロジェクト演習 I B	2	2	
		SEM325	国際社会プロジェクト演習 II A	3～4	2	
		SEM326	国際社会プロジェクト演習 II B	3～4	2	
		SWS116	社会福祉の原理と政策 A	1～4	2	
		SWS117	社会福祉の原理と政策 B	1～4	2	
		SWS121	社会福祉発達史	1～4	2	
		SWS122	欧米の社会福祉史	1～4	2	
		SWS123	児童・家庭福祉	1～4	2	
		SWS111	ケアマネジメント論	1～4	2	
		SWS113	バリアフリー論	1～4	2	
		SWS115	居住福祉論	1～4	2	

専門教育科目
84

学部共通科目
26

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 84	学部共通科目 26	選択必修② 12	SOP101	社会心理学概論A	1～4	2	
			SOP102	社会心理学概論B	1～4	2	
			CLI201	健康心理学	1～4	2	
			CLI202	健康社会心理学	1～4	2	
			EXP203	知覚・認知心理学	1～4	2	
			EXP204	認知社会心理学	1～4	2	
			SOP202	対人関係心理学A	1～4	2	
			SOP203	対人関係心理学B	1～4	2	
			SOP206	産業・組織心理学	1～4	2	
			CLI203	臨床心理学概論	1～4	2	
			SOP205	人間関係論	1～4	2	
			LIP202	人体の構造と機能及び疾病	1～4	2	
			EDP207	教育・学校心理学	1～4	2	
			PSY204	キャリア心理学	2～4	2	
			CLI205	司法・犯罪心理学	2～4	2	
			CLI206	犯罪・社会心理学	2～4	2	
			SOP307	社会・集団・家族心理学	2～4	2	
			PSY303	障害者・障害児心理学	3～4	2	
			PSY304	福祉心理学	3～4	2	
			CIV215	ライフキャリア論	1～4	2	
			POL209	政治学原論A	1～4	2	
			POL210	政治学原論B	1～4	2	
			STS102	統計情報処理および実習Ⅱ	1～4	2	
			WIS103	ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ	1～4	2	
			STS201	統計情報処理および実習Ⅲ	2～4	2	
			STS202	統計情報処理および実習Ⅳ	2～4	2	
			WIS203	ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ	2～4	2	
			WIS204	ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ	2～4	2	
			SUS301	国際文化事情A	1～4	2	
			SUS302	国際文化事情B	1～4	2	
			SUS303	国際文化事情C	1～4	2	
			SUS304	国際文化事情D	1～4	2	
			SUS305	国際文化事情E	1～4	2	
			SUS306	国際文化事情F	1～4	2	

◆メディアコミュニケーション学科基盤教育科目 授業科目一覧◆

教育目標と基本方針(メディアコミュニケーション学科)

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
哲学・思想(2)	学問の基礎	哲学A (2)	哲学B (2)	哲学史A (2)	哲学史B (2)	
		倫理学基礎論A (2)	倫理学基礎論B (2)	応用倫理学A (2)	応用倫理学B (2)	
		科学思想史A (2)	科学思想史B (2)	宗教学ⅠA (2)	宗教学ⅠB (2)	
		宗教学ⅡA (2)	宗教学ⅡB (2)	地球倫理A (2)	地球倫理B (2)	
		論理学A (2)	論理学B (2)	東洋思想 (2)		
		美術史A (2)	美術史B (2)	音楽学A (2)	音楽学B (2)	
		歴史の諸問題A (2)	歴史の諸問題B (2)	西欧文学A (2)	西欧文学B (2)	
		現代日本文学A (2)	現代日本文学B (2)	アジアの文学 (2)	アジアの古典 (2)	
		経済学A (2)	経済学B (2)	統計学A (2)	統計学B (2)	
		経営学A (2)	経営学B (2)	政治学A (2)	政治学B (2)	
社会科学	学問の基礎	法学A (2)	法学B (2)	心理学A (2)	心理学B (2)	
		地理学A (2)	地理学B (2)			
		自然の数理A (2)	自然の数理B (2)	生活と物理A (2)	生活と物理B (2)	
		エネルギーの科学A (2)	エネルギーの科学B (2)	物質の科学A (2)	物質の科学B (2)	
		環境の科学A (2)	環境の科学B (2)	地球の科学A (2)	地球の科学B (2)	
		生物学A (2)	生物学B (2)	天文学A (2)	天文学B (2)	
		自然科学概論A (2)	自然科学概論B (2)	自然誌A (2)	自然誌B (2)	
		物理学実験講義A (2)	物理学実験講義B (2)	生物学実験講義A (2)	生物学実験講義B (2)	
		化学実験講義A (2)	化学実験講義B (2)	地球科学実験講義A (2)	地球科学実験講義B (2)	
		数理・情報実習講義A (2)	数理・情報実習講義B (2)	天文学実習講義A (2)	天文学実習講義B (2)	
世界の伝統と文化	学問の基礎	地域文化研究ⅠA (2)	地域文化研究ⅠB (2)	地域文化研究ⅡA (2)	地域文化研究ⅡB (2)	
		地域文化研究ⅡA (2)	地域文化研究ⅡB (2)	国際教育論A (2)	国際教育論B (2)	
		百人一首の文化史A (2)	百人一首の文化史B (2)	日本の昔話A (2)	日本の昔話B (2)	
		日本文学文化と風土A (2)	日本文学文化と風土B (2)	日本の詩歌A (2)	日本の詩歌B (2)	
		地域史(日本)A (2)	地域史(日本)B (2)	地域史(東洋)A (2)	地域史(東洋)B (2)	
		地域史(西洋)A (2)	地域史(西洋)B (2)	国際比較論A (2)	国際比較論B (2)	
		国際関係入門 (2)	地域と生活 (2)			
		異文化理解概論 (2)	留学のすすめ (2)			
		海外研修Ⅰ (2)	海外研修Ⅱ (2)	海外実習Ⅰ (2)	海外実習Ⅱ (2)	
		短期海外研修Ⅰ (1)	短期海外研修Ⅱ (1)	短期海外研修Ⅲ (1)	短期海外研修Ⅳ (1)	
短期海外実習Ⅰ (1)	短期海外実習Ⅱ (1)	短期海外実習Ⅲ (1)	短期海外実習Ⅳ (1)			
グローバル社会の実際	学問の基礎	カレント・イングリッシュⅠA (1)	カレント・イングリッシュⅡA (1)			
		カレント・イングリッシュⅠB (1)	カレント・イングリッシュⅡB (1)			
		英語ⅠA (1)	英語ⅡA (1)			
		英語ⅠB (1)	英語ⅡB (1)			
		英語ⅡA (1)				
		英語ⅡB (1)				
		ドイツ語ⅠA (1)	ドイツ語ⅡA (1)			
		ドイツ語ⅠB (1)	ドイツ語ⅡB (1)			
		ドイツ語ⅡA (1)				
		ドイツ語ⅡB (1)				
外国語科目	学問の基礎	フランス語ⅠA (1)	フランス語ⅡA (1)			
		フランス語ⅠB (1)	フランス語ⅡB (1)			
		フランス語ⅡA (1)				
		フランス語ⅡB (1)				
		中国語ⅠA (1)	中国語ⅡA (1)			
		中国語ⅠB (1)	中国語ⅡB (1)			
		中国語ⅡA (1)				
		中国語ⅡB (1)				
		ハンガールⅠA (1)	ハンガールⅡA (1)			
		ハンガールⅠB (1)	ハンガールⅡB (1)			
語学	学問の基礎	ハンガールⅡA (1)				
		ハンガールⅡB (1)				
		日本語ⅠA(留学生用) (1)	日本語ⅡA(留学生用) (1)			
		日本語ⅠB(留学生用) (1)	日本語ⅡB(留学生用) (1)			
		日本語ⅡA(留学生用) (1)				
		日本語ⅡB(留学生用) (1)				
		(6言語(母語を除く)から1言語を選択) 【6科目6単位必修】				
		カレント・イングリッシュⅢA (1)	カレント・イングリッシュⅢB (1)			
		ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A (2)	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B (2)			
		フランス語およびフランス語圏社会事情A (2)	フランス語およびフランス語圏社会事情B (2)			
中国語および中国語圏社会事情A (2)	中国語および中国語圏社会事情B (2)					
ハンガールおよびハンガール圏社会事情A (2)	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B (2)					
Business English Communication (2)	テクニカルライティング (2)	アカデミックライティング (2)				
IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing (2)	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing (2)			
Pre-Study Abroad: Listening/Speaking (2)	Pre-Study Abroad: Writing (1)					
ビジネス日本語と日本文化Ⅰ (2)	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ (2)	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ (2)				
日本事情ⅠA (2)	日本事情ⅠB (2)	日本事情ⅡA (2)	日本事情ⅡB (2)			
日本事情ⅢA (2)	日本事情ⅢB (2)	日本の文化と社会 (2)				
日本語アカデミックライティングⅠ (1)	日本語アカデミックライティングⅡ (1)	日本語アカデミックライティングⅢ (1)	日本語アカデミックライティングⅣ (1)			
	応用日本語 (1)	日本語と日本社会A (2)	日本語と日本社会B (2)			
キャリア・市民形成	学問の基礎	日本国憲法 (2)	ベーシック・マーケティング (2)	流通入門 (2)	基礎会計学 (2)	
		企業会計 (2)	情報化社会と人間 (2)	情報倫理 (2)	コンピュータ・リテラシー (2)	
		インターシップ入門 (2)	社会貢献活動入門 (2)	公務員論 (2)	地球環境論 (2)	
		ロジカルシンキング入門 (2)	クリティカルシンキング入門 (2)			
		キャリアデザイン入門 (2)	キャリアデザイン実践 (2)	キャリアデベロップメント (2)		
		コミュニケーション&マナー入門 (2)	コミュニケーション&マナー実践 (2)			
			ファシリテーション概論 (2)			
		スポーツ健康科学実技ⅠA (1)	スポーツ健康科学実技ⅠB (1)	スポーツ健康科学実技ⅡA (1)	スポーツ健康科学実技ⅡB (1)	
		スポーツ健康科学実技ⅡA (1)	スポーツ健康科学実技ⅡB (1)	スポーツ健康科学実技ⅣA (1)	スポーツ健康科学実技ⅣB (1)	
		スポーツ健康科学講義Ⅰ (2)	スポーツ健康科学講義ⅡA (2)	スポーツ健康科学講義ⅡB (2)	スポーツ健康科学演習Ⅰ (2)	
全学総合A (2)	全学総合B (2)	全学総合C (2)				
総合A (2)	総合B (2)					
全学総合D (2)	全学総合E (2)					
全学総合F (2)	全学総合G (2)	全学総合H (2)	全学総合I (2)			
全学総合J (2)	全学総合K (2)	全学総合L (2)	全学総合M (2)			
総合C (2)	総合D (2)	総合E (2)	総合F (2)			
総合G (2)	総合H (2)	総合I (2)	総合J (2)			
総合K (2)	総合L (2)	総合M (2)				

◆◆メディアコミュニケーション学科専門教育科目 授業科目一覧◆◆

区分	1学年	2学年	3学年	4学年		
学科専門科目 ④	必修科目 ②	メディアコミュニケーション学基礎演習A (2) メディアコミュニケーション学基礎演習B (2) 情報学基礎論A (2) マス・コミュニケーション学基礎論A (2) 社会情報学基礎論A(メディアと社会) (2)	メディアコミュニケーション学演習I A (2) メディアコミュニケーション学演習I B (2) メディア・キャリア論 (2)	メディアコミュニケーション学演習II A (2) メディアコミュニケーション学演習II B (2)		
	選択必修 ④	情報学基礎論B (2) 情報と言語 (2) マス・コミュニケーション学基礎論B (2) 社会情報学基礎論B(インターネットと社会) (2) コミュニケーション論 (2)	情報メディア史A (2) 情報数理 (2) 大衆文化論 (2) メディア研究のためのデータ分析 (2) 多文化コミュニケーション論 (2)	情報メディア史B (2) 人間-機械コミュニケーション論 (2) 消費情報論 (2) 情報倫理概論 (2)	情報メディア論 (2)	
		情報組織化論 (2) 計量情報学 (2) 知財・情報法制論 (2) 新聞メディア論 (2) 世論 (2) 広告論 (2) 災害情報論 (2) 環境メディア論 (2) データベース論および実習 (2) マスコミ文章作法A (2) 映像メディア制作A (4)	情報分析論 (2) ウェブ情報サービス論 (2) 社会情報システム論 (2) 放送メディア論 (2) ジャーナリズム論 (2) PR論 (2) ソーシャルメディア論 (2) デジタル化と社会 (2) 情報ネットワーク論および実習 (2) マスコミ文章作法B (2) 映像メディア制作B (4)	情報モデリング論 (2) 身体コミュニケーション論 (2) マスコミ倫理・法制論 (2) 雑誌出版論 (2)	情報モデリング論 (2) 身体コミュニケーション論 (2) マスコミ倫理・法制論 (2) 雑誌出版論 (2)	
		メディアコミュニケーション学特講A (2)	メディアコミュニケーション学特講B (2)			
			メディアコミュニケーション学特講C (2) メディアコミュニケーション学特講F (2)	メディアコミュニケーション学特講D (2) メディアコミュニケーション学特講G (2)	メディアコミュニケーション学特講E (2) メディアコミュニケーション学特講H (2)	
					メディアコミュニケーション学演習II A (2) メディアコミュニケーション学演習II B (2)	
		選択科目			卒業論文準備(卒業研究準備) (2) 卒業論文(卒業研究) (6)	
		学部 共通 科目 ⑥	必修科目 ①②	社会学概論A (2) 社会学概論B (2) 社会調査入門A (2) 社会調査入門B (2)	社会調査および実習A (2) 社会調査および実習B (2)	
			選択必修科目① (2)	統計情報処理および実習I (2) ウェブ情報処理およびプログラミングI (2)		
			選択必修科目② ①②	家族社会学 (2) 教育社会学 (2) 現在の風土と人間・社会 (2) 犯罪社会学 (2)	地域社会学 (2) 政治社会学 (2) 風土の変遷と人間・社会 (2) 福祉社会学 (2)	環境社会学 (2) 国際社会学 (2) 理論社会学 (2) 非営利活動論 (2)
	社会学史A (2) 社会統計学I (2)			社会学史B (2) 社会統計学II (2)	質的調査法I (2)	
文化人類学 (2) 日本社会文化論A (2)	現代人類学 (2) 日本社会文化論B (2)			グローバル化の社会学 (2)	共生社会学 (2)	
	内なる国際化 (2) 多文化共生論 (2) 市民社会学 (2)			いのちの社会学 (2) Multiculturalism in a Globalising World (2) 文化社会学A (2)	ジェンダー文化論A (2) グローバル化と現代社会 (2) 宗教社会学A (2)	
	国際社会プロジェクト演習I A (2) 国際社会プロジェクト演習I B (2)			国際社会プロジェクト演習II A (2)	国際社会プロジェクト演習II B (2)	
社会福祉の原理と政策A (2) 児童・家庭福祉 (2) 社会心理学概論A (2) 知覚・認知心理学 (2) 産業・組織心理学 (2) 教育・学校心理学 (2)	社会福祉の原理と政策B (2) ケアマネジメント論 (2) 社会心理学概論B (2) 認知社会心理学 (2) 臨床心理学概論 (2)			社会福祉発達史 (2) バリアフリー論 (2) 健康心理学 (2) 対人関係心理学A (2) 人間関係論 (2)	欧米の社会福祉史 (2) 居住福祉論 (2) 健康社会心理学 (2) 対人関係心理学B (2) 人体の構造と機能及び疾病 (2)	
	キャリア心理学 (2) 社会・集団・家族心理学 (2)			司法・犯罪心理学 (2) 障害者・障害児心理学 (2)	犯罪・社会心理学 (2) 福祉心理学 (2)	
ライフキャリア論 (2) 統計情報処理および実習II (2)	政治学原論A (2) ウェブ情報処理およびプログラミングII (2)			政治学原論B (2)		
	統計情報処理および実習III (2) ウェブ情報処理およびプログラミングII (2)	統計情報処理および実習IV (2) ウェブ情報処理およびプログラミングIII (2)				
国際文化事情A (2) 国際文化事情E (2)	国際文化事情B (2) 国際文化事情F (2)	国際文化事情C (2)	国際文化事情D (2)			

◆社会心理学科◆

1 人材の養成に関する目的

「心の時代」といわれる現代社会の要請に応えるべく、「社会と深く関連した人間心理の探求」と「現代人の精神的安寧に寄与する人材の養成」を目的とする。社会や人間に関わる新しい課題に対して、心理学の知識や技能を活用し、解決、応用、展開できる実践力の基盤を備えた人材の育成を行う。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

「社会的存在としての人間」という理解に基づき、社会心理学や心理学のみならず、社会学部に属する利点を活かして心理学・社会学関連科目の基礎的な知見を学び、社会と人間との相互作用を科学的に分析する問題解決型の教育を行うことを目的とする。特に、実験・実習教育を通して、フィールドで学生がデータを取り、質的・統計的方法により分析し、報告書作成とプレゼンテーションをする実践的能力とともに、ものごとを理論的に捉え、思考することができる批判的思考力の獲得を目指す。また、4年間の学修の成果として、心理学に関わる資格取得や受験資格取得を可能にする。

社会心理学科のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

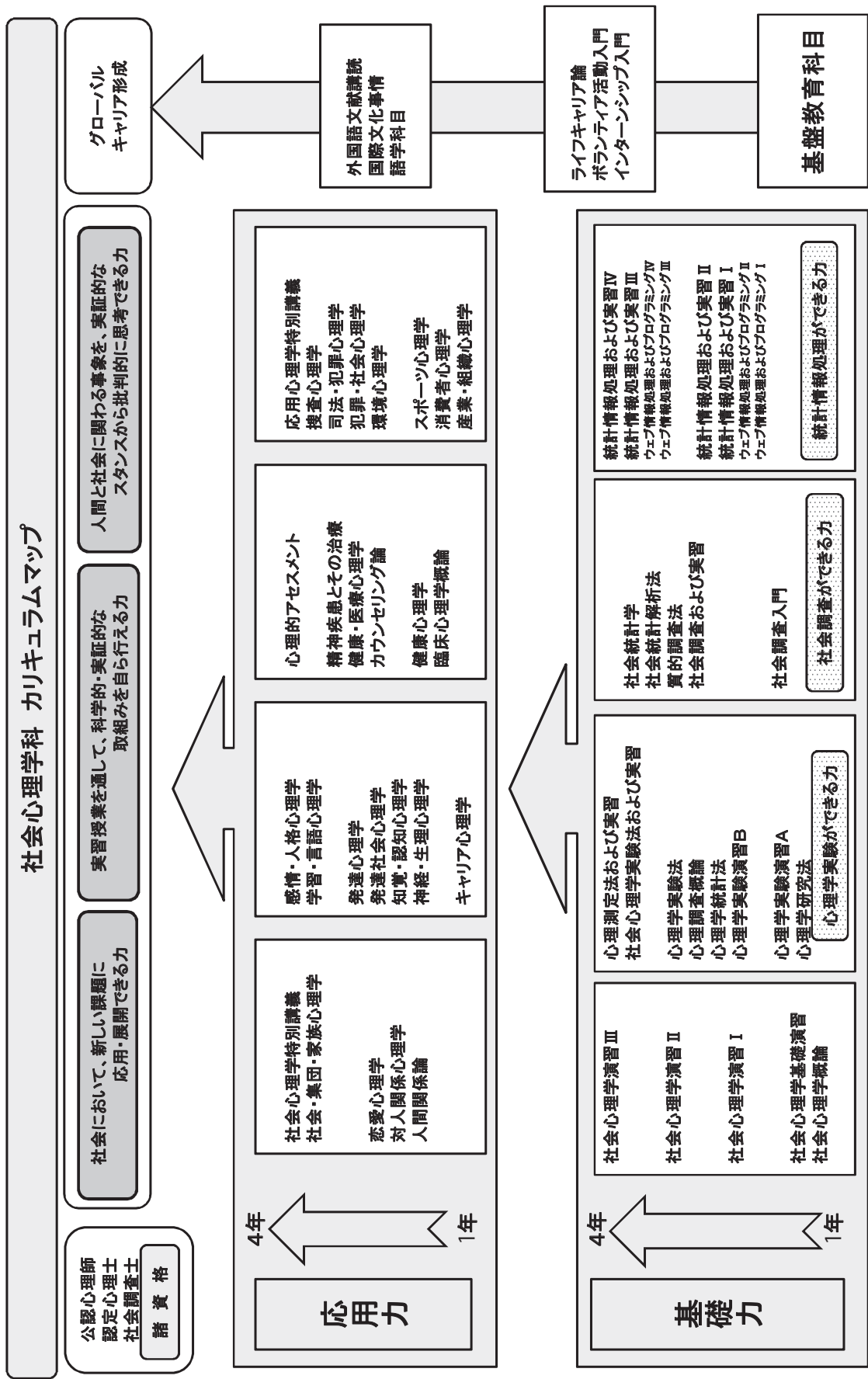
社会心理学科では、社会学部に設置されている利点を生かし、心理学的観点と社会学的観点の双方から人間と社会についての学修が可能であるように広く選択科目を設けている。具体的には以下のような方針を有する。

1. 人は社会的存在であるという考えのもと、個人の思考・感情過程に他者や社会が及ぼす影響、対人間の相互作用や他者に影響された行動、集団において生じる心理・行動など、広範な社会心理現象を取り上げつつ、認知、発達、神経、臨床、パーソナリティなどの心理学分野も学び、さらには、公認心理師の受験資格取得、認定心理士取得、社会調査士取得、心理学検定合格が可能となるカリキュラムを設定している。
2. 全学共通の教養の科目を通して大学生としての基礎力を培いながら、専門的な心理学に触れ、批判的思考力を磨く。また、国際力を鍛えるプログラムへの参加を通して、国内外の社会的な問題への感性を養い、実証的に解決する発想の基礎を形成することによって、キャリアを身につけることができるカリキュラムを用意して、国際通用性のある学士力を有する学生の育成に努める。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会心理学科では、社会心理学を中心とする心理学に関する下記の能力を備えた学生に学位を授与する。

1. 心理学の歴史的発展と現在に至るまでの進歩を体系的に理解し、学問的な理論や方法論に関する学びを続けるための態度を持っている。
2. 社会や人間に関わる事象を、心理学の視点から考察し、説明することができる。
3. 社会に生きる人間に関わる事象を、データをもとにした実証的、科学的な態度から検証するために必要な知識と技能の基礎を習得している。
4. 人間の生きる社会について、実証的、論理的な考え方を身につけ、多様な観点で捉える方法の基礎を習得している。
5. 社会や人間に関わる新しい課題に対して、心理学の知識と技能の基礎を活用して、解決、応用、展開できる実践力の基盤を備えている。



◆◆カリキュラムの概要◆◆

社会心理学科では、「社会的存在」としての人間のこころのはたらき、法則について実証的に研究する方法と、その成果について学ぶことを目標とします。

したがって、カリキュラムについても、科学的な目で現象を見つめ、データを収集し、分析し、理論として体系化する過程を自ら体験することを重視した編成になっています。

◆◆履修上の留意事項◆◆

< 1 年次 >

社会心理学を学ぶにあたっての基礎を身につけるために、「社会心理学概論 A・B」「社会心理学基礎演習」「心理学実験演習 A」「心理学概論」「心理学研究法」が学科必修科目として、「社会調査入門 A・B」が学部必修科目として置かれています。

また、社会学部生として、社会学的な視野も獲得できるよう、「社会学概論 A・B」が 1 年次の必修科目となっています。

< 2 年次 >

「心理学実験法」「心理学実験演習 B」が必修科目として置かれ、心理学における実験や測定についての方法論的理解を深めます。さらに、調査法の体験的な学習を発展させるために「社会調査および実習 A・B」が必修科目となっています。なお、この「社会調査および実習 A・B」は、これまでの方法論の学習に基づき、自ら実証的な研究を遂行するための授業と位置づけられています。

< 3 年次 >

3 年次以降の「社会心理学演習 II A・II B」は必修科目となっていますが、担当教員によってさまざまなテーマが設定され、履修者はコースを選択し、卒業論文につながるような発展的な研究の実施を目指します。問題の設定から研究計画の立案、実施、結果の分析、報告書作成までの一連の作業をこなすのは、決して楽なものではありませんが、完成したときの達成感は貴重な体験となります。

< 4 年次 >

「卒業論文」は選択科目ですが、大学での学修の集大成として、ぜひ取り組んでほしいと思います。なお、科学的な論文を作成することは決して容易なことではありません。社会心理学の基礎的な研究方法や内容を積極的に学び、自己の関心を磨き、4 年次になる前から準備を始め、指導教員と相談しながら計画的に進める必要があります。

< 情報関連科目 >

社会心理学の方法を身につけるためには、研究、学習の道具として、コンピュータの利用方法を学ぶことが不可欠です。コンピュータを用いた数量データの分析は社会心理学で最もよく使われる分析法ですので「統計情報処理および実習 I・II・III・IV」を積極的に履修してください。さらに、その分析の基本となる統計について理解を深めるために「心理統計法 A・B」「社会統計学」「社会統計解析法」の履修も勧めます。

◆卒業要件◆

社会心理学科を卒業するためには、下記の卒業要件を満たさなければなりません。p.38～p.39の【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業要件を確認してください。

- (1) 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124 単位以上を修得すること。
- (2) 専門教育科目において合計 84 単位以上を修得すること。
- (3) 学科専門科目
 - ①全体で 54 単位以上を修得すること。
 - ②必修を 26 単位修得すること。
 - ③選択必修 A から 6 単位以上、選択必修 B から 20 単位以上を修得すること。
- (4) 学部共通科目
 - ①全体で 26 単位以上修得すること。
 - ②必修を 12 単位修得すること。
 - ③選択必修①の【統計情報処理および実習 I】または【ウェブ情報処理およびプログラミング I】 2 科目のうち 1 科目 2 単位以上を必ず修得すること。
 - ④選択必修②を 12 単位以上を修得すること。
- (5) 基盤教育科目
 - ①全体で 24 単位以上を修得すること。
 - ②哲学・思想区分から 2 単位以上修得すること。
 - ③国際人の形成（語学）区分から、カレント・イングリッシュを 4 単位修得すること。
 - ④国際人の形成（語学）区分 6 言語【英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガル・日本語】から、1 言語 6 単位を修得すること（母語を除く）。

◆◆ 社会心理学科 基盤教育科目 課程表 ◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考			
基盤教育科目 24								
基盤教育科目 24	哲学・思想 2	選択	PHE101	哲学A	1～4	2		
		PHE102	哲学B	1～4	2			
		PHE103	哲学史A	1～4	2			
		PHE104	哲学史B	1～4	2			
		PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2			
		PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2			
		PHE107	応用倫理学A	1～4	2			
		PHE108	応用倫理学B	1～4	2			
		HIT101	科学思想史A	1～4	2			
		HIT102	科学思想史B	1～4	2			
		RES101	宗教学ⅠA	1～4	2			
		RES102	宗教学ⅠB	1～4	2			
		RES103	宗教学ⅡA	1～4	2			
		RES104	宗教学ⅡB	1～4	2			
		INR101	地球倫理A	1～4	2			
		INR102	地球倫理B	1～4	2			
		PHE109	論理学A	1～4	2			
		PHE110	論理学B	1～4	2			
		CIB101	東洋思想	1～4	2			
	人文科学	選択	FAH101	美術史A	1～4	2		
		FAH102	美術史B	1～4	2			
		ASA101	音楽学A	1～4	2			
		ASA102	音楽学B	1～4	2			
		HSG101	歴史の諸問題A	1～4	2			
		HSG102	歴史の諸問題B	1～4	2			
		EUL101	西欧文学A	1～4	2			
		EUL102	西欧文学B	1～4	2			
		JLT109	現代日本文学A	1～4	2			
		JLT110	現代日本文学B	1～4	2			
	LIG101	アジアの文学	1～4	2				
	LIG102	アジアの古典	1～4	2				
	学問の基礎	社会科学	選択	ECT101	経済学A	1～4	2	
			ECT102	経済学B	1～4	2		
			ECS101	統計学A	1～4	2		
			ECS102	統計学B	1～4	2		
			MAN101	経営学A	1～4	2		
			MAN102	経営学B	1～4	2		
			LAW101	法学A	1～4	2		
		LAW102	法学B	1～4	2			
POL101		政治学A	1～4	2				
POL102		政治学B	1～4	2				
GGR101		地理学A	1～4	2				
GGR102		地理学B	1～4	2				
PSY101		心理学A	1～4	2				
PSY102		心理学B	1～4	2				
自然科学	選択	MAT101	自然の数理A	1～4	2			
	MAT102	自然の数理B	1～4	2				
	PHY101	生活と物理A	1～4	2				
	PHY102	生活と物理B	1～4	2				
	ENE101	エネルギーの科学A	1～4	2				
	ENE102	エネルギーの科学B	1～4	2				
	BSC101	物質の科学A	1～4	2				
	BSC102	物質の科学B	1～4	2				
	ENV101	環境の科学A	1～4	2				
	ENV102	環境の科学B	1～4	2				
EAP101	地球の科学A	1～4	2					
EAP102	地球の科学B	1～4	2					
BAB101	生物学A	1～4	2					
BAB102	生物学B	1～4	2					

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基礎教育科目 24	学問の基礎	自然科学 選択	AST101	天文学A	1～4	2	
			AST102	天文学B	1～4	2	
			SCE101	自然科学概論A	1～4	2	
			SCE102	自然科学概論B	1～4	2	
			CAS101	自然誌A	1～4	2	
			CAS102	自然誌B	1～4	2	
			PHY103	物理学実験講義A	1～4	2	
			PHY104	物理学実験講義B	1～4	2	
			BAB103	生物学実験講義A	1～4	2	
			BAB104	生物学実験講義B	1～4	2	
			BSC103	化学実験講義A	1～4	2	
			BSC104	化学実験講義B	1～4	2	
			EAP103	地球科学実験講義A	1～4	2	
			EAP104	地球科学実験講義B	1～4	2	
	SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2			
	SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2			
	AST103	天文学実習講義A	1～4	2			
	AST104	天文学実習講義B	1～4	2			
	国際人の形成	世界の伝統と文化 選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2	
			ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2	
			ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2	
			ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2	
			ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2	
			ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2	
INR103			国際教育論A	1～4	2		
INR104			国際教育論B	1～4	2		
JLT101			百人一首の文化史A	1～4	2		
JLT102			百人一首の文化史B	1～4	2		
JLT103			日本の昔話A	1～4	2		
JLT104			日本の昔話B	1～4	2		
JLT105			日本文学文化と風土A	1～4	2		
JLT106			日本文学文化と風土B	1～4	2		
JLT107			日本の詩歌A	1～4	2		
JLT108			日本の詩歌B	1～4	2		
JPH101			地域史(日本)A	1～4	2		
JPH102			地域史(日本)B	1～4	2		
HAA101		地域史(東洋)A	1～4	2			
HAA102		地域史(東洋)B	1～4	2			
HEA101		地域史(西洋)A	1～4	2			
HEA102		地域史(西洋)B	1～4	2			
GGR301		国際比較論A	1～4	2			
GGR302		国際比較論B	1～4	2			
IHR117		国際関係入門	1～4	2			
TOS101		地域と生活	1～4	2			
グローバル社会の実際 選択		IHR116	異文化理解概論	1～4	2		
		IHR103	留学のすすめ	1～4	2		
		IHR104	海外研修Ⅰ	1～4	2		
		IHR105	海外研修Ⅱ	1～4	2		
	IHR106	海外実習Ⅰ	1～4	2			
	IHR107	海外実習Ⅱ	1～4	2			
	IHR108	短期海外研修Ⅰ	1～4	1			
	IHR109	短期海外研修Ⅱ	1～4	1			
	IHR110	短期海外研修Ⅲ	1～4	1			
	IHR111	短期海外研修Ⅳ	1～4	1			
	IHR112	短期海外実習Ⅰ	1～4	1			
	IHR113	短期海外実習Ⅱ	1～4	1			
IHR114	短期海外実習Ⅲ	1～4	1				
IHR115	短期海外実習Ⅳ	1～4	1				
語学 必修 4	ENG125	カレント・イングリッシュⅠA	1	1	4科目必修		
	ENG126	カレント・イングリッシュⅠB	1	1			
	ENG227	カレント・イングリッシュⅡA	2	1			
	ENG228	カレント・イングリッシュⅡB	2	1			

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
基盤教育科目 24	国際人の形成 語学	選択必修 6	ENG127	英語 I A	1	1	6言語（母語を除く）から1言語を選択【6科目6単位必修】
			ENG128	英語 I B	1	1	
			ENG129	英語 II A	1	1	
			ENG130	英語 II B	1	1	
			ENG229	英語 III A	2	1	
			ENG230	英語 III B	2	1	
			GER115	ドイツ語 I A	1	1	
			GER116	ドイツ語 I B	1	1	
			GER117	ドイツ語 II A	1	1	
			GER118	ドイツ語 II B	1	1	
			GER217	ドイツ語 III A	2	1	
			GER218	ドイツ語 III B	2	1	
			FRA117	フランス語 I A	1	1	
			FRA118	フランス語 I B	1	1	
			FRA119	フランス語 II A	1	1	
			FRA120	フランス語 II B	1	1	
			FRA215	フランス語 III A	2	1	
			FRA216	フランス語 III B	2	1	
			CHI117	中国語 I A	1	1	
			CHI118	中国語 I B	1	1	
			CHI119	中国語 II A	1	1	
			CHI120	中国語 II B	1	1	
			CHI221	中国語 III A	2	1	
			CHI222	中国語 III B	2	1	
			KOR103	ハンガール I A	1	1	
			KOR104	ハンガール I B	1	1	
			KOR105	ハンガール II A	1	1	
			KOR106	ハンガール II B	1	1	
			KOR201	ハンガール III A	2	1	
			KOR202	ハンガール III B	2	1	
		JPN125	日本語 I A (留学生用)	1	1		
		JPN126	日本語 I B (留学生用)	1	1		
		JPN127	日本語 II A (留学生用)	1	1		
		JPN128	日本語 II B (留学生用)	1	1		
		JPN210	日本語 III A (留学生用)	2	1		
		JPN211	日本語 III B (留学生用)	2	1		
		選択	ENG319	カレント・イングリッシュ III A	3～4	1	
			ENG320	カレント・イングリッシュ III B	3～4	1	
			GER307	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情 A	3～4	2	
			GER308	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情 B	3～4	2	
			FRA307	フランス語およびフランス語圏社会事情 A	3～4	2	
			FRA308	フランス語およびフランス語圏社会事情 B	3～4	2	
			CHI309	中国語および中国語圏社会事情 A	3～4	2	
			CHI310	中国語および中国語圏社会事情 B	3～4	2	
			KOR301	ハンガールおよびハンガール圏社会事情 A	3～4	2	
			KOR302	ハンガールおよびハンガール圏社会事情 B	3～4	2	
			ENG147	Business English Communication	1～4	2	
			ENG145	テクニカルライティング	1～4	2	
			ENG146	アカデミックライティング	1～4	2	
			ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	※留学支援科目 LEAP Program p.191
			ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2	
			ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2	
			ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2	
ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking		1～4	2			
ENG144	Pre-Study Abroad : Writing		1～4	1			
JPN129	ビジネス日本語と日本文化 I		1～4	2	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)		
JPN130	ビジネス日本語と日本文化 II	1～4	2				
JPN131	ビジネス日本語と日本文化 III	1～4	2				
HUG101	日本事情 I A	1～4	2				
HUG102	日本事情 I B	1～4	2				
JLN101	日本事情 II A	1～4	2				
JLN102	日本事情 II B	1～4	2				
SOC101	日本事情 III A	1～4	2				
SOC102	日本事情 III B	1～4	2				
IHR118	日本の文化と社会	1～4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
国際人の形成	語学	選択	JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)
			JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1	
			JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1	
			JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1	
			JPN212	応用日本語	2～4	1	
			JPN207	日本語と日本社会A	2～4	2	
			JPN208	日本語と日本社会B	2～4	2	
	キャリア・市民形成	選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
			CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
			CME102	流通入門	1～4	2	
			ACC101	基礎会計学	1～4	2	
			ACC102	企業会計	1～4	2	
			THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
			THI102	情報倫理	1～4	2	
			THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
			CIV102	インターンシップ入門	1～4	2	
			CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2	
			CIV201	公務員論	1～4	2	
			EPS101	地球環境論	1～4	2	
			PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
			PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
			CIV101	キャリアデザイン入門	1	2	
			CIV104	コミュニケーション&マナー入門	1	2	
			CIV202	キャリアデザイン実践	2	2	
			CIV203	コミュニケーション&マナー実践	2	2	
			CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2	
			CIV238	ファシリテーション概論	2～4	2	
	健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
			HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
			HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
			HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
			HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
			HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
			HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1	
			HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1	
			HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
			HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
			HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
	HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2			
	総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2	
			TYS108	全学総合B	1～4	2	
			TYS109	全学総合C	1～4	2	
			TYS105	総合A	1～4	2	
TYS106			総合B	1～4	2		
STS105			全学総合D	1～4	2		
INI101			全学総合E	1～4	2		
ITS112			全学総合F	1～4	2		
ITS113			全学総合G	1～4	2		
ITS114			全学総合H	1～4	2		
ITS115			全学総合I	1～4	2		
ITS116			全学総合J	1～4	2		
ITS117			全学総合K	1～4	2		
ITS118			全学総合L	1～4	2		
ITS119			全学総合M	1～4	2		
ITS101			総合C	1～4	2		
ITS102			総合D	1～4	2		
ITS103			総合E	1～4	2		
ITS104			総合F	1～4	2		
ITS105			総合G	1～4	2		
ITS106			総合H	1～4	2		
ITS107			総合I	1～4	2		
ITS108			総合J	1～4	2		
ITS109	総合K	1～4	2				
ITS110	総合L	1～4	2				
ITS111	総合M	1～4	2				

 基盤教育科目
24

◆◆ 社会心理学科専門教育科目 課程表 ◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
専門教育科目 84							
学科専門科目 54							
専門教育科目 84	学科専門科目 54	必修 26	PSY104	社会心理学基礎演習	1	2	
			EXP101	心理学実験演習A	1	2	
			SOP101	社会心理学概論A	1	2	
			SOP102	社会心理学概論B	1	2	
			PSY105	心理学概論	1	2	
			PSY106	心理学研究法	1	2	
			SOP201	社会心理学演習Ⅰ	2	2	
			EXP202	心理学実験法	2	2	
			EXP201	心理学実験演習B	2	2	
			SOP301	社会心理学演習ⅡA	3	2	
			SOP302	社会心理学演習ⅡB	3	2	
			SOP303	社会心理学演習ⅢA	3～4	2	
			SOP304	社会心理学演習ⅢB	3～4	2	
			選択必修A 6	SOP401	社会心理学特別講義	2～4	2
		PSY401		応用心理学特別講義	2～4	2	
		PSY202		心理学統計法	2～4	2	
		PSY203		心理学統計法応用	2～4	2	
		PSY301		外国語文献講読A	2～4	2	
		PSY302		外国語文献講読B	2～4	2	
		選択必修B 20	CLI201	健康心理学	1～4	2	
			CLI202	健康社会心理学	1～4	2	
			EXP203	知覚・認知心理学	1～4	2	
			EXP204	認知社会心理学	1～4	2	
			EXP205	神経・生理心理学基礎	1～4	2	
			EXP206	神経・生理心理学	1～4	2	
			SOP202	対人関係心理学A	1～4	2	
			SOP203	対人関係心理学B	1～4	2	
			EDP204	発達心理学	1～4	2	
			EDP205	発達社会心理学	1～4	2	
			SOP206	産業・組織心理学	1～4	2	
			SOP204	消費者心理学	1～4	2	
			CLI203	臨床心理学概論	1～4	2	
			PSY201	恋愛心理学	1～4	2	
			SOP205	人間関係論	1～4	2	
			LIP202	人体の構造と機能及び疾病	1～4	2	
			EDP207	教育・学校心理学	1～4	2	
LIP201	公認心理師の職責		1～4	2			
PSY204	キャリア心理学		2	2			
LIP203	関係行政論		2～4	2			
CLI204	心理学的支援法		2～4	2			
CLI205	司法・犯罪心理学		2～4	2			
CLI206	犯罪・社会心理学		2～4	2			
SOP305	捜査心理学		2～4	2			
SOP307	社会・集団・家族心理学		2～4	2			
EDP206	学習・言語心理学		2～4	2			
EXP301	感情・人格心理学		2～4	2			
CLI302	健康・医療心理学		2～4	2			
CLI401	精神疾患とその治療	2～4	2				
CLI301	心理的アセスメント	3～4	2				
PSY303	障害者・障害児心理学	3～4	2				
PSY304	福祉心理学	3～4	2				
選択	LIP301	心理演習	3	2			
	LIP401	心理実習	4	4			
	THE443	卒業論文	4	8			

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
学部共通科目 26					
必修 12	SOC110	社会学概論A	1	2	
	SOC111	社会学概論B	1	2	
選択必修① 2	SOC108	社会調査入門A	1	2	※1科目2単位以上 選択必修
	SOC109	社会調査入門B	1	2	
選択必修② 12	SOC328	社会調査および実習A	2	2	
	SOC329	社会調査および実習B	2	2	
選択必修② 12	STS101	統計情報処理および実習 I	1	2	※1科目2単位以上 選択必修
	WIS102	ウェブ情報処理およびプログラミング I	1	2	
学部共通科目 26	SOC207	家族社会学	1～4	2	
	SOC208	地域社会学	1～4	2	
	SOC210	環境社会学	1～4	2	
	SOC211	労働社会学	1～4	2	
	SOE202	教育社会学	1～4	2	
	SOC212	政治社会学	1～4	2	
	SOC213	国際社会学	1～4	2	
	SOC320	Global Sociology	1～4	2	
	GGR203	現在の風土と人間・社会	1～4	2	
	GGR204	風土の変遷と人間・社会	1～4	2	
	SOC321	理論社会学	1～4	2	
	SOC214	都市社会学	1～4	2	
	SOC215	犯罪社会学	1～4	2	
	SOC217	福祉社会学	1～4	2	
	SOC218	非営利活動論	1～4	2	
	SOC203	社会学史A	2～4	2	
	SOC204	社会学史B	2～4	2	
	STS203	社会統計学 I	2～4	2	
	STS301	社会統計学 II	2～4	2	
	SOC206	質的調査法 I	2～4	2	
	CUA107	文化人類学	1～4	2	
	CUA108	現代人類学	1～4	2	
	SOC132	グローバル化の社会学	1～4	2	
	SOC133	共生社会学	1～4	2	
	ARS209	日本社会文化論A	1～4	2	
	ARS305	日本社会文化論B	1～4	2	
	SOC331	内なる国際化	2～4	2	
	SOC333	いのちの社会学	2～4	2	
	SOC248	ジェンダー文化論A	2～4	2	
	SOC250	多文化共生論	2～4	2	
	SOC335	Multiculturalism in a Globalising World	2～4	2	
	SOC251	グローバル化と現代社会	2～4	2	
	SOC336	市民社会論	2～4	2	
	SOC252	文化社会学A	2～4	2	
	SOC254	宗教社会学A	2～4	2	
	SEM226	国際社会プロジェクト演習 I A	2	2	
	SEM227	国際社会プロジェクト演習 I B	2	2	
	SEM325	国際社会プロジェクト演習 II A	3～4	2	
	SEM326	国際社会プロジェクト演習 II B	3～4	2	
	SWS116	社会福祉の原理と政策A	1～4	2	
	SWS117	社会福祉の原理と政策B	1～4	2	
	SWS121	社会福祉発達史	1～4	2	
	SWS122	欧米の社会福祉史	1～4	2	
	SWS123	児童・家庭福祉	1～4	2	
	SWS111	ケアマネジメント論	1～4	2	
	SWS113	バリアフリー論	1～4	2	
SWS115	居住福祉論	1～4	2		
SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1～4	2		
SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2		
SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2		
SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2		
LIH116	情報学基礎論A	1～4	2		
LIH117	情報学基礎論B	1～4	2		
LIH118	情報メディア史A	1～4	2		

専門教育科目
84

学部共通科目
26

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 84	学部共通科目 26	選択必修② 12	LIH119	情報メディア史B	1～4	2	
			SOC122	消費情報論	1～4	2	
			SOC120	コミュニケーション論	1～4	2	
			SOC121	多文化コミュニケーション論	1～4	2	
			SOC238	情報倫理概論	1～4	2	
			LIH208	知財・情報法制論	2～4	2	
			SOC227	マスコミ倫理・法制論	2～4	2	
			SOC223	世論	2～4	2	
			SOC224	ジャーナリズム論	2～4	2	
			SOC225	広告論	2～4	2	
			SOC232	災害情報論	2～4	2	
			SOC239	ソーシャルメディア論	2～4	2	
			CIV215	ライフキャリア論	1～4	2	
			POL209	政治学原論A	1～4	2	
			POL210	政治学原論B	1～4	2	
			STS102	統計情報処理および実習Ⅱ	1～4	2	
			WIS103	ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ	1～4	2	
			STS201	統計情報処理および実習Ⅲ	2～4	2	
			STS202	統計情報処理および実習Ⅳ	2～4	2	
			WIS203	ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ	2～4	2	
			WIS204	ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ	2～4	2	
			SUS301	国際文化事情A	1～4	2	
			SUS302	国際文化事情B	1～4	2	
			SUS303	国際文化事情C	1～4	2	
			SUS304	国際文化事情D	1～4	2	
			SUS305	国際文化事情E	1～4	2	
			SUS306	国際文化事情F	1～4	2	

◆◆ 社会心理学科基盤教育科目 授業科目一覧 ◆◆

教育目標と基本方針(社会心理学科)

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年		
学 園 の 基 礎	哲学・思想(2)	哲学A (2)	哲学B (2)	哲学史A (2)	哲学史B (2)		
		倫理学基礎論A (2)	倫理学基礎論B (2)	応用倫理学A (2)	応用倫理学B (2)		
	科学思想史A (2)	科学思想史B (2)	宗教学I A (2)	宗教学I B (2)			
	宗教学II A (2)	宗教学II B (2)	地球倫理A (2)	地球倫理B (2)			
	論理学A (2)	論理学B (2)	東洋思想 (2)				
	美術史A (2)	美術史B (2)	音楽学A (2)	音楽学B (2)			
	歴史の諸問題A (2)	歴史の諸問題B (2)	西欧文学A (2)	西欧文学B (2)			
	現代日本文学A (2)	現代日本文学B (2)	アジアの文学 (2)	アジアの古典 (2)			
	経済学A (2)	経済学B (2)	統計学A (2)	統計学B (2)			
	経営学A (2)	経営学B (2)	政治学A (2)	政治学B (2)			
法学A (2)	法学B (2)	心理学A (2)	心理学B (2)				
地理学A (2)	地理学B (2)						
選 択 科 目	自然科学	自然の数理A (2)	自然の数理B (2)	生活と物理A (2)	生活と物理B (2)		
		エネルギーの科学A (2)	エネルギーの科学B (2)	物質の科学A (2)	物質の科学B (2)		
		環境の科学A (2)	環境の科学B (2)	地球の科学A (2)	地球の科学B (2)		
		生物学A (2)	生物学B (2)	天文学A (2)	天文学B (2)		
		自然科学概論A (2)	自然科学概論B (2)	自然誌A (2)	自然誌B (2)		
		物理学実験講義A (2)	物理学実験講義B (2)	生物学実験講義A (2)	生物学実験講義B (2)		
		化学実験講義A (2)	化学実験講義B (2)	地球科学実験講義A (2)	地球科学実験講義B (2)		
		数理・情報実習講義A (2)	数理・情報実習講義B (2)	天文学実習講義A (2)	天文学実習講義B (2)		
		地域文化研究I A (2)	地域文化研究I B (2)	地域文化研究II A (2)	地域文化研究II B (2)		
		地域文化研究III A (2)	地域文化研究III B (2)	国際教育論A (2)	国際教育論B (2)		
百人一首の文化史A (2)	百人一首の文化史B (2)	日本の昔話A (2)	日本の昔話B (2)				
日本文学文化と風土A (2)	日本文学文化と風土B (2)	日本の詩歌A (2)	日本の詩歌B (2)				
地域史(日本)A (2)	地域史(日本)B (2)	地域史(東洋)A (2)	地域史(東洋)B (2)				
地域史(西洋)A (2)	地域史(西洋)B (2)	国際比較論A (2)	国際比較論B (2)				
国際関係入門 (2)	地域と生活 (2)						
世 界 の 伝 統 と 文 化	グローバリ社会の実際	異文化理解概論 (2)	留学のすすめ (2)				
		海外研修I (2)	海外研修II (2)	海外実習I (2)	海外実習II (2)		
		短期海外研修I (1)	短期海外研修II (1)	短期海外研修III (1)	短期海外研修IV (1)		
		短期海外実習I (1)	短期海外実習II (1)	短期海外実習III (1)	短期海外実習IV (1)		
		必修科目(4)	カレント・イングリッシュI A (1)	カレント・イングリッシュII A (1)			
		カレント・イングリッシュI B (1)	カレント・イングリッシュII B (1)				
		選 択 必 修 科 目	外国語科目	英語I A (1)	英語II A (1)		
				英語I B (1)	英語II B (1)		
				英語II A (1)			
				英語II B (1)			
ドイツ語I A (1)	ドイツ語II A (1)						
ドイツ語I B (1)	ドイツ語II B (1)						
ドイツ語II A (1)							
ドイツ語II B (1)							
フランス語I A (1)	フランス語II A (1)						
フランス語I B (1)	フランス語II B (1)						
フランス語II A (1)							
フランス語II B (1)							
中国語I A (1)	中国語II A (1)						
中国語I B (1)	中国語II B (1)						
中国語II A (1)							
中国語II B (1)							
ハンガールI A (1)	ハンガールII A (1)						
ハンガールI B (1)	ハンガールII B (1)						
ハンガールII A (1)							
ハンガールII B (1)							
日本語I A(留学生用) (1)	日本語II A(留学生用) (1)						
日本語I B(留学生用) (1)	日本語II B(留学生用) (1)						
日本語II A(留学生用) (1)							
日本語II B(留学生用) (1)							
(6言語(母語を除く)から1言語を選択) 【6科目6単位必修】							
選 択 必 修 科 目	語学	Business English Communication (2)	テクニカルライティング (2)	アカデミックライティング (2)			
		IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing Pre-Study Abroad: Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing (2)		
		ビジネス日本語と日本文化I (2)	ビジネス日本語と日本文化II (2)	ビジネス日本語と日本文化III (2)			
		日本事情I A (2)	日本事情I B (2)	日本事情II A (2)	日本事情II B (2)		
		日本事情III A (2)	日本事情III B (2)	日本の文化と社会 (2)			
		日本語アカデミックライティングI (1)	日本語アカデミックライティングII (1)	日本語アカデミックライティングIII (1)	日本語アカデミックライティングIV (1)		
			応用日本語 (1)	日本語と日本社会A (2)	日本語と日本社会B (2)		
		日本国憲法 (2)	ベーシック・マーケティング (2)	流通入門 (2)	基礎会計学 (2)		
		企業会計 (2)	情報化社会と人間 (2)	情報倫理 (2)	コンピュータ・リテラシー (2)		
		インターンシップ入門 (2)	社会貢献活動入門 (2)	公務員論 (2)	地球環境論 (2)		
ロジカルシンキング入門 (2)	クリティカルシンキング入門 (2)						
キャリアデザイン入門 (2)	キャリアデザイン実践 (2)	キャリアデベロップメント (2)					
コミュニケーション&マナー入門 (2)	コミュニケーション&マナー実践 (2)						
	ファシリテーション概論 (2)						
選 択 科 目	キャリア・市民形成	スポーツ健康科学実技I A (1)	スポーツ健康科学実技I B (1)	スポーツ健康科学実技II A (1)	スポーツ健康科学実技II B (1)		
		スポーツ健康科学実技II A (1)	スポーツ健康科学実技II B (1)	スポーツ健康科学実技IV A (1)	スポーツ健康科学実技IV B (1)		
		スポーツ健康科学講義I (2)	スポーツ健康科学講義II A (2)	スポーツ健康科学講義II B (2)	スポーツ健康科学演習I (2)		
		全学総合A (2)	全学総合B (2)	全学総合C (2)			
選 択 科 目	健康・スポーツ科学	総合A (2)	総合B (2)				
		全学総合D (2)	全学総合E (2)				
		全学総合F (2)	全学総合G (2)	全学総合H (2)	全学総合I (2)		
		全学総合J (2)	全学総合K (2)	全学総合L (2)	全学総合M (2)		
		総合C (2)	総合D (2)	総合E (2)	総合F (2)		
		総合G (2)	総合H (2)	総合I (2)	総合J (2)		
		総合K (2)	総合L (2)	総合M (2)			
		選 択 科 目	総合・学際				

◆◆ 社会心理学科専門教育科目 授業科目一覧 ◆◆

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
学 科 専 門 科 目 64	必修科目 (2)	社会心理学基礎演習 (2)	社会心理学演習 I (2)	社会心理学演習 II A (2)	
		心理学実験演習 A (2)	心理学実験法 (2)	社会心理学演習 II B (2)	
	社会心理学概論 A (2)	心理学実験演習 B (2)	社会心理学演習 III A (2)	社会心理学演習 III B (2)	
	社会心理学概論 B (2)				
	心理学概論 (2)				
選択必修 A (6)	心理学研究法 (2)	社会心理学特別講義 (2)	応用心理学特別講義 (2)		
		心理学統計法 (2)	心理学統計法応用 (2)		
選択必修 B (2)	健康心理学 (2)	健康社会心理学 (2)	知覚・認知心理学 (2)	認知社会心理学 (2)	
	神経・生理心理学基礎 (2)	神経・生理心理学 (2)	対人関係心理学 A (2)	対人関係心理学 B (2)	
	発達心理学 (2)	発達社会心理学 (2)	産業・組織心理学 (2)	消費者心理学 (2)	
	臨床心理学概論 (2)	恋愛心理学 (2)	人間関係論 (2)	人体の構造と機能及び疾病 (2)	
	教育・学校心理学 (2)	公認心理師の職責 (2)			
		キャリア心理学 (2)			
		関係行政論 (2)			
		心理学的支援法 (2)			
		司法・犯罪心理学 (2)	犯罪・社会心理学 (2)	捜査心理学 (2)	
		社会・集団・家族心理学 (2)	学習・言語心理学 (2)	感情・人格心理学 (2)	
選択科目	健康・医療心理学 (2)	精神疾患とその治療 (2)			
		心理的アセスメント (2)	障害者・障害児心理学 (2)		
		福祉心理学 (2)			
		心理演習 (2)	心理実習 (4)	卒業論文 (6)	
専 門 教 育 科 目 64	必修科目 (2)	社会学概論 A (2)	社会調査および実習 A (2)		
		社会学概論 B (2)	社会調査および実習 B (2)		
選択必修科目① (2)	社会調査入門 A (2)				
	社会調査入門 B (2)				
学 部 共 通 科 目 64	選択必修科目① (2)	統計情報処理および実習 I (2)			
		ウェブ情報処理およびプログラミング I (2)			
	選択必修科目② (2)	家族社会学 (2)	地域社会学 (2)	環境社会学 (2)	労働社会学 (2)
		教育社会学 (2)	政治社会学 (2)	国際社会学 (2)	Global Sociology (2)
		現在の風土と人間・社会 (2)	風土の変遷と人間・社会 (2)	理論社会学 (2)	都市社会学 (2)
		犯罪社会学 (2)	福祉社会学 (2)	非営利活動論 (2)	
			社会学史 A (2)	社会学史 B (2)	
			社会統計学 I (2)	社会統計学 II (2)	質的調査法 I (2)
		文化人類学 (2)	現代人類学 (2)	グローバル化の社会学 (2)	共生社会学 (2)
		日本社会文化論 A (2)	日本社会文化論 B (2)		
			内なる国際化 (2)	いのちの社会学 (2)	ジェンダー文化論 A (2)
			多文化共生論 (2)	Multiculturalism in a Globalising World (2)	グローバル化と現代社会 (2)
			市民社会学 (2)	文化社会学 A (2)	宗教社会学 A (2)
			国際社会プロジェクト演習 I A (2)	国際社会プロジェクト演習 II A (2)	国際社会プロジェクト演習 II B (2)
			国際社会プロジェクト演習 I B (2)		
		社会福祉の原理と政策 A (2)	社会福祉の原理と政策 B (2)	社会福祉発達史 (2)	欧米の社会福祉史 (2)
		児童・家庭福祉 (2)	ケアマネジメント論 (2)	バリアフリー論 (2)	居住福祉論 (2)
		社会情報学基礎論 A (メディアと社会) (2)	社会情報学基礎論 B (インターネットと社会) (2)	マス・コミュニケーション学基礎論 A (2)	マス・コミュニケーション学基礎論 B (2)
		情報学基礎論 A (2)	情報学基礎論 B (2)	情報メディア史 A (2)	情報メディア史 B (2)
		消費情報論 (2)	コミュニケーション論 (2)	多文化コミュニケーション論 (2)	情報倫理概論 (2)
	知財・情報法制論 (2)	マスコミ倫理・法制論 (2)	世論 (2)		
	ジャーナリズム論 (2)	広告論 (2)	災害情報論 (2)		
	ソーシャルメディア論 (2)				
ライフキャリア論 (2)	政治学原論 A (2)	政治学原論 B (2)			
統計情報処理および実習 II (2)	ウェブ情報処理およびプログラミング II (2)				
	統計情報処理および実習 III (2)	統計情報処理および実習 IV (2)			
	ウェブ情報処理およびプログラミング II (2)	ウェブ情報処理およびプログラミング III (2)			
国際文化事情 A (2)	国際文化事情 B (2)	国際文化事情 C (2)	国際文化事情 D (2)		
国際文化事情 E (2)	国際文化事情 F (2)				



◆◆ 国際社会学科 ◆◆

1 人材の養成に関する目的

グローバル化の進む現代社会では、人びとの多様性を理解し、持続可能な国際社会の創出に貢献する人材が求められている。国際社会学科では、フィールドワークを軸とする現場立脚型の学修と、社会学・文化人類学・地域研究に関する専門知識の習得、高度な語学教育を連繋させた、実践的なグローバル・シティズンシップ教育を提供することで、地球規模の視野を持って、多文化共生と多様性の支援・活用を実践的に担うことのできる次世代のリーダーを養成することを目的とする。

2 学生に修得させるべき能力等の教育目標

民族、文化、宗教、ジェンダー、セクシャリティ等の多様性に学びながら、〈ちがひ〉に起因する現代社会の諸問題を理解し、それら諸問題の解決に向けた〈実践の知〉を、4年間で身につけることを目標とする。また、英語をはじめとする外国語を用いて、多文化共生や多様性の支援・活用を推進する能力を修得することも目指す。

国際社会学科のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

国際社会学科は、グローバル化の社会学・文化人類学・地域研究に関する専門知識と、国際社会に関する現場立脚型の教育を基盤として、多文化共生と多様性の支援・活用に関する実践的な能力を体得した地球市民を養成することを目指す。人材養成の目的および学位授与方針ディプロマ・ポリシーに鑑み、本学科の教育課程は以下の基本方針カリキュラム・ポリシーに沿って編成される。

- (1) グローバル化の社会学・文化人類学・地域研究に関する専門知識を習得させること。
- (2) 英語および他の言語の学修を通じて国際社会の現場で調査研究を実施することのできる外国語コミュニケーション能力を習得させること。
- (3) 世界各地の社会・文化・地域に対する高度な知識を身に付け、それらの多様性の意味を理解させること。
- (4) 国際社会の現場を調査し、多文化共生と多様性の支援・活用の制度や仕組みを実践的に理解させること。
- (5) 国際社会に関する文献の読解力、論理的思考力、表現力を身に付け、自ら設定した課題を解決する力を体得させること。
- (6) 専門に偏らない幅広い教養を身に付けさせること。
- (7) 自立した人間として社会で活躍するための知識や技能を身に付けさせること。
- (8) 自らを律し他者と協働しながら国際社会と地域社会の双方に貢献することのできる力を身に付けさせること。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

国際社会学科は、学科設立の理念と教育目標に基づき、ディプロマ・ポリシーに掲げられた以下の能力を習得し、かつ必要な在籍年数および履修単位数を満たした者に対し、学士（社会学）の学位を授与する。

- (1) グローバル化の社会学・文化人類学・地域研究を土台として、民族・文化・宗教・ジェンダー・セクシャリティ等の人間の生き方の多様性を理解し、それらの多様性を互いに認め合い支援す

- る能力。
- (2) 国際社会と地域社会双方の差異に起因する諸問題を考究し、その解決に向けた新たな価値や方法を創出する能力。
 - (3) 多様性の尊重・理解・活用を理念とする共生社会を国際社会と地域社会双方の文脈をふまえて創造・確立する能力。
 - (4) 英語をはじめとする外国語を用いて多文化共生や多様性の支援・活用を推進する能力。
 - (5) 多文化共生と多様性の支援・活用に関わる制度や政策、サービスを創案、展開、実践する能力。
 - (6) 国内外の多文化間連繫事業を展開する民間企業や団体でリーダーシップを発揮する能力。

カリキュラムマップ

	1年次	2年次	3年次	4年次
体験演習系統	国際社会体験演習	国際社会プロジェクト演習Ⅰ／Ⅱ (継続履修推奨)		
ゼミ系統	国際社会論基礎演習	国際社会論演習Ⅰ 国際社会調査実習	国際社会論演習Ⅱ／Ⅲ (継続履修)	
入門講義系統	国際社会概論 ダイバーシティ概論			
基礎講義系統	グローバル化の社会学／共生社会学 文化人類学／現代人類学			
講義系統	地域の多様性を 知る・調べる 人びとの多様性と 調和を考える 現代社会の見方 を学ぶ	日本社会文化論、アジア社会文化論、アフリカ社会文化論 南北アメリカ社会文化論、中東社会文化論、ヨーロッパ社会文化論		
外国語系統	外国語科目(初級) (英・独・仏・中・ハンダ)	外国語科目(中級) (英・独・仏・中・ハンダ)		外国語および社会事情 (英・独・仏・中・ハンダ)
			イスラーム世界論、移民論、移住論、内なる国際化、環境と開発、マイノリティの人類学、 言語と文化、いのちの社会学、現代紛争論、ジェンダー文化論など	
			文化社会学、宗教社会学、人文地理学、多文化共生論、社会運動の社会学、 市民社会論、Multiculturalism in a Globalizing World など	

◆◆国際社会学科カリキュラムの特徴◆◆

- ・ 学科の「学びの三本柱」
 - (1) フィールドワークや社会貢献活動を通じたグローバル化の体験
 - (2) 社会学・文化人類学・地域研究を軸とする学問的基礎の習得
 - (3) 国際社会と多文化共生に関する専門知識の応用と実践
- ・ 3系統からなる専門講義
 - (1) 世界各地の社会や文化を学ぶ「地域の多様性を知る」
 - (2) 移民やマイノリティ、紛争、ジェンダー等を学ぶ「人びとの多様性と調和を考える」
 - (3) 宗教社会学や多文化共生論、市民社会論等を学ぶ「現代社会の見方」
- ・ 1年から4年までの演習を英語のみで学ぶコースの設置

◆◆履修上の留意事項◆◆

< 1年次 >

社会学部共通の講義科目として、「社会学概論 A・B」「社会調査入門 A・B」（ともに必修）を履修し、社会学や社会調査についての基礎的な知識を身につけます。学科の講義科目としては、必修の入門講義である「国際社会概論」と「ダイバーシティ概論」を通して、国際社会学科での学びへの関心を育んでもらいます。さらに、「グローバル化の社会学」「共生社会学」「文化人類学」「現代人類学」といった、社会学や人類学に関連する基礎講義も1年次の必修科目です。

演習科目としては、「1年ゼミ」または「基礎ゼミ」とも呼ばれる「国際社会論基礎演習 A・B」（必修）を履修することで、学術的な文献や資料の探し方、文献の読み方、レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方など、大学における学びのためのアカデミック・スキルを修得します。さらに、すべての学生が、「国際社会体験演習」を履修し、国内外のフィールドに出て、自分たちとは異なる文化を生きる人びとと交流し、基礎的な多文化コミュニケーション力を体得します。

専門講義として、「地域の多様性を知る」（「南北アメリカ社会文化論 A・B」「アフリカ社会文化論 A・B」「アジア社会文化論 A・B」「中東社会文化論 A・B」など）を設置しており、4年間通算で4単位以上取得する必要があります。

< 2年次 >

必修の演習・実習科目として、①海外での体験学習と国内サービス・ラーニングからなる「国際社会プロジェクト演習 I A・I B」、②国内でフィールドワークや文献調査をおこなったり、グローバルな課題に対して議論する力を身につけたりする「国際社会論演習 I A・I B」（2年ゼミ）、③量的または質的な社会調査を実践する「国際社会調査実習 A・B」のうちのいずれかを選択します。

「国際社会プロジェクト演習」は、海外フィールドワークや国内ボランティア活動を通じてグローバル化を実践的に学ぶプロジェクト型の科目です。2年次と3年次の2年間の継続履修を推奨します。

2年次から4年次までに履修する専門講義として、「人びとの多様性と調和を考える」（「移民論 A・B」「環境と開発 A・B」「ジェンダー文化論 A・B」「現代紛争論」など）、宗教・文化・市民社会などについて学ぶ「現代社会の見方」（「文化社会学 A・B」「宗教社会学 A・B」「多文化共生論」「市民社会論」など）という2系統も設置しており、3年間通算で、それぞれの系統から4単位以上、取得する必要があります。

< 3・4年次 >

3年次の「国際社会論演習 II A・II B」（3年ゼミ）と4年次の「国際社会論演習 III A・III B」（4年ゼミ）は、3・4年の合併授業です。3・4年ゼミでは、教員の指導のもと、調査テーマを自ら設定してフィールドワークや文献調査を行い、その成果を言語化して調査報告書や卒業論文（選択）としてまとめます。4年次の「卒業論文」の執筆は選択ですが、4年間の大学生活の学びの集大成となるものです。大学院進学を希望する場合には必須となります。

・英語による演習や講義

各学年のゼミ（国際社会論基礎演習、国際社会論演習）のうちの1コースは、英語のみをつかって“Global Diversity Studies”を学びます。また英語開講科目として、「Multiculturalism in a Globalizing World」、「Migration Studies（移民論B）」、「Gender Studies（ジェンダー文化論B）」、「Environment and Development（環境と開発B）」など、数多く設置しています。

Pick up

1年次必修の「国際社会体験演習」では、全1年生が国内外の約10コースのプログラムからひとつを選びます。また、学外でのボランティアやインターンシップ等の経験を通して得られた学びを単位として認定する「ボランティアとインターンシップ」（2単位、集中講義）は、2年次から履修登録できます。

◆卒業要件◆

国際社会学科を卒業するためには、下記の卒業要件を満たさなければなりません。p.38～p.39の【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業要件を確認してください。

- (1) 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124単位以上修得すること。
- (2) 専門教育科目において合計82単位以上を修得すること。
- (3) 学科専門科目
 - ①全体で60単位以上を修得すること。
 - ②必修を30単位修得すること。
 - ③選択必修Aから4単位以上、選択必修Bから4単位以上、選択必修Cから4単位以上、選択必修Dから4単位以上を修得すること。
- (4) 学部共通科目
 - ①全体で18単位以上修得すること。
 - ②必修を4単位修得すること。
 - ③選択必修①の【統計情報処理および実習Ⅰ】または【ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ】2科目のうち1科目2単位以上を必ず修得すること。
 - ④選択必修②を12単位以上を修得すること。
- (5) 基盤教育科目
 - ①全体で24単位以上を修得すること。
 - ②哲学・思想区分から2単位以上修得すること。
 - ③国際人の形成（語学）区分から、カレント・イングリッシュを4単位修得すること。
 - ④国際人の形成（語学）区分6言語【英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガル・日本語】から、1言語6単位を修得すること（母語を除く）。

◆◆国際社会学科 基盤教育科目 課程表◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
基盤教育科目 24							
基盤教育科目 24	哲学・思想 2	選択	PHE101	哲学A	1～4	2	
		PHE102	哲学B	1～4	2		
		PHE103	哲学史A	1～4	2		
		PHE104	哲学史B	1～4	2		
		PHE105	倫理学基礎論A	1～4	2		
		PHE106	倫理学基礎論B	1～4	2		
		PHE107	応用倫理学A	1～4	2		
		PHE108	応用倫理学B	1～4	2		
		HIT101	科学思想史A	1～4	2		
		HIT102	科学思想史B	1～4	2		
		RES101	宗教学I A	1～4	2		
		RES102	宗教学I B	1～4	2		
		RES103	宗教学II A	1～4	2		
		RES104	宗教学II B	1～4	2		
		INR101	地球倫理A	1～4	2		
		INR102	地球倫理B	1～4	2		
		PHE109	論理学A	1～4	2		
		PHE110	論理学B	1～4	2		
		CIB101	東洋思想	1～4	2		
		選択	人文科学	FAH101	美術史A	1～4	2
	FAH102	美術史B	1～4	2			
	ASA101	音楽学A	1～4	2			
	ASA102	音楽学B	1～4	2			
	HSG101	歴史の諸問題A	1～4	2			
	HSG102	歴史の諸問題B	1～4	2			
	EUL101	西欧文学A	1～4	2			
	EUL102	西欧文学B	1～4	2			
	JLT109	現代日本文学A	1～4	2			
	JLT110	現代日本文学B	1～4	2			
	LIG101	アジアの文学	1～4	2			
	LIG102	アジアの古典	1～4	2			
	選択	社会科学	ECT101	経済学A	1～4	2	
	ECT102	経済学B	1～4	2			
	ECS101	統計学A	1～4	2			
	ECS102	統計学B	1～4	2			
	MAN101	経営学A	1～4	2			
	MAN102	経営学B	1～4	2			
	LAW101	法学A	1～4	2			
	LAW102	法学B	1～4	2			
POL101	政治学A	1～4	2				
POL102	政治学B	1～4	2				
GGR101	地理学A	1～4	2				
GGR102	地理学B	1～4	2				
PSY101	心理学A	1～4	2				
PSY102	心理学B	1～4	2				
選択	自然科学	MAT101	自然の数理A	1～4	2		
MAT102	自然の数理B	1～4	2				
PHY101	生活と物理A	1～4	2				
PHY102	生活と物理B	1～4	2				
ENE101	エネルギーの科学A	1～4	2				
ENE102	エネルギーの科学B	1～4	2				
BSC101	物質の科学A	1～4	2				
BSC102	物質の科学B	1～4	2				
ENV101	環境の科学A	1～4	2				
ENV102	環境の科学B	1～4	2				
EAP101	地球の科学A	1～4	2				
EAP102	地球の科学B	1～4	2				
BAB101	生物学A	1～4	2				
BAB102	生物学B	1～4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
基盤教育科目 24	学問の基礎	自然科学	選択	AST101	天文学A	1～4	2	
				AST102	天文学B	1～4	2	
SCE101				自然科学概論A	1～4	2		
SCE102				自然科学概論B	1～4	2		
CAS101				自然誌A	1～4	2		
CAS102				自然誌B	1～4	2		
PHY103				物理学実験講義A	1～4	2		
PHY104				物理学実験講義B	1～4	2		
BAB103				生物学実験講義A	1～4	2		
BAB104				生物学実験講義B	1～4	2		
BSC103				化学実験講義A	1～4	2		
BSC104				化学実験講義B	1～4	2		
EAP103				地球科学実験講義A	1～4	2		
EAP104				地球科学実験講義B	1～4	2		
SOF101	数理・情報実習講義A	1～4	2					
SOF102	数理・情報実習講義B	1～4	2					
AST103	天文学実習講義A	1～4	2					
AST104	天文学実習講義B	1～4	2					
国際人の形成	世界の伝統と文化	選択	ARS101	地域文化研究ⅠA	1～4	2		
			ARS102	地域文化研究ⅠB	1～4	2		
			ARS103	地域文化研究ⅡA	1～4	2		
			ARS104	地域文化研究ⅡB	1～4	2		
			ARS105	地域文化研究ⅢA	1～4	2		
			ARS106	地域文化研究ⅢB	1～4	2		
			INR103	国際教育論A	1～4	2		
			INR104	国際教育論B	1～4	2		
			JLT101	百人一首の文化史A	1～4	2		
			JLT102	百人一首の文化史B	1～4	2		
			JLT103	日本の昔話A	1～4	2		
			JLT104	日本の昔話B	1～4	2		
			JLT105	日本文学文化と風土A	1～4	2		
			JLT106	日本文学文化と風土B	1～4	2		
			JLT107	日本の詩歌A	1～4	2		
			JLT108	日本の詩歌B	1～4	2		
			JPH101	地域史(日本)A	1～4	2		
			JPH102	地域史(日本)B	1～4	2		
			HAA101	地域史(東洋)A	1～4	2		
			HAA102	地域史(東洋)B	1～4	2		
			HEA101	地域史(西洋)A	1～4	2		
			HEA102	地域史(西洋)B	1～4	2		
			GGR301	国際比較論A	1～4	2		
			GGR302	国際比較論B	1～4	2		
			IHR117	国際関係入門	1～4	2		
			TOS101	地域と生活	1～4	2		
	グローバル社会の実際	選択	IHR116	異文化理解概論	1～4	2		
			IHR103	留学のすすめ	1～4	2		
			IHR104	海外研修Ⅰ	1～4	2		
			IHR105	海外研修Ⅱ	1～4	2		
			IHR106	海外実習Ⅰ	1～4	2		
			IHR107	海外実習Ⅱ	1～4	2		
IHR108			短期海外研修Ⅰ	1～4	1			
IHR109			短期海外研修Ⅱ	1～4	1			
IHR110			短期海外研修Ⅲ	1～4	1			
IHR111			短期海外研修Ⅳ	1～4	1			
語学	必修 4	ENG125	カレント・イングリッシュⅠA	1	1	4科目必修		
		ENG126	カレント・イングリッシュⅠB	1	1			
		ENG227	カレント・イングリッシュⅡA	2	1			
		ENG228	カレント・イングリッシュⅡB	2	1			

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考			
基盤教育科目 24	国際人の形成	言語	選択必修 6	ENG127	英語ⅠA	1	1	6言語（母語を除く）から1言語を選択 【6科目6単位必修】	
			ENG128	英語ⅠB	1	1			
			ENG129	英語ⅡA	1	1			
			ENG130	英語ⅡB	1	1			
			ENG229	英語ⅢA	2	1			
			ENG230	英語ⅢB	2	1			
			GER115	ドイツ語ⅠA	1	1			
			GER116	ドイツ語ⅠB	1	1			
			GER117	ドイツ語ⅡA	1	1			
			GER118	ドイツ語ⅡB	1	1			
			GER217	ドイツ語ⅢA	2	1			
			GER218	ドイツ語ⅢB	2	1			
			FRA117	フランス語ⅠA	1	1			
			FRA118	フランス語ⅠB	1	1			
			FRA119	フランス語ⅡA	1	1			
			FRA120	フランス語ⅡB	1	1			
			FRA215	フランス語ⅢA	2	1			
			FRA216	フランス語ⅢB	2	1			
			CHI117	中国語ⅠA	1	1			
			CHI118	中国語ⅠB	1	1			
			CHI119	中国語ⅡA	1	1			
			CHI120	中国語ⅡB	1	1			
			CHI221	中国語ⅢA	2	1			
			CHI222	中国語ⅢB	2	1			
			KOR103	ハンガルⅠA	1	1			
			KOR104	ハンガルⅠB	1	1			
			KOR105	ハンガルⅡA	1	1			
			KOR106	ハンガルⅡB	1	1			
			KOR201	ハンガルⅢA	2	1			
			KOR202	ハンガルⅢB	2	1			
			JPN125	日本語ⅠA（留学生用）	1	1			
			JPN126	日本語ⅠB（留学生用）	1	1			
			JPN127	日本語ⅡA（留学生用）	1	1			
			JPN128	日本語ⅡB（留学生用）	1	1			
			JPN210	日本語ⅢA（留学生用）	2	1			
			JPN211	日本語ⅢB（留学生用）	2	1			
			選択	ENG319	カレント・イングリッシュⅢA	3～4	1		
			ENG320	カレント・イングリッシュⅢB	3～4	1			
			GER307	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A	3～4	2			
			GER308	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B	3～4	2			
			FRA307	フランス語およびフランス語圏社会事情A	3～4	2			
			FRA308	フランス語およびフランス語圏社会事情B	3～4	2			
			CHI309	中国語および中国語圏社会事情A	3～4	2			
			CHI310	中国語および中国語圏社会事情B	3～4	2			
			KOR301	ハンガルおよびハンガル圏社会事情A	3～4	2			
			KOR302	ハンガルおよびハンガル圏社会事情B	3～4	2			
			ENG147	Business English Communication	1～4	2			
ENG145	テクニカルライティング	1～4	2						
ENG146	アカデミックライティング	1～4	2						
ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	※留学支援科目 LEAP Program p.191					
ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2						
ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2						
ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2						
ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4	2						
ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4	1						
JPN129	ビジネス日本語と日本文化Ⅰ	1～4	2		※留学生対象科目 （外国人留学生のみ履修可）				
JPN130	ビジネス日本語と日本文化Ⅱ	1～4	2						
JPN131	ビジネス日本語と日本文化Ⅲ	1～4	2						
HUG101	日本事情ⅠA	1～4	2						
HUG102	日本事情ⅠB	1～4	2						
JLN101	日本事情ⅡA	1～4	2						
JLN102	日本事情ⅡB	1～4	2						
SOC101	日本事情ⅢA	1～4	2						
SOC102	日本事情ⅢB	1～4	2						
IHR118	日本の文化と社会	1～4	2						

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
国際人の形成	語学	選択	JPN132	日本語アカデミックライティングⅠ	1～4	1	※留学生対象科目 (外国人留学生のみ履修可)
			JPN133	日本語アカデミックライティングⅡ	1～4	1	
			JPN134	日本語アカデミックライティングⅢ	1～4	1	
			JPN135	日本語アカデミックライティングⅣ	1～4	1	
			JPN212	応用日本語	2～4	1	
			JPN207	日本語と日本社会A	2～4	2	
		JPN208	日本語と日本社会B	2～4	2		
キャリア・市民形成		選択	PUL101	日本国憲法	1～4	2	
			CME101	ベーシック・マーケティング	1～4	2	
			CME102	流通入門	1～4	2	
			ACC101	基礎会計学	1～4	2	
			ACC102	企業会計	1～4	2	
			THI101	情報化社会と人間	1～4	2	
			THI102	情報倫理	1～4	2	
			THI103	コンピュータ・リテラシー	1～4	2	
			CIV102	インターンシップ入門	1～4	2	
			CIV103	社会貢献活動入門	1～4	2	
			CIV201	公務員論	1～4	2	
			EPS101	地球環境論	1～4	2	
			PHE111	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
			PHE112	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
			CIV101	キャリアデザイン入門	1	2	
			CIV104	コミュニケーション & マナー入門	1	2	
			CIV202	キャリアデザイン実践	2	2	
			CIV203	コミュニケーション & マナー実践	2	2	
			CIV304	キャリアデベロップメント	3～4	2	
			CIV238	ファンリテーション概論	2～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	HSS101	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1		
		HSS102	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1		
		HSS103	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1		
		HSS104	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1		
		HSS105	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1		
		HSS106	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1		
		HSS111	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1		
		HSS112	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1		
		HSS107	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2		
		HSS108	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2		
		HSS109	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2		
HSS110	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2				
総合・学際	選択	TYS107	全学総合A	1～4	2		
		TYS108	全学総合B	1～4	2		
		TYS109	全学総合C	1～4	2		
		TYS105	総合A	1～4	2		
		TYS106	総合B	1～4	2		
		STS105	全学総合D	1～4	2		
		INI101	全学総合E	1～4	2		
		ITS112	全学総合F	1～4	2		
		ITS113	全学総合G	1～4	2		
		ITS114	全学総合H	1～4	2		
		ITS115	全学総合I	1～4	2		
		ITS116	全学総合J	1～4	2		
		ITS117	全学総合K	1～4	2		
		ITS118	全学総合L	1～4	2		
		ITS119	全学総合M	1～4	2		
		ITS101	総合C	1～4	2		
		ITS102	総合D	1～4	2		
		ITS103	総合E	1～4	2		
		ITS104	総合F	1～4	2		
		ITS105	総合G	1～4	2		
		ITS106	総合H	1～4	2		
ITS107	総合I	1～4	2				
ITS108	総合J	1～4	2				
ITS109	総合K	1～4	2				
ITS110	総合L	1～4	2				
ITS111	総合M	1～4	2				

基盤教育科目
24

◆◆国際社会学科専門教育科目 課程表◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/備考		
専門教育科目 82							
学科専門科目 60							
専門教育科目 82	学科専門科目 60	必修 30	SOC129	国際社会概論	1	2	
			CUA106	ダイバーシティ概論	1	2	
			SEM120	国際社会体験演習	1	2	
			SEM121	国際社会論基礎演習A	1	2	
			SEM122	国際社会論基礎演習B	1	2	
			SOC130	社会調査入門A	1	2	
			SOC131	社会調査入門B	1	2	
			CUA107	文化人類学	1	2	
			CUA108	現代人類学	1	2	
			SOC132	グローバル化の社会学	1	2	
			SOC133	共生社会学	1	2	
			SEM323	国際社会論演習ⅡA	3	2	
			SEM324	国際社会論演習ⅡB	3	2	
			SEM417	国際社会論演習ⅢA	4	2	
		SEM418	国際社会論演習ⅢB	4	2		
		選択必修 A 4	SEM222	国際社会調査実習A	2	2	※国際社会調査実習A /Bまたは国際社会 論演習ⅠA/Bまたは 国際社会プロジェクト 演習ⅠA/Bをセッ トで修得すること
			SEM223	国際社会調査実習B	2	2	
			SEM224	国際社会論演習ⅠA	2	2	
			SEM225	国際社会論演習ⅠB	2	2	
			SEM226	国際社会プロジェクト演習ⅠA	2	2	
			SEM227	国際社会プロジェクト演習ⅠB	2	2	
		選択必修 B 4	ARS209	日本社会文化論A	1~4	2	
			ARS305	日本社会文化論B	1~4	2	
			ARS306	アジア社会文化論A	1~4	2	
			ARS307	アジア社会文化論B	1~4	2	
			ARS210	アフリカ社会文化論A	1~4	2	
			ARS308	アフリカ社会文化論B	1~4	2	
			ARS211	南北アメリカ社会文化論A	1~4	2	
			ARS309	南北アメリカ社会文化論B	1~4	2	
			ARS212	中東社会文化論A	1~4	2	
ARS213	中東社会文化論B		1~4	2			
選択必修 C 4	ARS214	ヨーロッパ社会文化論A	1~4	2			
	ARS215	ヨーロッパ社会文化論B	1~4	2			
	ARS310	イスラーム世界論	2~4	2			
	CUA202	移民論A	2~4	2			
	CUA304	移民論B	2~4	2			
	SOC331	内なる国際化	2~4	2			
	CUA203	環境と開発A	2~4	2			
	CUA301	環境と開発B	2~4	2			
	CUA204	生業と人間社会A	2~4	2			
	CUA302	生業と人間社会B	2~4	2			
	SOC332	難民論	2~4	2			
	ANT301	マイノリティの人類学	2~4	2			
	SOC247	言語と文化	2~4	2			
	SOC333	いのちの社会学	2~4	2			
	ANT302	現代紛争論	2~4	2			
	選択必修 D 4	SOC248	ジェンダー文化論A	2~4	2		
SOC334		ジェンダー文化論B	2~4	2			
CUA303		民族とナショナリズム	2~4	2			
SOC318		ジェンダーと不平等	2~4	2			
SOE203		教育と社会的排除	2~4	2			
HIS201		グローバル・ヒストリーA	2~4	2			
HIS202		グローバル・ヒストリーB	2~4	2			
SOC249		ライフヒストリー論	2~4	2			
SOC250		多文化共生論	2~4	2			
SOC335		Multiculturalism in a Globalising World	2~4	2			
SOC251	グローバル化と現代社会	2~4	2				

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考		
60	学 科 専 門 科 目	選 択 必 修 D 4	SOC336	市民社会論	2～4	2		
			SOC252	文化社会学A	2～4	2		
			SOC253	文化社会学B	2～4	2		
			SOC254	宗教社会学A	2～4	2		
			SOC255	宗教社会学B	2～4	2		
			GGR207	人文地理学A	2～4	2		
			GGR208	人文地理学B	2～4	2		
			ANT303	文化人類学の最前線	2～4	2		
			SOC256	社会運動の社会学	2～4	2		
			ARS216	アジア言語文化論A	2～4	2		
			ARS217	アジア言語文化論B	2～4	2		
			SOC319	政治と社会	2～4	2		
			SOC320	Global Sociology	2～4	2		
選 択	選 択	CIV302	ボランティアとインターンシップ	2～4	2			
		SEM325	国際社会プロジェクト演習ⅡA	3～4	2			
		SEM326	国際社会プロジェクト演習ⅡB	3～4	2			
		THE444	卒業論文	4	8			
学部共通科目 18								
82	専 門 教 育 科 目	必 修 4	SOC110	社会学概論A	1	2		
			SOC111	社会学概論B	1	2		
		選 択 必 修 ① 2	STS101	統計情報処理および実習Ⅰ	1	2	※1科目2単位以上 選択必修	
			WIS102	ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ	1	2		
		選 択 必 修 ② 12	学 部 共 通 科 目	SOC207	家族社会学	1～4	2	
				SOC208	地域社会学	1～4	2	
				SOC210	環境社会学	1～4	2	
				SOC211	労働社会学	1～4	2	
				SOE202	教育社会学	1～4	2	
				SOC212	政治社会学	1～4	2	
				GGR203	現在の風土と人間・社会	1～4	2	
				GGR204	風土の変遷と人間・社会	1～4	2	
SOC321	理論社会学			1～4	2			
SOC214	都市社会学			1～4	2			
SOC215	犯罪社会学			1～4	2			
SOC217	福祉社会学			1～4	2			
SOC218	非営利活動論	1～4	2					
GGR209	自然地理学(地震防災と社会)	1～4	2					
GGR210	自然地理学(地形と気候)	1～4	2					
GGR211	地誌学(世界)	1～4	2					
GGR212	地誌学(日本)	1～4	2					
SOC203	社会学史A	2～4	2					
SOC204	社会学史B	2～4	2					
STS203	社会統計学Ⅰ	2～4	2					
STS301	社会統計学Ⅱ	2～4	2					
SOC206	質的調査法Ⅰ	2～4	2					
SOC124	社会情報学基礎論A(メディアと社会)	1～4	2					
SOC125	社会情報学基礎論B(インターネットと社会)	1～4	2					
SOC117	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2					
SOC118	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2					
LIH116	情報学基礎論A	1～4	2					
LIH117	情報学基礎論B	1～4	2					
LIH118	情報メディア史A	1～4	2					
LIH119	情報メディア史B	1～4	2					
SOC122	消費情報論	1～4	2					
SOC120	コミュニケーション論	1～4	2					
SOC121	多文化コミュニケーション論	1～4	2					
SOC238	情報倫理概論	1～4	2					
LIH208	知財・情報法制論	2～4	2					
SOC227	マスコミ倫理・法制論	2～4	2					
SOC223	世論	2～4	2					
SOC224	ジャーナリズム論	2～4	2					
SOC225	広告論	2～4	2					
SOC232	災害情報論	2～4	2					
SOC239	ソーシャルメディア論	2～4	2					

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 82	学部共通科目 18	選択必修② 12	SOP101	社会心理学概論A	1～4	2	
			SOP102	社会心理学概論B	1～4	2	
			CLI201	健康心理学	1～4	2	
			CLI202	健康社会心理学	1～4	2	
			EXP203	知覚・認知心理学	1～4	2	
			EXP204	認知社会心理学	1～4	2	
			SOP206	産業・組織心理学	1～4	2	
			CLI203	臨床心理学概論	1～4	2	
			LIP202	人体の構造と機能及び疾病	1～4	2	
			EDP207	教育・学校心理学	1～4	2	
			CLI205	司法・犯罪心理学	2～4	2	
			CLI206	犯罪・社会心理学	2～4	2	
			SOP307	社会・集団・家族心理学	2～4	2	
			CIV215	ライフキャリア論	1～4	2	
			POL209	政治学原論A	1～4	2	
			POL210	政治学原論B	1～4	2	
			STS102	統計情報処理および実習Ⅱ	1～4	2	
			WIS103	ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ	1～4	2	
			STS201	統計情報処理および実習Ⅲ	2～4	2	
			STS202	統計情報処理および実習Ⅳ	2～4	2	
			WIS203	ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ	2～4	2	
			WIS204	ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ	2～4	2	
			SUS301	国際文化事情A	1～4	2	
			SUS302	国際文化事情B	1～4	2	
			SUS303	国際文化事情C	1～4	2	
			SUS304	国際文化事情D	1～4	2	
			SUS305	国際文化事情E	1～4	2	
			SUS306	国際文化事情F	1～4	2	

◆◆国際社会学科基盤教育科目 授業科目一覧◆◆

教育目標と基本方針(国際社会学科)

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
学問の基礎	哲学・思想(2)	哲学A (2)	哲学B (2)	哲学史A (2)	哲学史B (2)
		倫理学基礎論A (2)	倫理学基礎論B (2)	応用倫理学A (2)	応用倫理学B (2)
	科学思想史A (2)	科学思想史B (2)	宗教学I A (2)	宗教学I B (2)	
	宗教学II A (2)	宗教学II B (2)	地球倫理A (2)	地球倫理B (2)	
	論理学A (2)	論理学B (2)	東洋思想 (2)		
	美術史A (2)	美術史B (2)	音楽学A (2)	音楽学B (2)	
	歴史の諸問題A (2)	歴史の諸問題B (2)	西欧文学A (2)	西欧文学B (2)	
	現代日本文学A (2)	現代日本文学B (2)	アジアの文学 (2)	アジアの古典 (2)	
	経済学A (2)	経済学B (2)	統計学A (2)	統計学B (2)	
	経営学A (2)	経営学B (2)	政治学A (2)	政治学B (2)	
法学A (2)	法学B (2)	心理学A (2)	心理学B (2)		
地理学A (2)	地理学B (2)				
社会科学	選択科目	自然の数理A (2)	自然の数理B (2)	生活と物理A (2)	生活と物理B (2)
		エネルギーの科学A (2)	エネルギーの科学B (2)	物質の科学A (2)	物質の科学B (2)
		環境の科学A (2)	環境の科学B (2)	地球の科学A (2)	地球の科学B (2)
		生物学A (2)	生物学B (2)	天文学A (2)	天文学B (2)
		自然科学概論A (2)	自然科学概論B (2)	自然誌A (2)	自然誌B (2)
		物理学実験講義A (2)	物理学実験講義B (2)	生物学実験講義A (2)	生物学実験講義B (2)
		化学実験講義A (2)	化学実験講義B (2)	地球科学実験講義A (2)	地球科学実験講義B (2)
		数理・情報実習講義A (2)	数理・情報実習講義B (2)	天文学実習講義A (2)	天文学実習講義B (2)
		地域文化研究I A (2)	地域文化研究I B (2)	地域文化研究II A (2)	地域文化研究II B (2)
		地域文化研究III A (2)	地域文化研究III B (2)	国際教育論A (2)	国際教育論B (2)
百人一首の文化史A (2)	百人一首の文化史B (2)	日本の昔話A (2)	日本の昔話B (2)		
日本文学文化と風土A (2)	日本文学文化と風土B (2)	日本の詩歌A (2)	日本の詩歌B (2)		
地域史(日本)A (2)	地域史(日本)B (2)	地域史(東洋)A (2)	地域史(東洋)B (2)		
地域史(西洋)A (2)	地域史(西洋)B (2)	国際比較論A (2)	国際比較論B (2)		
国際関係入門 (2)	地域と生活 (2)				
世界の伝統と文化	グローバル社会の実際	異文化理解概論 (2)	留学のすすめ (2)		
		海外研修I (2)	海外研修II (2)	海外実習I (2)	海外実習II (2)
		短期海外研修I (1)	短期海外研修II (1)	短期海外研修III (1)	短期海外研修IV (1)
		短期海外実習I (1)	短期海外実習II (1)	短期海外実習III (1)	短期海外実習IV (1)
基盤教育科目(24)	国際人の形成	外国語科目	必修科目(4)	カレント・イングリッシュI A (1)	カレント・イングリッシュII A (1)
			カレント・イングリッシュI B (1)	カレント・イングリッシュII B (1)	
			英語I A (1)	英語II A (1)	
			英語I B (1)	英語II B (1)	
			英語II A (1)		
			英語II B (1)		
			ドイツ語I A (1)	ドイツ語II A (1)	
			ドイツ語I B (1)	ドイツ語II B (1)	
			ドイツ語II A (1)		
			ドイツ語II B (1)		
フランス語I A (1)	フランス語II A (1)				
フランス語I B (1)	フランス語II B (1)				
フランス語II A (1)					
フランス語II B (1)					
中国語I A (1)	中国語II A (1)				
中国語I B (1)	中国語II B (1)				
中国語II A (1)					
中国語II B (1)					
ハンガールI A (1)	ハンガールII A (1)				
ハンガールI B (1)	ハンガールII B (1)				
ハンガールII A (1)					
ハンガールII B (1)					
日本語I A(留学生用) (1)	日本語II A(留学生用) (1)				
日本語I B(留学生用) (1)	日本語II B(留学生用) (1)				
日本語II A(留学生用) (1)					
日本語II B(留学生用) (1)					
(6言語(母語を除く)から1言語を選択) [6科目6単位必修]					
				カレント・イングリッシュIII A (1)	カレント・イングリッシュIII B (1)
				ドイツ語およびドイツ語圏社会事情A (2)	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情B (2)
				フランス語およびフランス語圏社会事情A (2)	フランス語およびフランス語圏社会事情B (2)
				中国語および中国語圏社会事情A (2)	中国語および中国語圏社会事情B (2)
				ハンガールおよびハンガール圏社会事情A (2)	ハンガールおよびハンガール圏社会事情B (2)
				Business English Communication (2)	テクニカルライティング (2)
				アカデミックライティング (2)	
				IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing Pre-Study Abroad: Listening/Speaking (2)
				IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing (2)
				ビジネス日本語と日本文化I (2)	ビジネス日本語と日本文化II (2)
				ビジネス日本語と日本文化III (2)	
				日本事情I A (2)	日本事情I B (2)
				日本事情II A (2)	日本事情II B (2)
				日本の文化と社会 (2)	
				日本語アカデミックライティングI (1)	日本語アカデミックライティングII (1)
				日本語アカデミックライティングIII (1)	日本語アカデミックライティングIV (1)
				日本語と日本社会A (2)	日本語と日本社会B (2)
				日本国憲法 (2)	ベーシック・マーケティング (2)
				企業会計 (2)	流産入門 (2)
				インターンシップ入門 (2)	情報化社会と人間 (2)
				ロジカルシンキング入門 (2)	情報倫理 (2)
				キャリアデザイン入門 (2)	社会貢献活動入門 (2)
				コミュニケーション&マナー入門 (2)	クリティカルシンキング入門 (2)
					キャリアアデバロップメント (2)
					ファシリテーション概論 (2)
				スポーツ健康科学実技I A (1)	スポーツ健康科学実技I B (1)
				スポーツ健康科学実技II A (1)	スポーツ健康科学実技II B (1)
				スポーツ健康科学実技III A (1)	スポーツ健康科学実技III B (1)
				スポーツ健康科学実技IV A (1)	スポーツ健康科学実技IV B (1)
				スポーツ健康科学講義I (2)	スポーツ健康科学講義II A (2)
				スポーツ健康科学講義II B (2)	スポーツ健康科学演習I (2)
				全学総合A (2)	全学総合B (2)
				全学総合C (2)	全学総合D (2)
				全学総合E (2)	全学総合F (2)
				全学総合G (2)	全学総合H (2)
				全学総合I (2)	全学総合J (2)
				全学総合K (2)	全学総合L (2)
				全学総合M (2)	全学総合N (2)
				総合C (2)	総合D (2)
				総合E (2)	総合F (2)
				総合G (2)	総合H (2)
				総合I (2)	総合J (2)
				総合K (2)	総合L (2)
				総合M (2)	総合N (2)

◆◆ 国際社会学科専門教育科目 授業科目一覧 ◆◆

区分		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
学 科 専 門 科 目 (8)	必修科目 (3)	国際社会概論 (2)		国際社会論演習Ⅱ A (2)	国際社会論演習Ⅱ A (2)	
		ダイバーシティ概論 (2)		国際社会論演習Ⅱ B (2)	国際社会論演習Ⅱ B (2)	
	選択必修 A (4)	国際社会体験演習 (2)				
		国際社会論基礎演習 A (2)				
		国際社会論基礎演習 B (2)				
		社会調査入門 A (2)				
		社会調査入門 B (2)				
		文化人類学 (2)				
		現代人類学 (2)				
		グローバル化の社会学 (2)				
共生社会学 (2)						
選択必修 B (4)	国際社会調査実習 A (2)	国際社会調査実習 B (2)		※国際社会調査実習 A/Bまたは国際社会論演習Ⅰ A/Bまたは国際社会プロジェクト演習Ⅰ A/Bをセットで修得すること。		
	国際社会論演習Ⅰ A (2)	国際社会論演習Ⅰ B (2)				
選択必修 C (4)	日本社会文化論 A (2)	日本社会文化論 B (2)	アジア社会文化論 A (2)	アジア社会文化論 B (2)		
	アフリカ社会文化論 A (2)	アフリカ社会文化論 B (2)	南北アメリカ社会文化論 A (2)	南北アメリカ社会文化論 B (2)		
選択必修 D (4)	中東社会文化論 A (2)	中東社会文化論 B (2)	ヨーロッパ社会文化論 A (2)	ヨーロッパ社会文化論 B (2)		
		イスラーム世界論 (2)	移民論 A (2)	移民論 B (2)		
選択科目		内なる国際化 (2)	環境と開発 A (2)	環境と開発 B (2)		
		生業と人間社会 A (2)	生業と人間社会 B (2)	難民論 (2)		
専 門 教 育 科 目 (8)	必修科目 (4)	マイノリティの人類学 (2)	言語と文化 (2)	いのちの社会学 (2)		
		現代紛争論 (2)	ジェンダー文化論 A (2)	ジェンダー文化論 B (2)		
	選択必修科目① (2)	民族とナショナリズム (2)	ジェンダーと不平等 (2)	教育と社会的排除 (2)		
		グローバル・ヒストリー A (2)	グローバル・ヒストリー B (2)	ライフヒストリー論 (2)		
	選択必修科目② (2)	多文化共生論 (2)	Multiculturalism in a Globalising World (2)	グローバル化と現代社会 (2)		
		市民社会学論 (2)	文化社会学 A (2)	文化社会学 B (2)		
	選択必修科目③ (2)	宗教社会学 A (2)	宗教社会学 B (2)	人文地理学 A (2)		
		人文地理学 B (2)	文化人類学の最前線 (2)	社会運動の社会学 (2)		
	選択必修科目④ (2)	アジア言語文化論 A (2)	アジア言語文化論 B (2)	政治と社会 (2)		
		Global Sociology (2)				
選択必修科目⑤ (2)	ボランティアとインターンシップ (2)		国際社会プロジェクト演習Ⅱ A (2)	国際社会プロジェクト演習Ⅱ B (2)		
				卒業論文 (8)		
学 部 共 通 科 目 (18)	必修科目 (4)	社会学概論 A (2)				
		社会学概論 B (2)				
	選択必修科目① (2)	統計情報処理および実習Ⅰ (2)				
		ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ (2)				
	選択必修科目② (2)	家族社会学 (2)	地域社会学 (2)	環境社会学 (2)	労働社会学 (2)	
		教育社会学 (2)	政治社会学 (2)	現在の風土と人間・社会 (2)	風土の変遷と人間・社会 (2)	
	選択必修科目③ (2)	理論社会学 (2)	都市社会学 (2)	犯罪社会学 (2)	福祉社会学 (2)	
		非営利活動論 (2)				
	選択必修科目④ (2)	自然地理学(地震防災と社会) (2)	自然地理学(地形と気候) (2)	地誌学(世界) (2)	地誌学(日本) (2)	
			社会学史 A (2)	社会学史 B (2)		
	選択必修科目⑤ (2)		社会統計学Ⅰ (2)	社会統計学Ⅱ (2)	質的調査法Ⅰ (2)	
		社会情報学基礎論 A(メディアと社会) (2)	社会情報学基礎論 B(インターネットと社会) (2)	マス・コミュニケーション学基礎論 A (2)	マス・コミュニケーション学基礎論 B (2)	
	選択必修科目⑥ (2)	情報学基礎論 A (2)	情報学基礎論 B (2)	情報メディア史 A (2)	情報メディア史 B (2)	
		消費情報論 (2)	コミュニケーション論 (2)	多文化コミュニケーション論 (2)	情報倫理概論 (2)	
	選択必修科目⑦ (2)		知財・情報法制論 (2)	マスコミ倫理・法制論 (2)	世論 (2)	
			ジャーナリズム論 (2)	広告論 (2)	災害情報論 (2)	
	選択必修科目⑧ (2)		ソーシャルメディア論 (2)			
		社会心理学概論 A (2)	社会心理学概論 B (2)	健康心理学 (2)	健康社会心理学 (2)	
	選択必修科目⑨ (2)	知覚・認知心理学 (2)	認知社会心理学 (2)	産業・組織心理学 (2)	臨床心理学概論 (2)	
		人体の構造と機能及び疾病 (2)	教育・学校心理学 (2)			
選択必修科目⑩ (2)		司法・犯罪心理学 (2)	犯罪・社会心理学 (2)	社会・集団・家族心理学 (2)		
	ライフキャリア論 (2)	政治学原論 A (2)	政治学原論 B (2)			
選択必修科目⑪ (2)	統計情報処理および実習Ⅱ (2)	ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ (2)				
		統計情報処理および実習Ⅲ (2)	統計情報処理および実習Ⅳ (2)			
選択必修科目⑫ (2)		ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ (2)	ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ (2)			
	国際文化事情 A (2)	国際文化事情 B (2)	国際文化事情 C (2)	国際文化事情 D (2)		
選択必修科目⑬ (2)	国際文化事情 E (2)	国際文化事情 F (2)				



◆◆第1部他学部他学科開放科目◆◆

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
文学部		GER301	ドイツ語講読と文化A	3～4	1		
		GER302	ドイツ語講読と文化B	3～4	1		
		GER303	ドイツ語コミュニケーションと文化A	3～4	1		
		GER304	ドイツ語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		FRA301	フランス語講読と文化A	3～4	1		
		FRA302	フランス語講読と文化B	3～4	1		
		FRA303	フランス語コミュニケーションと文化A	3～4	1		
		FRA304	フランス語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		CHI301	中国語講読と文化A	3～4	1		
		CHI302	中国語講読と文化B	3～4	1		
		CHI303	中国語コミュニケーションと文化A	3～4	1		
		CHI304	中国語コミュニケーションと文化B	3～4	1		
		東洋思想文化学科	CIB106	インド思想史A	1～4	2	
			CIB107	インド思想史B	1～4	2	
	CIB110		仏教思想概論A	1～4	2		
	CIB111		仏教思想概論B	1～4	2		
	LIN101		サンスクリット語ⅠA	1～4	1		
	LIN102		サンスクリット語ⅠB	1～4	1		
	LIN103		ヒンディー語A	1～4	1		
	LIN104		ヒンディー語B	1～4	1		
	LIN205		サンスクリット語ⅡA	2～4	1		
	LIN206		サンスクリット語ⅡB	2～4	1		
	LIN207		パーリ語A	2～4	1		
	LIN208		パーリ語B	2～4	1		
	LIN209		チベット語A	2～4	1		
	LIN210		チベット語B	2～4	1		
	RES105		宗教学概論A	1～4	2		
	RES106		宗教学概論B	1～4	2		
	CIB114		イスラーム概論	1～4	2		
	CIB115		インド現代思想	1～4	2		
	CIB116		現代のインド	1～4	2		
	SOC106		現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
	SOC107		現代社会に生きる仏教B	1～4	2		
	RES107		キリスト教概論	1～4	2		
	CIB117		中国学概論A	1～4	2		
	CIB118		中国学概論B	1～4	2		
	CIB303		中国哲学史A	3～4	2		
	CIB304		中国哲学史B	3～4	2		
	CHL301		中国文学史A	3～4	2		
	CHL302		中国文学史B	3～4	2		
	CHL303		中国現代文学史A	3～4	2		
	CHL304		中国現代文学史B	3～4	2		
	日本文学文化学科		JLT115	日本文学の歴史(上代)	1～4	2	
			JLT116	日本文学の歴史(中古)	1～4	2	
		JLT117	日本文学の歴史(中世)	1～4	2		
		JLT118	日本文学の歴史(近世)	1～4	2		
JLT119		日本文学の歴史(近代)	1～4	2			
JLT120		日本文学の歴史(現代)	1～4	2			
LIG103		比較文学Ⅰ	1～4	2			
LIG104		比較文学Ⅱ	1～4	2			
LIE201		世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2			
LIE202		世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2			
CHL201	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2				
CHL202	世界の文学文化と日本Ⅳ	1～4	2				

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
文学部	日本文学文化学科	CUA104	伝統行事を学ぶ	1～4	2		
		FAH103	日本美術の世界	1～4	2		
		JLT212	万葉文化の世界	2～4	2		
		JLT213	平安朝文化の世界	2～4	2		
		JLT214	室町・戦国文化の世界	2～4	2		
		JLT215	江戸文化の世界	2～4	2		
		JLT216	近現代文化の諸問題	2～4	2		
		JLT217	古典籍に親しむ	2～4	2		
	CUA201	日本民俗学の諸問題	2～4	2			
	史学科	HSG301	歴史学概論	3～4	2		
		JPH203	日本史学特講A	2～4	2		
		JPH204	日本史学特講B	2～4	2		
		HAA203	東洋史学特講A	2～4	2		
		HAA204	東洋史学特講B	2～4	2		
		HEA203	西洋史学特講A	2～4	2		
		HEA204	西洋史学特講B	2～4	2		
		ARC201	考古学研究A	2～4	2		
		ARC202	考古学研究B	2～4	2		
		JPH105	古文書学ⅠA	1～4	2		
	JPH106	古文書学ⅠB	1～4	2			
	JPH107	古文書学ⅡA	1～4	2			
	JPH108	古文書学ⅡB	1～4	2			
	教育学科	JPH115	社会文化史(日本)	1～4	2		
		HEA105	社会文化史(西洋)	1～4	2		
		EDU111	女性問題と学習	1～4	2		
		EDU114	グローバル化と学習	1～4	2		
		EDU106	生涯学習概論Ⅰ	1～4	2		
		SNE102	特別支援教育概論Ⅰ	1～4	2		
		EDU109	比較政策論	1～4	2		
		SOE103	比較社会論	1～4	2		
		HIT107	アメリカ思想史	1～4	2		
		EDU110	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2		
	EDU115	家庭教育論	1～4	2			
	SNE104	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2			
	国際文化コミュニケーション学科	EUL105	ドイツ文化・文学研究A	1～4	2		
		EUL106	ドイツ文化・文学研究B	1～4	2		
		EUL107	フランス文化・文学研究A	1～4	2		
		EUL108	フランス文化・文学研究B	1～4	2		
		JLT145	日本文化表象ⅠA	1～4	2		
	JLT146	日本文化表象ⅠB	1～4	2			
	経済学部	外国語	FRA109	検定フランス語A	1～4	1	
			FRA110	検定フランス語B	1～4	1	
GER207			検定ドイツ語A	2～4	1		
GER208			検定ドイツ語B	2～4	1		
GER209			時事ドイツ語A	2～4	1		
GER210			時事ドイツ語B	2～4	1		
FRA207			上級フランス語A	2～4	1		
FRA208			上級フランス語B	2～4	1		
CHI211			検定中国語A	2～4	1		
CHI212			検定中国語B	2～4	1		
CHI213			コミュニケーション中国語A	2～4	1		
CHI214			コミュニケーション中国語B	2～4	1		
経済学科			EDE203	経済哲学A	2～4	2	
			EDE204	経済哲学B	2～4	2	
		PFP301	医療経済学A	3～4	2		
		PFP302	医療経済学B	3～4	2		
		ECP305	人口経済学A	3～4	2		
		ECP306	人口経済学B	3～4	2		
		PFP307	政治経済学A	3～4	2		
		PFP308	政治経済学B	3～4	2		
国際経済学科		ECP202	日本経済論A	2～4	2		
		ECP203	日本経済論B	2～4	2		
ECP312		ヨーロッパ経済論A	1～4	2			

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/備考
経済学部	国際経済学科	ECP313	ヨーロッパ経済論B	1～4	2	
		ECP105	海外経済研修I	1～4	2	
		ECP106	海外経済研修II	1～4	2	
		ECP107	海外経済研修III	1～4	2	
		ECH301	西欧経済史A	2～4	2	
		ECH302	西欧経済史B	2～4	2	
		MOF305	国際金融論A	2～4	2	
		MOF306	国際金融論B	2～4	2	
		ECP210	経済発展論A	2～4	2	
		ECP211	経済発展論B	2～4	2	
		PFP311	国際公共経済A	2～4	2	
		PFP312	国際公共経済B	2～4	2	
		ECT401	上級国際経済学A	2～4	2	
		ECT402	上級国際経済学B	2～4	2	
		MOF204	アセット・マネジメントA	2～4	2	
	MOF205	アセット・マネジメントB	2～4	2		
	総合政策学科	EDE101	社会経済思想史A	1～4	2	
		EDE102	社会経済思想史B	1～4	2	
		ECP119	現代ビジネスの基礎	1～4	2	
		EPS102	環境リテラシーA	1～4	2	
		EPS103	環境リテラシーB	1～4	2	
		SPS101	健康科学	1～4	2	
		ARS111	比較文化社会I	1～4	2	
		ARS112	比較文化社会II	1～4	2	
		ARS113	比較文化社会III	1～4	2	
		ARS114	比較文化社会IV	1～4	2	
		ARS115	比較政策分析I	1～4	2	
		ARS116	比較政策分析II	1～4	2	
		ARS117	比較政策分析III	1～4	2	
		ARS118	比較政策分析IV	1～4	2	
		PFP201	社会政策A	2～4	2	
		PFP202	社会政策B	2～4	2	
		PFP203	地域分析	2～4	2	
		ECP218	政策デザイン	2～4	2	
		ECP120	総合政策特講I	1～4	2	
		ECP121	総合政策特講II	1～4	2	
		ECP122	総合政策特講III	1～4	2	
		ECP123	総合政策特講IV	1～4	2	
		ECP219	総合政策特講V	2～4	2	
		ECP220	総合政策特講VI	2～4	2	
		PFP313	財政学	3～4	2	
		PFP314	地方財政論	3～4	2	
		PFP315	公共政策の経済学	3～4	2	
		PFP316	公共選択	3～4	2	
		MOF308	地域金融論	3～4	2	
		ECP124	社会的企業	1～4	2	
		ECP125	非営利組織	1～4	2	
ECP222		現代の産業と企業	2～4	2		
PFP204	公民連携論	2～4	2			
PFP205	行政システム	2～4	2			
EPS201	環境経済学A	2～4	2			
EPS202	環境経済学B	2～4	2			
EPS203	エネルギー経済学A	2～4	2			
EPS204	エネルギー経済学B	2～4	2			
ECP223	情報社会と企業	2～4	2			
ECP224	情報社会と産業	2～4	2			
ECP226	総合政策特講VII	2～4	2			
ECP227	総合政策特講VIII	2～4	2			
ECP228	労働経済学A	2～4	2			
ECP229	労働経済学B	2～4	2			
経営学部	経営学科	MAN112	意思決定論	1～2	2	
		MAN113	経営分析論	1～2	2	
		MAN208	コーポレートガバナンス論	2	2	

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
経営学部	経営学科	MAN214	国際経営基礎論	2	2	
		MOF206	経営財務論	2	2	
		MAN312	国際経営論	3～4	2	
		MAN316	企業評価論	3～4	2	
		MOF309	投資決定論	3～4	2	
		MAN317	コンプライアンス経営論	3～4	2	
		GBC303	ビジネス・ネゴシエーションA	1～4	2	
		GBC304	ビジネス・ネゴシエーションB	1～4	2	
		GBC305	ビジネス・ニュース英語A	1～4	2	
		GBC306	ビジネス・ニュース英語B	1～4	2	
	MAN119	海外企業実地研修Ⅰ	1～4	2		
	MAN120	海外企業実地研修Ⅱ	1～4	2		
	マーケティング学科	CME205	サービス・マーケティング論	2	2	
		CME217	リレーションシップ・マーケティング	2～4	2	
		CME207	ファッション・マーケティング論	2～4	2	
		CME208	現代のファッション・マーケティング	2～4	2	
	会計ファイナンス学科	MOF101	金融論	1	2	
		MOF102	金融システム論	1	2	
		MOF104	ファイナンス論	1	2	
		MAN121	海外経営研修	1～4	2	
ACC211		経営監査論	2～4	2		
ACC212		会計監査論	2～4	2		
MOF311		証券投資論	2～4	2		
法学部	法律学科	LIN105	語学研修A	1～4	2	
		LIN106	語学研修B	1～4	2	
		LAW108	海外法学研修	1～4	2	
		FUL107	法哲学A	1～4	2	
		FUL108	法哲学B	1～4	2	
		FUL109	法思想史A	1～4	2	
	企業法学科	FUL110	法思想史B	1～4	2	
		CRL103	刑法Ⅰ(総論)A	1～4	2	
		CRL104	刑法Ⅰ(総論)B	1～4	2	
		INR201	International Politics A	2～4	2	
		INR202	International Politics B	2～4	2	
		INR203	Peace Studies A	2～4	2	
		INR204	Peace Studies B	2～4	2	
		ILA203	International Law A	2～4	2	
ILA204	International Law B	2～4	2			
INR303	International Relations A	3～4	2			
INR304	International Relations B	3～4	2			
国際観光学部	国際観光学科	TOS210	地域観光論	2～4	2	
		PFP101	地域財政と観光	1～4	2	
		TOS212	ペットツーリズム論	2～4	2	
		TOS314	観光法制度論	3～4	2	
		PFP324	観光・環境経済学	3～4	2	
		TOS225	セレモニー概論	2～4	2	
		TOS326	特定複合観光施設の制度と税Ⅰ	3～4	2	
		TOS332	ホスピタリティ・デザイン論	3～4	2	
		TOS347	エンターテインメント・ビジネス論	3～4	2	
		FAH105	観光と芸術Ⅰ	1～4	2	
FAH201	観光と芸術Ⅱ	1～4	2			
国際学部	国際地域学科	INR110	国際政治学Ⅰ	1	2	
		INR210	国際政治学Ⅱ	2～4	2	
		INR305	国際政治学Ⅲ	2～4	2	
		ECP135	農村地域開発論	1	2	
		ECP239	開発経済論	2～4	2	
		ECP241	アジア経済論	2～4	2	
		CUA117	Participatory Development	1	2	
		POL216	Politics and Society in Japan	2～4	2	
		ECP341	Southeast Asian Studies	2～4	2	
		ECP340	Japan and the World Economy	2～4	2	
		CUA116	文化人類学入門	1	2	
		CUA206	宗教と社会	2～4	2	

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
国際学部	国際地域学科	LIG204	比較芸術論	2～4	2	
		ARS311	アフリカ地域研究	2～4	2	
		JLE110	Volunteers for Cultural Exchange	1	2	
		HUG105	Introduction to Geography	1	2	
		MAN145	Japanese Economy and Business	1	2	
		SOE111	International Student Mobility	1	2	
		SOC283	Sociology of Islam	2～4	2	
		SOC284	Immigration and Cross-cultural Issues	2～4	2	
		SOC287	World Cultures and Communities	2～4	2	
		SOC286	NGO・NPO論	2～4	2	
		PFP325	社会政策論	2～4	2	
		SWS407	福祉社会論	2～4	2	
		HUG107	都市論	1	2	
		TPA202	コミュニティ開発論	2～4	2	
		TPA203	都市計画	2～4	2	
		TPA206	まちづくり論	2～4	2	
		TPA303	都市住宅論	2～4	2	
		SWS140	An Introduction to Welfare Society	2～4	2	
		SOC288	Community Studies	2～4	2	
		TPA204	Housing the Poor in Asia	2～4	2	
		TPA301	Urban and Regional Planning in Asia	2～4	2	
		INN301	インターネット・情報技術実習	2～4	2	
		MUD301	データベース概論	2～4	2	
		CEP101	国際インフラ論入門	1	2	
		CEP201	アジアの都市と交通	2～4	2	
		CEP301	交通まちづくりの計画と政策	2～4	2	
		CEP302	国土計画・地域計画	2～4	2	
		EPS209	環境社会論	2～4	2	
		CEE201	環境管理適正技術論	2～4	2	
		DEV201	環境システム論	2～4	2	
		ENE201	エネルギー・資源論	2～4	2	
		NDD101	災害と復興	1	2	
		NDD102	自然災害と防災	1	2	
		EPS104	Introduction to Environmental Studies	1	2	
		CEE101	Japanese Experiences on Environmental Management	1	2	
		TPA201	Urban Development History of Tokyo	2～4	2	
		CEP202	Cities and Transport in Asia	2～4	2	
		NDD201	Natural Disasters and Disaster Risk Management	2～4	2	
		DEV202	Global Water Problems	2～4	2	
		EPS302	Environmental Issues in Asia	2～4	2	
INN501	Practice of Internet Technology	2～4	2			



履修上の注意（第1部）

◆◆ 語学科目（社会・メディアコミュニケーション・社会心理・国際社会学科） ◆◆

社会学部は必修語学と選択必修語学を修得することが、卒業要件の一つとなっています。科目の概要は以下の通りとなります。

④ シラバス p.22

個々の授業の内容については『シラバス』の各コースを参照してください。

必修語学

カレント・イングリッシュ	カレント・イングリッシュ I A・I B	自然な形でのコミュニケーション・スキルの向上を目指し、英語に慣れ親しむことを目的としています。おもに、基礎力、発音、スピーキング能力、リスニング能力の向上に重点を置きつつ、身近なことから社会的なことまで幅広く発信できる「使える英語」の習得を目指しています。
	カレント・イングリッシュ II A・II B	社会学部の特色や専門性を加味した内容の授業を行うことを特長としています。この授業では、英語の4技能（スピーキング、ライティング、リスニング、リーディング）を総合的に伸ばし、英語学習への意欲を高めることを心がけています。同時に、英語による学習を通して、専門分野に関する知識や関心を広げていけるように配慮されています。

選択必修語学

必修語学とは別に、選択必修として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・日本語（外国人留学生対象）より1言語を選択します。

英語	英語 I A・I B	基礎力の養成に加えて、おもに文法と読解に重点を置いた授業を行うことを目的としています。また、国際人としての教養を高める教材が用いられています。
	英語 II A・II B	基礎力の養成に加えて、おもにリスニングとスピーキングに重点を置いた授業を行います。また、英語の運用に実用的に役立つ教材が使われています。
	英語 III A・III B	英語の4技能（スピーキング、ライティング、リスニング、リーディング）のさらなる向上を目指します。
ドイツ語	ドイツ語 I A・I B	この科目では主に基礎文法を学びます。ほぼ全員が初学者なので、発音の仕方と文字に慣れるところから始めます。1年後に初歩的な文章を読んだり、書いたり、あるいは話したり、聞いたりできるようになることを目指します。言葉を学ぶことで社会や文化への興味の幅が広がり、世界が開かれることを期待しています。
	ドイツ語 II A・II B	「ドイツ語 I A・I B」と並行して受講することで初歩的なドイツ語運用能力を身につけます。この科目ではとくに、日常生活レベルの基礎的なコミュニケーション力の修得を目指します。映像や音声教材なども使い、ドイツ語圏の社会文化事情についての理解も深めます。
	ドイツ語 III A・III B	「ドイツ語 I A・I B」「ドイツ語 II A・II B」での到達度をふまえ、復習も交えながら、中級レベルの文法理解と四技能（読む・書く・聞く・話す）のレベルアップを目指します。四技能を用いてドイツ語圏の時事的な社会文化事情を理解することにも挑戦してみます。
フランス語	フランス語 I A・I B	この科目では、主に文法を学びます。ほぼ全員が初学者なので、発音の仕方からはじめて、文字に慣れたら基礎的な文法を学び、1年後にはひととおり文章を読んだり書いたり、あるいは話したりできるようになります。言葉を学ぶことで社会や文化への興味が増え、世界が開かれることを期待しています。

フランス語	フランス語Ⅱ A・Ⅱ B	この科目では、「フランス語Ⅰ A・Ⅰ B」と並行して、フランス語を実践的に運用する力を身につけていきます。特に日常生活で行われる簡単なコミュニケーションの学習と、フランス語圏の社会事情について書かれた文章の読解を行います。発音やイントネーションにも気を付けながら基礎的な語学力を身につけ、日常生活で必要な会話や自分の考えを伝えることができるようになることを目標にします。
	フランス語Ⅲ A・Ⅲ B	「フランス語Ⅰ A・Ⅰ B」「フランス語Ⅱ A・Ⅱ B」でのフランス語力の達成度および社会事情の理解度を踏まえてさらに高度な語学力や知識を身につけられるように指導していきます。中級レベルの文法をしっかりと身につけ、読解や会話、仏作文の力をつけていきます。社会事情に関する知識の習得と語学の学習とが結びつくような教科書を使用します。
中国語	中国語Ⅰ A・Ⅰ B	中国語の基礎文法を学習することを目的とします。中国語の発音や発音記号「ピンイン」を習得した上で、基本語彙と基礎文法を学び、中国語の基本構造を理解できるようにします。また、文法書や辞書の使い方を覚え、中国語の学習を続けるための基礎を築きあげることを目標とします。
	中国語Ⅱ A・Ⅱ B	「中国語Ⅰ A・Ⅰ B」と並行して基本語彙と基礎文法を習得しながら、中国語を実践的に運用する力を養うための科目です。ここでは、語彙と文法を学習するほかに、中国語で「読む・聞く・話す・書く」などの応用力を高めるための練習を行います。また、中国語圏の社会・文化に関する知識や情報も適宜紹介します。
	中国語Ⅲ A・Ⅲ B	「中国語Ⅰ A・Ⅰ B」と「中国語Ⅱ A・Ⅱ B」で習得した中国語の知識をベースに、より高度な中国語の能力をめざします。授業は、担当教員によって内容が異なりますが、主として中国語圏社会事情を反映した教科書を使い、読解の訓練を中心とした授業と、中国語の応用や会話などの訓練を中心とした授業を行います。
ハングル	ハングルⅠ A・Ⅰ B	朝鮮語(韓国語)初学者を対象に、文字・発音と基本的文法をカバーして、学習の基礎を固めることを目指します。ハングル学習においては、文字と発音の習得が最も難しくかつ重要です。初習外国語なりの難しさはあると思いますが、わかりやすい授業で基礎がしっかり身につくように進めていきます。そして、語学知識だけでなく、朝鮮・韓国の社会や文化などに関する紹介もあって言葉だけではなく韓国・朝鮮の社会や文化を知る機会にもなります。
	ハングルⅡ A・Ⅱ B	初めてハングルを学習する学生向けで、文字の読み書きからはじめます。「ハングルⅠ A・Ⅰ B」の内容とほぼ同じ内容で進めていきますが「ハングルⅠ A・Ⅰ B」と違うのは、「ハングルⅡ A・Ⅱ B」では実践を中心にする内容であることです。レベルはハングルの基礎であり、可能なら「ハングルⅠ A・Ⅰ B」を同時に受講するのをお勧めします。このコースでも、語学知識だけでなく、朝鮮・韓国の社会や文化などに関する紹介などがあり、言葉だけではなく韓国・朝鮮の社会や文化を知る機会にもなります。
	ハングルⅢ A・Ⅲ B	「ハングルⅠ A・Ⅰ B」と「ハングルⅡ A・Ⅱ B」で習得した内容をさらに発展させ、より高い語学力を養成することを目的とした内容になります。辞書を用いることができ、朝鮮語(韓国語)で書かれた新聞記事や本などの文章を読解でき、短い会話で自分の意見を朝鮮語(韓国語)で表現できるレベルの語学力を身につけることを目標としています。

選択語学

カレント・イングリッシュ Ⅲ A・Ⅲ B	英語力の更なる向上を目指す3～4年生向けに開講している選択科目です。4技能(スピーキング、ライティング、リスニング、リーディング)のバランスの取れた高度な英語力を磨いていきます。より専門的な知識とグローバルな知見を高める教材を使用していきます。英語学習に熱意のある学生だけでなく、留学予定者・留学修了者も是非履修してください。
-------------------------	---

◆◆ 語学科目（社会福祉学科） ◆◆

社会学部は必修語学と選択必修語学を修得することが、卒業要件の一つとなっています。科目の概要は以下の通りとなります。

④ シラバス p.22

個々の授業の内容については『シラバス』の各コースを参照してください。

必修語学

カレント・イングリッシュ	カレント・イングリッシュ I A・I B	自然な形でのコミュニケーション・スキルの向上を目指し、英語に慣れ親しむことを目的としています。おもに、基礎力、発音、スピーキング能力、リスニング能力の向上に重点を置きつつ、身近なことから社会的なことまで幅広く発信できる「使える英語」の習得を目指しています。
	カレント・イングリッシュ II A・II B	社会学部の特色や専門性を加味した内容の授業を行うことを特長としています。この授業では、英語の4技能（スピーキング、ライティング、リスニング、リーディング）を総合的に伸ばし、英語学習への意欲を高めることを心がけています。同時に、英語による学習を通して、専門分野に関する知識や関心を広げていけるように配慮されています。

選択必修語学

必修語学とは別に、選択必修として英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハンガール・日本語（外国人留学生対象）より1言語を選択します。

英語 I A・I B	基礎力の養成に加えて、おもに文法と読解に重点を置いた授業を行うことを目的としています。また、国際人としての教養を高める教材が用いられています。
ドイツ語 I A・I B	この科目では主に基礎文法を学びます。ほぼ全員が初学者なので、発音の仕方と文字に慣れるところから始めます。1年後に初歩的な文章を読んだり、書いたり、あるいは話したり、聞いたりできるようになることを目指します。言葉を学ぶことで社会や文化への興味の幅が広がり、世界が開かれることを期待しています。
フランス語 I A・I B	この科目では、主に文法を学びます。ほぼ全員が初学者なので、発音の仕方からはじめて、文字に慣れたら基礎的な文法を学び、1年後にはひととおり文章を読んだり書いたり、あるいは話したりできるようにします。言葉を学ぶことで社会や文化への興味が増え、世界が開かれることを期待しています。
中国語 I A・I B	中国語の基礎文法を学習することを目的とします。中国語の発音や発音記号「ピンイン」を習得した上で、基本語彙と基礎文法を学び、中国語の基本構造を理解できるようにします。また、文法書や辞書の使い方を覚え、中国語の学習を続けるための基礎を築きあげることを目標とします。
ハンガール I A・I B	朝鮮語（韓国語）初学者を対象に、文字・発音と基本的文法をカバーして、学習の基礎を固めることを目指します。ハンガール学習においては、文字と発音の習得が最も難しくかつ重要です。初習外国語なりの難しさはあると思いますが、わかりやすい授業で基礎がしっかり身につくように進めていきます。そして、語学知識だけでなく、朝鮮・韓国の社会や文化などに関する紹介もあって言葉だけではなく韓国・朝鮮の社会や文化を知る機会にもなります。

選択語学

選択必修語学と並行して、1年次より以下の科目を履修することができます。

英語 II A・II B	基礎力の養成に加えて、おもにリスニングとスピーキングに重点を置いた授業を行います。また、英語の運用に実用的に役立つ教材が使われています。
--------------	--

ドイツ語ⅡA・ⅡB	「ドイツ語ⅠA・ⅠB」と並行して受講することで初歩的なドイツ語運用能力を身につけます。この科目ではとくに、日常生活レベルの基礎的コミュニケーション力の修得を目指します。映像や音声教材なども用い、ドイツ語圏の社会文化事情についての理解も深めます。
フランス語ⅡA・ⅡB	この科目では、「フランス語ⅠA・Ⅱ」と並行して、フランス語を実践的に運用する力を身につけていきます。特に日常生活で行われる簡単なコミュニケーションの学習と、フランス語圏の社会事情について書かれた文章の読解を行います。発音やイントネーションにも気を付けながら基礎的な語学力を身につけ、日常生活で必要な会話や自分の考えを伝えることができるようになることを目標にします。
中国語ⅡA・ⅡB	「中国語ⅠA・ⅠB」と並行して基本語彙と基礎文法を習得しながら、中国語を実践的に運用する力を養うための科目です。ここでは、語彙と文法を学習するほかに、中国語で「読む・聞く・話す・書く」などの応用力を高めるための練習を行います。また、中国語圏の社会・文化に関する知識や情報も適宜紹介します。
ハングルⅡA・ⅡB	初めてハングルを学習する学生向けで、文字の読み書きからはじめます。「ハングルⅠA・ⅠB」の内容とほぼ同じ内容が進めていきますが「ハングルⅠA・ⅠB」と違うのは、「ハングルⅡA・ⅡB」では実践を中心にする内容であることです。レベルはハングルの基礎であり、可能なら「ハングルⅠA・ⅠB」を同時に受講するのを勧めます。このコースでも、語学知識だけではなく、朝鮮・韓国の社会や文化などに関する紹介などがあり、言葉だけではなく韓国・朝鮮の社会や文化を知る機会にもなります。

◆情報関連科目◆

現代の大学教育においては、コンピュータ、インターネット、デジタル情報機器などを使いこなせる「情報ハンドリング能力」を身につけることが重視されています。このため、社会学部では、以下の科目を用意しています。なお、各科目の詳細についてはシラバスを参照してください。

区分	科目名
第1部・第2部相互聴講科目	情報リテラシー※1
選択必修科目	統計情報処理および実習Ⅰ ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ
選択科目	統計情報処理および実習Ⅱ 統計情報処理および実習Ⅲ ※2 統計情報処理および実習Ⅳ ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ

※1「情報リテラシー」は「統計情報処理および実習Ⅰ」や「ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ」の履修にあたり、パソコン操作の基礎に不安のある初学者向けの科目です。

※2「統計情報処理および実習Ⅱ」・「統計情報処理および実習Ⅲ」・「統計情報処理および実習Ⅳ」を履修するにあたっては、「統計情報処理および実習Ⅰ」を修得していなければ履修できません。

実習科目は授業に出席して実習することが必須です。また、4年間の大学生活全体を見通して、どのように実習科目を履修していくか、よく計画することを勧めます。なお、いずれの科目もPC教室のコンピュータを用いて実習授業を行うため、コンピュータの台数によって、授業ごとの履修上限人数が定められています。選択科目について、希望者が上限人数を超える場合には、当該年度の履修者を抽選によって決定する場合があります。

いずれの科目についても、初歩の段階では予備知識を前提とせず、授業に出席して取り組み習得できるような授業計画になっています。段階を追って進むので、意欲的、積極的に取り組んで、課題をきちんとこなささえすれば、発展的コースを習得することも必ずしも難しいことではありません。なお、自習活動やグループ作業においては、教員の指示に従い、4号館3階の「社会学部情報実習室」を利用することも可能です。

◆◆他学部他学科開放科目◆◆

第1部の他学部で開講されている科目を、下記の要領で履修できます。

- ・他学部他学科開放科目に掲載された科目のみ履修できます。
- ・履修修得した単位は、卒業単位に認められます。
- ・学期履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ・科目提供学部の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- ・ToyoNet-Gで履修登録してください（申請は不要です）。

◆◆第1部・第2部相互聴講科目◆◆

第2部社会学部で開講されている科目を、下記の要領で履修できます。

対象科目 [第2部社会学部相互聴講提供科目]

科目	配当学年	単位数
専門講読ⅠA	2	2
専門講読ⅠB	2	2
専門講読ⅡA	3	2
専門講読ⅡB	3	2
情報リテラシー	1	2

※専門講読ⅠAとⅠB、専門講読ⅡAとⅡBはセットではありません。

※開講曜時は掲示またはToyoNet-Gで確認してください。

- (1) 履修修得した単位は、卒業単位に認められます。
- (2) 学期履修上限単位数（24単位）に算入します。
- (3) 科目提供主体（第2部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (4) ToyoNet-Gで履修登録してください（窓口での申請は不要です）。

◆◆自由科目◆◆

所属する学科教育課程表になく、他学部他学科開放科目にも存在しない科目については、下記の条件により、卒業に必要な単位として認められない「自由科目」として履修することができます。

- (1) 自由科目として履修修得した単位は、卒業単位に加算されません。
- (2) 科目提供学部の学年配当にしたがって履修してください。
- (3) 所属する学部学科の科目と同一内容・同一名称の科目は、履修できません。
- (4) カリキュラム年度の異なる科目を履修することはできません。
- (5) 第1部・第2部相互聴講科目以外の第2部開講科目は履修できません。
- (6) ToyoNet-Gでは履修登録できません。教務課窓口にて「申請書」に記入のうえ、その科目の担当教員の許可印を受けて、教務課に提出してください。ただし、担当教員の許可を受けても履修が許可されない場合があります。
- (7) 自由科目は各学期履修上限単位数（24単位）に算入します。

科目区分と学期履修上限単位数（第2部）

卒業するためには4年以上在学し、所定の科目の単位を取得しなければなりません。履修区分により、卒業に必要な単位として認められる科目と認められない科目がありますので、下記の表で確認のうえ履修してください。

	科目区分		学期履修 上限単位数
	学科教育課程表の下記に属する区分 ○基盤教育科目 ・哲学・思想 ・学問の基礎 ・国際人の形成 ・キャリア・市民形成 ・健康・スポーツ科学 ・総合・学際 ○専門教育科目 ○他学部他学科開放科目 ○第1部・第2部相互聴講科目 （第1部社会学部相互聴講提供科目参照）	卒業単位として認められる科目	24単位
自由科目	○学科教育課程表になく、かつ他学部他学科開放科目として履修できない、科目の担当教員の許可を得て履修する科目	認められない科目 卒業単位として	制限なし
教職科目	○学科教育課程表の教職科目に該当する科目 （教職課程一覧表の①教科及び教科の指導法に関する科目の一部） ○教職課程一覧表の②教育の基礎的理解に関する科目等 ③大学が独自に設定する科目		



学部		社会学部第2部	
科目区分		学科	
		社 会	
基盤教育科目	哲学・思想	2～	
	学問の基礎		
	国際人の形成		
	キャリア・市民形成		
	健康・スポーツ科学		
	総合・学際		
	基盤教育科目 小計	20～	
専門教育科目	必修	24	
	選択必修	A	2～
		B	12～
	選択		
	教職		
	専門教育科目 小計	66～	
他学部他学科開放科目			
第1部・第2部相互聴講科目			
計		124	



所属学科により、修得しなければならない科目区分や単位数が異なりますので、詳細は学科ページに記載されている卒業要件を必ず確認してください。

◆◆第2部社会科学◆◆

1 人材の養成に関する目的

働きつつ学ぶ意欲を持つ者に、「社会学」を通して人格の完成への歩を進める機会を提供し、1年次から4年次まで必修となっている「演習（ゼミ）」を中心に社会的なできごとを客観的に分析し、その結果を報告し、議論できる「社会的な身体」をもつ人材を養成することを目的とする。これは、「余資なき者優暇なき者」のためという、学祖・井上円了の教育理念の実体化を図るものである。

2 学生が修得すべき能力等の目標

社会学部の共通の教育目標である「社会学を軸とした『理論・実証・実践の結合』」を、第1部の5学科の特色ある科目群のなかから抽出した開講科目を履修することを通して身につけることである。基盤教育科目群を学修することで高等教育に与るものに相応しい教養を身につけるとともに、専門科目群の中でも必修科目の「社会学概論A・B」および「社会調査入門A・B」、選択必修科目の「社会調査および実習A・B」を軸に自らの研究課題を深めてゆくことを目標とする。

第2部社会科学のポリシー

〈カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）〉

社会学部イブニングコースは、社会学部第1部の5学科（社会学、国際社会学、社会福祉学科、メディアコミュニケーション学科、社会心理学）が支える学科であり、広く社会学分野を学ぶことができる。そのうえで各個人が置かれた状況を、それを取り巻く社会的・文化的・心理的な背景からとらえなおす力を育成することである。

この教育目的をふまえ、下記のような特色を持つ教育課程を編成・実施する。

- (1) 学問の基礎を修得するために、「哲学・思想」、「学問の基礎」、「国際人の形成」、「キャリア・市民生活」、「健康・スポーツ科学」、「総合・学際」の科目を開講している。これらの基盤教育科目を受講することで、高等教育を学ぶ者にふさわしい教養を身につけることができる。「国際人の形成」の語学科目では、英語（カレントイングリッシュ）だけでなく、ドイツ語、フランス語、中国語、ハングルを学ぶことができる。さらに専門科目では「英語圏社会文化」、「ドイツ語圏社会文化」、「フランス語圏社会文化」、「中国語圏社会文化」、「ハングル圏社会文化」を受講することで、語学といっしょにそれぞれの国の社会や文化を学ぶことも可能である。
- (2) 専門知識の習得
本学科では社会学部5学科の基幹科目のエッセンスを抽出した専門科目を開講している。このため、社会学を総合的かつ多角的に学ぶことが可能となっている。卒論執筆の指導教員を、第1部とは異なり、第1部5学科すべての教員の中から選べることも大きな特徴である。また、社会学部イブニングコースで開講されていない科目に関しては、第1部・第2部相互聴講科目とすることにより、第1部の開講科目も可能な限り履修できるようにしている。授業科目を強化するとともに、セメスター制を導入してすべての科目を半期化することによって、いっそう履修しやすい環境を整えている。
- (3) 自ら問題を発見し、調査し、研究し、発表する能力をはぐくむものとして演習と各種実習がある。「演習（ゼミナール）」は、教員と学生の緊密なコミュニケーションが得られる場でもあるが、1年生から4年生まで必修となっている。また、社会学部イブニングコースには社会人学生も

少なくないので、さまざまな経歴の人とともに学ぶことは、現実的問題により強く触れることにもつながる。一方「社会調査および実習」では、机上の学問だけでなく、フィールドワークを実践している。これによって実証的な学問の姿勢を体得すれば、これからの未来を予測しつつ学ぶことができ、卒業後の進路も多様に広がると考えられる。

さらに研鑽を深めたいという学生のために、本学大学院社会学研究科社会学専攻・社会心理学専攻・福祉社会システム専攻（夜間開講）、社会福祉学研究科社会福祉学専攻への進学の道も開かれている。

〈ディプロマ・ポリシー（卒業の認定及び学位授与に関する方針）〉

社会学科（イブニングコース）の教育目標は、各個人が置かれた状況を、それを取り巻く社会的・文化的・心理的な背景からとらえなおす力を育成することである。以下の能力を習得した学生に卒業を認定し学位を授与する。

- (1) 学問の基礎となる、広い知識・語学・情報処理技術等の習得
- (2) 社会学・文化人類学・メディアコミュニケーション学・心理学などの専門知識を学び各自の研究課題を追求できる能力
- (3) 社会問題を自ら調査、発表、討論できる力、および社会問題に立ち向かう能力

◆◆カリキュラムの特徴◆◆

（学科の沿革と特徴）

第2部社会科学（イブニングコース）の歴史は古く、1921（大正10）年に開設された専門部社会事業科（夜間）に遡ります。1951（昭和26）年に、文学部第2部社会科学として再スタートし、1959（昭和34）年に社会学部新設と同時に社会学部第2部社会科学が発足しました。

現代は、様々な社会現象や社会問題を正確に把握し、そのメカニズムの解明や問題解決に向けて積極的に行動することが問われる時代です。第2部社会科学では、理論とフィールドワーク（社会調査）の両面から、刻々と変化する社会の現象や問題を解明し、さらには社会との関わりの中で自分自身を見つめる心の目を育成していきます。

また、第2部社会科学のカリキュラムは、社会学部第1部を構成する社会科学、国際社会科学、社会福祉学科、メディアコミュニケーション学科、社会心理学の5学科（※）が共同で計画し、5学科の教員により授業を実施しているため、学生の多様な関心、学習要求に応えることができます。

※ 2024年度以降、一部学科の改組の可能性があります。

（幅広い多様な科目構成）

第2部社会科学の授業は社会学部第1部の5学科が共同で運営しているため、第1部に開講されている5学科の基幹科目のエッセンスを抽出して第2部社会科学で開講しており、総合的かつ多角的に学ぶことが可能です。

あわせて、第2部社会科学のカリキュラムにない科目は、可能な限り、第1部・第2部相互聴講科目として第1部開講科目を履修できるようにしています。また、可能な限り他学部開講の開放科目を卒業単位認定に取り入れ、自らの関心によって幅広く履修できるようにしています。

さらに、2016年度から授業科目を完全にセメスタ化（半期科目化）することにより、これまで以上に履修しやすくなっています。

（ゼミとフィールドワークの重視）

第2部社会科学では、様々な社会問題や社会現象を自分の力で調査し、それらを理論に基づいて自ら整理、思考、説明、討論のできる人材の育成を目標としています。この教育目標を達成するために、少人数の演習（ゼミ）と社会調査の実習授業を重視しています。

教員と学生との緊密なコミュニケーションが得られるように、1年次から4年次まで、ゼミが必修となっています。各学年とも少人数のゼミを複数コース開講しており、個人の関心に応じた専門知識を深めるだけでなく、終生の友人も得られるでしょう。

社会学は「事実発見の学」と言われており、第2部社会科学では「社会調査および実習」を学科創設時から一貫して重視し、受講を積極的に奨励しています。机上の学問だけではなく、実地のフィールドワークを通じて、実証的な学問の姿勢を身に付け、21世紀の将来を「予見」すべく学んでください。

（語学教育）

語学科目も充実し、基盤教育でカレント・イングリッシュ、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンガール語を学ぶことに加え、専門科目に「英語圏社会文化」（他の言語も同様）などがあり、語学の習得と同時にそれぞれの言語圏の社会事情や文化も学ぶことができます。

（キャリアデザイン）

第2部社会科学には社会人学生も少なくなく、また、各種の資格を目指す学生もおり、卒業後の進路を具体的に考えやすい環境となっています。本学科では、社会調査士、中学・高校の教育職員、社会福祉主事などの資格が取得可能です。これらの諸資格科目の多くを、卒業単位に算入できる科目として配置し、履修の便宜を図っています。

（大学院への進学）

学部課程で学んだ専門知識についてさらに研鑽を深めたい学生のために、本学大学院社会学研究科

社会学専攻・社会心理学専攻、社会福祉学研究科社会福祉学専攻への進学が開かれており、社会学専攻では、2部生を対象とする大学院科目の先行履修（p.142）と進学後の短期修了制度が設けられています。

◆履修について◆

専門科目は必修科目、選択必修科目、選択科目に分かれ、合計で66単位以上履修修得しなければなりません。なお、66単位を超えて修得した単位数も、卒業単位として認められます。

(1) 社会学基礎演習A・B（1年次担当）

社会学基礎演習のクラス分けは、就学手続き時に発表するので、それに従い履修してください。社会学基礎演習は「プレゼミ」として位置づけられ、特定の研究課題の学習よりも、自己の関心領域や研究方法を明確にさせるための基礎的な取り組みが可能になるように、レポートの書き方や社会学の基礎知識を学ぶ場です。

(2) 社会学演習ⅠA・ⅠB（2年次担当）、ⅡA・ⅡB（3年次担当）、ⅢA・ⅢB（4年次担当）

基礎演習をふまえて、より専門的な学習活動を行います。各学年とも社会学科、国際社会学科、社会福祉学科、メディアコミュニケーション学科、社会心理学科の5系統の演習を含んでいます。シラバスを参考にしてそれぞれの関心にあわせてコースを選択してください。

(3) 社会調査入門A・B（1年次担当）・社会調査および実習A・B（3～4年次担当）

社会現象を事実即して研究するための社会調査の理論と技法を学び、これらをふまえて実習を行います。

◆卒業要件◆

第2部社会学科を卒業するためには、下記の卒業要件を満たさなければなりません。p.122～p.123の【科目区分】・【卒業条件単位数】も参考に、卒業要件を確認してください。

- ① 【卒業単位として認められる科目】に区分されている科目から、124単位以上を修得すること。
- ② 専門教育科目
 - ・ 全体で66単位以上を修得すること。
 - ・ 必修を24単位修得すること。
 - ・ 選択必修Aから2単位以上、選択必修Bから12単位以上を修得すること。
- ③ 基盤教育科目
 - ・ 全体で20単位以上を修得すること。
 - ・ 哲学・思想区分から2単位以上修得すること。

◆◆第2部社会科学 基盤教育科目 課程表◆◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育科目 20						
哲学・思想 2	選択	PHE135	哲学A	1～4	2	
		PHE136	哲学B	1～4	2	
		PHE137	哲学史A	1～4	2	
		PHE138	哲学史B	1～4	2	
		PHE139	倫理学A	1～4	2	
		PHE140	倫理学B	1～4	2	
		RES108	宗教学ⅠA	1～4	2	
		RES109	宗教学ⅠB	1～4	2	
		RES110	宗教学ⅡA	1～4	2	
		RES111	宗教学ⅡB	1～4	2	
	CIB127	東洋思想	1～4	2		
人文学	選択	ASA108	芸術学A	1～4	2	
		ASA109	芸術学B	1～4	2	
		HSG122	歴史の諸問題A	1～4	2	
		HSG123	歴史の諸問題B	1～4	2	
		EUL103	西欧文学A	1～4	2	
		EUL104	西欧文学B	1～4	2	
		JLT130	現代日本文学A	1～4	2	
		JLT131	現代日本文学B	1～4	2	
		LIG106	アジアの文学	1～4	2	
		LIG107	アジアの古典	1～4	2	
社会科学	選択	ECT128	経済学A	1～4	2	
		ECT129	経済学B	1～4	2	
		LAW111	法学	1～4	2	
		POL104	政治学A	1～4	2	
		POL105	政治学B	1～4	2	
		GGR124	地理学A	1～4	2	
		GGR125	地理学B	1～4	2	
		PSY107	心理学A	1～4	2	
PSY108	心理学B	1～4	2			
学問の基礎	選択	MAT103	自然の数理A	1～4	2	
		MAT104	自然の数理B	1～4	2	
		PHY105	生活と物理A	1～4	2	
		PHY106	生活と物理B	1～4	2	
		ENE103	エネルギーの科学A	1～4	2	
		ENE104	エネルギーの科学B	1～4	2	
		BSC105	物質の科学A	1～4	2	
		BSC106	物質の科学B	1～4	2	
		ENV103	環境の科学A	1～4	2	
		ENV104	環境の科学B	1～4	2	
		EAP105	地球の科学A	1～4	2	
		EAP106	地球の科学B	1～4	2	
		BAB105	生物学A	1～4	2	
		BAB106	生物学B	1～4	2	
		AST105	天文学A	1～4	2	
		AST106	天文学B	1～4	2	
		SCE103	自然科学概論A	1～4	2	
		SCE104	自然科学概論B	1～4	2	
		CAS105	自然誌A	1～4	2	
		CAS106	自然誌B	1～4	2	
		BAB107	生物学実験講義A	1～4	2	
		BAB108	生物学実験講義B	1～4	2	
		BSC107	化学実験講義A	1～4	2	
		BSC108	化学実験講義B	1～4	2	
		SOF103	数理・情報実習講義A	1～4	2	
		SOF104	数理・情報実習講義B	1～4	2	
世界の伝統 と文化	選択	ARS119	地域文化研究A	1～4	2	
		ARS120	地域文化研究B	1～4	2	
		JLT122	百人一首の文化史A	1～4	2	

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意/備考		
基盤教育科目 20	世界の伝統と文化	選択	JLT123	百人一首の文化史B	1~4	2		
			JLT124	日本の昔話A	1~4	2		
			JLT125	日本の昔話B	1~4	2		
			JLT126	日本文学文化と風土A	1~4	2		
			JLT127	日本文学文化と風土B	1~4	2		
			JLT128	日本の詩歌A	1~4	2		
			JLT129	日本の詩歌B	1~4	2		
			HSG124	地域史A	1~4	2		
			HSG125	地域史B	1~4	2		
			IHR136	国際関係入門	1~4	2		
		グローバル社会の実際	選択	IHR135	異文化理解概論	1~4	2	
				IHR122	留学のすすめ	1~4	2	
				IHR123	海外研修Ⅰ	1~4	2	
				IHR124	海外研修Ⅱ	1~4	2	
				IHR125	海外実習Ⅰ	1~4	2	
				IHR126	海外実習Ⅱ	1~4	2	
				IHR127	短期海外研修Ⅰ	1~4	1	
				IHR128	短期海外研修Ⅱ	1~4	1	
				IHR129	短期海外研修Ⅲ	1~4	1	
	IHR130			短期海外研修Ⅳ	1~4	1		
	IHR131			短期海外実習Ⅰ	1~4	1		
	IHR132			短期海外実習Ⅱ	1~4	1		
	IHR133			短期海外実習Ⅲ	1~4	1		
	IHR134			短期海外実習Ⅳ	1~4	1		
	国際人の形成	語学 選択	ENG133	カレント・イングリッシュⅠA	1	1		
			ENG134	カレント・イングリッシュⅠB	1	1		
			ENG233	カレント・イングリッシュⅡA	2	1		
			ENG234	カレント・イングリッシュⅡB	2	1		
			GER127	ドイツ語ⅠAA	1	1		
			GER128	ドイツ語ⅠAB	1	1		
			GER129	ドイツ語ⅠBA	1	1		
			GER130	ドイツ語ⅠBB	1	1		
			GER227	ドイツ語ⅡAA	2	1		
			GER228	ドイツ語ⅡAB	2	1		
			GER229	ドイツ語ⅡBA	2	1		
			GER230	ドイツ語ⅡBB	2	1		
			FRA129	フランス語ⅠAA	1	1		
			FRA131	フランス語ⅠAB	1	1		
			FRA133	フランス語ⅠBA	1	1		
			FRA135	フランス語ⅠBB	1	1		
			FRA225	フランス語ⅡAA	2	1		
			FRA227	フランス語ⅡAB	2	1		
			FRA229	フランス語ⅡBA	2	1		
			FRA231	フランス語ⅡBB	2	1		
			CHI131	中国語ⅠAA	1	1		
			CHI132	中国語ⅠAB	1	1		
CHI133			中国語ⅠBA	1	1			
CHI134			中国語ⅠBB	1	1			
CHI235			中国語ⅡAA	2	1			
CHI236			中国語ⅡAB	2	1			
CHI237			中国語ⅡBA	2	1			
CHI238			中国語ⅡBB	2	1			
KOR117			ハングルⅠAA	1	1			
KOR118			ハングルⅠAB	1	1			
KOR119			ハングルⅠBA	1	1			
KOR120			ハングルⅠBB	1	1			
KOR208			ハングルⅡAA	2	1			
KOR209			ハングルⅡAB	2	1			
KOR210			ハングルⅡBA	2	1			
KOR211			ハングルⅡBB	2	1			
ENG187			Business English Communication	1~4	2			
ENG185			テクニカルライティング	1~4	2			
ENG186	アカデミックライティング	1~4	2					

科目区分			科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
基盤教育科目 20	国際人の形成	語学	選択	ENG139	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	※留学支援科目 LEAP Program p.191
				ENG140	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2	
				ENG141	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2	
				ENG142	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2	
				ENG143	Pre-Study Abroad : Listening/Speaking	1～4	2	
				ENG144	Pre-Study Abroad : Writing	1～4	1	
	キャリア・市民形成		選択	PUL107	日本国憲法	1～4	2	
				THI106	情報化社会と人間	1～4	2	
				CIV127	コンピュータ・リテラシーA	1～4	1	
				CIV128	コンピュータ・リテラシーB	1～4	1	
				CIV118	インターンシップ入門	1～4	2	
				CIV119	社会貢献活動入門	1～4	2	
				CIV216	公務員論	1～4	2	
				ECD102	情報ネットワーク論	1～4	2	
				PHE141	ロジカルシンキング入門	1～4	2	
				PHE142	クリティカルシンキング入門	1～4	2	
				CIV138	キャリアデザイン入門	1	2	
				CIV120	コミュニケーション& マナー入門	1	2	
				CIV230	キャリアデザイン実践	2	2	
				CIV217	コミュニケーション& マナー実践	2	2	
	CIV305	キャリアデベロップメント	3～4	2				
	CIV239	ファシリテーション概論	2～4	2				
	健康・スポーツ科学		選択	HSS113	スポーツ健康科学実技A	1～4	1	
				HSS114	スポーツ健康科学実技B	1～4	1	
				HSS115	スポーツ健康科学講義 I	1～4	2	
				HSS116	スポーツ健康科学講義 II A	1～4	2	
				HSS117	スポーツ健康科学講義 II B	1～4	2	
	総合・学際		選択	TYS113	全学総合A	1～4	2	
				TYS114	全学総合B	1～4	2	
				TYS115	全学総合C	1～4	2	
				TYS111	総合A	1～4	2	
				TYS112	総合B	1～4	2	
				STS107	全学総合D	1～4	2	
				INI102	全学総合E	1～4	2	
				ITS132	全学総合F	1～4	2	
				ITS133	全学総合G	1～4	2	
				ITS134	全学総合H	1～4	2	
				ITS135	全学総合I	1～4	2	
				ITS136	全学総合J	1～4	2	
				ITS137	全学総合K	1～4	2	
				ITS138	全学総合L	1～4	2	
				ITS139	全学総合M	1～4	2	
				ITS121	総合C	1～4	2	
ITS122				総合D	1～4	2		
ITS123				総合E	1～4	2		
ITS124				総合F	1～4	2		
ITS125				総合G	1～4	2		
ITS126				総合H	1～4	2		
ITS127				総合I	1～4	2		
ITS128				総合J	1～4	2		
ITS129	総合K	1～4	2					
ITS130	総合L	1～4	2					
ITS131	総合M	1～4	2					

◆第2部社会科学専門教育科目 課程表◆

※科目区分の後の数字は、その区分の最低必要単位数です。

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
専門教育科目 66					
必修 24	SEM130	社会学基礎演習A	1	2	
	SEM131	社会学基礎演習B	1	2	
	SOC140	社会学概論A	1	2	
	SOC141	社会学概論B	1	2	
	SOC138	社会調査入門A	1	2	
	SOC139	社会調査入門B	1	2	
	SEM237	社会学演習ⅠA	2	2	
	SEM238	社会学演習ⅠB	2	2	
	SEM337	社会学演習ⅡA	3	2	
	SEM338	社会学演習ⅡB	3	2	
SEM425	社会学演習ⅢA	4	2		
SEM426	社会学演習ⅢB	4	2		
選択必修A 2	STS103	統計情報処理および実習	1	2	
	WIS104	ウェブ情報処理およびプログラミング	1	2	
選択必修B 12	CUA113	文化人類学A	1～2	2	
	CUA114	文化人類学B	1～2	2	
	SWS131	社会福祉学概論A	1～2	2	
	SWS132	社会福祉学概論B	1～2	2	
	LIH140	社会情報学基礎論A	1～2	2	
	SOC142	社会情報学基礎論B	1～2	2	
	SOP103	社会心理学概論A	1～2	2	
	SOP104	社会心理学概論B	1～2	2	
	SOC339	社会学特講(現代社会論)A	3～4	2	
	SOC340	社会学特講(現代社会論)B	3～4	2	
	SOC341	社会学特講(文化社会学)A	3～4	2	
	SOC342	社会学特講(文化社会学)B	3～4	2	
	SOC343	社会学特講(メディアとコミュニケーション)A	3～4	2	
	SOC344	社会学特講(メディアとコミュニケーション)B	3～4	2	
	SOP308	社会学特講(社会心理学)A	3～4	2	
	SOP309	社会学特講(社会心理学)B	3～4	2	
	SOC337	社会調査および実習A	2～4	2	
	SOC338	社会調査および実習B	2～4	2	
選択	SOC257	社会学史A	1～4	2	
	SOC258	社会学史B	1～4	2	
	SOC260	家族社会学A	1～4	2	
	SOC261	家族社会学B	1～4	2	
	SOC271	地域社会学	1～4	2	
	SOC272	地域と貧困	1～4	2	
	SOC262	環境社会学A	1～4	2	
	SOC263	環境社会学B	1～4	2	
	GGR213	地理学(地域と社会)	1～4	2	
	GGR214	地理学(文化と社会)	1～4	2	
	GGR120	地誌学(世界)	1～4	2	
	GGR121	地誌学(日本)	1～4	2	
	GGR122	人文地理学(生活と地域)	1～4	2	
	GGR123	人文地理学(文化と地域)	1～4	2	
	GGR215	自然地理学(地震防災と社会)	1～4	2	
	GGR216	自然地理学(地形と気候)	1～4	2	
	SOC266	犯罪社会学A	1～4	2	
	SOC267	犯罪社会学B	1～4	2	
	SOC157	共生社会学	1～4	2	
	HIT301	社会文化思想史A	1～4	2	
	HIT302	社会文化思想史B	1～4	2	
	SOC264	宗教社会学A	1～4	2	
	SOC265	宗教社会学B	1～4	2	
	SWS133	高齢者福祉論	1～4	2	
SWS134	障害者福祉論	1～4	2		
SWS135	児童福祉論	1～4	2		
SWS136	地域福祉論	1～4	2		

科目区分	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
専門教育科目 66	選択	SWS137	社会保障論	1～4	2	
		SWS223	公的扶助論	1～4	2	
		SWS138	福祉行財政と福祉計画	1～4	2	
		SWS139	介護概論	1～4	2	
		SWS129	社会とソーシャルワーク	1～4	2	
		SWS130	社会と相談援助	1～4	2	
		SOC273	非営利活動論	1～4	2	
		SOC143	マス・コミュニケーション学基礎論A	1～4	2	
		SOC144	マス・コミュニケーション学基礎論B	1～4	2	
		LIH138	情報学基礎論A	1～4	2	
		LIH139	情報学基礎論B	1～4	2	
		SOC145	コミュニケーション論	1～4	2	
		SOC146	情報倫理概論	1～4	2	
		SOP105	集合行動論A	1～4	2	
		SOP106	集合行動論B	1～4	2	
		CLI207	臨床心理学A	1～4	2	
		CLI208	臨床心理学B	1～4	2	
		SOC147	英語圏社会文化A	1～4	2	
		SOC148	英語圏社会文化B	1～4	2	
		SOC149	ドイツ語圏社会文化A	1～4	2	
		SOC150	ドイツ語圏社会文化B	1～4	2	
		SOC151	フランス語圏社会文化A	1～4	2	
		SOC152	フランス語圏社会文化B	1～4	2	
		SOC153	中国語圏社会文化A	1～4	2	
		SOC154	中国語圏社会文化B	1～4	2	
		SOC155	ハンガール圏社会文化A	1～4	2	
		SOC156	ハンガール圏社会文化B	1～4	2	
		COT101	情報リテラシー	1～4	2	
		CIV221	ライフキャリア論	1～4	2	
		POL301	政治学原論A	1～4	2	
		POL302	政治学原論B	1～4	2	
		STS205	社会統計学	2～4	2	
		STS206	社会統計解析法	2～4	2	
		SOC259	質的調査法	2～4	2	
		GGR217	現在の風土と人間・社会	2～4	2	
		GGR218	風土の変遷と人間・社会	2～4	2	
		SOC268	多文化共生論	2～4	2	
		SWS224	医学一般	2～4	2	
		SWS225	ジェンダーと福祉	2～4	2	
		SWS226	ファイナンシャルプランニング論	2～4	2	
		SWS227	保健医療サービス論	2～4	2	
		SWS228	就労支援サービス論	2～4	2	
		SWS229	グループワーク論	2～4	2	
		SWS230	コミュニティワーク論	2～4	2	
		SWS231	権利擁護システム論	2～4	2	
		SOC269	マス・コミュニケーション学特論	2～4	2	
		SOC270	社会情報学特論	2～4	2	
		LIH218	情報学特論	2～4	2	
		SOP207	パーソナリティ心理学	2～4	2	
		SOP208	対人行動論	2～4	2	
		CLI209	犯罪心理学	2～4	2	
		SOC345	専門講読ⅠA	2～4	2	
		SOC346	専門講読ⅠB	2～4	2	
		SOC347	専門講読ⅡA	3～4	2	
		SOC348	専門講読ⅡB	3～4	2	
		THE456	卒業論文(卒業研究)	4	8	
		SUS307	国際文化事情A	1～4	2	
		SUS308	国際文化事情B	1～4	2	
		SUS309	国際文化事情C	1～4	2	
		SUS310	国際文化事情D	1～4	2	
		SUS311	国際文化事情E	1～4	2	
		SUS312	国際文化事情F	1～4	2	

科目区分		科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
専門教育科目 66	教職	JPH113	日本史A	1～4	2	
		JPH114	日本史B	1～4	2	
		HSG110	外国史A	1～4	2	
		HSG111	外国史B	1～4	2	
		PHE129	哲学概説A	1～4	2	
		PHE130	哲学概説B	1～4	2	
		PHE131	倫理学概説A	1～4	2	
		PHE132	倫理学概説B	1～4	2	
教職科目						
教職科目		ESS320	社会・地歴指導法Ⅰ	3	2	※卒業要件単位外科目
		ESS321	社会・地歴指導法Ⅱ	3	2	
		ESS322	社会・公民指導法Ⅰ	3	2	
		ESS323	社会・公民指導法Ⅱ	3	2	

◆第2部社会科学基盤教育科目 授業科目一覧◆

区分		1学年	2学年	3学年	4学年
基盤教育科目(20)	哲学・思想(2)	哲学A (2)	哲学B (2)	哲学史A (2)	哲学史B (2)
		倫理学A (2)	倫理学B (2)	宗教学I A (2)	宗教学I B (2)
	宗教学II A (2)	宗教学II B (2)	東洋思想 (2)	(2)	
	人文学	芸術学A (2)	芸術学B (2)	歴史の諸問題A (2)	歴史の諸問題B (2)
		西欧文学A (2)	西欧文学B (2)	現代日本文学A (2)	現代日本文学B (2)
		アジアの文学 (2)	アジアの古典 (2)	(2)	(2)
	社会科学	経済学A (2)	経済学B (2)	法学 (2)	(2)
		政治学A (2)	政治学B (2)	(2)	(2)
		地理学A (2)	地理学B (2)	心理学A (2)	心理学B (2)
		自然の数理A (2)	自然の数理B (2)	生活と物理A (2)	生活と物理B (2)
自然科学	エネルギーの科学A (2)	エネルギーの科学B (2)	物質の科学A (2)	物質の科学B (2)	
	環境の科学A (2)	環境の科学B (2)	地球の科学A (2)	地球の科学B (2)	
	生物学A (2)	生物学B (2)	天文学A (2)	天文学B (2)	
	自然科学概論A (2)	自然科学概論B (2)	自然誌A (2)	自然誌B (2)	
	生物学実験講義A (2)	生物学実験講義B (2)	化学実験講義A (2)	化学実験講義B (2)	
	数理・情報実習講義A (2)	数理・情報実習講義B (2)	(2)	(2)	
世界の伝統と文化	地域文化研究A (2)	地域文化研究B (2)	百人一首の文化史A (2)	百人一首の文化史B (2)	
	日本の昔話A (2)	日本の昔話B (2)	日本文学文化と風土A (2)	日本文学文化と風土B (2)	
グローバル社会の実際	日本の詩歌A (2)	日本の詩歌B (2)	地域史A (2)	地域史B (2)	
	国際関係入門 (2)	(2)	(2)	(2)	
	異文化理解概論 (2)	留学のすすめ (2)	(2)	(2)	
	海外研修I (2)	海外研修II (2)	海外実習I (2)	海外実習II (2)	
国際人の形成	短期海外研修I (1)	短期海外研修II (1)	短期海外研修III (1)	短期海外研修IV (1)	
	短期海外実習I (1)	短期海外実習II (1)	短期海外実習III (1)	短期海外実習IV (1)	
	語学	カレント・イングリッシュI A (1)	カレント・イングリッシュII A (1)		
		カレント・イングリッシュI B (1)	カレント・イングリッシュII B (1)		
	外国語科目	ドイツ語I A A (1)	ドイツ語II A A (1)		
		ドイツ語I A B (1)	ドイツ語II A B (1)		
		ドイツ語I B A (1)	ドイツ語II B A (1)		
		ドイツ語I B B (1)	ドイツ語II B B (1)		
	フランス語	フランス語I A A (1)	フランス語II A A (1)		
		フランス語I A B (1)	フランス語II A B (1)		
		フランス語I B A (1)	フランス語II B A (1)		
		フランス語I B B (1)	フランス語II B B (1)		
	中国語	中国語I A A (1)	中国語II A A (1)		
		中国語I A B (1)	中国語II A B (1)		
		中国語I B A (1)	中国語II B A (1)		
		中国語I B B (1)	中国語II B B (1)		
ハンガール語	ハンガールI A A (1)	ハンガールII A A (1)			
	ハンガールI A B (1)	ハンガールII A B (1)			
	ハンガールI B A (1)	ハンガールII B A (1)			
	ハンガールI B B (1)	ハンガールII B B (1)			
英語総合(LEAP)	Business English Communication (2)	テクニカルライティング (2)	アカデミックライティング (2)	(2)	
	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing (2)	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking (2)	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing (2)	
	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking (2)	Pre-Study Abroad: Writing (1)	(1)	(1)	
キャリア・市民形成	日本国憲法 (2)	情報化社会と人間 (2)	コンピュータ・リテラシーA (1)	コンピュータ・リテラシーB (1)	
	インターンシップ入門 (2)	社会貢献活動入門 (2)	公務員論 (2)	情報ネットワーク論 (2)	
	ロジカルシンキング入門 (2)	クリティカルシンキング入門 (2)	(2)	(2)	
	キャリアデザイン入門 (2)	キャリアデザイン実践 (2)	キャリアアペロップメント (2)	(2)	
健康・スポーツ科学	コミュニケーション&マナー入門 (2)	コミュニケーション&マナー実践 (2)	(2)	(2)	
	ファシリテーション概論 (2)	(2)	(2)	(2)	
総合・学際	スポーツ健康科学実技A (1)	スポーツ健康科学実技B (1)	スポーツ健康科学講義I (2)	スポーツ健康科学講義II A (2)	
	スポーツ健康科学講義II B (2)	(2)	(2)	(2)	
	全学総合A (2)	全学総合B (2)	全学総合C (2)	(2)	
	総合A (2)	総合B (2)	(2)	(2)	
	全学総合D (2)	全学総合E (2)	(2)	(2)	
	全学総合F (2)	全学総合G (2)	全学総合H (2)	全学総合I (2)	
	全学総合J (2)	全学総合K (2)	全学総合L (2)	全学総合M (2)	
	総合C (2)	総合D (2)	総合E (2)	総合F (2)	
	総合G (2)	総合H (2)	総合I (2)	総合J (2)	
	総合K (2)	総合L (2)	総合M (2)	(2)	

◆第2部社会科学専門教育科目 授業科目一覧◆

区分	1学年	2学年	3学年	4学年	
専門教育科目	必修科目 (24)	社会学基礎演習A (2) 社会学基礎演習B (2) 社会学概論A (2) 社会学概論B (2) 社会調査入門A (2) 社会調査入門B (2)	社会学演習I A (2) 社会学演習I B (2)	社会学演習II A (2) 社会学演習II B (2)	社会学演習III A (2) 社会学演習III B (2)
	選択必修A (2)	統計情報処理および実習 ウェブ情報処理およびプログラミング (2)			
	選択必修B (12)	文化人類学A (2) 社会福祉学概論A (2) 社会情報学基礎論A (2) 社会心理学概論A (2)	文化人類学B (2) 社会福祉学概論B (2) 社会情報学基礎論B (2) 社会心理学概論B (2) 社会調査および実習A (2)	社会学特講(現代社会論)A (2) 社会学特講(文化社会学)A (2) 社会学特講(メディアとコミュニケーション)A (2) 社会学特講(社会心理学)A (2) 社会調査および実習B (2)	社会学特講(現代社会論)B (2) 社会学特講(文化社会学)B (2) 社会学特講(メディアとコミュニケーション)B (2) 社会学特講(社会心理学)B (2)
	選択	社会学史A (2) 地域社会学 (2) 地理学(地域と社会) (2) 人文地理学(生活と地域) (2) 犯罪社会学A (2) 共生社会学 (2) 宗教社会学B (2) 高齢者福祉論 (2) 社会保障論 (2) 社会とソーシャルワーク (2) マス・コミュニケーション学基礎論A (2) コミュニケーション論 (2) 集合行動論A (2) 英語圏社会文化A (2) フランス語圏社会文化A (2) ハンガール圏社会文化A (2) 情報リテラシー (2)	社会学史B (2) 地域と貧困 (2) 地理学(文化と社会) (2) 人文地理学(文化と地域) (2) 犯罪社会学B (2) 社会文化思想史A (2) マス・コミュニケーション学基礎論B (2) 情報倫理概論 (2) 集合行動論B (2) 英語圏社会文化B (2) フランス語圏社会文化B (2) ハンガール圏社会文化B (2) ライフキャリア論 (2) 社会統計学 (2) 現在の風土と人間・社会 (2) 多文化共生論 (2) 医学一般 (2) 保健医療サービス論 (2) コミュニティワーク論 (2) マス・コミュニケーション学特論 (2) パーソナリティ心理学 (2) 専門講読I A (2)	家族社会学A (2) 環境社会学A (2) 地誌学(世界) (2) 自然地理学(地震防災と社会) (2) 社会文化思想史B (2) 情報学基礎論A (2) 臨床心理学A (2) ドイツ語圏社会文化A (2) 中国語圏社会文化A (2) 政治学原論A (2) 社会統計解析法 (2) 風土の変遷と人間・社会 (2) ジェンダーと福祉 (2) 就労支援サービス論 (2) 権利擁護システム論 (2) 社会情報学特論 (2) 対人行動論 (2) 専門講読I B (2) 専門講読II A (2)	家族社会学B (2) 環境社会学B (2) 地誌学(日本) (2) 自然地理学(地形と気候) (2) 宗教社会学A (2) 地域福祉論 (2) 介護概論 (2) 非営利活動論 (2) 情報学基礎論B (2) 臨床心理学B (2) ドイツ語圏社会文化B (2) 中国語圏社会文化B (2) 政治学原論B (2) 質的調査法 (2) ファイナンシャルプランニング論 (2) グループワーク論 (2) 情報学特論 (2) 犯罪心理学 (2) 専門講読II B (2) 卒業論文(卒業研究) (8) 国際文化事情A (2) 国際文化事情E (2) 外国史A (2) 倫理学概説A (2)
	教職	日本史A (2) 哲学概説A (2)	日本史B (2) 哲学概説B (2)	外国史A (2) 倫理学概説A (2)	外国史B (2) 倫理学概説B (2)
	教職科目 (卒業要件単位外)			社会・地歴指導法I (2) 社会・地歴指導法II (2) 社会・公民指導法I (2) 社会・公民指導法II (2)	



◆◆第2部他学部他学科開放科目◆◆

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考	
文学部	東洋思想文化学科	CIB132	インド思想史A	1～4	2		
		CIB133	インド思想史B	1～4	2		
		CIB136	仏教思想概論A	1～4	2		
		CIB137	仏教思想概論B	1～4	2		
		LIN107	サンスクリット語ⅠA	1～4	1		
		LIN108	サンスクリット語ⅠB	1～4	1		
		CIB145	インド現代思想	1～4	2		
		CIB146	現代のインド	1～4	2		
		SOC136	現代社会に生きる仏教A	1～4	2		
	SOC137	現代社会に生きる仏教B	1～4	2			
	日本文学文化学科	JLT136	日本文学の歴史(上代)	1～4	2		
		JLT137	日本文学の歴史(中古)	1～4	2		
		JLT138	日本文学の歴史(中世)	1～4	2		
		JLT139	日本文学の歴史(近世)	1～4	2		
		JLT140	日本文学の歴史(近代)	1～4	2		
		JLT141	日本文学の歴史(現代)	1～4	2		
		LIG108	比較文学Ⅰ	1～4	2		
		LIG109	比較文学Ⅱ	1～4	2		
		LIE223	世界の文学文化と日本Ⅰ	1～4	2		
		LIE224	世界の文学文化と日本Ⅱ	1～4	2		
		CHL205	世界の文学文化と日本Ⅲ	1～4	2		
		CUA112	伝統行事を学ぶ	1～4	2		
		FAH104	日本美術の世界	1～4	2		
		JLT230	万葉文化の世界	2～4	2		
		JLT231	平安朝文化の世界	2～4	2		
		JLT232	室町・戦国文化の世界	2～4	2		
		JLT233	江戸文化の世界	2～4	2		
		JLT234	近現代文化の諸問題	2～4	2		
		JLT235	古典籍に親しむ	2～4	2		
		CUA205	日本民俗学の諸問題	2～4	2		
	教育学科	JPH126	社会文化史(日本)	1～4	2		
		HEA106	社会文化史(西洋)	1～4	2		
		EDU133	女性問題と学習	1～4	2		
		EDU136	グローバル化と学習	1～4	2		
		EDU128	生涯学習概論Ⅰ	1～4	2		
		SNE115	特別支援教育概論Ⅰ	1～4	2		
		EDU131	比較政策論	1～4	2		
		SOE109	比較社会論	1～4	2		
		HIT108	アメリカ思想史	1～4	2		
		EDU132	生涯学習概論Ⅱ	1～4	2		
		EDU137	家庭教育論	1～4	2		
		SNE117	特別支援教育概論Ⅱ	1～4	2		
	経済学部	経済学科	EDE205	経済哲学A	2～4	2	
			EDE206	経済哲学B	2～4	2	
			ECP126	海外経済研修Ⅰ	1～4	2	
			ECP127	海外経済研修Ⅱ	1～4	2	
			ECP128	海外経済研修Ⅲ	1～4	2	
			ECP326	日本経済論A	2～4	2	
ECP327			日本経済論B	2～4	2		
ECP328			ヨーロッパ経済論A	1～4	2		
ECP329			ヨーロッパ経済論B	1～4	2		
EPS205			エネルギー経済学A	2～4	2		
EPS206			エネルギー経済学B	2～4	2		
ECP330			経済発展論A	2～4	2		
ECP331			経済発展論B	2～4	2		
MOF313			国際金融論A	2～4	2		
MOF314			国際金融論B	2～4	2		
ECP407			多国籍企業論A	2～4	2		
ECP408			多国籍企業論B	2～4	2		

開講学部	学科名	科目ナンバリング	科目名	配当学年	単位数	履修上の注意／備考
経済学部	経済学科	ECP233	労働経済学A	2～4	2	
		ECP234	労働経済学B	2～4	2	
		PFP317	地方財政論	3～4	2	
経営学部	経営学科	MAN130	組織行動論	1	2	
		MAN132	経営分析論	1	2	
		MAN129	経営組織論	1	2	
		MAN135	海外企業実地研修Ⅰ	1～4	2	
		MAN136	海外企業実地研修Ⅱ	1～4	2	
		MAN137	海外経営研修	1～4	2	
		MAN248	経営史	2～4	2	
		MAN249	日本経営史	2～4	2	
		MAN246	中小企業経営論	2～4	2	
		MOF228	経営財務論	2～4	2	
MOF229	投資決定論	2～4	2			
法学部	法律学科	LIN111	語学研修A	1～4	2	
		LIN112	語学研修B	1～4	2	
		LAW113	海外法学研修	1～4	2	
		CRL209	刑事政策A	2～4	2	
		CRL210	刑事政策B	2～4	2	
		POL213	行政学A	2～4	2	
		POL214	行政学B	2～4	2	
		SOL207	雇用関係法A	2～4	2	
		SOL208	雇用関係法B	2～4	2	
		SOL209	労使関係法・労働市場法A	2～4	2	
		SOL210	労使関係法・労働市場法B	2～4	2	
		ILA205	国際法A	2～4	2	
		ILA206	国際法B	2～4	2	
		FUL203	英米法A	2～4	2	
		FUL204	英米法B	2～4	2	
		FUL205	フランス法	2～4	2	
		FUL206	ドイツ法	2～4	2	
		FUL113	法制史(日本)A	1～4	2	
		FUL114	法制史(日本)B	1～4	2	
		FUL115	法制史(西洋)A	1～4	2	
		FUL116	法制史(西洋)B	1～4	2	
		FUL119	法哲学A	1～4	2	
		FUL120	法哲学B	1～4	2	
国際学部	国際地域学科	INR114	国際政治学Ⅰ	1	2	
		ECT145	マクロ経済学	1	2	
		ECT146	ミクロ経済学	1	2	
		CUA119	Participatory Development	1	2	
		ECO214	経済地理学	2～4	2	
		HUG202	都市地理学	2～4	2	
		ECP243	アジア経済論	2～4	2	
		CUA118	文化人類学入門	1	2	
		MAN147	Japanese Economy and Business	1	2	
		ARS222	アジア地域研究	2～4	2	
		CUA207	宗教と社会	2～4	2	
		SOC290	Sociology of Islam	2～4	2	
		LIG205	比較芸術論	2～4	2	
		SOC170	地域社会学	1	2	
		HUG108	都市論	1	2	
		TPA102	まちづくり論	1	2	
		TPA207	コミュニティ開発論	2～4	2	
		POL218	地方自治論	2～4	2	
		SOC289	社会調査法	2～4	2	
		TPA208	都市計画	2～4	2	
		PFP327	社会政策論	2～4	2	
		TPA305	都市住宅論	2～4	2	
		HPH102	国際環境計画入門	1	2	
		NDD103	自然災害と防災	1	2	
		NDD104	災害と復興	1	2	
		CEE203	環境管理適正技術論	2～4	2	
		DEV203	環境システム論	2～4	2	
		ENE202	エネルギー・資源論	2～4	2	
		DEV204	Global Water Problems	2～4	2	
		EPS303	Environmental Issues in Asia	2～4	2	

◆◆情報関連科目◆◆

現代の大学教育においては、コンピュータ、インターネット、デジタル情報機器などを使いこなせる「情報ハンドリング能力」を身につけることが重視されています。

このため、社会学部では、以下の科目を用意しています。なお、各科目の詳細についてはシラバスを参照してください。

区分	科目名
選択科目	情報リテラシー※1
選択必修科目	統計情報処理および実習 ウェブ情報処理およびプログラミング
第1部・第2部相互聴講科目	統計情報処理および実習Ⅱ 統計情報処理および実習Ⅲ ※2 統計情報処理および実習Ⅳ ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ ウェブ情報処理およびプログラミングⅣ

※1「情報リテラシー」は「統計情報処理および実習」や「ウェブ情報処理およびプログラミング」の履修にあたり、パソコン操作の基礎に不安のある初学者向けの科目です。

※2「統計情報処理および実習Ⅱ」・「統計情報処理および実習Ⅲ」・「統計情報処理および実習Ⅳ」を履修するにあたっては、「統計情報処理および実習」を修得していなければ履修できません。

実習科目は授業に出席して実習することが必須です。また、4年間の大学生活全体を見通して、どのように実習科目を履修していくか、よく計画することを勧めます。なお、いずれの科目もPC教室のコンピュータを用いて実習授業を行うため、コンピュータの台数によって、授業ごとの履修上限人数が定められています。第1部・第2部相互聴講科目について、希望者が上限人数を超える場合には、当該年度の履修者を抽選によって決定する場合があります。

いずれの科目についても、初歩の段階では予備知識を前提とせず、授業に出席して取り組みれば習得できるような授業計画になっています。段階を追って進むので、意欲的、積極的に取り組んで、課題をきちんとこなささえすれば、発展的コースを習得することも必ずしも難しいことではありません。なお、自習活動やグループ作業においては、教員の指示に従い、4号館3階の「社会学部情報実習室」を利用することも可能です。

◆◆他学部他学科開放科目◆◆

第2部の他学部で開講されている科目を、下記の要領で履修できます。

- ・他学部他学科開放科目に掲載された科目のみ履修できます。
- ・履修修得した単位は、卒業単位に認められます。
- ・学期履修上限単位数（24単位）に算入します。
- ・科目提供学部の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- ・ToyoNet-Gで履修登録してください（申請は不要です）。

◆◆第 1 部・第 2 部相互聴講科目◆◆

第 1 部社会学部で開講されている授業科目を、下記の要領で履修修得できます。
対象科目〔第 1 部社会学部相互聴講提供科目〕

社会学科	メディアコミュニケーション学科	社会心理学科	国際社会学科	共通科目
労働社会学	情報メディア史 A	健康心理学	グローバル化の社会学	カレント・イングリッシュⅢ A
ジェンダーと不平等	情報メディア史 B	健康社会心理学	共生社会学	カレント・イングリッシュⅢ B
教育社会学	大衆文化論	知覚・認知心理学	日本社会文化論 A	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情 A
教育と社会的排除	コミュニケーション論	認知社会心理学	日本社会文化論 B	ドイツ語およびドイツ語圏社会事情 B
政治社会学	情報倫理概論	対人関係心理学 A	アジア社会文化論 A	フランス語およびフランス語圏社会事情 A
政治と社会	知財・情報法制論	対人関係心理学 B	アフリカ社会文化論 A	フランス語およびフランス語圏社会事情 B
国際社会学	マスコミ倫理・法制論	産業・組織心理学	アフリカ社会文化論 B	中国語および中国語圏社会事情 A
Global Sociology	世論	人間関係論	南北アメリカ社会文化論 A	中国語および中国語圏社会事情 B
理論社会学	ジャーナリズム論	司法・犯罪心理学	中東社会文化論 A	ハンガールおよびハンガール圏社会事情 A
都市社会学	広告論	犯罪・社会心理学	中東社会文化論 B	ハンガールおよびハンガール圏社会事情 B
自己の社会学	災害情報論	社会・集団・家族心理学	ヨーロッパ社会文化論 A	統計情報処理および実習Ⅱ
福祉社会学	ソーシャルメディア論		ヨーロッパ社会文化論 B	統計情報処理および実習Ⅲ
社会組織理論			ジェンダー文化論 A	統計情報処理および実習Ⅳ
非営利活動論			国際社会プロジェクト演習Ⅰ A	ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ
現代社会学理論 A			国際社会プロジェクト演習Ⅰ B	ウェブ情報処理およびプログラミングⅡ
現代社会学理論 B			国際社会プロジェクト演習Ⅱ A	ウェブ情報処理およびプログラミングⅢ
			国際社会プロジェクト演習Ⅱ B	

- (1) 履修修得した単位は、卒業単位に認められます。
- (2) 学期履修上限単位数（24 単位）に算入します。
- (3) 半期 6 単位以内、かつ卒業までに合計 40 単位以内の履修制限があります。
- (4) 科目提供主体（第 1 部）の学年配当にしたがって履修しなければなりません。
- (5) ToyoNet-G で履修登録してください（窓口での申請は不要です）。

◆◆自由科目◆◆

所属する学科教育課程表になく、他学部他学科開放科目にも存在しない科目については、下記の条件により、卒業に必要な単位として認められない「自由科目」として履修することができます。

- (1) 自由科目として履修修得した単位は、卒業単位に加算されません。
- (2) 科目提供学部の学年配当にしたがって履修してください。
- (3) 所属する学部学科の科目と同一内容・同一名称の科目は、履修できません。
- (4) カリキュラム年度の異なる科目を履修することはできません。
- (5) 第 1 部・第 2 部相互聴講科目以外の第 1 部開講科目を履修できません。
- (6) ToyoNet-G では履修登録できません。教務課窓口にて「申請書」に記入のうえ、その科目の担当教員の許可印を受けて、教務課に提出してください。ただし、担当教員の許可を受けても履修が許可されない場合があります。
- (7) 自由科目は各学期履修上限単位数（24 単位）に算入します。

大学院開講科目の先行履修制度

下表の大学院研究科（専攻）への進学を希望する場合、4年次在学中に所定の手続を行い、当該研究科（専攻）の科目を履修することで、進学後に大学院の修得科目として単位認定を受けることができます。

この制度を活用することで、大学院進学後に自身の研究活動に専念できることに加え、学部在学時から大学院レベルの研究活動を開始し優れた実績を上げれば、博士前期課程の在学期間を短縮することも可能になります。

この制度の利用を希望する場合は、各研究科（専攻）の下記の事項に注意をしてください。

	社会学研究科(社会学専攻・社会心理学専攻)／社会福祉学研究科
本制度を利用するための条件等	①社会学部（第1部・第2部）の4年次に在学していること。ただし、社会福祉学研究科の科目を履修できるのは、同学部1部・2部社会福祉学科に在学している学生とする。 ②卒業後、社会学研究科または社会福祉学研究科に進学する意思があること。 ③先行履修を希望する時点で、学部卒業に必要な単位として100単位以上を修得済かつ当該年度に卒業見込であること。 ④卒業論文を提出する意思があり、卒業論文指導教員の推薦を受けていること。
対象科目	対象科目：研究指導を除く科目(講義・演習)かつ科目担当教員の許可を得た科目
単位	①履修単位上限は10単位です。 ②社会学部の卒業に必要な単位には算入されません。 ③学期履修上限単位数(24単位)には含めません。

<履修手続について>

1. 上記に記載の条件を満たしていることを確認する。



2. 社会学部教務課で、『社会学部生「大学院科目先行履修」許可願』（以下「許可願」）を受け取り必要事項を記入する。



3. 社会学部教務課にて、最新の成績表とともに「許可願」を提示、確認印を受ける。



4. 大学院教務課にて、履修科目を確認し、確認印を受ける（科目により、開講学期〔春・秋〕が異なるため注意）。



5. 「許可願」に大学院科目の担当教員許可印および卒業論文指導教員の署名・捺印を受ける。



6. 社会学部教務課に「許可願」を所定の期日までに提出する。



7. 進学後、博士前期課程の最初のセメスタにおける履修登録期間内に、単位認定の申請を行う。



- ・カリキュラムの改廃等の特別な理由により、修了に必要な単位として認定されない場合もあります。
- ・大学院生と同一の基準で成績評価されます。
- ・当該研究科（専攻）に進学後、所定の期間中に単位認定を申請しない場合には、当該科目を再度履修することができます。この場合、成績は改めて評価されます。

教育目標と基本方針

東洋大学と東京外国語大学の単位互換制度について

東洋大学では語学科目を中心とした多様な学習機会を拡充することを目的として、2018年度より、東京外国語大学との間において単位互換協定を締結しました。これに伴い、東京外国語大学の授業の一部を履修することが可能になりました。

ここでは、東京外国語大学の科目を履修するにあたっての条件、履修方法などを規定しています。詳細は、東京外国語大学の履修要覧・シラバスを参照するとともに、所属学部教務担当課までお問合せください。

●● 関連 URL <https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx> ●●

◆◆履修申請要領等◆◆

対象学生

学部2年次以上（ただし、原則、卒業予定の学期の履修はできません。）

履修可能単位数

学期の履修単位数の制限内かつ、卒業までに東洋大学以外の大学等で取得可能な単位数上限は60単位（入学前の単位認定も含む）。

学籍の取扱い

東京外国語大学では「特別聴講学生」として在籍することになります。

開講キャンパス

東京外国語大学府中キャンパス（所在地：〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1）

履修可能科目

所属学部教務担当課で確認してください。ただし、都合によって履修可能科目が変更になることがあります。また、本学と東京外国語大学双方の曜日時限が重複する科目や移動時間も含めて授業開始時刻に間に合わない科目を履修することはできません。

履修手続

- ①「特別聴講学生願書」を所属学部教務担当課窓口で受け取り、所定の期間内に所属学部教務担当課窓口へ提出してください。
- ②提出された「特別聴講学生願書」をもとに、東京外国語大学が受講の可否を決定します。
- ③第1回目の講義に出席し、東京外国語大学の授業担当教員へ東洋大学の学生であり、聴講申請手続き中である旨、申し出てください。
- ④受講の正式な可否については、ToyoNet-Gにてお知らせを配信しますので、確認のうえ、受講可の学生は東京外国語大学で所定の手続を行ってください。

試験

東京外国語大学の制度によります。追・再試験は原則行いません。

単位認定

東京外国語大学からの成績到着後、当該科目の単位の認定を希望する場合は、所属学部教務担当課窓口まで、「単位認定申請書」を提出してください。単位認定の可否については、教授会での審議を経て決定されます。申請が認められる場合は「T」評価として認定します。

※「T」はGPA制度の対象にはなりません。



東京外国語大学入構時には本学の「学生証」を必ず携帯し、東洋大学の学生であることを示すこと。その他、東京外国語大学の学則に従い、規律ある行動をとること。



卒業論文

卒業論文を執筆する場合にはそれなりの自覚と心構えが要求されます。提出された論文は、論文自体の審査と面接とを合わせて評価されます。

卒業論文を執筆する場合にあたっては、次ページに示すように所定の手続きが必要です（学科ごとに異なるので注意）。学科にもよりますが、遅くとも3年次の後半までには、卒業論文のテーマ、学習計画、指導を希望する教員をある程度決めておく必要があります。

なお、原則として、所定の手続きを経していない場合は、4年次の履修登録時に卒業論文の履修ができません。

履修登録までの諸手続きは、次ページのとおりです。日程に注意してください。

◆◆指導教員・日程（第1部）◆◆

指導教員（卒業論文を審査するときの主査となる）が担当教員として表示されている科目を履修登録してください。履修登録した卒業論文の科目担当者がそのまま指導教員になります。ただし、学科によっては、3年次の段階で指導教員の事前調整をおこなうので、指示には注意すると同時に、指導を希望する教員とは事前に十分な話し合いを行っておいてください。

第1部社会科学は卒業論文（卒業研究）が必修科目で、3・4年次の社会学演習Ⅱ・Ⅲでの活動を通して書き上げます。社会学演習Ⅱ・Ⅲは、「ゼミ活動」の演習と「社会調査」の演習があり、2年次の説明会を経て、3年次に「社会学演習Ⅱ A・Ⅱ B（ゼミ活動）」と「社会学演習Ⅱ A・Ⅱ B（社会調査）」のどちらを履修するか、またどの担当教員の演習を履修するかが決まります（「ゼミ活動」の演習と「社会調査」の演習の両方を履修することもできます）。原則として3年次の「社会学演習Ⅱ A・Ⅱ B」担当教員が、4年次の「社会学演習Ⅲ A・Ⅲ B」を指導することになります。

社会福祉学科では原則として、3年次「専門演習Ⅰ・Ⅱ」の担当教員が4年次の「専門演習Ⅲ・Ⅳ」の指導を継続して担当しますので、「卒業論文」を選択する場合は、「専門演習Ⅲ・Ⅳ」の教員が指導します。

メディアコミュニケーション学科では、原則として、3年次の「メディアコミュニケーション学演習Ⅱ A・Ⅱ B」の担当教員が、4年次の「メディアコミュニケーション学演習Ⅲ A・Ⅲ B」と「卒業論文」（「卒業論文準備」を含む）の指導を継続して担当します。

社会心理学科の卒業指導教員については3年次に配付される卒業論文執筆計画書を参照してください。

国際社会科学では、原則として3年次の「国際社会論演習Ⅱ A・Ⅱ B」の担当教員が、4年次の「国際社会論演習Ⅲ A・Ⅲ B」と「卒業論文」の指導を継続して担当します。

－第1部社会科学－

<2年次生>

11月中旬：「社会学演習Ⅱ A・Ⅱ B」履修説明会

2月上旬：「社会学演習Ⅱ A・Ⅱ B」担当教員発表

<3年次生>

12月上旬：「社会学演習Ⅲ A・Ⅲ B担当教員変更願」配付

1月中旬：ゼミ論文提出・「社会学演習Ⅲ A・Ⅲ B担当教員変更願」提出締め切り

<4年次生>

10月上旬：最新版の「卒業論文（卒業研究）執筆要綱」を配付

12月中旬：卒業論文（卒業研究）提出

－第1部社会福祉学科－

<4年次生>

- 4月上旬：各ゼミで卒業論文履修の希望調査
- 1月初旬：卒業論文提出

－メディアコミュニケーション学科－

<2年次生>

- 1月中旬：「メディアコミュニケーション学演習ⅡA・ⅡB」履修希望調査

<3年次生>

- 4月上旬：「メディアコミュニケーション学演習ⅡA・ⅡB」担当教員発表

<4年次生>

- 4月上旬：「卒業論文準備」を各自で履修登録
- 9月下旬：「卒業論文」を各自で履修登録
- 1月初旬：卒業論文提出

－社会心理学科・国際社会学科－

<3年次生>

- 10月中旬～：「卒業論文執筆計画書」配付
- 12月初旬～1月末：「卒業論文執筆計画書」提出締め切り
- 1月下旬～3月下旬：指導教員の調整・決定

<4年次生>

- 4月中旬：卒業論文履修希望者と指導教員名発表
- 12月下旬：卒業論文提出（国際社会学科）
- 1月初旬：卒業論文提出（社会心理学科）

※日程および指導教員の決定方法等が変更となる場合がありますので、掲示に注意してください。

◆◆指導教員・日程（第2部）◆◆

指導教員（卒業論文を審査するときの主査となる）が担当教員として表示されている科目を履修登録してください。履修登録した卒業論文の科目担当者がそのまま指導教員になります。

第2部社会科学部は、指導教員は原則として社会学部の専任教員であれば自由に依頼することができます。ただし、3年次の段階で指導教員の事前調整を行うので、指導を希望する教員とは事前に十分な話し合いを行っておいてください。

－第2部社会科学部－

<3年次生>

11月中旬：「卒業論文執筆計画書」用紙の配付（各演習Ⅱの授業時）

12月中旬～1月下旬：「卒業論文執筆計画書」の提出

1月下旬：～3月下旬：指導教員の調整・決定

<4年次生>

4月上旬：卒業論文指導教員名発表

1月上旬：卒業論文提出

Point

卒業論文の履修

社会学部では、卒業論文の履修は、第1部社会科学部は必修で、その他の学科は選択制です。

卒業論文執筆要領

以下の要領はあくまでも1つの目安です。このとおりでなければいけないというものではありません。項目によっては、いくつかの選択肢を示してあります。すべては指導教員との話し合いの上で、最終的には自分の責任において、各自好みのスタイルを選ぶことが求められます。

◆◆装丁◆◆

- ・ 論文は散逸しないよう、市販の簡易製本セットにとじるか、製本すること（ホチキス止め、クリップ止め、クリアファイルでの提出は原則不可）。
- ・ 簡易製本セットを使用する場合には、紙やラベルシールに必要事項（後述）を記入もしくは印字したものを表紙に貼付すること。
- ・ 製本屋でハードカバーないしはペーパーバック方式に製本してもらってもかまわない。この場合、標題紙は1ページ目にとじ込んでもよい。
- ・ 基本的には指導教員の方針に従うこと。

◆◆用紙◆◆

- ・ 原則として、A4判、横書き、明朝体、10.5ポイントを使用するものとする。
- ・ 教員から指示のない限りは、片面印刷とすること。
- ・ 字数については、指導教員の指示に従うこと（一般的には、40字×30行、35字×35行、40字×35行等）。
- ・ なお、データで提出する場合でも、全文をプリントアウトし、製本したものを必ず1部付けること。

◆◆表記の方法◆◆

- ・ 句読点、カッコ、その他の記号は、基本的には1文字とみなす。
- ・ 欧文の文字、数量を表す数字、および西暦年号は、基本的に半角で記す。
- ・ 一般的な禁則処理をおこなうこと。

◆◆文体◆◆

「である」体を用いるのが一般的である。もちろん、論文のスタイルや内容、あるいは好みによって他の文体を用いたい場合もあろうから、その際は各自で適宜判断してほしい。ただし、複数の文体（たとえば、「である」体と「です・ます」体）を併用すると、文の調子が崩れ読みづらくなるので、避けるようにすること。

◆◆構成◆◆

- (1) 論文の構成は、原則として、次のような形式になる。
 - (a) 標題紙
 - (b) 要旨
 - (c) 目次
 - (d) 本文
 - (e) 注・引用文献
 - (f) 文献目録
 - (g) 付録
- (2) 表題紙（p.150の記入見本参照のこと）

装丁の項でも述べたように、表紙には次の事項を順に記入すること。全体のバランスを考慮して適宜配置してほしい。

 - (a) 提出年度—西暦および年号
 - (b) 「東洋大学社会学部〇〇〇〇学科卒業論文」と明記
 - (c) 論文名

- (d) 提出年月日
- (e) 学部・学科および学籍番号
- (f) 氏名
- (3) 要旨

論文の内容が把握できるように、本文の内容を要約したものを 1,000 字程度で記し、添付する。
- (4) 目次

一般の書物の例にならって、各項目の位置をページ数で示す。本文については「章・節」まで示すこと。
- (5) 本文
 - ・ 序（はじめに）・章・節・項・総括（おわりに、まとめ）等の使用は、他の学術書・学術論文等を参考にして、適宜採用してほしい。
 - ・ 章・節の表示については、ポイント・システム（1. 1. / 1. 2. / 2. 1. …）を用いても構わない。
- (6) 注
 - ・ 注は、本文中に注番号（通し番号）を付し、章末ないし本文末に一括して内容を掲載すること。ページごとに脚注としてもよい。
 - ・ 注は、原則として、章ごとの通し番号とすること。
 - ・ 注番号の記入の仕方は、他の学術書・学術論文等を参考にしてほしい。
例：「……………」^(注 1)。「……………」²⁾。「……………」⁽³⁾。
- (7) 文中での引用の方法
 - ・ 引用ないしは参考にした他人の著書や論文、Web Page などは、必ずそのことを明記しなければならない。それを怠れば、「盗作」「盗用」の烙印を押されることになりかねない。
 - ・ 他人の文章をそのまま引用する場合には「……………」(カギカッコ) を付け、最後に出典を示すための注番号を付す。
例：「……………」(注 1)
「……………」²⁾
「……………」⁽³⁾
 - ・ 出典は、() (マルカッコ) 内に、著者名 (名字)、出版年、引用部分のページのみを、文献の詳細は本文末に一括して記す。
例：(山田、1999、p.34)
(森岡、1998、pp.12 - 13)
 - ・ 同じ文献からの引用が続く場合には、同上、p.100 のような表記でもかまわない。
 - ・ 前に掲げた文献を再度示す場合には、原山、前掲論文、p.60 のような表記でもかまわない。
 - ・ Web Page から引用する場合には、() (マルカッコ) 内に URL とアクセスした年月日を明記する。
 - ・ 他人の述べていることを自分のことばで要約した場合には、カギカッコ「……………」は不要だが、要約した文の最後に、引用文の場合と同様に、出典を示す。
 - ・ 引用文のうち、特に自分の強調したい部分があれば傍点を付けることができる。その場合、引用文の最後に (傍点引用者) といった断り書きを付ける。
- (8) 引用文献の書き方
 1. 論文の最後に、論文を作成する際に使用したすべての文献リストを掲載する。
 2. 日本文の文献は著者名のアイウエオ順に、欧文の文献はアルファベット順に記載する。
 3. 日本文の文献と欧文の文献を混在させる場合は、アルファベット順に記載する。
 4. 同じ著者の文献がある場合は、発行年の古い順に記載する。
 5. 同じ著者の同年発行の文献がある場合は、2000a、2000b、…と表記する。
- (a) 日本文の単行本の場合
 1. 著者・編者の氏名（複数の場合は併記、編者の場合は氏名の後に「編」を付ける）
 2. 出版年（原則として初版年を記入する。）
 3. 書名（『……………』で囲む。）
 4. 出版社名

5. 引用・要約した部分のページ

例：
・作田啓一・井上 俊 編、1986、『命題コレクション社会学』筑摩書房

(b) 日本文雑誌論文の場合

1. 著者名（複数の場合は併記）
2. 出版年
3. 論文の題名（「・・・・・・・・」で囲む。）
4. 雑誌名（『・・・・・・・・』で囲む。）
5. 巻数・号数（雑誌によっては巻数を明記しない場合もあるので、それぞれの雑誌の表記法に従う）
6. 出版社名あるいは発行機関名（学会等の発行機関名は省略してもよい）
7. 引用・要約した部分のページ

例：
宮島喬、1991、「選別とハビトゥスの社会学——ブルデュー社会学への接近の一つの試み——」『思想』804号、岩波書店、pp.52-57
なお、単行本に収録された論文についても、ほぼ上記雑誌論文の要領に従って記述する。
例：
坪井洋文、1984、「ムラの論理——多元論への視点——」磐田恵一著『日本民俗文化体系』第8巻、小学館、pp.14-25

(c) 欧文の単行本の場合は、次の順序で書く。

1. 著者・編者の氏名（氏名は、通常 family name を先に記す。また、編者の場合は氏名の後に ed. を、複数の時は eds. を付けるのが一般的。）
2. 出版年（原則として初版年を記入する）
3. 書名（通常はアンダーラインを付す。イタリック体で示してもよい。）
4. 出版地
5. 出版社名
6. 引用・要約した部分のページ

例：
Geertz, Clifford, 1960, The Religion of Java, Chicago and London, The University of Chicago Press, p.45

(d) 欧文の雑誌論文の場合

1. 著者名（複数の場合は併記する。）
2. 出版年（原則として初版年を記入する。）
3. 論文題名（“・・・・・・・・”で囲む。）
4. 論文の掲載書名あるいは掲載雑誌名
・単行本の場合は、編者名と書名。(c)の1.の要領に従う。
・雑誌の場合は、雑誌名と巻・号数・書名・雑誌名はアンダーラインを付けて表示する。イタリック体で示してもよい。
5. 出版地（雑誌の場合は、省略してもよい。）
6. 出版社名あるいは発行機関名（学会等の発行機関名は省略してもよい。）
7. 引用・要約した部分のページ

例：
Thompson, L. and Walker, A., 1984 “Mothers and Daughters: Aid Patterns and Attachment, Journal of Marriage and the Family, 34, pp.313 – 322.

(e) 図・表・写真等の引用

1. 他の書物・論文から転載する場合は、その下部に出典を引用文献の場合と同様に明記すること。

2. 図・写真はその下部に、表はその上部に、通し番号と見出しを付ける。

例：

図 1、図 1-1、表 1、表 1-1、写真 1、写真 1-1

3. 図・表・写真・資料等は、本文末に一括して掲載するか、章末ごと一括して掲載するか、あるいは、本文中の適当な箇所に挿入してもかまわない。

(9) 付録

調査データ、各種資料等を添付する場合は、資料番号を付け、散逸しないように工夫すること。

表題紙記入見本

20XX 年度 (平成 XX 年度)
東洋大学 社会学部 ○○○○学科
卒業論文
論文名
20XX 年○月○日提出
社会学部 第○部 ○○○○学科
学籍番号
氏名

諸資格





◆◆教職課程を学ぶにあたって◆◆

東洋大学教職センター

本学の学祖井上円了は哲学館の創設にあたり「諸学の基礎は哲学にあり」の理念の下、「先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間」「社会の課題に自主的・主体的に取り組み、よき人間関係を築いていける人間」の育成をめざした。そして特に「教育家と宗教家」の養成に力を入れた。このように本学は創設以来、教員養成を重視し、この分野の伝統と実績を有する大学であり、多くの卒業生が教員として全国の学校で活躍している。

これから教職課程を履修し、教員免許状を取得して教員になろうと志す学生にはまずこのことをしっかりと自覚してほしい。

言うまでもなく、教員になるためには教員免許状の取得が必要である。免許状の取得に関する諸事項は教育職員免許法に定められており、本学もこれに基づいて教職課程教育を実施している。

教職課程に属する科目の多くは、各学科の卒業に必要な科目とは別に履修し単位を修得しなければならない。従って、教職課程を履修する学生は、他の学生よりも多くの科目を履修しなければならず、学修に費やす時間もそれだけ多くなる。1年次からの計画的な履修と学修が求められる。その詳細については、教職課程ガイダンスに参加して説明を聞くとともに、この「履修要覧」を熟読してほしい。

教員になるためには、担当する教科に関する知識を豊富に持つことが必要になることは言うまでもない。しかしそれだけでは教員として十分とは言えない。教員は成長・発達の上にある児童・生徒を指導し、ともに学ぶ存在である。教員の言動は、時として、子どもの将来を大きく左右することもある。その意味で教員というのは恐ろしい職業である。しかし同時に教員は子どもの成長を直接目にし、それを助け、ともに喜び合えるやりがいのある職業でもある。

ある教育学者が次のようなことを問うている。「あなた（教員）は何の権利があって他人の子どもを教育するなどという大それたことができるのか」。

この問いに答えることは簡単ではない。しかし「他人の子ども」を教育するという「大それたこと」を職業とすることを、子どもから、保護者から、そして社会から、許されるだけの準備を大学生活のなかでしておくことが、教員をめざす学生の最低限の義務である。

教員をめざす学生には、大学の授業で学ぶことはもちろん、サークル活動、ボランティア活動、趣味、アルバイトなど、さまざまな経験をしながら、自分自身を成長させることを期待したい。豊かな人間性を持った信頼に足る教員をめざしてほしい。

◆ ◆ 〈1〉 教育職員免許状について ◆ ◆

大学卒業後、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員になるためには教育職員免許状を取得しなければなりません。

各学科で取得できる教育職員免許状は次の表のとおりです。

学部学科		免許状の種類 (教科)	中学校教諭 1 種免許状 (教科)	高等学校教諭 1 種免許状 (教科)
		社会	第1部	社会科学
社会福祉学科	—			—
メディアコミュニケーション学科	—			—
社会心理学科	—			—
国際社会学科	—			—
第2部	社会科学		社会	地理歴史・公民

◆ ◆ 〈2〉 教育職員免許状の取得条件について ◆ ◆

教育職員免許状を取得するためには、下の表にあるように基礎資格として「学士の学位を有すること」(卒業に必要な単位を修得すること)が要求されます。したがって、教育職員免許状取得のための単位は修得できたものの卒業ができなかったということにならないよう、4年間の履修計画を立ててください。本学では「教育職員免許法」及び同法施行規則に基づいて、教育職員免許状取得に必要な単位が修得できるよう科目を開設しています。

なお、特別支援学校教諭免許状を取得するためには小学校、中学校、高等学校または幼稚園のいずれかの免許状(基礎免許状)を取得した上に、さらに特別支援教育に関する科目の単位を修得することが必要となります。

○近年、教員採用試験で中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得(見込)していることが採用試験受験の条件、または有利になる傾向があります。したがって、できる限り**中学校教諭・高等学校教諭両方の教育職員免許状を取得することが望ましい**と考えられます。

○教育職員免許状を取得するのに必要な科目は、4年間で履修かつ修得できるように配置されているため、4年間の履修計画を入念に立て、1年次より必要な科目を履修かつ修得してください。

※ **2年次ないし3年次から4年次終了(卒業)までに教育職員免許状を取得することは難しいので注意してください。**

○ **第2部学生は授業時間数が少ないため、教育職員免許状の取得が第1部学生より難しいので注意してください。**

基礎資格と免許法における最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	免許法における最低修得単位数						
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	免許法施行規則第66条の6に定める科目	その他
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	28	10	10	7	4	8	介護等体験(詳細はp.160～p.161)
高等学校教諭一種免許状		24	10	8	5	12	8	

Check

免許法における最低修得単位数と、本学における最低修得単位数は異なります。

本学の学生は、本学における最低修得単位数を履修かつ修得しなければなりません。P.156～P.160〈表1〉(学科等における「教科及び教職に関する科目」一覧表)及び〈表2〉(本学における「免許法施行規則第66条の6に定める科目」一覧表)で確認してください。

◆ 〈3〉 教職課程登録料について ◆

本学では、通学課程の学部学生及び大学院生が教職課程の履修を希望する場合、教職課程登録料が必要となります。所定の期日までに指定された方法で納入してください。

なお、登録料の区分、徴収対象、徴収額および有効期間は以下のとおりとなります。

	区分	徴収対象	徴収額	有効期間
教職課程登録料	在籍生登録料	東洋大学教職課程の履修を希望する通学課程の学部生及び大学院生	30,000円	・学部生は、納入時から卒業年度の3月31日(秋学期卒業生を含む。ただし、春学期卒業生は9月30日)まで ・大学院生は、納入時から修了年度の3月31日(秋学期修了生を含む。ただし、春学期修了生は9月30日)まで
	卒業生等登録料	東洋大学の卒業生及び大学院修了生(ただし、退学者及び除籍者を含む。)で、教職支援室の利用等(教職に関するセミナー等への参加を含む。)を希望する者	5,000円 (ただし、秋学期からの場合は当該年度のみ2,500円とする。)	納入年度の3月31日まで

※再入学した学生のうち、在籍時に教職課程登録料を納入している場合は、再度の納入は必要ありません。

◆ 〈4〉 教職科目の履修登録について ◆

教育職員免許状の取得のためには、卒業単位の充足のほかに、以下に定められた科目をそれぞれ履修し、単位を修得する必要があります。

- (1) 教科及び教科の指導法に関する科目(各学科〈表1〉参照)
- (2) 「教育の基礎的理解に関する科目」等(各学科〈表1〉参照)
- (3) 大学が独自に設定する科目(各学科〈表1〉参照)
- (4) 免許法施行規則第66条の6に定める科目(各学科〈表2〉参照)

〈表1〉学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

社会学科（第1部） 2021年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低取得単位数を表しています。
 （注）下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1)中学校教諭一種免許状(社会)		
教育職員免許状施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
日本史・外国史	1~4	○日本史A(2)
	1~4	○日本史B(2)
8単位	1~4	○外国史A(2)
	1~4	○外国史B(2)
	2	社会学史A(2)
	2	社会学史B(2)
	2~4	○地理学(地域と社会)(2)
	2~4	○地理学(文化と社会)(2)
	1~4	○地誌学(世界)(2)
	1~4	○地誌学(日本)(2)
8単位	1~4	人文地理学(生活と地域)(2)
	1~4	人文地理学(文化と地域)(2)
	1~4	自然地理学(地震防災と社会)(2)
	1~4	自然地理学(地形と気候)(2)
	1~4	地域社会学(2)
	1~4	地域と貧困(2)
	1~4	現在の風土と人間・社会(2)
	1~4	風土の変遷と人間・社会(2)
4単位	1~4	○政治学原論A(2)
	1~4	○政治学原論B(2)
	1~4	政治社会学(2)
	1~4	政治と社会(2)
	1	○社会学概論A(2)
	1	○社会学概論B(2)
4単位	1	社会調査入門A(2)
	1	社会調査入門B(2)
	1~4	理論社会学(2)
	2~4	現代社会学理論A(2)
	2~4	現代社会学理論B(2)
	3~4	△哲学概説A(2)
4単位	3~4	△哲学概説B(2)
	3~4	△倫理学概説A(2)
	3~4	△倫理学概説B(2)
	3~4	これら4科目より「哲学概説A/B」または「倫理学概説A/B」のいずれかが4単位選択必修。
8単位	3	○社会・地歴指導法I(2)
	3	○社会・地歴指導法II(2)
36単位	3	○社会・公民指導法I(2)
	3	○社会・公民指導法II(2)
小計	①	

(2)高等学校教諭一種免許状(地理歴史)		
教育職員免許状施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
日本史	4単位	○日本史A(2)
	1~4	○日本史B(2)
4単位	1~4	○外国史A(2)
	1~4	○外国史B(2)
	2	社会学史A(2)
	2	社会学史B(2)
	1~4	○人文地理学(生活と地域)(2)
	1~4	○人文地理学(文化と地域)(2)
8単位	1~4	○自然地理学(地震防災と社会)(2)
	1~4	○自然地理学(地形と気候)(2)
	2~4	地理学(地域と社会)(2)
	2~4	地理学(文化と社会)(2)
	1~4	地域社会学(2)
	1~4	地域と貧困(2)
	1~4	現在の風土と人間・社会(2)
	1~4	風土の変遷と人間・社会(2)
4単位	1~4	○地誌学(世界)(2)
	1~4	○地誌学(日本)(2)
4単位	3	○社会・地歴指導法I(2)
	3	○社会・地歴指導法II(2)
小計	①	

(3)高等学校教諭一種免許状(公民)		
教育職員免許状施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
4単位	1~4	○政治学原論A(2)
	1~4	○政治学原論B(2)
4単位	1~4	政治社会学(2)
	1~4	政治と社会(2)
	1	○社会学概論A(2)
	1	○社会学概論B(2)
4単位	1	社会調査入門A(2)
	1	社会調査入門B(2)
	2~4	現代社会学理論A(2)
	2~4	現代社会学理論B(2)
	1~4	理論社会学(2)
	3~4	△哲学概説A(2)
	3~4	△哲学概説B(2)
	3~4	△倫理学概説A(2)
4単位	3~4	△倫理学概説B(2)
	3~4	これら4科目より「哲学概説A/B」または「倫理学概説A/B」のいずれかが4単位選択必修。
4単位	1~4	社会心理学概論A(2)
	1~4	社会心理学概論B(2)
3	3	○社会・公民指導法I(2)
	3	○社会・公民指導法II(2)
小計	①	

②教育の基礎的理解に関する科目等		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
		○教育基礎論(2)
		○教職概論(2)
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育制度論(2)
		○教育心理学(2)
		○特別支援教育基礎論(2)
		○教育課程総論(2)
		○道徳教育論(2)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)
		○教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2)
		○生徒指導論(進路指導を含む)(2)
		○教育相談(2)
教育実践に関する科目	7単位	○教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)(5)
		○教職実践演習(中・高)(2)
小計	29単位	②

※1 (注意) 高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

②教育の基礎的理解に関する科目等		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
		○教育基礎論(2)
		○教職概論(2)
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育制度論(2)
		○教育心理学(2)
		○特別支援教育基礎論(2)
		○教育課程総論(2)
		○道徳教育論(2)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○特別活動と総合的な学習の時間の指導法(2)
		○教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2)
		○生徒指導論(進路指導を含む)(2)
		○教育相談(2)
教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)(5)※1
		△教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)(3)
		○教職実践演習(中・高)(2)
小計	25単位	②

※1 (注意) 高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

②教育の基礎的理解に関する科目等		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
		○教育基礎論(2)
		○教職概論(2)
教育の基礎的理解に関する科目	12単位	○教育制度論(2)
		○教育心理学(2)
		○特別支援教育基礎論(2)
		○教育課程総論(2)
		○道徳、総合的な学習の時間等の指導法(2)
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8単位	○教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)(2)
		○生徒指導論(進路指導を含む)(2)
		○教育相談(2)
教育実践に関する科目	5単位	△教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)(5)※1
		△教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)(3)
		○教職実践演習(中・高)(2)
小計	25単位	②

※1 (注意) 高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
大学が独自に設定する科目		教育評価(2)
小計		③

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

③大学が独自に設定する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
大学が独自に設定する科目		教育評価(2)
		道徳教育論(2)
小計		③

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

③大学が独自に設定する科目		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
大学が独自に設定する科目		教育評価(2)
		道徳教育論(2)
小計		③

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

合計	65単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2
----	------	--------------------------

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	------	--------------------------

合計	59単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	------	--------------------------

〈表1〉 学科等における「教科及び教職に関する科目」等一覧表

社会学科（第2部） 2021年度入学生用

（注）下表の「最低修得単位数」は、法令上の最低修得単位数ではなく、当学科の教職課程において免許状を取得するための最低修得単位数を表しています。
 （注）下表の「本学開講科目」の授業科目に付している○印は必修科目、△印は選択必修科目であることを表しています。

(1)中学校教諭一種免許状(社会)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
日本史・外国史	8単位	○日本史A(2) ○日本史B(2) ○外国史A(2) ○外国史B(2)
		社会学史A(2) 社会学史B(2)
地理学 (地誌を含む。)	8単位	○地理学(地域と社会)(2) ○地理学(文化と社会)(2) ○地誌学(世界)(2) ○地誌学(日本)(2) ○人文地理学(生活と地域)(2) ○人文地理学(文化と地域)(2) ○自然地理学(地震防災と社会)(2) ○自然地理学(地形と気候)(2) ○地域社会学(2) ○地域と貧困(2) ○現在の風土と人間・社会(2) ○風土の変遷と人間・社会(2)
	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) ○政治社会学(2) ○政治と社会(2)
	4単位	○社会学概論A(2) ○社会学概論B(2) ○社会学調査入門A(2) ○社会学調査入門B(2) ○現代社会学理論A(2) ○現代社会学理論B(2) ○理論社会学(2) △哲学概説A(2) △哲学概説B(2) △倫理学概説A(2) △倫理学概説B(2)
	4単位	△哲学概説A(2) △倫理学概説A(2) △倫理学概説B(2) △倫理学概説B(2)
	8単位	これら4科目より「哲学概説A/B」または「倫理学概説A/B」のいずれかが4単位選択必修。
	8単位	○社会・地歴指導法I(2) ○社会・地歴指導法II(2) ○社会・公民指導法I(2) ○社会・公民指導法II(2)
	小計	36単位 ①

(2)高等学校教諭一種免許状(地理歴史)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
日本史	4単位	○日本史A(2) ○日本史B(2)
外国史	4単位	○外国史A(2) ○外国史B(2)
人文地理学・ 自然地理学	8単位	○人文地理学(生活と地域)(2) ○人文地理学(文化と地域)(2) ○自然地理学(地震防災と社会)(2) ○自然地理学(地形と気候)(2) ○地理学(地域と社会)(2) ○地理学(文化と社会)(2) ○地域社会学(2) ○地域と貧困(2) ○現在の風土と人間・社会(2) ○風土の変遷と人間・社会(2) ○地誌学(世界)(2) ○地誌学(日本)(2)
	4単位	○社会・地歴指導法I(2) ○社会・地歴指導法II(2)
	小計	24単位 ①

(3)高等学校教諭一種免許状(公民)		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
[法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)]	4単位	○政治学原論A(2) ○政治学原論B(2) ○政治社会学(2) ○政治と社会(2)
	4単位	○社会学概論A(2) ○社会学概論B(2) ○社会学調査入門A(2) ○社会学調査入門B(2) ○現代社会学理論A(2) ○現代社会学理論B(2) ○理論社会学(2) △哲学概説A(2) △哲学概説B(2) △倫理学概説A(2) △倫理学概説B(2)
[社会学(経済学(国際経済を含む。)) 、 地理学(文化と社会)(2) 、 人文地理学(生活と地域)(2) 、 自然地理学(地形と気候)(2) 、 地誌学(世界)(2) 、 地誌学(日本)(2)]	4単位	これら4科目より「哲学概説A/B」または「倫理学概説A/B」のいずれかが4単位選択必修。
	4単位	○社会心理学概論A(2) ○社会心理学概論B(2) ○社会・公民指導法I(2) ○社会・公民指導法II(2)
小計	24単位 ①	

②教育の基礎的理解に関する科目等			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
教育の基礎的理解に関する科目	12 単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10 単位	○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
教育実践に関する科目	7 単位	○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
小計	29 単位		

②教育の基礎的理解に関する科目等			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
教育の基礎的理解に関する科目	12 単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8 単位	○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
教育実践に関する科目	5 単位	○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
小計	25 単位		

②教育の基礎的理解に関する科目等			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
教育の基礎的理解に関する科目	12 単位	○教育基礎論(2)	1
		○教職概論(2)	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	8 単位	○教育制度論(2)	1
		○教育心理学(2)	2
教育実践に関する科目	5 単位	○特別支援教育基礎論(2)	1
		○教育課程総論(2)	1
小計	25 単位		

※1 (注意) 高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

※1 (注意) 高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

③大学が独自に設定する科目			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-		

③大学が独自に設定する科目			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	道徳教育論(2)	2・3

③大学が独自に設定する科目			配当 学年
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得 単位数	本学開講科目	
大学が独自に設定する科目	-	教育評価(2)	3・4
小計	-	道徳教育論(2)	2・3

合計	65 単位	①、②、③の合計で65単位を修得すること。 ※2
----	-------	-----------------------------

合計	59 単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	-------	-----------------------------

合計	59 単位	①、②、③の合計で59単位を修得すること。 ※2
----	-------	-----------------------------

※2 免許状取得希望者は、免許状の授与要件を満たすため、上表①「教科及び教科の指導法に関する科目」、②「教育の基礎的理解に関する科目等」、③「大学が独自に設定する科目」の中より、必修科目、選択必修科目及び選択科目を履修して所定の合計単位数を充足する必要があります。

〈表2〉④「免許法施行規則第66条の6に定める科目」

下記の表にしたがい、「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のそれぞれの分野で2単位以上を修得しなければなりません。

課程	免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目
第1部	日本国憲法	2単位	日本国憲法(2)
	体育	2単位	スポーツ健康科学実技ⅠA(1) スポーツ健康科学実技ⅠB(1) スポーツ健康科学実技ⅡA(1) スポーツ健康科学実技ⅡB(1) スポーツ健康科学実技ⅢA(1) スポーツ健康科学実技ⅢB(1) スポーツ健康科学実技ⅣA(1) スポーツ健康科学実技ⅣB(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ(2) スポーツ健康科学講義ⅡA(2) スポーツ健康科学講義ⅡB(2) ※これら11科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣBから必ず1単位を修得すること。
	外国語コミュニケーション	2単位	カレント・イングリッシュⅠA(1) カレント・イングリッシュⅠB(1)
	情報機器の操作	2単位	統計情報処理および実習Ⅰ(2) ウェブ情報処理およびプログラミングⅠ(2)
第2部	日本国憲法	2単位	日本国憲法(2)
	体育	2単位	スポーツ健康科学実技A(1) スポーツ健康科学実技B(1) スポーツ健康科学講義Ⅰ(2) スポーツ健康科学講義ⅡA(2) スポーツ健康科学講義ⅡB(2) ※これら5科目より2単位選択必修。ただし、スポーツ健康科学実技A・Bから必ず1単位を修得すること。
	外国語コミュニケーション	2単位	カレント・イングリッシュⅠA(1) カレント・イングリッシュⅠB(1)
	情報機器の操作	2単位	統計情報処理および実習(2) ウェブ情報処理およびプログラミング(2)

◆ 〈5〉 介護等体験について ◆

中学校の免許取得希望者は、教職に必要な科目の修得、卒業要件の充足の他に、3年次に特別支援学校で2日間と社会福祉施設で5日間の計7日間、高齢者や障害者に対する介護、介助、交流等の体験を行い、受入先に体験を行った証明をいただく必要があります。

この体験を行うには、大学をとおして申し込みをしなければなりません。
概要は以下の通りです。

(1) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、介護等体験に参加することはできません。

- ① 介護等体験に積極的に参加する意欲があること。
- ② 全2回の説明会(2年次・3年次を予定)に出席し、必要な書類を提出すること。
- ③ 実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、異常なしと診断され、心身ともに健康であること。
- ④ 麻疹(はしか)の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑤ 母体保護のため、体験開始日が妊娠中もしくは出産から8週間以内でないこと。
- ⑥ 介護等体験料(含む保険料)を所定の期日までに納入していること。
- ⑦ 指定された体験日程で介護等体験に参加できること。
- ⑧ その他、必要な手続きのすべてを完了していること。

(2) 体験日程・体験先

受入先の都合を考慮したうえで、東京都教育委員会および東京都社会福祉協議会が、希望者各人の日程と受入先を調整・決定します。個人的な事情や要望（サークル、アルバイト、海外留学、就職活動、仕事等）による**日程・受入先の指定や変更（また、このことに関する個人交渉）・辞退は一切できない**ので、参加を希望する者はこの点を了承し、自分の都合を調整したうえで体験に臨んでください。

①日程

授業期間だけではなく、夏季・冬季休暇期間・土・日・祝日を含む日程で行います。

②体験先

いずれも東京都に所在する学校・施設で行います。体験希望者が多いため、現住所に近い場所で行えるとは限りません。

<特別支援学校>

視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、小中学校等に準ずる教育を行うとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。在籍する児童生徒等に対する教育を行うほか、障害により教育上特別な支援を必要とする小中学校等の児童生徒等の教育に関し、必要な助言又は援助を行います。

<社会福祉施設>

- ・高齢者にかかわる施設
- ・児童福祉・障害児にかかわる施設
- ・障害者（身体、知的、精神障害者）にかかわる施設
- ・生活保護にかかわる施設

(3) 内容

- ・学校、施設の利用者の介護・介助（入浴・排泄等含む）
- ・学校、施設の利用者との交流（話し相手）、学習活動の指導・援助
- ・学校、施設が実施する行事（学園祭・バザー・遠足・サークル活動等）の補助
- ・学校、施設の掃除、洗濯等の作業

特別支援学校事例…授業参観、作業学習補助、学校行事補助等（プール実習・マラソン大会等）

社会福祉施設事例…車椅子補助、点字の勉強、送迎バスへの添乗、サークル活動の補助等

◆ ◆ 〈6〉 教育実習について ◆ ◆

教育実習は、大学で学んだ教育理論や技術をもとに、教育実習校（中学校、高等学校）での実習を通じて、教育の意味や学校教育の全領域について学習するものです。「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」（3週間以上実習対象者）、「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」（2週間実習対象者）、「初等教育実習（事前・事後指導を含む）」、「特別支援学校教育実習（事前・事後指導を含む）」は、4年次に履修します。4月から事前指導が行われ、ほとんどの学生が、6月頃から実際に学校現場に赴き、中学校教諭の免許状取得の場合には3週間、高等学校教諭の免許状取得の場合には2週間の教育実習を行います。教育実習終了後、教育実習事後指導として、学生の実習体験発表、実習感想文の提出、アンケート調査などによって、教育実習の成果を振り返り、教員として必要な資質能力が培えたかどうかを確認します。教育実習は勤務という形態で行われるので、実習期間中に就職活動をするような時間的・精神的余裕は全くありません。教職という仕事の重要性を認識し、実習期間中は就職活動などは中止し、実習に専念してください。

(1) 「教育実習（事前・事後指導を含む）」の履修条件

◇「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修条件

- ① 3年次終了の時点で、卒業に必要な単位数を第1部学生で**100単位以上**、第2部学生で**90単位以上**を修得していること。
- ② 3年次終了の時点で、以下、(i)と(ii)の2つの条件をともに満たしていること。
 - (i) 下記11科目のうち、6科目以上の単位を修得済みであること。

「教育基礎論」	「道徳教育論」
「教職概論」	「特別活動と総合的な学習の時間の指導法」
「教育制度論」	「教育方法論（情報機器及び教材の活用を含む）」
「教育心理学」	「生徒指導論（進路指導論を含む）」
「特別支援教育基礎論」	「教育相談」
「教育課程総論」	
 - (ii) 実習予定の「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を修得済みであること。

*教育実習での実習教科（地理歴史・公民）が実習校の都合で、自分が修得した「教科の指導法」と対応しない場合がある。その場合には教職支援課窓口で相談すること。
- ③ 4年次において、卒業に必要な科目（単位）および教育職員免許状を取得するために必要な科目（単位）を修得し終える見込みのある者。

(2) 参加条件

以下の条件を全て満たさなければ、教育実習に参加することはできません。

- ① 教壇に立って授業を行うために必要な学力を有すること。
- ② 実習校の教員の指導のもとに、教育実習生としてふさわしい行動のとれる人物であること。
- ③ 本学の規則に反し、または学生の本分に反する行為を行い、処分を受けたことがないこと。
- ④ 次のa b cを含む大学及び関係諸機関との手続きを不備なく行っていること。
 - a. 実習前年度の9月までに、実習受入の内諾を受け大学に文書で通知がきていること、または実習の申請に必要な手続きを完了させていること。
 - b. 大学指定の誓約書に署名・捺印のうえ所定の期日までに提出していること。
 - c. 教育実習料（含む保険料）を所定の期日までに納入していること。
- ⑤ 教職パスポートを所定の期日までに提出をし、中間点検において確認印を受けていること。
- ⑥ 教育実習実施年度の4月に大学の健康診断を受診し、心身ともに健康であること。
- ⑦ 麻疹（はしか）の抗体検査・予防接種を行い、免疫があると認められていること。
- ⑧ 母体保護のため、実習開始日が妊娠中もしくは出産から8週間以内でないこと。
- ⑨ 実習校が所在する各都道府県教育委員会に、特別な定めがある場合は、それを満たしていること。

(3) 教育実習校について

<中学校・高等学校>

教育実習を希望する学生は、3年次に「教科の指導法Ⅰ」「教科の指導法Ⅱ」を履修、単位修得するとともに、教育実習事務手続説明会に必ず出席し、予定校確保（以下、内諾）の方法等について確認のうえ、各自が責任をもって実習校を開拓してください。

その後、東京都立学校での教育実習希望者は、教務担当窓口へ「教育実習希望調書」を提出してください。なお、正式受入決定は12月上旬となります。地方校（都内私立高校を含む）での教育実習希望者は、「教育実習受入内諾書」の記載をお願いした予定校から大学あてに回答が到着しているか、教務担当窓口にて確認を行ってください。各手続きの期限は教育実習事務手続説明会でお伝えします。

また4年次に「教育実習Ⅰ（事前・事後指導を含む）」または「教育実習Ⅱ（事前・事後指導を含む）」の履修登録をし、教育実習直前説明会に必ず出席してください。

◆ ◆ 〈7〉 教職実践演習について ◆ ◆

4年次の秋学期に必修科目として「教職実践演習」を履修して単位修得することが必要とされています。この科目は、教職に関する4年間の「学びの軌跡の集大成」と言えるものであり、学生が身に付けたものが教員として最小限必要な資質・能力の基礎として有機的に統合されたかを確認することを目的としています。しかし、この確認は4年次秋学期になってはじめて行うのではなく、1年次から継続的にくり返し、自らの教職への意思や適性を問いつづけるなかで達成されるものです。

したがって、教員をめざす学生は1年次から積極的・意欲的に教職課程の学びを継続し、学修の成果と課題を記録しておくことが求められます。本学では「教職パスポート」を用意してその一助としています。「教職パスポート」を活用して、4年間の学修の流れを継続的・系統的に、目に見えるかたちで記録していくことが求められます。なお「教職パスポート」を管理し活用していることが「教職実践演習」の履修条件のひとつとなるので、学生は大切に保管し活用してください。なお、2年次終了時点で「教職パスポート」の中間点検を行い、必要に応じて指導・助言を行います。教職への適性が疑われる場合には進路の変更を促すこともありえます。

しっかりとした自覚をもって学修に取り組んでください。

◆ ◆ 〈8〉 教育職員免許状一括申請について ◆ ◆

教育職員免許状に必要な単位を修得または修得見込の学生は、教員免許状の取得が見込まれる年度に教育職員免許状の申請手続きをする必要があります。教育職員免許状の発行は東京都教育委員会が行いますが、卒業時に教育職員免許状を受領するための申請手続きは、通常、大学を通して行います（以下、一括申請）。

これらの手続きを怠った場合は、卒業時に教育職員免許状が授与されなくなるので注意してください。
◎個人申請について

大学で教育職員免許状の一括申請手続きを行わなかった場合でも、教育職員免許状に必要な単位を修得していれば、卒業後に個人で教育職員免許状を申請すること（個人申請）が可能です。

個人で申請する際の申請先等は以下の通りです。

〈申請先〉

住民票をおいている都道府県の教育委員会（通常は都道府県庁の教育職員免許状を発行する部署）

〈申請に必要な書類・受付時期・免許状発行日〉

申請先によって異なるので各自で問い合わせてください。

◆ ◆ 〈9〉 教育職員免許状取得までの流れ ◆ ◆

月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 1年 ◀◀			
11月	教職課程説明会の掲示		中・高
12月	教職実践演習ガイダンス	参加必須	中・高
	教職課程説明会	参加必須	中・高
秋学期	教職課程登録料納入 (p.154 参照)	納入必須	中・高



▶▶ 2年 ◀◀			
11月	介護等体験第1回説明会の掲示		中
	教職パスポート中間点検説明会の掲示		中・高
12月	教職パスポート中間点検説明会	参加必須	中・高
	介護等体験第1回説明会 [体験概要、申込前の注意事項、今後の手続の説明、参加仮登録]	参加必須	中
1月	次年度教育実習事務手続説明会の掲示		中・高
	教職パスポートの中間点検提出	締切厳守	中・高
	介護等体験第2回説明会の掲示		中



▶▶ 3年 ◀◀			
3月～ 4月初旬	教育実習事務手続説明会 [次年度教育実習予定校確保(内諾)について、特別支援学校教育実習登録票の配付<注1>]	参加必須	中・高
	介護等体験第2回説明会 [体験上の注意、申込方法の説明、申込と体験に必要な書類の配付]	参加必須	中
	介護等体験申込受付 [申込書類の提出および体験費用の納入]	締切厳守	中
4月中旬	取得希望免許状及び内諾予定校の登録、教育実習登録票(コピー)の提出	締切厳守	中・高
	教育実習の履修条件を満たすための科目登録		中・高
4月以降	教育実習校への内諾依頼(各自で次年度実習の依頼に行くこと)		中・高
7月上旬	介護等体験要項・受入連絡票配付 [体験日時および必要事項の確認]		中
7月以降	介護等体験準備および体験(要項、受入連絡票を熟読の上、体験に臨むこと)	参加必須	中
	介護等体験証明書受取(体験終了後)		中
	介護等体験日誌の提出(体験終了後2週間以内)	締切厳守	中
9月上旬	教育実習受入内諾書の確認(地方校)		中・高
	教育実習希望調書の提出(東京都公立学校)	締切厳守	中・高
12月	教育実習校の発表(東京都公立学校)(東京都公立学校での実習希望者は掲示にて確認)		中・高
1月下旬	次年度教育実習直前説明会の掲示		中・高



月	内容	特記事項	免許種別
▶▶ 4年 ◀◀			
4月初旬	教育実習直前説明会 [実習直前の心構え、実習上の注意事項、実習校持参書類の配付]	参加必須	中・高
	教育実習参加条件充足者発表		中・高
4月中旬	教育実習料振込	締切厳守	中・高
5月上旬	教育実習承諾書確認 [打合せ日、実習期間、教科等最終確認]		中・高
5月中旬	訪問指導校を掲示にて発表		中・高
5月以降	教育実習<注1>	参加必須	中・高
6月上旬	教育職員免許状一括申請説明会の掲示		中・高
7月上旬	教育職員免許状一括申請説明会 [申請免許状の申込]	参加必須	中・高
実習終了後 1ヵ月以内	教育実習日誌の提出	締切厳守	中・高
12月上旬	免許状記載内容の最終確認、東京都教育委員会に提出する書類の 署名・捺印、申請料の納入	締切厳守	中・高
3月中旬	教育職員免許状取得決定者発表		中・高
卒業式日	教育職員免許状授与(交付)<注2>	参加必須	中・高

<注1>教育実習の実習時期は各実習校によって異なるので、承諾書等で必ず各自確認してください。

<注2>科目等履修生に教育職員免許状を授与(交付)する日程は、別途教職課程掲示板に掲示します。

※説明会を欠席したり、手続きを怠ると、教育実習・介護等体験に参加できなくなるので、教職課程掲示板および〔教育職員免許状取得までの流れ〕をよく確認してください。

また、教育実習の内諾後のキャンセル・介護等体験の申し込み後のキャンセルや、一度納入した教職課程登録料、介護等体験実習料、教育実習料の返金は一切できないので注意してください。

※上表のスケジュールはあくまでも予定なので、時期が前後することがあります。必ず教職課程掲示板を確認してください。

また、このスケジュールはモデルケースとなりますが、実習時期や教育職員免許状取得時期が遅れる場合は、事前に教務担当窓口にご相談してください。

◆ ◆ 〈10〉 教職課程を履修する学生への連絡・伝達について ◆ ◆

教職に関する事項（各種説明会・手続き・発表・呼び出し等）は、すべて教職課程掲示板でお知らせします。登校時には必ず **1102 番教室（1 号館 1 階）** 横もしくは **6B12 番教室（6 号館地下 1 階）** 前の掲示を確認してください。（ToyoNet-G のお知らせでも確認することができますが、全ての掲示を Web 上で確認できるわけではありません。）

教職課程に関する窓口取り扱いは**教職支援課（5 号館 1 階）** で受け付けます。なお電話による問合せは一切受け付けません。直接窓口で問い合せてください。

◆ ◆ 〈11〉 教員採用に関する支援について ◆ ◆

（1）教職支援室（3 号館 1 階）

- ・ 採用試験対策講座
- ・ 個別相談・模擬面接・模擬授業・場面指導・模擬試験関連情報提供
- ・ 専門スタッフによる教育職員への就職指導

※各講座の開催・申込時期等については教職支援室前の掲示板を確認してください。

（2）教職資料室（3 号館 1 階）

- ・ 教科書・参考書・学習指導案等の閲覧および貸し出し

※開室時間は教職支援室に準じます。

◆ ◆ 〈12〉 教員採用試験について ◆ ◆

教育職員免許状を取得した者が教員になるためには、教員採用試験に合格する必要があります。

出願期間・受験条件・試験日程・試験方法は教育委員会・学校によって異なります。教員採用試験の実施要綱の取り寄せと応募は各自で行ってください。

（1）公立学校の教員採用

公立学校の教員になるためには、まずは各都道府県・指定都市教育委員会が実施する採用試験に合格し、採用候補者の名簿に登録される必要があります。名簿の中からその年度の欠員状況、教員組織の状況などを考慮して選定され、採用が決定します。

（2）私立学校の教員採用

各都県の私学協会等が実施する「私立学校教員適性検査」を基に採用を行う場合と、公募制による採用があります。

「私立学校教員適性検査」は採用試験ではなく、適性検査を受けた受検者の氏名と評価等が記載された名簿を基にして、教員の採用を行っていくものです。ただし、検査を実施する都県にある私立学校全てが「私立学校教員適性検査」の結果を基に教員採用を行っているとは限りません。

◆ ◆ 〈13〉 教員免許更新制について ◆ ◆

教員免許状には、免許状授与のための所要資格を得て（※）から 10 年後の年度末までの有効期間が付きます。免許状の有効期間を更新するためには、2 年間で 30 時間の免許状更新講習を受講・修了することが必要で、有効期間を更新した場合、次の有効期間は前の有効期間から 10 年後の年度末になります。

免許状更新制の導入は、教員として必要な知識技能が日々変化するため、その時々で必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけてもらうことを目的としています。教職を目指す学生の皆さんは、取得する教員免許状に有効期間が付されることを知っておく必要があります。

※「所要資格を得て」…免許状の授与に必要な学位と単位を満たすこと。

◆ ◆ 〈14〉 長期間大学へ通学することができない場合について ◆ ◆

在学中に休学および留学等で長期間大学へ通学することができない場合は、教育実習、介護等体験等の実施時期や教育職員免許状の取得時期が通常の学生より 1～2 年遅くなるがあるので、必ず事前に教務担当窓口まで相談に来てください。

◆◆ 〈15〉 編入生・転入生の教育職員免許状取得について ◆◆

教育職員免許状取得を希望する場合は、以下のことに留意のうえ、事前に教務担当窓口まで相談に来てください。

- (1) 単位認定・時間割編成によっては卒業時までには教育職員免許状が取得できない場合があります。
- (2) 編・転入前の大学等で取得した教職に関する科目等についてすべての科目を認定できるとは限りません。
- (3) 卒業単位に算入されない教職に関する科目を個別で認定する場合は、卒業に必要な科目の認定単位数が減少する場合がありますので注意してください。
- (4) 個別指導を受ける際は、編・転入前の大学等で該当教科の「学力に関する証明書」を入手し、教務担当窓口で指導を受けてください。

◆◆ 〈16〉 科目等履修生制度について ◆◆

将来、教員を目指す学生で、学部卒業までに教育職員免許状を取得するために必要な単位を修得できなかった場合や、すでに教育職員免許状を取得していて、卒業後、新たに別教科の教育職員免許状を取得したい場合は、科目等履修生として必要な単位を修得し教育職員免許状を取得することができます。募集要件・履修できる科目等について、必ず当該年度の各募集要項を確認のうえ出願してください。なお、本学で取得可能な教育職員免許状に必要な科目がすべて科目等履修生に開講しているとは限らないので注意してください。概要は、以下のとおりです。

科目等履修生（通学制）に関するスケジュール（詳細は当該年度の募集要項で確認してください）

1月下旬～2月上旬	科目等履修生募集要項・ダウンロード開始
	▼
2月上旬～	履修科目の相談（教務課）
	▼
3月上旬～中旬	出願
	▼
3月下旬	試験・合格発表
	▼
4月上旬	就学手続

※募集要項は東洋大学 web サイトで確認できます。（「東洋大学 科目等履修生」でキーワード検索してください。）

出願にあたっての履修科目については、事前に教務担当窓口にご相談してください。

※介護等体験のみの履修はできません。



諸資格

社会福祉主事

社会福祉主事は、福祉事務所の相談業務を担当する職員の資格ですが、右記の「社会福祉主事の資格に関する指定科目」のうちから「3科目以上を修得」した者に任用資格が認められています。しかし、地方公務員として採用されなければ、この資格を活かすことはできません。なお、この資格を基礎とし、実務経験を持てば、児童福祉司等に任用されます。また、民間福祉施設の職員採用条件として、社会福祉主事任用資格が求められることが多いです。

(1) 資格

大学において、社会福祉に関する科目を修めて卒業した者（社会福祉法第19条第1号）。

(2) 修得すべき科目

次ページ以降の社会福祉主事の資格に関する指定科目のうちから3科目以上を修得すること。社会福祉主事の資格に関する指定科目における本学開講科目のうち、いずれか1科目修得することで、当該指定科目を修得したとみなされます。但し、]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされます。

社会福祉主事に関する科目〈第1部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目	
社会福祉概論	社会福祉の原理と政策A] 社会福祉の原理と政策B]	行政法	行政法ⅠA] 行政法ⅠB] 行政法ⅡA] 行政法ⅡB]	
社会福祉事業史	社会福祉発達史] 欧米の社会福祉史]			
社会福祉援助技術論	ソーシャルワークの基盤と専門職A] ソーシャルワークの基盤と専門職B] ソーシャルワークの理論と方法A] ソーシャルワークの理論と方法B] ソーシャルワークの理論と方法C] ソーシャルワークの理論と方法D]	経済学	経済学A] 経済学B] 経済学入門A] 経済学入門B] 国際公共経済A] 国際公共経済B] 経済学(マクロ)] 経済学(ミクロ)] 応用マクロ経済学] 応用ミクロ経済学] 経済原論A] 経済原論B] ミクロ経済学入門] マクロ経済学入門]	
社会福祉調査論	社会福祉調査の基礎 社会調査法			
社会保障論	社会保障論 社会保障論A] 社会保障論B]			
公的扶助論	貧困に対する支援			
児童福祉論	児童・家庭福祉			
身体障害者福祉論	障害者福祉			
老人福祉論	高齢者福祉			
医療社会事業論	医療ソーシャルワーク論			
地域福祉論	地域福祉論 地域福祉と包括的支援体制A] 地域福祉と包括的支援体制B]		社会政策論 社会政策A] 社会政策B]	
法学	法学A] 法学B]		経済政策	経済政策A] 経済政策B]
民法	民法A] 民法B] 民法Ⅰ(総則)A] 民法Ⅰ(総則)B] 民法Ⅱ(物権)A] 民法Ⅱ(物権)B] 民法Ⅲ(債権総論)A] 民法Ⅲ(債権総論)B] 民法Ⅳ(債権各論)A] 民法Ⅳ(債権各論)B] 民法Ⅴ(親族・相続)A] 民法Ⅴ(親族・相続)B]	心理学	心理学概論 心理学A] 心理学B]	
		社会学	社会学A] 社会学B] 社会学概論A] 社会学概論B]	
		教育学	教育基礎論 教育学概論	
		倫理学	倫理学基礎論A] 倫理学基礎論B] 応用倫理学A] 応用倫理学B] 倫理学概説A] 倫理学概説B] 倫理学概論A] 倫理学概論B]	
			医学一般	医学概論
			介護概論	介護福祉概論

- (注1) 学科教育課程表および専門開放科目(他学部他学科開放科目)に掲載されていない本学開講科目は自由科目で履修してください。
(注2)]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされます。

社会福祉主事に関する科目〈第2部学生対象〉

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
社会福祉概論	社会福祉学概論A] 社会福祉学概論B]
社会福祉援助技術論	社会とソーシャルワーク
社会福祉調査論	社会調査入門A 社会調査法
社会福祉行政論	福祉行政と福祉計画
社会保障論	社会保障論
公的扶助論	公的扶助論
児童福祉論	児童福祉論
身体障害者福祉論	障害者福祉論
老人福祉論	高齢者福祉論
地域福祉論	地域福祉論
法学	法学 日本国憲法]
民法	民法A] 民法B] 民法I(総則)A 民法I(総則)B 民法II(物権)A 民法II(物権)B 民法III(債権総論)A 民法III(債権総論)B 民法IV(債権各論)A 民法IV(債権各論)B 民法V(親族・相続)A 民法V(親族・相続)B]

社会福祉主事の資格に関する指定科目	本学開講科目
行政法	行政法I A] 行政法I B] 行政法II A] 行政法II B]
経済学	経済学A] 経済学B] 経済学入門A] 経済学入門B] 経済原論A] 経済原論B]
社会政策	社会政策論 社会政策A] 社会政策B]
経済政策	経済政策A] 経済政策B]
心理学	心理学A] 心理学B]
社会学	社会学A] 社会学B] 社会学概論A] 社会学概論B]
教育学	教育基礎論 教育学概論
倫理学	倫理学A] 倫理学B] 倫理学概説A] 倫理学概説B]
医学一般	医学一般
介護概論	介護概論

- (注1) 学科教育課程表および他学部他学科開放科目に掲載されていない本学開講科目は自由科目として履修してください。
(注2)]がついている科目はセットで履修、修得することで1科目としてみなされます。



諸資格

博物館学芸員 ※第1部学生のみ対象

◆業務◆

博物館には狭義の博物館のほか、美術館、考古学・歴史関係史料館、郷土館、記念館、民芸館および科学博物館、動物園、水族館、科学館、天文館などが含まれます。これらは学校教育と並んで重要なものである社会教育のための機関であり、そこには専門職員として学芸員を置かなければならないことが法によって定められています（博物館法第4条第3項）。

学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的な事項をつかさどる、と定められています（博物館法第4条第4項）。

◆資格◆

学士の学位を有する者で大学において次の科目および単位を修得した者は、学芸員となる資格を有します。

◆修得すべき科目と単位数◆

博物館法第5条第1項第1号の規定による、大学において修得すべき博物館に関する科目および単位と、それに対応する本学開講科目および単位は次の表によります。

2021年度第1部入学生用

	法令上の科目	単位	本学開講科目	単位	学年	開講学科	備考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	2	1・2	教育学科	注)1を参照
	博物館概論	2	博物館概論	2	1・2	史学科	注)1を参照
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	史学科	注)1を参照
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	史学科	注)1を参照
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	3・4	史学科	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2	2～4	史学科	注)1を参照
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	1～4	史学科	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2	2～4	史学科	
	博物館実習	3	博物館実習ⅠA	1	3	史学科	注)2を参照
		博物館実習ⅠB	1	3	史学科	注)2を参照	
		博物館実習Ⅱ	1	4	史学科		
選択科目	文化史		伝統芸能を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			伝統行事を学ぶ	2	1～4	日本文学文化学科	
			平安朝文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			室町・戦国文化の世界	2	2～4	日本文学文化学科	
			古典籍に親しむ	2	2～4	日本文学文化学科	
			古文書学ⅠA	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅠB	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅡA	2	1～4	史学科	
			古文書学ⅡB	2	1～4	史学科	
	美術史		日本美術の世界	2	1～4	日本文学文化学科	
	考古学		考古学研究A	2	2～4	史学科	
			考古学研究B	2	2～4	史学科	
	民俗学		日本民俗学の諸問題	2	2～4	日本文学文化学科	

注)1 「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の履修は、2年次までの必修科目（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」「生涯学習概論Ⅰ」）を全て修得していることを条件とします。

注)2 実習のコースは2種類に分かれる。1コースは民俗・書誌、3コースは考古学・一般である（2コースは休講）。

◆◆学芸員資格取得にかかわる必修科目の位置づけについて◆◆

学芸員資格のための必修科目は、博物館法施行規則（文部科学省令 24 号）にもとづき、本学学則で定められたものです。このうち、「博物館実習」は博物館法に認められた博物館において行われるもので、学内実習はそれを補充するためのものです。したがって、実習は博物館業務の現場において、学外博物館の協力のもとで行われることが必要条件となっています。いわば現任の学芸員に準ずるような作業を行うこととなります。したがって、受講生は実習を受ける以前に、博物館学芸員としての基本教育（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」）、学芸員の教育者としての基本教育（「博物館教育論」）、学芸員の社会教育者としての基本的教育（「生涯学習概論Ⅰ」）が行われていなければなりません。本学のカリキュラム構成もその原則をふまえたものとなっています。

◆◆履修上の注意◆◆

- ①この資格を取得できるのは、**第 1 部の文学部・社会学部学生のみ**です。
- ②必修科目はすべて修得しなければなりません。
- ③「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の履修は、**2 年次までの必修科目（「博物館概論」「博物館経営論」「博物館展示論」「博物館資料論」「生涯学習概論Ⅰ」）を全て修得していること**を条件とします。
※「博物館経営論」および「博物館展示論」は**2 年次配当科目**のため、履修の際は特に注意してください。
- ④選択科目は、**法令上の科目 2 科目以上から 12 単位以上**を修得しなければなりません。
- ⑤「博物館実習ⅠB」の履修登録は「博物館実習ⅠA」を修得していることが条件です。
- ⑥4 年次に配当されている「博物館実習Ⅱ」の履修登録は、下記の条件を満たしていることが条件です。
 - 〈1〉：「博物館実習ⅠA」「博物館実習ⅠB」の単位を修得していること。
 - 〈2〉：「博物館教育論」の単位を修得していること、または「博物館実習Ⅱ」の履修年度に「博物館教育論」を履修していること。
- ⑦上級学年に配当されている科目は履修できません。
※「博物館実習Ⅱ」の履修を希望する場合は、実習料（10,000 円）および学研災付帯賠償責任保険料を所定の期間に納入しなければなりません。一度納入した実習料等は、返金しないので特に注意してください。また、実習生への連絡は、**博物館実習室掲示板（白山キャンパス 5 号館地下 1 階 5B11 教室前）と ToyoNet-G**で行います。

博物館実習スケジュール

月	3 年生	4 年生
4	博物館実習ⅠA履修許可者発表 履修登録 授業開始	博物館実習Ⅱ履修登録 実習料納入 授業開始
6		実習館決定
7～9	ガイダンス(第 1 回目)	館務実習
11～12	見学学習、ガイダンス(第 2 回目)	
1	次年度実習予定館内定	

※館務実習先は、原則として自己開拓し、約 2 週間行います。詳しくはガイダンス等で説明するので、必ず出席してください。

諸資格 社会調査士

◆◆概要◆◆

社会調査士は、日本社会学会・日本行動計量学会・日本教育社会学会の三学会が連携協力して設立した「社会調査士資格認定機構（現在は「一般社団法人社会調査協会）」が2004年4月から認定を開始した資格で、社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけた人材に対し認定されます。（社）社会調査協会では、他に大学院レベルの「専門社会調査士」資格の認定もしており、社会調査教育の向上、社会調査知識と技能をもつ人材の供給、社会調査の重要性に関する啓発活動などをすすめていくことになっています（詳しくは、（社）社会調査協会のホームページ <https://jasr.or.jp/> を参照してください）。

社会学部では、従来から社会調査教育に力をそそいできたことから、認定機構の発足にともない、この社会調査士資格制度に参加することにし、本学社会学部の開講科目をこの資格のための科目として認定してもらうなどしています。資格申請のスケジュールや手続きの詳細は、掲示などを通じてお知らせする予定です。（社）社会調査協会では、下記のような7つの科目を標準カリキュラムとしてかかえており、このA、B、C、D、EまたはF、G（EおよびFは選択制でどちらか一方で可）の合計6科目の単位を取得していることが、資格認定の条件です。

社会調査士資格の取得に関心のある学生は、卒業までに標準カリキュラムに対応する本学開講科目を履修し単位を取得するよう計画的・意欲的に取り組み、またこの資格関連の掲示に注意してください。

◆◆資格申請スケジュール◆◆

社会調査士の資格申請は4年次に大学を通して行います。資格取得を希望する際は、以下のスケジュールを確認のうえ、申請手続きを行ってください。なお、要件科目の単位を全て取得していれば、卒業後でも資格申請が可能です。

内容	3月卒業	9月卒業
資格申請お知らせ配信 (大学HPとToyoNet-G)	1月下旬～2月上旬	7月下旬～8月上旬
WEB申請(社会調査協会) ※成績発表後に申請	2月～3月	8月～9月
申請手続書類受付(大学提出)	2月中旬～3月下旬	8月中旬～9月下旬
資格認定発表(郵送)	6月1日付	12月1日付

※本学では、社会調査士（キャンディデイト＝卒業時に社会調査士資格を取得予定であることを証明するもの）の申請は行っておりません。卒業時に取得できる正規資格のみ申請が可能です。

※上記スケジュールは予定です。今後、スケジュールに変更が生じた場合、ToyoNet-G等でお知らせいたします。

◆資格取得に必要な科目◆

<第1部学生対象>

社会調査士資格の標準カリキュラム科目	本学開講科目	学科				資格認定条件
		社会	社会福祉	応用コミュニケーション	社会心理	
【A】社会調査の基本的事項に関する科目(90分×15週)	社会調査入門A	○	-	○	○	国際社会
	社会福祉調査の基礎	-	○	-	-	
【B】調査設計と実施方法に関する科目(同上)	社会調査入門B	○	-	○	○	必須
	社会福祉調査の応用	-	○	-	-	
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目(同上)	統計情報処理および実習 I	△	-	○	○	必須
	社会統計実習	△	-	-	-	
	統計情報処理および実習	-	○	-	-	
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目(同上)	社会統計学 I	○	○	○	○	】どちらか一方で可
【E】多変量解析の方法に関する科目(同上)	社会統計学 II	△	△	△	△	
【F】質的な調査分析の方法に関する科目(同上)	質的調査法 I	△	△	△	△	】どちらか一方で可
	社会調査および実習 A	△	○	○	○	
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目(90分×30週)	社会調査および実習 B	△	○	○	○	必須
	社会学演習 II A (社会調査)	△	-	-	-	
	社会学演習 II B (社会調査)	△	-	-	-	
	社会学演習 III A (社会調査)	△	-	-	-	
	社会学演習 III B (社会調査)	△	-	-	-	
国際社会調査実習 A	-	-	-	-	○	
国際社会調査実習 B	-	-	-	-	○	

※1 どちらか一方で可 ※2 すべて修得すること ※3 いずれかの組み合わせを修得すること

<第2部学生対象>

社会調査士資格の標準カリキュラム科目	本学開講科目	学科		資格認定条件
		社会	社会	
【A】社会調査の基本的事項に関する科目(90分×15週)	社会調査入門A	○	○	必須
	社会調査入門B	○	○	
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目(同上)	統計情報処理および実習	○	○	必須
	社会統計学	○	○	
【E】多変量解析の方法に関する科目(同上)	社会統計解析法	△	△	】どちらか一方で可
	質的調査法	△	△	
【G】社会調査を実際に経験し学習する科目(90分×30週)	社会調査および実習 A	○	○	必須
	社会調査および実習 B	○	○	



諸資格

社会福祉士（国家資格）※第1部社会福祉学科学生のみ対象

◆資格概要◆

社会福祉士は、1987（昭和62）年に制定された「社会福祉士及び介護福祉士法」によって認定されるソーシャルワーカーの国家資格です。

今後、地域共生社会の実現を推進し、新たな福祉ニーズに対応するため、ソーシャルワークの専門職としての役割を担って行ける実践能力を有する社会福祉士を養成することを目的として、2021年度より社会福祉士養成課程のカリキュラム、実習教育のあり方が大幅に見直されました。新カリキュラムでは、これまで以上に実習教育で「実践力」を身につけることが求められており、実習生にも一定程度の知識と技術が求められています。

社会福祉士は社会福祉サービスの質を高めるため、社会福祉の様々な分野で活躍することが期待されています。国家試験の難易度は低くはないので、入学時から真剣に学習することが必要です。また、指定科目が多いため入学時から計画的、かつ効率的に履修しなければ4年次で受験資格を取得できないこともあるので注意してください。

(1) 業務

「専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行う。」（社会福祉士及び介護福祉士法第2条）

(2) 資格

社会福祉士の資格は、国家試験に合格し、所定の登録をすることによって得られます。国家試験を受験するには、国家試験受験資格を取得する必要があるため、社会福祉学科では法令で定められた社会福祉士指定科目（p.177 参照）を修得し、卒業時に受験資格を得ることができます。

(3) 国家試験

社会福祉士国家試験は、毎年2月上旬に実施され、3月に合格発表があります。在学中の受験は4年次の2月に社会福祉士国家試験受験資格取得見込みで受験することができます。国家試験の科目は p.177 の科目一覧にある通りです。

◆ソーシャルワーク実習参加条件等◆

(1) 実習関連科目の概要

社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する者は、指定科目の修得とともに、取得要件の一つである、実習に関する科目（以下、実習関連科目）を全て履修しなければなりません。

実習関連科目は、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」です。本学では、これらの科目は「ソーシャルワーク実習スケジュール」（p.178 参照）に則り開講されます。

社会福祉士資格・履修ガイダンスは適宜開催します。日頃から ToyoNet-Ace の掲示板等を見て開催時期を確認し、必ず受講してください。

「ソーシャルワーク実習Ⅰ」では、社会福祉施設・機関において60時間以上（8日程度）、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」では、社会福祉施設・機関において180時間以上（24日程度）の現場実習を行います。実習は単なる施設見学ではなく、学内で身に付けた知識・価値・技術を現場で実践するものであることから、実習関連科目には次項の履修要件が設定されています。

(2) 実習関連科目の履修条件

① ソーシャルワーク実習指導Ⅰの履修条件

社会福祉士の資格取得を希望する者は、1年次10月に「社会福祉士受験資格取得希望登録票」と課題レポートを社会福祉フィールド活動支援室に提出し、登録する必要があります。この登録によりソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱのクラス分けを行います。登録を行わないとソーシャルワーク実習Ⅰを履修できません。また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ履修前年度末の段階で次の科目が原則として履修済みでなければなりません。

- ・ 社会福祉の原理と政策 A
- ・ 社会福祉の原理と政策 B
- ・ ソーシャルワークの基盤と専門職 A
- ・ ソーシャルワークの理論と方法 A

② ソーシャルワーク実習Ⅰの履修条件

ソーシャルワーク実習Ⅰを履修するには、ソーシャルワーク実習指導Ⅰを履修済みまたは履修中でなければなりません。

③ ソーシャルワーク実習指導Ⅱの履修条件

ソーシャルワーク実習指導Ⅱの履修前年度末の段階で、次の科目が原則として履修済みでなければなりません。

- ・ ソーシャルワーク実習Ⅰ
- ・ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ
- ・ ソーシャルワーク演習Ⅰ
- ・ ソーシャルワーク演習Ⅱ
- ・ ソーシャルワークの理論と方法 B
- ・ ソーシャルワークの基盤と専門職 B

④ ソーシャルワーク実習Ⅱの履修条件

ソーシャルワーク実習Ⅱを履修するには、ソーシャルワーク実習指導Ⅱを履修済みまたは履修中でなければなりません。

⑤ ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの履修年次の特例

実習関連科目の履修については、ソーシャルワーク実習Ⅰは2年次、ソーシャルワーク実習Ⅱは3年次に履修することを原則としています。なお、留学などの合理的事由として学科が認めた場合はその限りではありません。

■ 注意事項

- ・ 社会福祉士指定科目や実習関連科目の履修等の相談は、社会福祉フィールド活動支援室にて受け付けます。
- ・ 資格取得や実習等については、説明会やガイダンスを適宜開催するとともに、ToyoNet-Aceの掲示板等で掲示を行うので、掲示には常に注意をして下さい。

◆資格取得に必要な科目◆

社会福祉士指定科目

国家試験科目	本学開講科目	単位	学年
医学概論	医学概論	2	2～
心理学と心理的支援	心理学A	2	1～
社会学と社会システム	社会学概論A	2	1
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策A	2	1
	社会福祉の原理と政策B	2	1
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	1
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職A	2	1
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職B	2	1～
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法A	2	1
	ソーシャルワークの理論と方法B	2	1～
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法C	2	1～
	ソーシャルワークの理論と方法D	2	1～
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制A	2	2～
	地域福祉と包括的支援体制B	2	2～
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	2～
社会保障	社会保障論A	2	2～
	社会保障論B	2	2～
高齢者福祉	高齢者福祉	2	1～
障害者福祉	障害者福祉	2	1～
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	2	1～
貧困に対する支援	貧困に対する支援	2	2～
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	2～
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	2
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	2～
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	2
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	3
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	3
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2	4
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2	2
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	3
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	2	3
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	2
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	3

(注) 国家試験科目は、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習指導、ソーシャルワーク実習以外の科目です。

社会福祉士の受験資格取得のためには、多くの科目を履修します。また、2年次には60時間(8日間)、3年次には180時間(24日間)の社会福祉施設・機関での実習が課せられます。その上で、4年次の2月上旬に実施される国家試験に合格して登録をすることで初めて社会福祉士の資格を取得することができます。社会福祉士国家試験の合格率は全国平均で3割程度のため、在学中にかなり幅広い領域の勉強をすることが求められます。簡単に取得できる資格ではないため、将来の進路などを考えながら取得を希望するかどうか検討してください。

◆科目スケジュール◆

◆ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの実習配属について◆

ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの実習施設・機関の配属先は、実習関連科目それぞれの履修状況やそれまでの成績等を勘案して決定します。また必要があれば個別面接を行う場合もあります。実習施設・機関は実習施設希望票をもとに決定します。なお、実習施設の種別には限りがあるため、自分の希望と一致しない施設や機関に配属される場合もあります。

1年	春学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸資格ガイダンス(概要説明)
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 社会福祉士受験資格取得ガイダンス(予定) ・ 社会福祉士受験資格取得希望票及び課題の提出 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>◆課題レポートの提出：レポート課題「社会福祉士の資格取得を目指す理由」◆</p> <p>A4用紙・2,000字以上(文字・行数等の書式は特に問いません)。提出期日及び場所等については、社会福祉士受験資格取得ガイダンス時及びToyoNet-ACEを通じて連絡します。本課題は社会福祉士資格取得希望票付属書類であり、次年度にソーシャルワーク演習Ⅰ及びソーシャルワーク実習指導Ⅰの履修を希望する方は必ず期日までに提出して下さい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ SW実習Ⅰ 実習施設希望票の提出(予定)
2年	春学期 (8～10月を予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回 社会福祉士受験資格取得ガイダンス ・ ソーシャルワーク実習Ⅰ 実習施設配属決定 ・ ソーシャルワーク実習Ⅰ(8日間)
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ SW実習Ⅱ 実習施設希望票の提出(予定) ・ 実習報告会に参加
3年	春学期 (8～10月を予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回 社会福祉士受験資格取得ガイダンス ・ ソーシャルワーク実習Ⅱ 実習施設配属決定 ・ ソーシャルワーク実習Ⅱ(24日間)
	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習の振り返り、実習報告書の作成 ・ 実習報告書の提出 ・ 実習報告会
4年	秋学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉士国家試験受験申し込み(9月下旬～10月上旬) ・ 社会福祉士国家試験 ・ 社会福祉士国家試験合格者発表

※詳細については、ガイダンス等で説明します。



諸資格

認定心理士 ※社会心理学科学生のみ対象

◆◆概要◆◆

認定心理士は、公益社団法人日本心理学会が、心理学のミニマムエッセンスを習得していることを認定するという資格です。心理学関係の大学卒業者が日本心理学会に申請することで審査の後、資格が得られます。日本心理学会の会員である必要はありません。

認定心理士は基礎資格を与えるものなので、これをもってカウンセラーなど心理専門職につくことが保証されるものではありません。（例えば、臨床心理士の資格は、指定された大学院に進学しなければ取得できません。）

なお、実験演習など社会心理学科の学生のみが履修可能な科目が必修に指定されているので、社会学部の他の学科の学生が取得することはできません。

認定に必要な科目の条件は、以下の通りです。

- (1) 基礎科目：(a) 心理学概論、(b) 心理学研究法、(c) 心理学実験実習の3領域に属する科目について、各4単位、合計12単位以上修得すること。
- (2) 選択科目：(d) 知覚心理学・学習心理学、(e) 生理心理学・比較心理学、(f) 教育心理学・発達心理学、(g) 臨床心理学・人格心理学、(h) 社会心理学・産業心理学の5領域のうち、3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上、合計16単位以上修得すること。
- (3) その他の科目：卒業論文は4単位までを認定します。(1)と(2)の合計単位数が、36単位以上の場合、必ずしも必要ではありません。
- (4) 上記の各領域の科目を、合計で36単位以上修得すること。

◆資格取得に必要な科目／認定心理士◆

1) 基礎科目（下記3領域で各4単位以上、合計12単位以上修得）

	領 域		本学開講科目	単位数
(a)	心理学概論	基本主題	心理学概論	2
		副次主題	社会心理学概論 A	2
			社会心理学概論 B	2
(b)	心理学研究法	基本主題	心理学研究法	2
			心理学実験法	2
			心理学統計法	2
			心理学統計法応用	2
		副次主題	心理測定法および実習	2
(c)	心理学実験実習	基本主題	心理学実験演習 A	2
			心理学実験演習 B	2

2) 選択科目（下記5領域のうち3領域以上でそれぞれが少なくとも4単位以上、合計16単位以上修得）

	領 域		本学開講科目	単位数
(d)	知覚心理学・ 学習心理学	基本主題	知覚・認知心理学	2
			学習・言語心理学	2
(e)	生理心理学・ 比較心理学	基本主題	神経・生理心理学基礎	2
			神経・生理心理学	2
(f)	教育心理学・ 発達心理学	基本主題	発達心理学	2
			発達社会心理学	2
(g)	臨床心理学・ 人格心理学	基本主題	臨床心理学概論	2
			心理学的支援法	2
			健康心理学	2
			健康社会心理学	2
			司法・犯罪心理学	2
			犯罪・社会心理学	2
			健康・医療心理学	2
			精神疾患とその治療	2
(h)	社会心理学・ 産業心理学	基本主題	対人関係心理学 A	2
			対人関係心理学 B	2
			人間関係論	2
			社会・集団・家族心理学	2
			産業・組織心理学	2
			消費者心理学	2
			社会心理学特別講義	2

3) その他の科目

心理学関連のテーマによる卒業論文（4単位分のみ認定）



諸資格

公認心理師（国家資格） ※社会心理学科学生のみ対象

公認心理師は日本における心理学の国家資格です。2017年に施行された公認心理師法に基づき、2018年より公認心理師試験が実施されています。この試験の受験資格を得るためには、まず大学の学部教育4年の期間で定められた25科目を履修し、単位を取得する必要があります。さらに、原則として、公認心理師養成に対応している大学院に進学して2年間で定められた科目を履修し、単位を取得する必要があります。

東洋大学社会学部社会心理学科では、公認心理師法に基づいて定められた学部教育の25科目をすべてカリキュラムのなかで整えています。表1に、その25科目の開講科目名を示してあります。

表1 開講科目名

科目名	配当学年	単位数
心理学概論	1	2
心理学研究法	1	2
公認心理師の職責	1～	2
人体の構造と機能及び疾病	1～	2
知覚・認知心理学	1～	2
神経・生理心理学	1～	2
発達心理学	1～	2
産業・組織心理学	1～	2
臨床心理学概論	1～	2
教育・学校心理学	1～	2
心理学実験法(注1)	2	2
関係行政論	2～	2
心理学統計法	2～	2
心理学的支援法	2～	2
司法・犯罪心理学	2～	2
社会・集団・家族心理学	2～	2
学習・言語心理学	2～	2
感情・人格心理学	2～	2
健康・医療心理学	2～	2
精神疾患とその治療	2～	2
心理演習(注2)	3	2
心理的アセスメント	3～	2
福祉心理学	3～	2
障害者・障害児心理学	3～	2
心理実習(注2)	4	4

注1：公認心理師法における「心理学実験」に対応。

注2：法令により定員があり、履修希望者が定員を超過した場合には、表1にある開講科目の取得単位状況等を参考に選考を行います。

国際交流・国際教育プログラム

国際交流・国際教育プログラムの内容や募集に関する情報は、
国際教育センター Web サイトで確認してください。
URL:<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/>





Toyo Global Leader (TGL) プログラム

TGL プログラムは、東洋大学生が国内外で活躍できるグローバル人材となるために、「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的としています。これらの目的に沿って、「Gold」「Silver」「Bronze」のランクごとに7つの認定要件を定め、各要件を満たした学生を Toyo Global Leader として認定します。

◆認定要件◆

下記のとおり、ランクごとに認定要件が設定されています。

認定要件	TGL Gold	TGL Silver	TGL Bronze
(1) 英語能力 (TOEIC® L&R)	730 点	590 点	—
(2) 外国語による授業科目の修得	40 単位	20 単位	10 単位
(3) 外国語による論文等執筆	必須	—	—
(4) 海外留学・インターンシップ	必須	どちらかを 必須	—
(5) 海外アクティビティ	必須		—
(6) 東洋グローバルリーダー(TGL)キャンプ	必須(運営)	必須(参加)	必須(参加)
(7) Toyo Global(TG)ポイント	30 ポイント	20 ポイント	10 ポイント

◆認定要件について◆

(1) 英語能力

英語資格試験のスコアにより認定します。TOEIC® L&R (公開テストおよび IP テスト) のほか、TOEFL iBT®, TOEFL ITP®, IELTS™ のスコアを TOEIC® L&R スコアに換算します。なお、スコアは在学中に受験したものに限りします。

(2) 外国語による授業科目の修得

基盤教育の語学科目や開講言語が外国語の授業科目および英語特別教育科目の修得単位数を加算していきます。また、海外留学や海外インターンシップ等により認定された科目の単位数も加算できます。さらに、卒業論文等を外国語で執筆した場合、卒業論文の科目の単位数も加算します。

(3) 外国語による論文等執筆

下記 a.b.c. のいずれかに当てはまる論文等を執筆し、a.b. については、指導教員の確認書と共に提出することで認定されます。

- 言語を問わず執筆した卒業論文等の英文要旨もしくは英語で執筆した卒業論文等
- 授業内で各言語（日本語を除く）により作成し提出された論文等
※外国人留学生については日本語（ネイティブ言語以外）での執筆も認める。
- 国際教育センターで設定したテーマに基づいた英語の課題論文

(4) 海外留学・インターンシップ

海外での活動が連続で3週間（現地入国から出国までが21日間）以上^(*)の留学やインターンシップを対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。

※海外での活動が4週間（28日間）以上であれば〔(5) 海外アクティビティ〕の要件と合わせて達成となります。

- (5) 海外アクティビティ
 (4)に該当しない、海外での活動が連続で1週間(現地入国から出国までが7日間)以上の留学、研修、インターンシップ、ボランティア等の活動を対象とします。大学で開催しているプログラムのほか、学外機関が主催するプログラムも活動内容等により対象となります。なお、単位認定の有無は問いません。
- (6) 東洋グローバルリーダー (TGL) キャンプ
 本学で実施する「東洋グローバルリーダー (TGL) キャンプ」への参加 (または運営チームとしての参加) により認められます。
- (7) Toyo Global(TG) ポイント
 国内外の国際交流活動 (海外留学、インターンシップ、ボランティア、国際シンポジウム等) および課外語学講座等への参加がポイントの対象となります。ポイントは各活動期間に応じて付与します。

◆ TGL プログラムの仕組み ◆

一度の取り組みで複数の認定要件に当てはまる場合があります。

<例>

東洋グローバルリーダー (TGL) キャンプに参加した。

認定要件	結果
(6) 東洋グローバルリーダー (TGL) キャンプ	⇒ 認定 (参加)
(7) Toyo Global (TG) ポイント	⇒ 1 ポイント付与 (半日のプログラム) ⇒ 2 ポイント付与 (1日のプログラム)

<例>

交換留学で1年間海外渡航 (TOEFL ITP® 550点を保有)。

留学先で英語による専門科目5科目を修得、東洋大学で5科目×2単位=10単位が認定された。

また、留学中1週間のボランティア活動に従事し、「短期海外実習I」(1単位)が認定された。

認定要件	結果
(1) 英語能力	⇒ 認定 (TOEIC® L&R 730点に換算)
(2) 外国語による授業科目の修得	⇒ 11 単位加算
(4) 海外留学・インターンシップ	⇒ 要件クリア
(5) 海外アクティビティ	⇒ 要件クリア
(7) Toyo Global (TG) ポイント	⇒ 35 ポイント付与

プログラムの詳細は ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS (国際交流情報)」
 コース内、「東洋グローバルリーダー (TGL) プログラム」を確認してください。
https://www.ace.toyo.ac.jp/ct/course_1324577



・ TGL プログラム問い合わせ先
 国際部 [国際教育センター] (白山キャンパス 8号館 1階)
 Tel : 03-3945-8536
 Email : ml-tgl@toyo.jp



◆海外留学・研修プログラムの概要◆

本学では、休学することなく参加できる海外留学・研修プログラムを豊富に用意しています。

プログラム名	① 交換留学	② 認定留学	③ 協定校 語学留学	④ 語学セミナー	⑤ 海外インターンシップ・ ボランティア	⑥ 国連ユース ボランティア・ ワシントンセンター	⑦ Diversity Voyage
留学形態	学部留学*1		語学留学*2		—	—	—
期間	1学期または1年*3		3～6ヶ月	3～4週間	2～6週間	3～5ヶ月	約10日間
出発時期	第Ⅰ期：2～3月 第Ⅱ期：8～9月	留学先大学により 異なる	春学期：2～5月 秋学期：8～10月	夏季および 春季休暇中		8～9月	夏季および 春季休暇中
語学条件	あり		なし		あり		なし
単位	単位認定申請可*4				履修登録対象*5	単位認定申請可*4	履修登録対象*5
東洋大学留学 奨学金(給付型)	あり			なし			
東洋大学海外留学 促進奨学金(給付型)	トップ大学型 グローバルリーダー型	アクティブ型	チャレンジ型	アクティブ型	なし		

プログラムの内容等は変更になる場合があります。

*1 学部留学…現地で正規課程の科目を履修及び修得することを目的とする留学

*2 語学留学…海外の大学附属の語学学校で語学を集中的に学ぶ留学

*3 1年………留学先機関によって学期制度や学期の日程が異なるため、トータルで1年間の留学期間を指す言葉として使用しています。

*4 単位認定申請可…留学先大学等で修得した単位に関し、本学開講科目の単位として認定を申請できます。

*5 履修登録対象……該当する本学の開講科目を履修登録できます。

◆各種海外留学・研修プログラムの詳細◆

① 交換留学

本学が学生交換協定を締結している協定校あるいは海外学生交換コンソーシアム (ISEP・UMAP 等) に加盟する大学へ、1学期間または1年間留学するプログラムです。留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先大学の授業料は免除となり、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

② 認定留学

本学協定校の他、学位授与権のある大学へ1学期間または1年間留学するプログラムで、留学先の大学では正規課程の科目を履修及び修得することを目的とします。国や地域は問いません。東洋大学を休学することなく留学できます。原則、留学先の授業料は自己負担となりますが、留学期間に応じて奨学金が給付されます。

大学への出願・入学手続きは原則各自で行うため、留学に先立って自ら十分な情報を収集し、綿密な計画を立てることが重要です。

③ 協定校語学留学

本学の海外協定校附属の語学学校へ、3ヶ月から6ヶ月の間留学するプログラムです。語学力の向上を目的とし、語学を学びながら様々なアクティビティやホームステイ等を通じた異文化体験をします。原則、留学先の授業料は自己負担となりますが、条件を満たした場合、奨学金が給付されます。また、東洋大学を休学することなく留学できます。

④ 語学セミナー

夏季および春季休暇を利用した短期語学研修プログラムです。語学研修、アクティビティ、ホームステイ等を通じた語学力の向上と異文化理解を目的としています。

⑤ 海外インターンシップ・ボランティア

グローバル社会で活躍するために必要となる英語力・異文化理解力・社会人マナーなどの社会人基礎力を育成し、世界に羽ばたく学生を育てることを目的としたプログラムです。夏季および春季休暇を利用し、2～6週間研修を行います。語学力の向上に加え、各国の経済状況や文化風習の違いを“働く”という社会生活を通じて体験し、今後の学生生活とキャリア形成に生かすことができます。

⑥ 国連ユースボランティア (UNYV)・ワシントンセンター (TWC)

・国連ユースボランティア (UNYV)

国連ボランティア計画 (UNV) のコーディネートの下、開発途上国の国連事務所や政府機関でユースボランティアとして、約5ヶ月間働く長期インターンシップです。現地国連スタッフと共に広報活動やフィールドワーク等の業務に携わりながら、高度なキャリア意識やリーダーシップを養うプログラムです。

本プログラムは2021年度派遣にて終了予定です。

・ワシントンセンター (TWC)

アメリカの首都であるワシントン DC 周辺の公的機関、NPO、企業などで15週間の就労体験と夜間に行われる授業を通じ国際的感覚を身につけ、将来のグローバルリーダーを育てるプログラムです。

⑦ Diversity Voyage

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) が行う、夏季および春季休暇を利用した短期間の海外研修です。海外で現地学生等と英語でコミュニケーションを取りながら共創・協働することで、語学力のみならず「多様性適応力」を育みます。

○各プログラムの詳細は大学 HP を確認してください。

国際交流「海外留学を希望する方へ」

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/>



海外留学・研修プログラム向け 給付型奨学金

東洋大学では、多くの学生が海外留学・研修プログラムに参加できるよう、充実した奨学金を用意しています (プログラムや語学スコアに応じ7～300万円を給付)。

－東洋大学留学奨学金

－東洋大学海外留学促進奨学金

その他、民間団体などによる奨学金もあります。

各奨学金の要件や金額は変更になる可能性があります。

詳細や最新情報は国際教育センターホームページで確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/scholarship/>



◆単位認定・履修登録について◆

<①交換留学・②認定留学・③協定校語学留学>

単位の認定

- 1) 学科教育課程表に照らし合わせ、認定対象科目の内容により専門科目および基盤教育の領域から「留学認定単位」として一括認定する。
- 2) 単位数は留学先で修得した科目の授業時間を東洋大学における時間数に以下のとおり換算する。
講義・演習科目の1単位(90分×15回=1,350分:2単位、1単位675分)
※ただし外国語科目、実験・実技・実習科目は、1単位(90分×15回=1,350分:1単位、1単位1,350分)として換算する。
- 3) 認定上限単位数
留学期間が、東洋大学における1学期間の場合は上限を15単位、2学期間の場合は上限を30単位とする。
- 4) 各課程の認定領域について

課 程	認定科目	
	専門科目	基盤教育
社会学部第1部	学部共通科目(選択必修②)	国際人の形成
社会学部第2部	専門科目(選択)	国際人の形成

認定手続き

単位認定方法について教務課で説明を受けます。
(留学決定後、単位認定方法や必要書類等についての説明を行います。)

留学終了後、国際教育センターにて留学先大学の「成績証明書」を受領します。
※留学先大学により、「成績証明書」の発行時期は異なります。

国際教育センターより配付される「単位認定願」に留学先で履修した科目・成績を記入して、「成績証明書」、テキスト、シラバス等を教務課に提出し、単位認定を申請します。
申請は留学終了後、1ヶ月以内に行ってください。

学部教授会で単位認定の可否について審議されます。留学先大学の成績証明書等をもとに評価が決められ、単位認定科目・単位数が決定します。

成績発表時に単位認定の結果(認定:T)が本学の成績表に印字されます。

【教務課での事前相談について】

交換留学、認定留学および協定校語学留学に出願する学生は、留学終了(帰国)後に最短で卒業および諸資格取得を可能にするため、不明な点がある場合は必ず留学出願前に教務課窓口で相談してください。また、帰国後の履修手続きについて注意すべき点(継続履修および学年進行に関わる科目、帰国後の授業科目の履修・成績<卒業要件、資格取得要件等>)がありますので、留学決定後にも必ずすみやかに教務課窓口で相談してください。

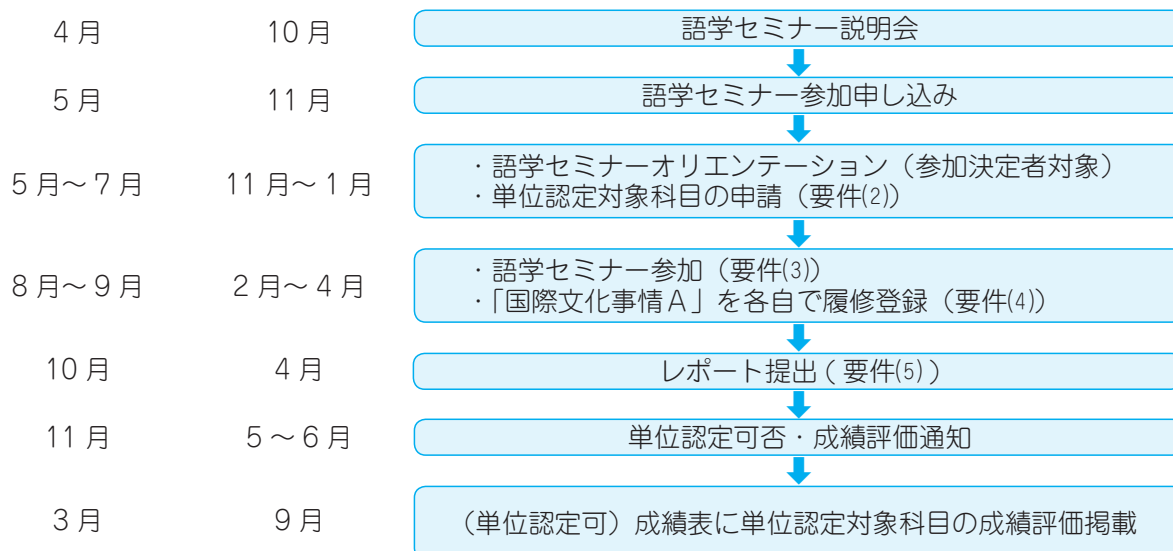
<④ 語学セミナー>

単位の認定

1. 単位認定対象科目
国際文化事情A（第1部学部共通科目、第2部専門科目）2単位
2. 上記科目の単位認定要件
以下の要件を満たさないと単位が認定されません。
 - (1) 単位を認定する科目が単位未修得であること。
 - (2) 国際教育センターにて配付する「語学セミナー単位認定希望調査票」に単位認定を希望する旨を記入し、所定の期日までに教務課窓口へ提出すること。
 - (3) 語学セミナーに参加し、所定の評価を得ること。
 - (4) 単位認定対象科目「国際文化事情A」を各自で履修登録すること。
 - (5) レポート（「語学セミナー単位認定希望有無調査票」に課題が添付）を所定の期日までに教務課窓口へ提出すること。

認定手続き

【夏季セミナー】 【春季セミナー】



<⑤ 海外インターンシップ・ボランティア>

本プログラムは、基盤教育科目「海外研修」「短期海外研修」「海外実習」「短期海外実習」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

<⑥ 国連ユースボランティア・ワシントンセンター>

詳細は、所属学部教務課窓口へお問い合わせください。

<⑦ Diversity Voyage >

本プログラムは、基盤教育科目「短期海外研修」の履修登録対象プログラムです。履修には事前の申請が必要ですので、申込後の案内にしたがって手続きを行ってください。

- ・海外留学・研修プログラムについての問い合わせ先
国際部〔国際教育センター〕（8号館1階）
Email: mlryugaku@toyo.jp TEL: 03-3945-8172
- ・学籍・履修・単位についての問い合わせ先
教務課窓口（6号館1階）

本学を休学して外国の大学等へ留学した場合の単位認定について

本学を休学して外国の大学等に留学した場合、留学先で修得した単位を本学の単位として認定することができます。単位認定を希望する場合は、事前に所定の手続きを行う必要があります。

◆◆ 単位認定の対象となる機関 ◆◆

学位授与権を持つ大学（学部学生のみ2年制大学及び附属語学学校を含む。）および附属学校。

◆◆ 留学期間 ◆◆

休学期間を超えない範囲とする。

※原則として連続する2セメスタ（1年間）を超えて休学することはできません。

◆◆ 必要な手続 ◆◆

休学手続きを行う前に、国際教育センターへ留学機関等に関する届出を行う必要があります。手続きの詳細については、本学ホームページを参照してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/kyugaku-ryugaku/>





国際教育プログラム

英語特別教育科目 LEAP プログラム

リープ
LEAP (Learning English for Academic Purposes) プログラムは将来海外留学を目指す学生や、英語力を高めたいと希望する学生を対象とした学術英語プログラムです。留学に必要な IELTS™ のスコアアップに加えて、大学レベルの授業を英語で受けるのに対応できるだけの学習スキルの習得も目指します。LEAP の授業は英語で行われるため、内容を理解し、課題などをこなしていくためには基礎的な英語力が必要となります。修得した単位は卒業単位として認められます (グローバル・イノベーション学科除く)。

LEAP は、英語力に応じて IELTS I、IELTS II、PSA の3段階に分かれています。

IELTS I (中級) : IELTS™ を受験したことがない学生 (TOEFL ITP® 400-470 点程度未満) に推奨

IELTS II (上級) : IELTS™ 4.5 点程度の学生が対象 (白山キャンパスでのみ開講)

PSA (留学準備コース) : IELTS™ 5.0 点程度以上の学生が対象 (白山キャンパスでのみ開講)

※上記の基準スコアは受講者数やスコア分布により変動する場合があります。

※川越・板倉・赤羽台キャンパスにおいては、IELTS I が週2コマ用意されており、受講希望者がクラス上限人数 30 名を上回らない限りは、上記のようなスコア制限はありません。但し、推奨スコアを取得している場合は、IELTS II または PSA 科目の履修が可能です。IELTS II、PSA 科目は白山キャンパスで開講されます。開講時間は白山の時間割ですので、注意してください。

IELTS I と IELTS II には次の2つの科目が用意されています。1科目のみ、または両方履修することができます。

LS 科目 (週2回・2単位) … **Listening と Speaking** に特化した科目

RW 科目 (週2回・2単位) … **Reading と Writing** に特化した科目

PSA は次の2科目から成ります。

Pre-Study Abroad : Listening/Speaking (**PSA L/S**) … 留学してからの受講スキルを学習。(週2回・2単位)

Pre-Study Abroad : Writing (**PSA W**) … 英語で論文を書くための基礎を学習。(週1回・1単位)

<申込・お問合せ>

プログラムの詳細は Toyonet-ACE 「LEAP」 コースをご確認下さい。

(春学期履修の案内は前年 11 月頃、秋学期履修の案内は 5 ~ 6 月頃配信予定)

- ・ LEAP プログラムについての問い合わせ先
LEAP オフィス (白山キャンパス 8 号館 2 階)
Tel : 03-3945-7341
Email : mlleapoffice@toyo.jp



他にも国際部 [国際教育センター] では、外国語資格試験の団体受験や受験料補助、全キャンパスにて英会話講座、語学試験対策講座及びランゲージセンターによる英語ライティング指導を実施しています。各プログラムの詳細は Toyonet-ACE 「TOYO GLOBAL DIAMONDS (国際交流情報)」 コースをご確認下さい。

- ・ 外国語資格試験、ランゲージセンター、課外英語講座についての問い合わせ先
国際部 [国際教育センター] (白山キャンパス 8 号館 1 階)
Tel : 03-3945-8172
Email : ml_lc_global@toyo.jp





TOEIC® による単位認定制度

TOEIC® L & R、学内で受験したTOEIC® L & R IP（学部主催のもの、または学生生協で申し込みをしたもの）において、以下に定めるスコアを取得し、それを証明する書類の提出など所定の手続きをとれば、「英語」科目に対し、相応の単位と評価が認定されます。（オンラインテストは除きます。）

対象学生

2020年度以降入学の社会学部第1部・第2部学生（1年2セメスタ以上）

認定対象科目・認定基準（各1単位）

1回の申請につき、最大2科目まで申請可能です。
※申請科目は、当該学期の履修登録科目とします。

●対象科目

【第1部・第2部共通】 カレント・イングリッシュ I A、カレント・イングリッシュ I B
カレント・イングリッシュ II A、カレント・イングリッシュ II B

【第1部のみ】 英語 I A、英語 I B、英語 II A、英語 II B、英語 III A、英語 III B

●認定基準

【650点以上】 カレント・イングリッシュ I A、カレント・イングリッシュ I B
英語 I A、英語 I B、英語 II A、英語 II B

【700点以上】 カレント・イングリッシュ II A、カレント・イングリッシュ II B
英語 III A、英語 III B

●成績評価 S

スコア取得時期

入学後、申請する科目の授業開始日1年前までのスコアを有効とします。

追加申請

2度目以降の申請は、前回単位認定申請時に使用したスコアの受験日以降のスコアを対象とします。
※ただしスコアは1度しか申請に使用できません。

申請手続の流れ

- (1) 該当するスコアの取得者は、春学期および秋学期における各正規履修登録期間中に、申請科目を履修登録のうえ、必要提出書類を社会学部教務課に提出し、手続きしてください。必要書類および申請期間は以下となります。

【申請期間】

春学期及び秋学期における正規履修登録期間中

【申請時に提出する書類】

- 社会学部 TOEIC 単位認定申請書
 - TOEIC のスコアを証明する公式の書類
OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（認定証）またはスコアレポート（現物とコピーを窓口に持参し、コピーを提出）
- (2) 社会学部教授会で審議後、単位認定結果を通知します。
※結果が出るまでは授業に出席してください。結果通知後も授業に出席可能です。
- (3) 成績発表時に認定された科目に正しく評価が反映されているか確認してください。

各種手続





各種手続

各種の相談や事務取扱窓口

大学では、皆さんがいつでも学修や大学生活について相談できる体制を整えています。
 授業に関することや学生生活に関すること、その他悩みごとの相談、休学などの学籍異動に関する
 手続等については、以下の窓口にて相談してください。
 窓口時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。
 長期休暇期間、大学祭などの窓口時間は、掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

◆各種相談窓口◆

相談内容	担当	場所	窓口時間	参照ページ
授業に関する相談	教員	研究室等	オフィスアワー	p.24 「教員との連絡」
履修登録 成績 休学/復学/退学/転部転科/再入学 各種証明書	社会学部教務課	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～20:00 土 9:30～12:45	p.19～p.20 p.29～p.30 p.200～p.207 p.208～p.209
社会調査関連および卒論に関する相談	社会調査室	4号館1階、2階	月～金 9:30～12:45 14:00～20:00 土 9:30～12:45 ※土曜日は原則隔週開室 ※窓口時間の詳細はWebサイトで確認してください。	
社会福祉士資格に関する相談	社会福祉フィールド活動支援室	4号館4階	月～金 10:00～18:30	p.175～p.178
奨学金に関すること サークル等課外活動に関すること	学生支援課	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～20:00 土 9:30～12:45	
学生生活における悩みごとの相談	学生サポート室	6号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～19:45 土 9:30～12:45	
学習方法などに関する相談・支援	ラーニングサポートセンター	3号館1階 ナレッジスクエア	詳細はWebサイト、掲示板で確認してください。	p.28
教員採用に関する支援	教職支援室	3号館1階 ナレッジスクエア		p.166
教職課程全般に関わる支援	教職支援課	5号館1階	月～金 9:30～13:00 14:00～18:45 土 9:30～12:45	
病気・ケガなどの身体に関わること 健康診断等	保健管理室	6号館1階	月～金 9:30～19:45 土 9:30～12:45 ※医師診療時間については、「学生生活ハンドブック」で確認してください。	
就職に関する相談	就職・キャリア支援課	6号館1階	月 9:30～17:45 火～金 9:30～19:45	
障がい者支援に関すること	ピアサポートルーム	6号館1階	月～金 10:00～13:00 14:00～18:30 土 9:30～12:45	
海外留学に関する相談	国際教育センター	8号館1階	月～金 9:30～18:00 土 9:30～13:00	
図書館資料に関すること	附属図書館	2号館1階	Webサイトにて確認してください。	
納付金に関すること	財務課	9号館1階	Webサイトにて確認してください。 問い合わせはメールにてお願いします。 E-mail: mlgakuhi@toyo.jp	p.210～p.212

各種手続

学籍情報

◆学籍番号◆

皆さんには「学籍番号」という10桁の固有番号が付いています。卒業まで原則変わりません。番号には以下のとおり、所属の学部・学科、入学年度などの意味があります。履修登録や試験の解答用紙の提出、各種届け出、証明書の申請にあたっては、学生本人を特定する番号となりますので正確に記入してください。

【学籍番号の例】

1	5	1	0	2	1	0	9	9	9
学部・学科コード				入学年度 (西暦下2桁)		学生 区分	番号(001~)		

【学部・学科コード】

1510	社会学部第1部社会学科
1530	社会学部第1部社会福祉学科
1540	社会学部第1部メディアコミュニケーション学科
1550	社会学部第1部社会心理学科
1560	社会学部第1部国際社会学科
2510	社会学部第2部社会学科

【学生区分】

0	通学課程
9	科目等履修生

◆学生証◆

◎学生証裏面シール
通学定期乗車券
発行用証明書のこ
と。学年・現住所等
を記入し貼付して
ください。

学生証は本学学生としての身分を証明するものですので、常に携帯してください。また、裏面シール（現住所、学年が記載されたもの）の貼付が無いものは無効となります。学生証は他人に貸与、または譲渡することはできません。

Point

～学生証の携帯義務～

学生証は本学学生としての身分を証明するものであるため、常に携帯し、次の場合これを提示しなければなりません。

- 1) 本学の教職員の請求がある場合
- 2) 試験を受験する場合
- 3) 各種証明書や学生旅客運賃割引証明書（学割）等の交付を受ける場合
- 4) 通学定期乗車券や学生割引乗車券を購入する際と、それを利用して乗車船した際に係員の請求があった場合、等

学生証がないと各種証明書の発行が受けられません。また、図書館の利用、試験の受験、通学定期券の購入等ができませんので、紛失・汚損・破損のないよう十分注意してください。

<有効期限と更新手続>

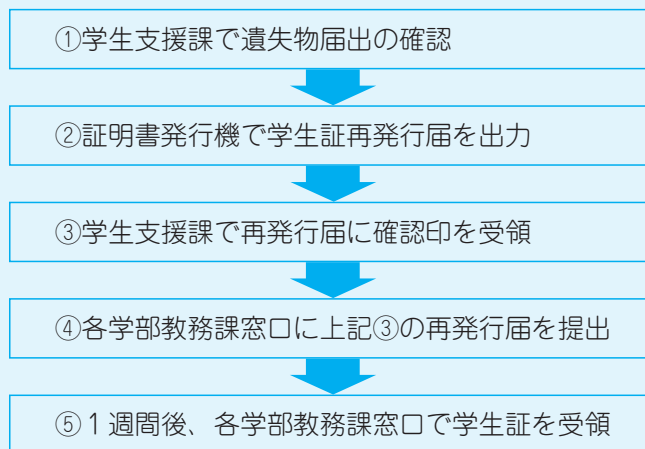
学生証の有効期限は4月1日から次年度の4月15日までの約1年間です。入学時に交付を受けた学生証は卒業するまで使用します。毎年4月初旬の進級手続期間内に、学生証の裏面シールを貼りかえ、学生証の有効期限の更新を受けなければなりません。

※進級手続の日時等は、ToyoNet-Gでお知らせします。

<再発行>

学生証を紛失もしくは破損・著しく汚損した場合は、直ちに本学へ届け出し、以下の手続きに従って学生証の再発行をしなければなりません。

●再発行手続きの流れ●



- ・ 学生証の再発行には1週間かかります。
- ・ 再発行手数料として2,000円がかかります。
- ・ 申込キャンセルによる手数料の返金はできません。
- ・ 郵送による再発行手続も可能です。詳細は大学Webサイトを確認してください

<返還>

卒業または退学・除籍等の理由で、本学に籍が無くなった場合は、学生証を本学に返還しなければなりません。

<証明書発行機で使用する暗証番号>

入学手続時に届け出た4桁の暗証番号は、証明書発行機で証明書を発行する際に必要です。メモなどを取り、必ず覚えておいてください。

◆◆学籍情報の変更◆◆

本学の入学手続時に届出した情報に変更が発生した場合は、教務課窓口で所定の用紙に変更箇所を記入し、すみやかに届け出てください。なお、変更内容によっては、「ToyoNet-G」の「学生メニュー」>「個人情報管理」>「学生情報申請」を利用して変更が可能です。

変更内容	変更方法		注意事項 (提出書類など)
	教務課窓口	ToyoNet-G	
本名氏名変更 (改姓・改名)	○	×	戸籍抄本または住民票を提出してください。
本人住所、連絡先変更	○	日本国籍学生…○ 外国籍学生…住所変更は×	外国籍学生は在留カードの両面コピーを提出してください。
最寄駅変更	○	○	
保証人変更	○	×	変更届・誓約書(新しい保証人の署名が必要です)
保証人住所、連絡先、勤務先変更	○	○	
緊急時連絡人変更	○	×	
緊急時連絡人住所、連絡先変更	○	○	
本籍地変更	○	×	住民票(ただし本籍の記載があるもの)、または戸籍抄本の提出が必要です。
在留資格・在留期間等変更(外国籍学生対象)	×	×	TUGS社(8号館2階)にて所定の手続を行ってください。

◆◆修業年限・在学年限・休学期間◆◆

<修業年限>

卒業するために最低限在学しなければならない期間は4年間です。

<在学年限>

大学に在学できる期間は8年間です。8年を超えての在学はできません。ただし、休学期間は在学年限に含まれません。

<休学期間>

休学期間は通算して8学期(4年間)を超えることができません。

通常の在学年限	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目			
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ	第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ		
1年間休学した場合	1年目		2年目		1年休学		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目	
	第1セメスタ	第2セメスタ	第3セメスタ	第4セメスタ			第5セメスタ	第6セメスタ	第7セメスタ	第8セメスタ	第9セメスタ	第10セメスタ	第11セメスタ	第12セメスタ	第13セメスタ	第14セメスタ	第15セメスタ	第16セメスタ

各種手続 休学および復学

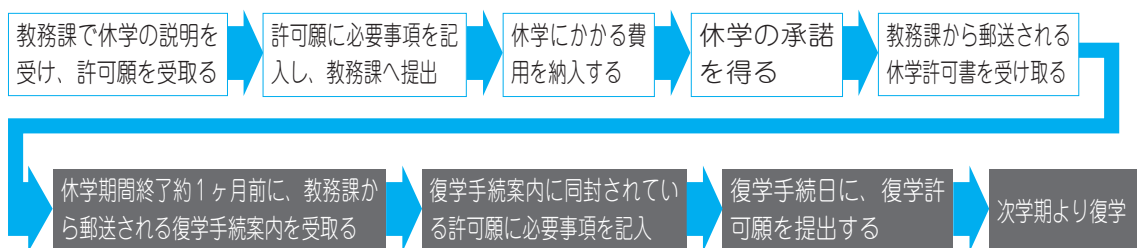
◆◆休学について◆◆

病気・家庭の事情・留学等の理由で3ヶ月以上本学に修学できない場合は、大学の許可を得て休学することができます。

休学を希望する者は、教務課で休学についての説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、教務課に提出してください。なお、病気療養・怪我療養の場合には、医師の診断書も併せて提出が必要となります。

なお、休学中に留学する場合の単位認定に係る手続きについては、p.190を確認してください。

◆◆休学および復学手続の流れ◆◆



手続きについては、学生本人が行ってください。やむを得ず本人が手続きできない場合は、事前に教務課へ相談してください。

Notice

- ・許可願は原則教務課窓口で説明を受けた後、教務課にて受け取ってください。演習を履修している学生は、担当教員と面談を行い、許可願の大学所見欄に所見を記入してもらってください。

◆◆休学の期間と許可願の提出期限◆◆

休学希望者は、定められた期限までに許可願を教務課に提出しなければなりません。

学期	休学期間	提出期限
春学期	4月1日～9月30日	5月31日 ^(※)
秋学期	10月1日～3月31日	11月10日 ^(※)

※大学の営業日にあわせて前後することがあります。



原則として連続する2学期を超えて休学することはできません。ただし特別な事情がある場合は大学の許可を得て休学することができます。休学の期間は通算して、8学期を超えることはできません。



次学期の休学希望者は試験・補講調整期間終了を目安に教務課窓口にご相談ください。2学期連続休学を希望する場合は、各学期ごとに手続が必要です。

◆◆各学期の休学にかかる費用◆◆

④ 学籍異動に必要な納付金
p.210～p.212

許可願提出後、各学期の納付金納入期限末日までに以下の納付金を納入することで、休学許可願申請が完了します。

学費	+	その他の費用	
各学期の一般施設設備資金 の1/2		雨水会費	学生課外活動 育成会費

秋学期休学の場合、「その他の費用」については春学期に徴収済のため、納付の必要はありません。

※納付金の詳細一覧が p.210 にありますので、確認してください。



学期によって異なる部分があります。休学にかかる費用については教務課に必ず相談してください。

Notice

～学期途中の休学について～

春学期途中に休学する場合、春学期最終日の3ヶ月前の6月末日まで、秋学期途中に休学する場合、秋学期最終日3ヶ月前の12月末日まで受付をします。ただし、学期途中での休学の場合、納付金の返還はできませんので注意してください。

◆◆許可願の受け取りについて◆◆

許可願は、原則として教務課窓口で説明を受けた後、受け取ってください。直接教務課に行くことが困難な場合は、ToyoNet-G からダウンロードすることもできます。

◆◆学費の取り扱い◆◆

①春学期途中で退学する場合

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻します。払い戻しは、原則許可書を送付した翌月に銀行振込で行います。


②秋学期途中で退学する場合

- ・秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しません。

新学期の納付金納入期限末日までに退学許可願の提出手続が完了した場合、退学日を前学期の末日付として扱うため、当該学年・学期の納付金を納入する必要はありません。

◆◆許可書の発送◆◆

大学から許可されると、第1部学生は保証人宛に、第2部学生および外国人留学生は本人宛に退学許可書が郵送されます。



各種手続 除籍

除籍とは、本学の学則およびその施行のために定められた規則に基づく権利の一切を失うことです。

次に該当する場合は、除籍の対象となります。

- ①指定された期間内に納付金を納入しなかった学生
- ②在学年限を超えた学生
- ③休学期間を超えた学生
- ④新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生
- ⑤その他本学において修学の意思がないと認められる学生
- ⑥外国人留学生で「留学」の在留資格の発給を拒否された学生

◆◆ 除籍日 ◆◆

在校生の除籍日は原則として9月30日又は3月31日となり、新入生で指定された期間内に履修登録をしなかった学生の除籍日は4月30日となります。

◆◆ 除籍となった場合 ◆◆

除籍となった場合、速やかに学生証を返却しなければなりません。除籍通知書は保証人宛に、外国人留学生は本人宛に郵送します。



各種手続 再入学

本学を退学した者、または除籍となった者が、再入学を希望する場合、大学の許可を得て再入学することができます。

再入学を希望する者は、下記の日程までに教務課窓口で再入学の説明を受け、許可願用紙に必要事項を記入し、学生本人・保証人自筆の連署の上、教務課窓口へ提出してください。

許可願提出後、大学の許可を得て、再入学することができます。

	国籍	許可願提出期限	再入学日
春学期(4月)から再入学を希望する者	日本国籍	前年度 1 月末まで	翌年度 4 月 1 日付
	外国籍	前年度 10 月末まで	
秋学期(10月)から再入学を希望する者	日本国籍	当該年度 7 月末まで	当該年度 10 月 1 日付
	外国籍	当該年度 4 月末まで	

※再入学手続（在留資格等）についての詳細は教務課窓口にお問い合わせください。

※東洋大学に再入学するにあたっての再入学手続（在留資格等）については本学 WEB サイトで説明していますので、必ず事前に確認してください。その内容（許可願提出期限ほか）は変更する場合がありますので、必要に応じて本学 WEB サイトで必ず確認してください。



●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/academics/student-support/request/certificate03/> ●●



下記の条件により退学・除籍した者は再入学を希望することはできません。

退学者：在学年限が満期となる学期に退学した者

懲戒により退学となった者

除籍者：在学年限を超えて除籍となった者

休学期間を超えて除籍となった者

Notice

再入学する学年およびセメスタは、本学での最終学籍状況によって異なります。単位の修得状況によっては学年・セメスタを繰り下げることがあります。また、学科教育課程表は入学年度のものを適用しますが、学科教育課程表が大きく変わっている場合には、再入学する学年の学科教育課程表を適用することがあります。履修方法は、再入学手続き時に教務課窓口で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へお問い合わせください。



各種手続 その他の学籍異動

◆◆ 転部・転科 ◆◆

本学内で他の学部・学科への転部・転科を希望する学生（1、2年生対象）に対し選考を実施します。

転部・転科先の学年は2年次または3年次となります。

11月配付予定の試験要項に基づいて手続をし、1月実施予定の試験を受験してください。また、合格発表は翌年3月下旬に行う予定です。試験要項と手続案内については学内に掲示されるので、確認してください。詳細は、教務課窓口へお問い合わせください。

※スケジュール（予定）は、年度により時期が前後する場合があります。当該年度の掲示案内で確認してください。

◆◆懲戒による退学◆◆

本学の規則または学生の本分に反する行為があった学生は、大学の決定を受けて懲戒による退学となる場合があります。

◆◆原級◆◆

本学に学生として最低4年間在学し、所定の単位を修得しなければ卒業はできません。

4年次終了までに所定の単位数を修得できず、卒業できないことを原級といいます。卒業に必要な単位を修得するために通算して在学できる年数（在学年限）は、最長で8年間です。その年限までは4年生ということになります。



・卒業できなかった学生は、郵送される要領に従って、教務課で手続きをしてください。

◆◆編入学◆◆

本学または他大学を卒業後に編入学を希望する者に対して、編入学試験を実施しています。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

編入学する学年は、原則として3年次となり、学科教育課程表も編入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、編入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。



本学を卒業した者は卒業した学部・学科への編入学はできません。

◆◆転入学◆◆

他の大学の学生が、その大学の許可を得て本学に転入学を願い出る場合、本学の実施する転入学試験を受験していただきます。試験要項は、9月頃入試情報サイトに掲載予定です。

転入学する学年は、原則として2年次または3年次となります。また、学科教育課程表も転入学する学年のものを適用します。既修単位の取り扱いについては試験要項を確認してください。履修方法については、転入学の手続時に教務課で説明をします。不明な点は、各学部教務課窓口へ問い合わせてください。

◆◆科目等履修生◆◆

教養を高めるもしくは教育職員免許状などの資格取得を目的として特定の授業科目を履修しようとする場合、科目等履修生として当該授業科目の履修をすることができます。

本学に在籍中は科目等履修生として授業科目を履修することはできません。

詳細は、各学部教務課窓口にお問い合わせください。



各種手続 各種証明書

2021年4月1日より一部の証明書を全国のコンビニエンスストアで発行することができます。詳細は東洋大学 Web サイトをご確認ください。

◆◆ 在籍時に発行できる証明書の種類 ◆◆

以下の証明書が発行できます。

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
<ul style="list-style-type: none"> 在学証明書 成績証明書 健康診断証明書 履修科目証明書 卒業見込証明書 	200円	証明書発行機から出力	即日	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断証明書は大学が実施する定期健康診断を受診した学生のみ発行可能です 卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります
<ul style="list-style-type: none"> 教育職員免許状取得見込証明書 				<ul style="list-style-type: none"> 4年生になった10月1日以降に発行可能となります
<ul style="list-style-type: none"> 学割 情報システム利用通知書 	無料			年間10枚まで出力可能です
<ul style="list-style-type: none"> 兄弟等の授業料減免に係わる証明書 	200円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口へ提出)	1週間	
<ul style="list-style-type: none"> 奨学金受給証明書 奨学生推薦書 	200円			<ul style="list-style-type: none"> 英文を希望する場合は、国際課へ提出してください
<ul style="list-style-type: none"> 人物証明書 	200円	証明書発行機で申込書を購入(教務課窓口へ提出) ※購入前に教務課窓口にお問い合わせください。	窓口にお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> 原則として大学所定用紙に演習等担当教員が必要事項を記入後、証明手続きを行います 記入済所定用紙を教務課窓口へ持参してください
<ul style="list-style-type: none"> 在籍証明書 	200円		即日	<ul style="list-style-type: none"> 休学者のみ発行可能です
<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士指定科目履修見込証明書 	200円		1週間	<ul style="list-style-type: none"> 出願期間のみ発行可能です
<ul style="list-style-type: none"> 英文在学証明書 英文卒業見込証明書 英文在籍証明書 	500円	証明書発行機で申込書を購入(教務課窓口へ提出)		<ul style="list-style-type: none"> 英文卒業見込証明書は4年生になった4月1日以降に発行可能となります 英文在籍証明書は休学者のみ発行可能です
<ul style="list-style-type: none"> 英文成績証明書 英文履修科目証明書 	1,000円		1週間	
<ul style="list-style-type: none"> 学生証再発行(通学定期乗車券発行用証明書含む) 	2,000円	証明書発行機で申込書を購入(学生支援課窓口→教務課窓口の順に提出)		
<ul style="list-style-type: none"> 本学書式以外の証明書(指定書式での証明書を含む) 	200円	証明書発行機で申込書を購入		<ul style="list-style-type: none"> 事前に教務課または学生支援課に相談してください



・申込キャンセルによる手数料の返金はいたしません。

Notice

退学、除籍後の証明書発行については教務課窓口にお問い合わせください。

◆卒業後に発行できる証明書の種類◆

以下の証明書が発行できます。証明書の申し込み方法は郵送と窓口受取のどちらでも受け付けています。電話・FAXでの申し込みはできません。

2021年4月1日より一部の証明書を全国のコンビニエンスストアで発行することができます。詳細は東洋大学 Web サイトをご確認ください。

●● 関連 URL <https://www.toyo.ac.jp/alumni/syomeisyo/> ●●

証明書の種類	金額	発行方法	発行期間	備考
・卒業証明書 ・成績証明書	500円	〈窓口〉証明書発行機で申込書を購入 (担当窓口へ提出) 〈郵送〉ホームページで確認してください	即日	
・単位修得証明書 ・学力に関する証明書 ・学芸員単位修得証明書 ・司書単位修得証明書 ・司書教諭単位修得証明書 ・社会福祉主事単位修得証明書 ・社会福祉士指定科目履修証明書	500円		1週間	
・人物証明書	500円		即日	・在籍時に人物調査書を提出した者のみ発行可能です ・卒業後3年以内まで発行可能です
・英文卒業証明書	500円		1週間	
・英文成績証明書	1,000円			
・本学書式以外の証明書 (指定書式での証明書発行を含む)	500円			・事前に教務課または学生支援課に相談してください

◆証明書発行機◆

在学証明書や成績証明書、学割など、一部の証明書は証明書発行機で直接発行することができます。証明書発行機を使用するには、学生証と、入学手続き時に登録した暗証番号が必要です。

④ 学生証の暗証番号
p.198



- ・稼働時間は学生の長期休暇期間、大学祭などにより変更となる場合があります。
- ・長期休暇期間、大学祭期間などの稼働時間は掲示や大学ホームページなどでお知らせします。

証明書発行機設置場所	稼働時間
2号館1階 6号館1階 8号館4階	月～金 9:00～20:00 土 9:00～12:45



各種手続 納付金

定められた期間に納付金を納入しなければ、本学の学生として、在籍することはできません。納入期間がありますので、期日までに納入をすることを忘れないようにしてください。

◆◆納付金額◆◆

◎学費とその他の費用
「学費」とは授業料等の大学徴収分を指し、「その他の費用」とは各団体からの受託徴収分を指します。

「学費」と「その他の費用」を合わせて「納付金」と称します。2年次以降は、入学金を除く納付金の納入が毎年度必要になります。納付金の内訳は以下のとおりです。

【2021年度入学生】

(単位：円)

学 部	第 1 部							第 2 部・ イブニングコース
	文・経済・経営・ 法・社会学部	文学部	社会学部			国際・ 国際観光 学部	全学部	
	(右記学科を 除く)	教育学科 初等教育専攻	社会福祉学科	メディアコミュニ ケーション学科	社会心理学科 国際社会学科			
納 付 金	入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	180,000
	授 業 料	710,000	820,000	710,000	710,000	710,000	780,000	430,000
	一 般 施 設 設 備 資 金	220,000	250,000	220,000	220,000	220,000	220,000	100,000
	教育充実料	—	—	25,000	10,000	15,000	—	—
そ の 他 の 費 用	雨水会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	—
	学生課外活動 育成会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
合 計		1,190,000	1,330,000	1,215,000	1,200,000	1,205,000	1,260,000	715,000

◆◆納入期間◆◆

納付金は、第1期に1年間分を全額一括納入する方法と、授業料・一般施設設備資金・教育充実料を二期に分けて納入する方法を選択することができます。

第1期(春学期)納入期間 4月20日～5月31日
第2期(秋学期)納入期間 10月1日～11月10日

金融機関の営業日にあわせて前後することがあります。



各年度の曜日の関係により、納入期間が短縮される場合があります。

◆◆学籍異動における納付金の取扱◆◆

【休学】

修学の意味がありながら学期始めに休学する場合は、納付金の納入期間内に休学許可願を教務課に提出してください。

<第1期(春学期)の納入期限までに休学を願い出た場合>

- ・休学日を4月1日付として扱い、納付金のうち、第1期(春学期)分の一般施設設備資金の半額とその他の費用を納入する必要があります。

- ・全額一括納入した場合は、第1期（春学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額、教育充実料および第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜春学期中に休学する場合＞

- ・春学期の途中で休学する場合、第1期（春学期）の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金を払い戻しいたします。

＜第2期（秋学期）の納入期限までに休学を願い出た場合＞

- ・休学日を10月1日付として扱い、納付金のうち、第2期（秋学期）分の一般施設設備資金の半額を納入する必要があります。
- ・第2期（秋学期）分の納付金を納入した場合は、第2期（秋学期）分の授業料と一般施設設備資金の半額、教育充実料を払い戻しいたします。

＜秋学期中に休学する場合＞

秋学期の途中で休学する場合、第2期（秋学期）の納付金は払い戻しをいたしません。

＜2セメスタ連続して休学する場合＞

連続休学する場合、次学期分の納付金のうち、一般施設設備資金の半額とその他の費用は納入しなければなりません。

④ 休学／復学
p.200～p.202

【復学】

- ・休学者が復学する場合の納付金は、入学年度の額が適用されます。
- ・第2期（秋学期）に復学する場合は、復学時に1セメスタ（半期）分の納付金を納入することになります。
- ・1セメスタ（半期）休学する場合、全額一括納入・分割納入の選択が可能な納入期は、第1期（春学期）とします。

【除籍】

所定の納期までに納付金を納入しない学生は、学則第38条1項により、除籍となります。

【退学】

退学の意思がない場合は、納入期間内に退学許可願を教務課に提出してください。

＜新学期の納入期限の末日までに退学を願い出た場合＞

退学日を前学期の末日付として扱い、当該年度・学期の納付金を納入する必要はありません。

＜春学期中に退学する場合＞

- ・春学期の途中で退学する場合は、第1期（春学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。
- ・全額一括納入した場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しいたします。

＜秋学期中に退学する場合＞

秋学期の途中で退学する場合は、第2期（秋学期）分の納付金は払い戻しをいたしません。

④ 退学・除籍／再入学
p.203～p.207

【再入学】

再入学する場合の納付金は、再入学する学年次の納付金を適用します。ただし、入学金は、再入学する年度の新入生の半額となります。

【原級】

4年次生で原級する場合の納付金は、当該年度正規4年次生の納付金を適用します。

【転部・転科】

納付金は転部・転科先の学年の納付金を適用します。ただし、入学金は、転部・転科先との不足分を納入することになります。

【編・転入学】

編入学する場合の納付金は、編入学する年度の新入生の納付金を適用します。ただし、本学出身者が編入学する場合、入学金は、編入学する年度の新入生の額の半額となります。

◆◆振込用紙の送付先◆◆

- ・ 振込用紙の送付先は、第1部学生…保証人宛て／第2部学生…入学時に選択した宛先／留学生…本人宛て、となります。
- ・ 振込用紙の送付先を変更したい場合は、財務課にて手続きをしてください。

④ 住所変更の手続窓口
p.199



振込用紙送付先の住所に変更があった場合は、所定の手続により、住所変更の手続を行ってください。

◆◆納入方法◆◆

- ・ 本学の指定する納入方法で納入してください。大学窓口での受付はできません。
- ・ 振込用紙を紛失した場合は、至急、財務課まで連絡してください。
- ・ 納付金に関する証明書の発行が必要な方は、財務課にて申請してください。
- ・ 納入された納付金は、超過納入が明らかな場合または学籍異動に伴い徴収の対象とならない場合を除き返還いたしません。

④ 学生支援課窓口
p.196

◆◆納入期間内に納入ができない場合◆◆

やむを得ない事情で納入期限までに納付金を納入できない場合は、**必ず納入期間内に**学生支援課に相談してください。

2021年3月 印刷
2021年4月 発行

編集 発行 **東洋大学社会学部**

<https://www.toyo.ac.jp/academics/faculty/soc/>
〒112-8606 東京都文京区白山5丁目28番20号

2021年度入学生 履修要覧 社会学部

学籍番号

【諸注意】

- この「履修要覧」は、2021年度入学生に適用されるものであり、2020年度以前の入学生には適用されません。
- この「履修要覧」は、卒業時まで使用します。再配付しませんので、大切に使用してください。講義内容に関しては、「シラバス（講義要項）」に掲載されています。
- 記載内容の変更等については、掲示・webシステムにてお知らせいたします。